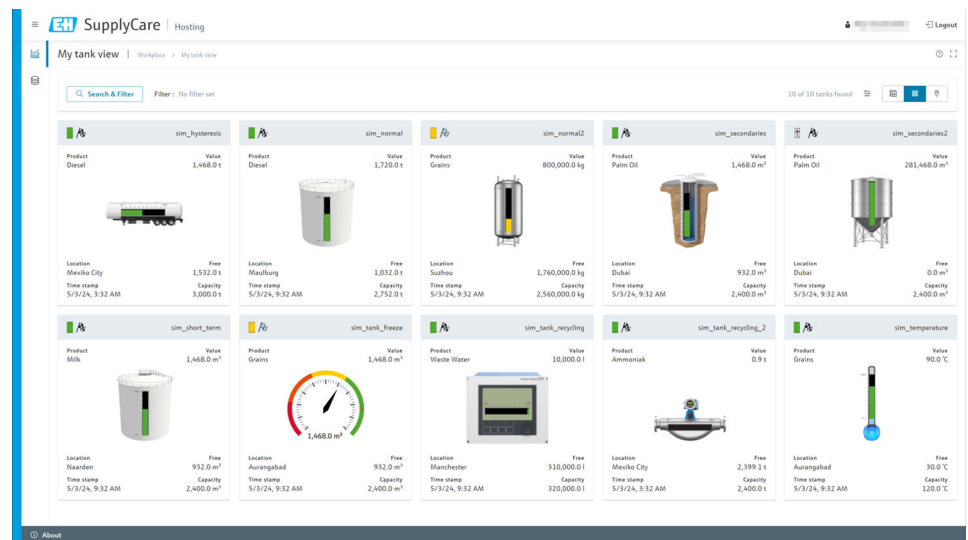


取扱説明書

SupplyCare Hosting SCH30

システム製品
サプライチェーンに沿って材料と情報の流れをコントロールするためのソフトウェア



改訂履歴

BA00050S/21.18

- 有効ソフトウェアバージョン：3.3.xx
- 変更/コメント：GPS 座標の自動更新の実装。

BA00050S/22.19

- 有効ソフトウェアバージョン：3.4.xx
- 変更/コメント：E メールデータ交換用の SSL/TLS 暗号化の実装。FTP データ伝送オプションの機能強化。

BA00050S/23.21

- 有効ソフトウェアバージョン：3.4.xx
- 変更/コメント：リニアライゼーション機能の拡張。テンプレートタイプ：サイロの追加。

BA00050S/24.22-00

- 有効ソフトウェアバージョン：3.6.xx
- 変更/コメント：マスターデータロールを持つユーザーは機器の割り当てが可能。

BA00050S/25.23-00

- 有効ソフトウェアバージョン：3.6.xx
- 変更/コメント：在槽ポータルを導入。

BA00050S/26.24-00

- 有効ソフトウェアバージョン：4.0.xx
- 変更/コメント：標準のデスクトップや大型の画面に表示するための新しいユーザーインターフェース。スマートフォン/タブレット端末専用のウェブアプリケーション。測定データ転送およびマスターデータ同期用の新しい REST/JSON API。

BA00050S/27.25-00

- 有効ソフトウェアバージョン：4.0.xx
- 変更/コメント：タンクタイプ、タンクグループ、地域、会社、製品、リニアライゼーション、単位設定メニューを新しいユーザーインターフェースに統合。

BA00050S/28.25-00

- 有効ソフトウェアバージョン：4.0.xx
- 変更/コメント：集合タンクおよびレポート設定メニューを新しいユーザーインターフェースに統合。予測計画を追加。

目次

1	本説明書について	5	6	カスタマイズされたタンク概要の表示 - 「マイタンクビュー」ワークプレイス	64
1.1	本書の目的	5	6.1	マイタンクビューの設定	65
1.2	対象グループ	5	6.2	セカンダリバリューの表示	66
1.3	シンボル	5	7	イベントの処理 - イベントワークプレイス	67
1.4	関連資料	6	7.1	イベント管理 - イベントのステータスおよび重み付け	67
1.5	登録商標	6	7.2	イベントメッセージの表示	68
2	安全上の基本注意事項	8	7.3	イベントメッセージの処理	72
2.1	要員の要件	8	7.4	再提出日の設定	73
2.2	指定用途	8	8	納品/廃棄の管理 - 「スケジュールリング」ワークプレイス	75
2.3	IT セキュリティ	8	8.1	ステータス管理 - 納品および廃棄	75
2.4	技術上の改良	8	8.2	納品予定/廃棄予定のステータス表示および通知	76
3	製品説明	9	8.3	納品/廃棄の管理	78
3.1	SupplyCare による Inventory Control	9	8.4	納品予定/廃棄予定の表示および Excel スプレッドシートでの保存	84
3.2	SupplyCare Hosting	9	8.5	予測計画	84
3.3	在槽データの表示	9	9	積算の実行 - 「合計」ワークプレイス	88
3.4	マスターデータの管理	9	10	分析データの表示 - 「分析」ワークプレイス	90
3.5	GPS 座標の自動更新	9	10.1	「分析計」概要テーブル	90
3.6	レポート作成および ERP システムへの接続	9	10.2	前日	91
3.7	イベント管理	10	10.3	主要業績評価指標 - KPI	92
3.8	アラーム通知	10	11	マップでのタンクの地域の表示 - 「マップ」ワークプレイス	97
3.9	測定値の記録	10	11.1	マップおよび関連情報の表示	97
3.10	デスクトップ/モバイルバージョン	10	11.2	タンク詳細	98
3.11	システム要件	10	11.3	納品または廃棄を予定	99
4	ユーザーインターフェース	11	12	照合レポートの作成 - 「照合」ワークプレイス	100
4.1	使用の開始	11	12.1	特別照合レポートの作成	100
4.2	デスクトップバージョンのページ構成	13	13	ユーザープロファイルおよびユーザー設定	102
4.3	モバイルバージョンのページ構成	18	13.1	ユーザープロファイルの表示	102
4.4	要素	22	13.2	ユーザー設定の選択および変更	102
4.5	シンボル	23			
4.6	測定不良	28			
4.7	一般的な処理機能	29			
4.8	メッセージの受信 (メッセージ)	38			
5	タンクの監視 - 「タンク」ワークプレイス	40			
5.1	タンクおよび関連情報の表示	40			
5.2	タンクサービスのステータスの編集	50			
5.3	履歴のダウンロード	53			
5.4	セカンダリバリューの表示	54			
5.5	在槽チャートでの履歴データと予測値の表示	58			
5.6	在槽チャートのズーム機能	60			
5.7	在槽チャートを使用した納品/廃棄の予定 ..	61			

13.3	お気に入りの設定	105
14	マスターデータの管理	108
14.1	ユーザーの管理	108
14.2	タンクの管理	112
14.3	タンクタイプの管理	138
14.4	タンクグループの管理	140
14.5	地域の管理	142
14.6	会社の管理	145
14.7	製品の管理	147
14.8	リニアライゼーションテーブルの管理	148
14.9	リニアライゼーションルールの管理	152
14.10	単位の管理	153
14.11	集合タンクの管理	154
14.12	レポートの管理 (CIDX および CSV レポート の使用)	160
14.13	照合レポートの管理	170
14.14	通知 (メッセージ) の設定	175
15	エクスポートおよびレポート形式の 区切り文字	177
16	ユーザーロールおよび権限	178

1 本説明書について

1.1 本書の目的

本取扱説明書には、SupplyCare Hosting の設定/操作方法に関する情報が記載されています。

1.2 対象グループ

基本的な PC 操作に関する知識を除き、サプライチェーン管理ソフトウェアの管理機能を実行するための特別なトレーニングは不要です。可能な場合は、Endress+Hauser が提供するシステム関連のトレーニングの受講をお勧めします。

1.3 シンボル

1.3.1 安全シンボル

危険

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。

警告

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。

注意

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

注記

人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

1.3.2 特定情報に関するシンボル

ヒント

追加情報を示します。



資料参照



ページ参照



図参照



注意すべき注記または個々のステップ

1, 2, 3

一連のステップ



操作・設定の結果

1.3.3 図中のシンボル

1, 2, 3, ...

項目番号

A, B, C, ...**1.3.4 本書で使用される表記規則**

本書の内容を明確化して重要な情報を強調するために、字体の強調やシンボルが使用されています。

テキストの強調

テキストを強調するために以下が使用されています。

太字

意味：キーボード入力、ボタン、タブ、メニュー項目、画像内の要素
例：


- **イベントの詳細**タブを選択します。
- **イベント**メニュー項目をクリックします。

1.3.5

本書に掲載されている表示画面はサンプルであり、実際の表示画面とは異なる場合があります。表示画面は、使用するブラウザの設定、使用する機器、アプリケーションに応じて異なります。

1.4 関連資料

一般的に、Endress+Hauser 製品には、所定のドキュメントタイプが標準で作成されます。これらの資料は、弊社ウェブサイトのダウンロードエリアから入手できます (www.endress.com/downloads)。

資料の種類	資料の目的および内容
技術仕様書 (TI)	計画支援 製品に関するすべての技術データおよび製品とともに注文可能なすべてのアクセサリの概要が記載されています。
簡易取扱説明書 (KA)	初回の測定を迅速に行うための手引き 簡易取扱説明書には、受入検査から初期調整までに必要なすべての製品情報が記載されています。
取扱説明書 (BA)	リファレンス 取扱説明書には、製品ライフサイクルの各種段階（製品の識別、受入検査、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされる情報が記載されています。
機能説明書 (GP)	パラメータの参考資料 製品で読み取り可能または設定可能なパラメータの詳細な説明が記載されています。本説明書は、全ライフサイクルにわたって本製品を使用し、特定の設定を行う人のために用意されたものです。
安全上の注意事項 (XA)	各種認定に応じて、危険場所で電気機器を使用するための安全上の注意事項も製品に付属します。これは、取扱説明書の付随資料です。  製品に対応する安全上の注意事項 (XA) の情報が銘板に明記されています。
製品関連の補足資料 (SD/FY)	関連する補足資料に記載される指示を常に厳守してください。補足資料は、製品資料に付随するものです。

1.5 登録商標

以下の商標は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®

以下の商標は、Google LLC の登録商標または商標です。
Google™、Google Chrome™、Google Maps™

以下の商標は、米国およびその他の一部の国における Cisco Systems, Inc. および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
IOS®

Safari®, iPhone®, iPad® は、米国およびその他の一部の国で登録された Apple® Inc. の商標です。

1.5.1 登録商標に関する法律上の表示

すべての会社名および/または製品名および/またはすべての会社ロゴは、Endress+Hauser、その関連会社、または関連するそれぞれの所有者の商標および/または登録商標である場合があります。

2 安全上の基本注意事項

2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本資料の説明に従うこと。

2.2 指定用途

SupplyCare Hosting は、サプライチェーンに沿って材料と情報の流れをコントロールするためのウェブベースのソフトウェアです。SupplyCare Hosting は、タンク、サイロ、容器の在槽レベルをいつでもどこからでも（遠隔地であっても）完全に見える化できます。

現場で採用されている測定技術や伝送技術に基づき、現在の在槽データが収集され、SupplyCare に送信されます。SupplyCare を使用して、現在のすべての在槽レベルの概要を常に把握できます。許容在槽レベルが明確に示され、ユーザーは必要に応じてこのレベルに関するアラートを受け取ることもできます。予測計算により、補充の予定作成に対する信頼性が向上します。

本ソフトウェアはサプライチェーンの最適化用に開発されました。アプリケーションの開発では、システムや作業員の安全性に関わる重要なプロセス設備での使用は考慮されていないため、この用途には使用しないでください。

2.3 IT セキュリティ

取扱説明書の指示に従って製品を設置および使用した場合にのみ、当社の保証は有効です。本製品には、設定が誤って変更されないよう、保護するためのセキュリティ機構が備えられています。

製品および関連するデータ伝送の追加的な保護を提供する IT セキュリティ対策を、事業者自身が自社の安全基準に従って講じる必要があります。

2.4 技術上の改良

Endress+Hauser は、ハードウェアおよびソフトウェアに対して予告なしに技術上の改良を加える権利を保有します。このような改良がソフトウェアの操作機能に影響を与えない場合、それが文書化されることはありません。改良が操作に影響を与える場合、新しいバージョンの取扱説明書が発行されます。詳細については、本書の改訂履歴をご確認ください。

3 製品説明

3.1 SupplyCare による Inventory Control

SupplyCare Hosting は、ソフトウェアコンポーネントおよび在槽管理の関連情報で構成されています。

SupplyCare は、タンクおよびサイロの在槽、可用性、消費量、ニーズに関するデータをオンラインで記録して可視化します。これにより、ビジネス/物流プロセスを合理化し、在槽レベルを低く抑えながらも在庫切れを低減できます。現場測定、グローバルなリモートデータ伝送、データの分散型可視化から ERP システムへの統合まで、SupplyCare はあらゆる用途に対応する標準ベースのソリューションです。さらに、SupplyCare にはモジュール設計という利点もあります。

3.2 SupplyCare Hosting

SupplyCare Hosting は、世界中のタンク、サイロ、容器などのレベルを表示して監視できるウェブベースのソフトウェアプログラムです。

3.3 在槽データの表示

SupplyCare では、タンクやサイロの在槽レベルが一定間隔で記録されます。現在および過去の在槽データをいつでも表示できます。

「タンクの監視」、「カスタマイズされたタンク概要の表示」、「マップでのタンクの地域の表示」の各セクションを参照してください。


3.4 マスターデータの管理

SupplyCare により、地域、会社、タンク、製品、ユーザーのマスターデータを作成して管理できます。

「マスターデータの管理」セクションを参照してください。

3.5 GPS 座標の自動更新

タンクに取り付けられた GPS ハンドヘルド変換器（GPS トラッカー）およびゲートウェイによる GPS 座標の送信機能を使用して、いつでも現在のタンクの地域を特定して SupplyCare に表示できます。GPS 座標は他の測定データとともに SupplyCare で自動的に更新されます。GPS 座標の自動更新は、特に移動タンクを使用する場合に便利です。

 タンクに割り当てられている地域の住所の GPS 座標は、地域情報の個別のプロパティです。GPS トラッカーから送信される GPS データをタンクの地域情報として使用する場合、これらは変更されません。

3.6 レポート作成および ERP システムへの接続

SupplyCare では、測定データとマスターデータに関するオンデマンドレポートや定期レポートを作成できます。

「レポートの管理」セクションを参照してください。

3.7 イベント管理

イベント管理システムは SupplyCare に統合されています。このソフトウェアでは、安全在庫や予定ポイントを下回る、といったイベントが表示されます。また、所定のユーザーに通知 E メールを送信することもできます。

「イベントの処理」および「通知（メッセージ）の設定」セクションを参照してください。

3.8 アラーム通知

接続障害などの技術的な問題が発生すると、アラーム通知が生成され、システム管理者にアラーム E メールが送信されます。

3.9 測定値の記録

タンクおよびサイロの在槽レベルは、現場の計測機器によって記録されます。測定値はゲートウェイを介して Endress+Hauser のホスティング環境に送信されるため、SupplyCare で使用できます。その他のソースには、ソフトウェアインタフェースや IoT センサ（Micropilot FWR30 など）があります。

3.10 デスクトップ/モバイルバージョン

SupplyCare Hosting は、さまざまな機器やブラウザで使用できます。ユーザーインタフェースの機能や表示特性は、それぞれの画面解像度に応じて異なります。

- デスクトップバージョン：画面、デスクトップ/PC およびノートパソコンに対応
- モバイルバージョン（≤ 768 ピクセル）：タブレット端末およびスマートフォンに対応

サポートされる最小解像度は 375×667 ピクセルです。

i SupplyCare ユーザーインタフェースの表示特性は、エンドデバイスの最大解像度ではなく、最終的にブラウザで選択された解像度によって決まります。たとえば、解像度が 4096×3072 ピクセルの画面でブラウザを大きくズームインした場合、ズームによって解像度がデスクトップ版の必要条件を下回ると、ユーザーインタフェースはモバイル版で表示されることがあります。

i モバイル機器では機能範囲が縮小されており、小さな画面でも直感的かつ容易に操作できます。

3.11 システム要件

デスクトップ用ブラウザ：

- Microsoft® Edge 128 以上
- Mozilla Firefox 130 以上
- Google Chrome™ 128 以上

モバイル機器用ブラウザ：

- Google Chrome™ 128 以上
- Safari® (iOS 18 以上)

ブラウザ設定：

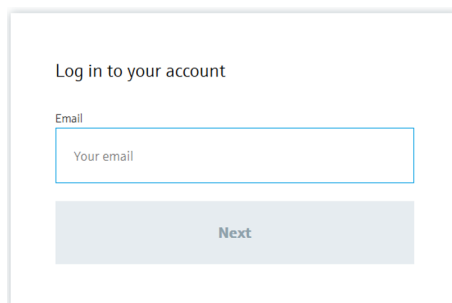
- Active Scripting：有効
- JavaScript：有効
- Cookie：許可

これらは SupplyCare Hosting アプリケーション用の Endress+Hauser の公式推奨ブラウザです。他のブラウザバージョンや技術を使用した場合、機能や表示が制限される場合があります。

4 ユーザーインターフェース

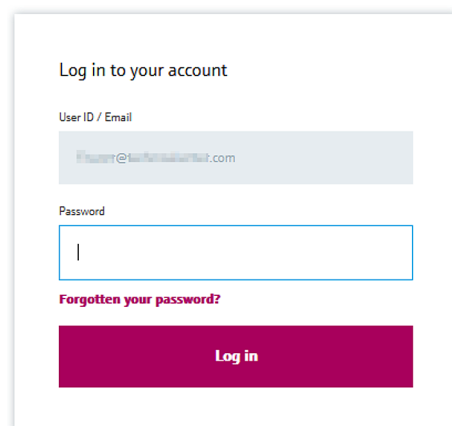
4.1 使用の開始

1. ウェブブラウザを起動します。
2. SupplyCare の URL または IP アドレスを入力します。URL : <https://inventory.endress.com>
↳ ログオンウィンドウが表示されます。

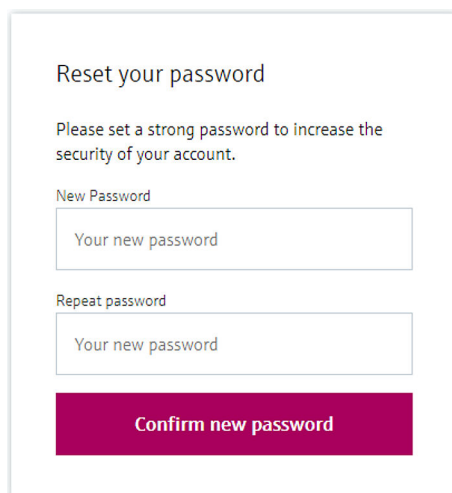


3. Eメールアドレスを入力します。
4. 次へボタンをクリックします。

↳



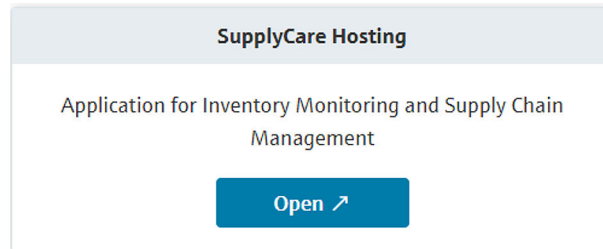
5. パスワードを入力します。
6. ログインボタンをクリックします。
↳ 初回ログイン時には、パスワードをリセットする必要があります。



7. 新しいパスワードを新しいパスワードおよび繰り返しフィールドに入力します。

8. パスワードの確認ボタンをクリックしてパスワードを保存します。

- 在槽ポータルで SupplyCare Hosting アプリケーションのみが利用可能な場合、ユーザーはこのアプリケーションに直接リダイレクトされます。在槽ポータルで他のアプリケーションも使用している場合は、**SupplyCare Hosting** を選択して**開く**ボタンをクリックします。



アプリケーションウィンドウが表示されます。表示内容は、割り当てられたユーザーロールに応じて異なります。

State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
	sim_hysteresis	1,568.0	t	52%	Mexiko City		1,432.0	Diesel
	Temperature	80.0	°C					
	Pressure	80.0	bar					
	sim_normal	1,720.0	t	63%	Maulburg		1,032.0	Diesel
	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
	sim_secondaries	1,568.0	m³	65%	Dubai		832.0	Palm Oil
	Density	29.2	kg/m³					
	Reference Level	2,000.0	m					
	Chloride Unit	80.0	mg/L					
	Flow	32.0	l/s					
	sim_secondaries2	291,568.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil

4.1.1 パスワードのリセット

パスワードは、ユーザーがパスワードを忘れてしまった場合などにリセットできます。

Log in to your account

Password

Forgotten your password?

1. 「パスワードを忘れた」のリンクをクリックします。

↳

Reset your password

To continue, please verify your account.

A code was sent to the following email address:

gpcsch30@msa.com

Verification code

Verification code

Verify

No email received?

1. Check your spam folder.
2. Check your email address.
3. Wait 5 minutes - it may take a few minutes to receive the code.
4. Get in touch with us

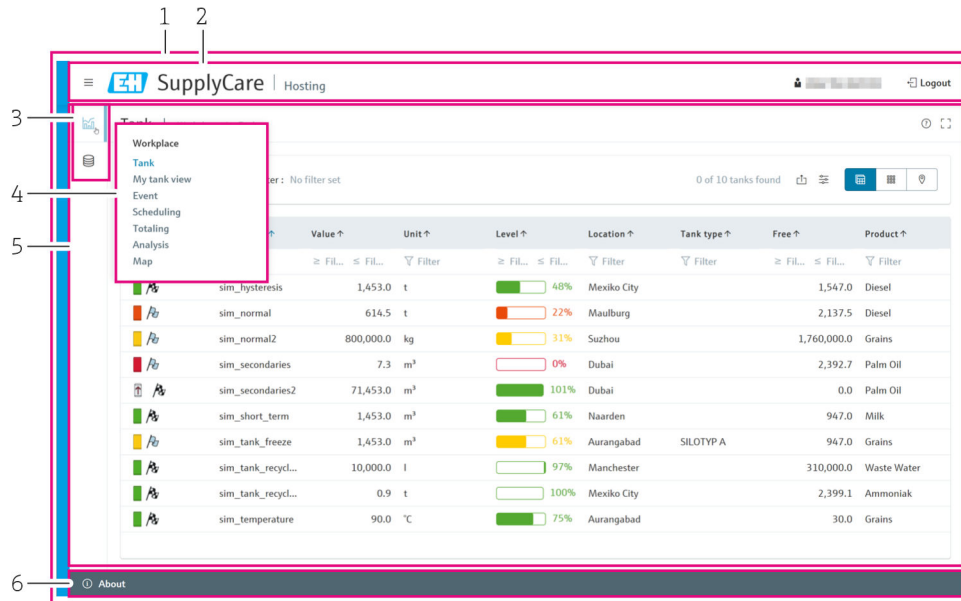
2. 指示に従ってください。

4.2 デスクトップバージョンのページ構成

4.2.1 アプリケーションウィンドウ

- i** メニューおよびメニュー項目はユーザーロールに応じて異なるため、アプリケーションウィンドウも異なります。
- i** 設定内容に応じて、**タンク**の代わりに、**オブジェクト**または**サイロ**が表示される場合があります。
- i** このソフトウェアはモジュール設計です。このため、メニュー項目は異なります。さらに、作業エリアとダイアログボックスの内容も異なる場合があります。

以下の図は、デスクトップバージョンのアプリケーションウィンドウの機能エリアの配置を示します。



- 1 アプリケーションウィンドウ
- 2 システムヘッダー
- 3 メニューバー
- 4 メニュー項目
- 5 作業エリア
- 6 フッター

4.2.2 システムヘッダー

システムヘッダーには以下が表示されます。

- ☰ ボタン：メニューバーのメニュー表示を変更します。
- 在槽ポータルで選択されたアプリケーションの名前
- 👤 ボタン：ユーザープロフィールを表示します。
- ☒ ログオフボタン：アプリケーションを終了します。

4.2.3 メニューバー

メニューバーのメニューアイコンをクリックすると、メニューを展開する/折り畳むことができます。アクティブなメニュー項目は青色で強調表示されます。

メニュー

ユーザーロールに応じて、さまざまなメニューを使用できます。

- i** 1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。メニュー構造は、該当するユーザーロールに対応したメニューで構成されます。

メニュー項目

ユーザーロールに応じて、メニューはさまざまなメニュー項目で構成されます。各ユーザーロールに対応するメニュー項目を以下に示します。

- i** **ワークプレイス、設定、プロフィール**メニューのメニュー項目は、ソフトウェアのモジュール設計に応じて異なります。**プロフィール**メニューを開くには、ユーザー名をクリックします。

読み取り専用ユーザーロール**■ ワークプレイスメニュー：**

- タンク¹⁾
- タンク概要
- イベント²⁾
- 合計
- マッピング
- 照合³⁾

■ プロファイルメニュー：

- ユーザープロファイル
- ユーザー設定
- お気に入り

オペレータユーザーロール**■ ワークプレイスメニュー：**

- タンク¹⁾
- タンク概要
- イベント²⁾
- 合計
- 分析計
- マッピング
- 照合³⁾

■ プロファイルメニュー：

- ユーザープロファイル
- ユーザー設定
- お気に入り

スケジューラユーザーロール**■ ワークプレイスメニュー：**

- タンク¹⁾
- タンク概要
- イベント²⁾
- 計画
- 合計
- 分析計
- マッピング
- 照合³⁾

■ プロファイルメニュー：

- ユーザープロファイル
- ユーザー設定
- お気に入り

製品 - タンク - 設定ユーザーロール**■ 設定メニュー：**

- タンク
- 製品

■ プロファイルメニュー：

- ユーザープロファイル

1) タンクのサービスステータスを変更できるのは、ユーザーロールがオペレータであるユーザーのみです。
2) イベントのステータスを変更できるのは、ユーザーロールがスケジューラまたはオペレータであるユーザーのみです。
3) 必要な場合にのみ使用可能（事前のアクティベーションが必要）

マスターデータユーザーロール

- 設定メニュー：
 - ユーザー
 - タンク
 - タンクタイプ
 - タンクグループ
 - 地域
 - 会社
 - 製品
 - リニアライゼーション
 - 単位
 - 集合タンク
 - レポート
- プロファイルメニュー：
 - ユーザープロファイル

4.2.4 作業エリア

作業エリアの内容は、選択するメニュー項目に応じて異なります。アクティブなメニュー項目はメニューバーに青色で強調表示され、拡張システムヘッダーに表示されます。

i SupplyCare のモジュール設計に応じて、ダイアログウィンドウの内容と同様に「概要」の内容も異なる場合があります。

作業エリアには通常、以下の機能エリアが含まれます。

- 拡張ヘッダー
- フィルターおよび表示オプション
- 概要

State ↑	Tank name ↑	Value ↑	Unit ↑	Level ↑	Location ↑	Tank type ↑	Free ↑	Product ↑
🇩🇪	sim_hysteresis	1,453.0	t	48%	Mexiko City		1,547.0	Diesel
🇩🇪	sim_normal	614.5	t	22%	Maulburg		2,137.5	Diesel
🇩🇪	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
🇩🇪	sim_secondaries	7.3	m³	0%	Dubai		2,392.7	Palm Oil
🇩🇪	sim_secondaries2	71,453.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil
🇩🇪	sim_short_term	1,453.0	m³	61%	Naarden		947.0	Milk
🇩🇪	sim_tank_freeze	1,453.0	m³	61%	Aurangabad	SILOTYP A	947.0	Grains
🇩🇪	sim_tank_recycl...	10,000.0	l	97%	Manchester		310,000.0	Waste Water
🇩🇪	sim_tank_recycl...	0.9	t	100%	Mexiko City		2,399.1	Ammoniak
🇩🇪	sim_temperature	90.0	°C	75%	Aurangabad		30.0	Grains

- 1 拡張ヘッダー
- 2 フィルターおよび表示オプション
- 3 概要

拡張ヘッダー

拡張システムヘッダーには以下が表示されます。






- 現在のアプリケーション（メニュー項目およびパス）
- ⓘ ボタン：取扱説明書をダウンロードします。
- [] ボタン：全画面表示モードに切り替えます。
- ✖ ボタン：全画面表示モードを終了します。

フィルターおよび表示オプション

フィルターおよび表示オプションエリアには以下が表示されます。

- 🔍 **検索&フィルタリング** ボタン：使用可能なフィルター関数を表示します。
- 現在設定されているフィルター
- 検出されたタンクまたはイベントの数
- その他の機能ボタン

機能ボタン：

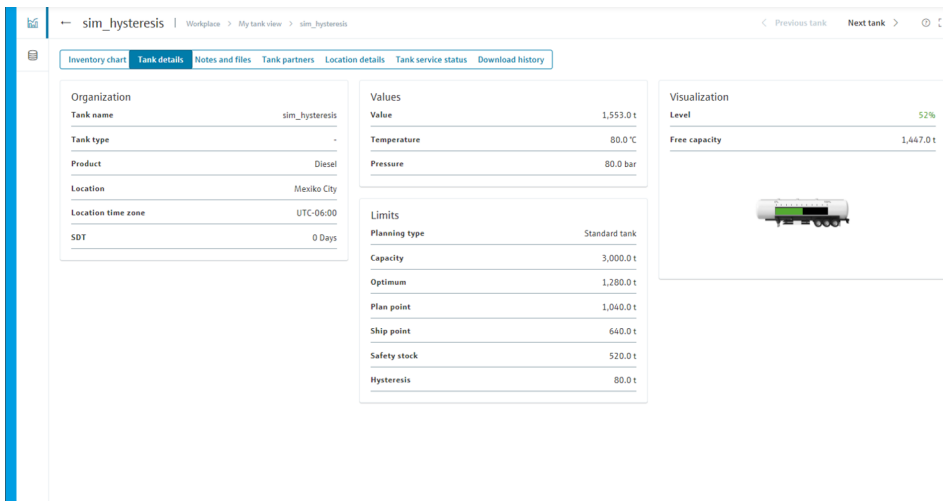
	リストのエクスポート（モバイルバージョンでは使用不可）
	データの選択（モバイルバージョンでは使用不可）
	クイック選択： タンク ワークプレイス
	クイック選択： タンク概要 ワークプレイス
	クイック選択： マップ ワークプレイス

アクティブなワークプレイスのボタンは青色で強調表示されます。

概要

概要には、選択した情報が表形式またはグラフィックビュー（ウィジェット、概要マップ）で表示されます。

リストまたは図のタンクをクリックすると、選択したワークプレイスの詳細ビューと追加情報に直接アクセスできます。必要に応じて、詳細ビューの情報は複数のタブに分割されて表示されます。




The screenshot displays the 'sim_hysteresis' tank details page. The interface includes a navigation bar with tabs for 'Inventory chart', 'Tank details', 'Notes and files', 'Tank partners', 'Location details', 'Tank service status', and 'Download history'. The 'Tank details' tab is active, showing a table of organization information (Tank name: sim_hysteresis, Tank type: -, Product: Diesel, Location: Mexico City, Location time zone: UTC-06:00, SOT: 0 Days). To the right, there are sections for 'Values' (Value: 1,553.0 t, Temperature: 80.0 °C, Pressure: 80.0 bar) and 'Limits' (Planning type: Standard tank, Capacity: 3,000.0 t, Optimum: 1,280.0 t, Plan point: 1,040.0 t, Ship point: 640.0 t, Safety stock: 520.0 t, Hysteresis: 80.0 t). A 'Visualization' section shows a tank level gauge at 52% and a free capacity of 1,447.0 t.

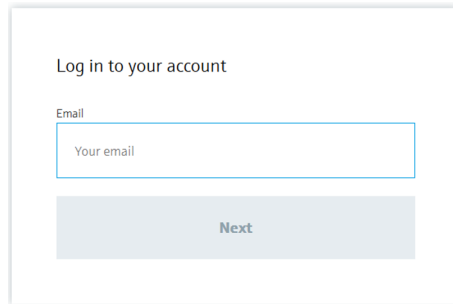
4.2.5 フッター

① **詳細情報**：ボタンを使用すると、会社情報や製品情報（例：ソフトウェアバージョン、製品など）にアクセスできます。

4.2.6 ログオフ




ログオフリンクはシステムヘッダーの右側にあります。

- ▶  ログオフボタンをクリックします。
- ↳ アプリケーションが終了し、ログインウィンドウが表示されます。

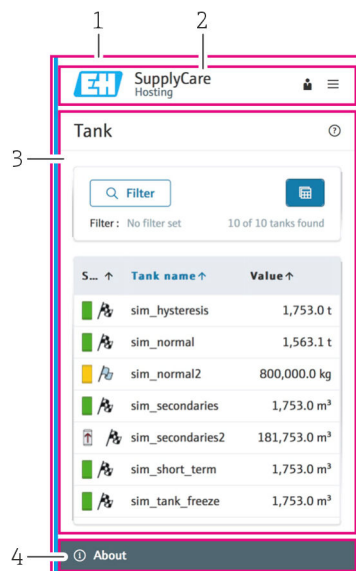


4.3 モバイルバージョンのページ構成

4.3.1 アプリケーションウィンドウ

-  メニューおよびメニュー項目はユーザーロールに応じて異なるため、アプリケーションウィンドウも異なります。
-  設定内容に応じて、**タンク**の代わりに、**オブジェクト**または**サイロ**が表示される場合があります。
-  このソフトウェアはモジュール設計です。このため、メニュー項目は異なります。さらに、作業エリアとダイアログボックスの内容も異なる場合があります。



以下の図は、モバイルバージョンのアプリケーションウィンドウの機能エリアの配置を示します。



- 1 アプリケーションウィンドウ
- 2 システムヘッダー
- 3 作業エリア
- 4 フッター

4.3.2 システムヘッダー

システムヘッダーには以下が表示されます。

- 在槽ポータルで選択されたアプリケーションの名前
-  ボタン：ユーザープロフィールを表示します。
-  ボタン：メニューバーを表示します。


4.3.3 メニューバー

☰ ボタンをクリックすると、メニューバーが開きます。

メニューバーのメニューアイコンをクリックすると、メニューを展開する/折り畳むことができます。最後にアクティブであったメニュー項目が青色で強調表示されます。


メニュー

ユーザーロールに応じて、さまざまなメニューを使用できます。

 1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。メニュー構造は、該当するユーザーロールに対応したメニューで構成されます。

メニュー項目

ユーザーロールに応じて、メニューはさまざまなメニュー項目で構成されます。各ユーザーロールに対応するメニュー項目を以下に示します。

 **ワークプレイス、設定、プロフィール**メニューのメニュー項目は、ソフトウェアのモジュール設計に応じて異なります。**プロフィール**メニューを開くには、ユーザー名をクリックします。

読み取り専用ユーザーロール

- **ワークプレイスメニュー：**
 - タンク⁴⁾
 - タンク概要
 - イベント⁵⁾
 - マッピング
- **プロフィールメニュー：**
 - ユーザープロフィール
 - ユーザー設定
 - お気に入り

オペレータユーザーロール

- **ワークプレイスメニュー：**
 - タンク⁴⁾
 - タンク概要
 - イベント⁵⁾
 - マッピング
- **プロフィールメニュー：**
 - ユーザープロフィール
 - ユーザー設定
 - お気に入り

スケジューラユーザーロール

- **ワークプレイスメニュー：**
 - タンク⁴⁾
 - タンク概要
 - イベント⁵⁾
 - マッピング
- **プロフィールメニュー：**
 - ユーザープロフィール
 - ユーザー設定
 - お気に入り

製品 - タンク - 設定ユーザーロール

- **設定メニュー：**
 - タンク
- **プロフィールメニュー：**
 - ユーザープロフィール

4) タンクのサービスステータスを変更できるのは、ユーザーロールがオペレータであるユーザーのみです。

5) イベントのステータスを変更できるのは、ユーザーロールがスケジューラまたはオペレータであるユーザーのみです。

マスターデータユーザーロール

- **設定メニュー：**
タンク
- **プロフィールメニュー：**
ユーザープロフィール

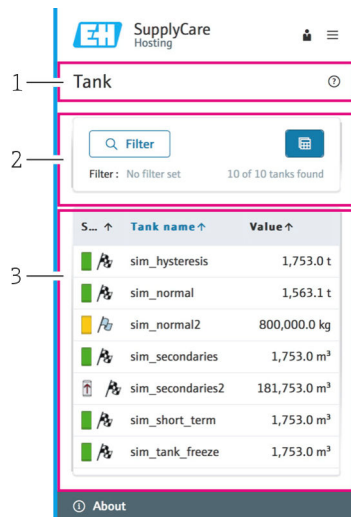
4.3.4 作業エリア

作業エリアの内容は、選択するメニュー項目に応じて異なります。アクティブなメニュー項目は拡張システムヘッダーに表示されます。

i SupplyCare のモジュール設計に応じて、ダイアログウィンドウの内容と同様に「概要」の内容も異なる場合があります。

作業エリアには通常、以下の機能エリアが含まれます。

- 拡張ヘッダー
- フィルターおよび表示オプション
- 概要



- 1 拡張ヘッダー
- 2 フィルターおよび表示オプション
- 3 概要

拡張ヘッダー

拡張システムヘッダーには以下が表示されます。

- 現在のメニュー項目
- ⓘ ボタン：取扱説明書をダウンロードします。




フィルターおよび表示オプション

フィルターおよび表示オプションエリアには以下が表示されます。

- 🔍 **フィルター** ボタン：使用可能なフィルター関数を表示します。
- 現在設定されているフィルター
- 検出されたタンクまたはイベントの数
- 機能ボタン：ワークプレイスをすばやく選択できます。

フィルターが有効な場合、**フィルターのリセット**リンクが**Q フィルター**ボタンの下に表示されます。このリンクをクリックすると、すべてのフィルターがリセットされます。

機能ボタン：

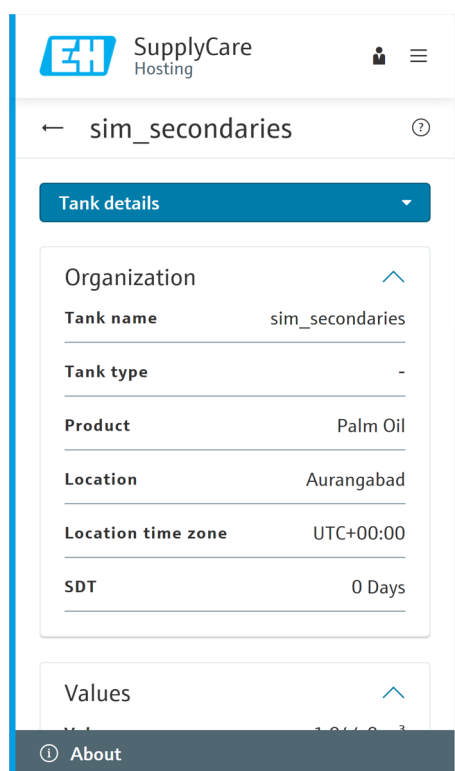
	クイック選択： タンク ワークプレイス
	クイック選択： タンク概要 ワークプレイス
	クイック選択： マップ ワークプレイス


機能ボタンをクリックすると、3つのワークプレイスから選択して表示できます。アクティブなワークプレイスのボタンは青色で強調表示されます。

概要

概要には、選択した情報が表形式またはグラフィックビュー（ウィジェット、概要マップ）で表示されます。

リストまたは図のタンクをクリックすると、選択したワークプレイスの詳細ビューと追加情報に直接アクセスできます。必要に応じて、詳細ビューの情報はドロップダウンリストボックスで分割されて表示されます。



 モバイルバージョンでは、デスクトップバージョンのタブの代わりにドロップダウンリストボックスが使用されます。

4.3.5 横長形式の表形式ビュー

モバイルバージョンのユーザーインターフェースと機能範囲は、選択したモバイル機器の配置に関係なく、より小さな画面での表示用に最適化されています。

縦長形式と横長形式の唯一の違いは、表形式ビューの表示と機能です。横長形式では、表形式ビューはデスクトップバージョンと同様に表示されます。

たとえば、以下のような機能があります。

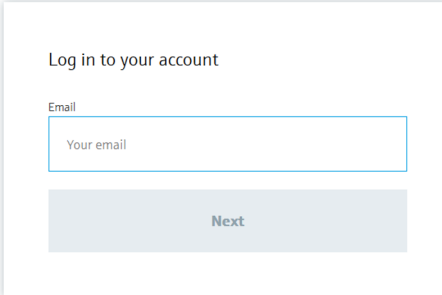
- 列数の制限なし
- 選択された列の表示と順序はデスクトップモードと同じ
- 列フィルターを使用可能
縦長と横長の形式を切り替えた場合、すべての列フィルターがリセットされます。
- 横スクロールは表の列にのみ影響し、その他のページは変更なし

4.3.6 フッター

① **詳細情報**：ボタンを使用すると、会社情報や製品情報（例：ソフトウェアバージョン、製品など）にアクセスできます。

4.3.7 ログオフ

1. ☰ ボタンをクリックします。
 - ↳ メニューバーが表示されます。
2. ☒ **ログオフ**ボタンをクリックします。
 - ↳ アプリケーションが終了し、ログインウィンドウが表示されます。



The image shows a login form with the following elements:

- Title: Log in to your account
- Label: Email
- Input field: Your email
- Button: Next

4.4 要素

個々のビューでは、以下の要素を使用できます。

入力フィールド

1行の入力フィールド：値（テキストまたは数値）を入力します。複数行の入力フィールド：長いテキストを入力します。

出力フィールド

1行の出力フィールド：値（テキストまたは数値）を表示します。複数行の出力フィールド：長いテキストを表示します。

テーブル

複数列のテーブル：各行を選択できます。

ドロップダウンリスト

所定の値から選択できます。

チェックボックス

特定の選択オプションを選択/選択解除します。


















切替えスイッチ

特定の機能を有効化/無効化します。

4.5 シンボル



4.5.1 ボタン



以下の標準ボタンを使用して、個々のオブジェクトを編集します。

	追加 新規オブジェクトまたは新しい内容を作成し、 保存 を押して保存できます。
	削除 オブジェクトの内容を削除します。ダイアログボックスが表示され、ユーザーは OK ボタンをクリックして削除を確定する必要があります。
	保存 変更した内容および新規作成したオブジェクトを保存します。
	キャンセル 操作を取り消します。
	破棄 保存せずに元へ戻します。
	データレコードの複製 選択したオブジェクトのマスターデータを複製します。
	日付の選択 期間を選択するためのボタン（例：再提出日、履歴の開始日と終了日）。
	時間の選択 時間を選択するためのボタン（例：納品時間）
	エクスポート 測定値やシステムプロパティなどのデータを Excel スプレッドシートまたは PDF ファイルにダウンロードするためのボタン。
	印刷 チャートを印刷するためのボタン。
	表示 表示する情報を調整できます。
	検索&フィルタリング レコードのフィルター処理に使用できるフィルター関数を表示します。
	完了 設定ウィザードを使用して新規作成されたオブジェクトを保存します。 OK 入力値を確定します。
	前へ 前の表示に戻ります。
	次へ 次の表示に移動します。
	リセット 設定を初期値にリセットします。
	リセット ☰「データの選択」ボタンを使用して、設定を初期値にリセットします。


4.5.2 イベントに関するシンボル

ステータス表示

	開く イベントがトリガされました。
	承認済み イベントは承認済みですが、アクションがまだ実行されていません。


	処理中 材料を補充するための対策が開始されました。
	実行済み 測定により記録されました。補充プロセスは正常に完了しました。

優先度 (重要性)

	予定ポイント
	出荷ポイント
	安全在庫
	イベントの凍結


4.5.3 タンク、サイロ、オブジェクトに関するシンボル

SupplyCare では、ユーザーインターフェースとしてテンプレートタイプを「タンク」、「サイロ」、「オブジェクト」から選択できます。これらのテンプレートタイプの機能は同じです。ただし、選択項目に応じて、メニュー、概要、詳細ビュー内で使用される名称が異なり、シンボル上にカーソルを合わせたときに表示されるシンボルとツールチップも異なります。







 下表にタンク、サイロ、オブジェクトに関するシンボルを示します。タイプ間で異なる名称については、次のセクション（「名称」セクション）を参照してください。

注意：本取扱説明書の他のすべてのセクションでは、テンプレートタイプとして「タンク」が使用されています。

シンボル




	タンク/サイロ
	集合タンク/集合サイロ
	オブジェクト
	集合オブジェクト

ステータス表示

		OK (緑色) 標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界を上回っています。 リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界を下回っています。
		OK (緑色) 集合標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する集合容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界を上回っています。 集合リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する集合容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界を下回っています。
		予定ポイント/監視限界に達しました (黄色) 標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界と同じであるか、または下回っています。 リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の（最後に測定された）在槽レベルは、予定ポイント/監視限界と同じであるか、または上回っています。

		予定ポイント/監視限界に達しました (黄色) 集合標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する集合容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、予定ポイント/監視限界と同じであるか、または下回っています。 集まりサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、予定ポイント/監視限界と同じであるか、または上回っています。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) 標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、出荷ポイント/ポイントオブアクションと同じであるか、または下回っています。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました (オレンジ色) 集合標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、出荷ポイント/ポイントオブアクションと同じであるか、または下回っています。
		安全在庫/許容限界に達しました (赤色) 標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫/許容限界と同じであるか、または下回っています。 リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫/許容限界と同じであるか、または上回っています。
		安全在庫/許容限界に達しました (赤色) 集合標準タンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫/許容限界と同じであるか、または下回っています。 集まりサイクルタンク/サイロ/オブジェクト：対応する容器の現在の (最後に測定された) 在槽レベルは、安全在庫/許容限界と同じであるか、または上回っています。
		測定不良 - 通信エラー タンク/サイロ/オブジェクトの測定データを取得できません。容器が稼働していない場合、セカンダリデータが表示されるときに、このステータスも表示されます。
		測定不良 - 通信エラー 集合タンク/サイロ/オブジェクトの測定データを取得できません。
		非稼働 タンク/サイロ/オブジェクトを使用できません (例：オーバーホールなど)。在槽チャートには、容器の非稼働期間が灰色の背景で示されます。
		非稼働 集合タンク/サイロ/オブジェクトを使用できません (例：オーバーホールなど)。在槽チャートには、対応する容器の非稼働期間が灰色の背景で示されます。
		あふれ 測定値がタンク/サイロの容量またはオブジェクトの最大値より高くなっています。
		あふれ 測定値が集合タンク/サイロの容量または集合オブジェクトの最大値より高くなっています。
		測定データ不良 測定値がタンク/サイロ/オブジェクトのゼロ点より低くなっています。
		測定データ不良 測定値が集合タンク/サイロ/オブジェクトのゼロ点より低くなっています。

4.5.4 セカンダリバリューのステータス表示

	スパン上限値を超過しました (赤色) 現在の (最後に測定された) セカンダリバリューが、スパン制限の設定値を上回り、許容範囲外になっています。
	許容範囲内 (緑色) 現在の (最後に測定された) セカンダリバリューが、スパン制限の設定範囲内であり、許容範囲内です。
	スパン下限値 (赤色) 現在の (最後に測定された) セカンダリバリューが、スパン制限の設定値を下回り、許容範囲外になっています。

4.5.5 タンクに関するシンボル（「マップ」ワークプレイス）



		OK（緑色） 納品予定/廃棄予定はありません。
		OK（緑色） 納品予定/廃棄予定があります。
		OK（緑色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		OK（緑色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		OK（緑色） 地域に複数のタンク/サイロ/オブジェクトがあります。すべての容器のステータスがOKです。各容器のスケジューリングステータス（納品予定/廃棄予定あり/なし）は異なる場合があります。
		予定ポイント/監視限界に達しました（黄色） 納品予定/廃棄予定はありません。
		予定ポイント/監視限界に達しました（黄色） 納品予定/廃棄予定があります。
		予定ポイント/監視限界に達しました（黄色） 集合タンク/集合オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		予定ポイント/監視限界に達しました（黄色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました（オレンジ色） 納品予定はありません。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました（オレンジ色） 納品予定があります。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました（オレンジ色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定はありません。
		出荷ポイント/ポイントオブアクションに達しました（オレンジ色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定があります。
		安全在庫/許容限界に達しました（赤色） 納品予定/廃棄予定はありません。
		安全在庫/許容限界に達しました（赤色） 納品予定/廃棄予定があります。
		安全在庫/許容限界に達しました（赤色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		安全在庫/許容限界に達しました（赤色） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		測定不良 納品予定/廃棄予定はありません。
		測定不良 納品予定/廃棄予定があります。
		測定不良 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		測定不良 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		非稼働 納品予定/廃棄予定はありません。
		非稼働 納品予定/廃棄予定があります。
		非稼働 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。





		非稼働 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		多様 異なるステータスが表示されている複数のタンク/サイロ/オブジェクトが地域にあります。各容器のスケジューリングステータス（納品予定/廃棄予定あり/なし）は異なる場合があります。
		Overfill（過充填） 納品予定/廃棄予定はありません。
		Overfill（過充填） 納品予定/廃棄予定があります。
		Overfill（過充填） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		Overfill（過充填） 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。
		測定不良 納品予定/廃棄予定はありません。
		測定不良 納品予定/廃棄予定があります。
		測定不良 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定はありません。
		測定不良 集合タンク/集合サイロ/オブジェクト：納品予定/廃棄予定があります。

4.5.6 スケジューリングおよび分析に関するシンボル

	納品予定/廃棄予定 納品予定/廃棄予定は、納品用トラックのアイコンで在槽チャートおよびカレンダーに示されます。
	標準タンク/サイロ/オブジェクト 標準タンク/サイロ/オブジェクトは、スケジューリングおよび分析計メニュー項目に表示されます。
	集合標準タンク/サイロ/オブジェクト 集合標準容器は、スケジューリングおよび分析計メニュー項目に表示されます。
	リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト リサイクルタンク/サイロ/オブジェクトは、スケジューリングおよび分析計メニュー項目に表示されます。
	集合リサイクルタンク/サイロ/オブジェクト 集合リサイクル容器は、スケジューリングおよび分析計メニュー項目に表示されます。

4.5.7 納品/廃棄ステータスに関するシンボル

	検知 検出済みステータスは、以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで確定ボタンを使用して編集できます。 失敗した納品/廃棄がシステムで検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して編集できます。 測定データがないことが検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して編集できます。
	承認済み 承認済みステータスは、以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 納品/廃棄の作成時に、スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が確認されました。 スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が、詳細タブで確認されました。

	削除済み 納品予定/廃棄予定が削除されました。
	新規 新規納品/廃棄が予定されました。
	実行済み 新規納品/廃棄が記録されました（実行済み）。納品/廃棄が実行された場合、SupplyCare では 納品（検出済み）/廃棄（検出済み） として表示されます。 失敗した納品/廃棄または測定データなしが検出された場合、この納品/廃棄は 詳細 タブで 完了 として マーク チェックボックスを使用して編集できます。この納品/廃棄は、完了した納品（確認済み）/完了した廃棄（確認済み）として表示されます。
	編集済み 納品予定/廃棄予定が編集されました。

4.6 測定不良

テンプレートタイプとして「タンク」、「サイロ」、「オブジェクト」のどれを選択するかに応じて、メニュー、概要、詳細ビュー内の名称が異なり、シンボル上にカーソルを合わせたときに表示されるシンボルとツールチップも異なります

単に「タンク」/「サイロ」という言葉を「オブジェクト」に置き換えただけではない名称の違いを以下に示します。

標準テンプレートタイプ


「タンク」/「サイロ」	「オブジェクト」
タンク名/サイロ名	オブジェクト
タンク詳細/サイロ詳細	詳細
タンクパートナー/サイロパートナー	パートナー
タンクサービスのステータス/サイロサービスのステータス	サービスステータス
PP (予定ポイント)	OL (監視限界)
SP (出荷ポイント)	POA (ポイントオブアクション)
SST (安全在庫)	CL (許容限界)
DSST (安全在庫に達するまでの日数)	DCL (許容限界に達するまでの日数)
容量	最大値
容量制限なし	フリースペース
在槽チャート	チャート
在槽	受信した値
払出量	減少
受入量	増加
DO (1日払出量)	DD (1日減少量)
ADO (1日平均払出量)	ADD (1日平均減少量)
DI (1日受入量)	DI (1日増加量)
ADI (1日平均受入量)	ADI (1日平均増加量)
平均在槽レベル	平均レベル

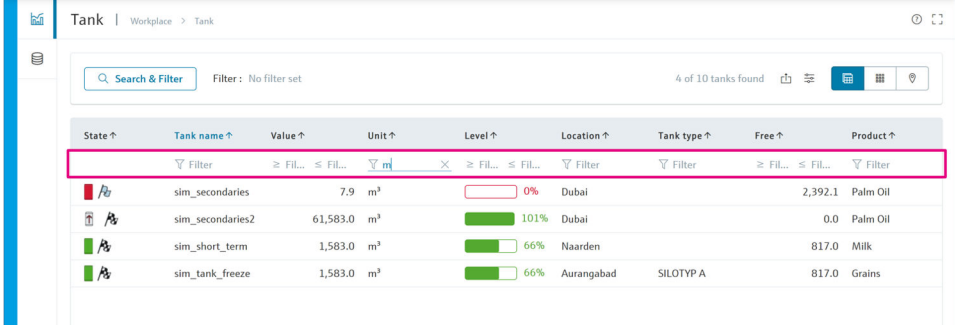
4.7 一般的な処理機能

4.7.1 テーブルでのフィルター関数とソートの使用

フィルター関数


フィルター関数を使用すると、テーブルのデータレコードの表示をフィルター処理できます。フィルター関数はテーブルの先頭行にあります。

 モバイルバージョンでは、テーブルにフィルター関数はありません。



State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
▼ Filter	≥ Fil... ≤ Fil...	▼ m	×	≥ Fil... ≤ Fil...	▼ Filter	▼ Filter	≥ Fil... ≤ Fil...	▼ Filter
🇦🇪	sim_secondaries	7.9	m ³	0%	Dubai		2,392.1	Palm Oil
🇦🇪	sim_secondaries2	61,583.0	m ³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil
🇳🇱	sim_short_term	1,583.0	m ³	66%	Naarden		817.0	Milk
🇮🇳	sim_tank_freeze	1,583.0	m ³	66%	Aurangabad	SILOTYP A	817.0	Grains

1. テーブルの先頭行の目的のフィールドに、検索する項目の完全な名称または最初の数文字を入力します。
↳ 入力内容と一致する項目のみがテーブルに表示されます。
2. 再びテーブルのすべての内容を表示する場合は、入力した項目を削除します。

 手動で設定したフィルター値は、各フィールドに青色で表示されます。

以下のフィルター関数を使用できます。

▼	データ形式：文字列 例：Tank_ 結果：「Tank_」を含むすべての項目（例：Tank_Recycling_07 など） データ形式：整数 例：1 結果：「1」を含むすべての項目（例：TI_Tank_2021_1 など）
≥	データ形式：整数 例：8 結果：値が8以上であるすべての行 データ形式：浮動小数点数 例：8.2 結果：値が8.2以上であるすべての行
≤	データ形式：整数 例：8 結果：値が8以下であるすべての行 データ形式：浮動小数点数 例：8.2 結果：値が8.2以下であるすべての行

データ列はフィルター処理できません（ソートのみ可能）。

ソート

データレコードは、テーブルヘッダーのボタンを使用してソートできます。

- ボタン：
 ↑ 昇順にソート
 ↓ 降順にソート

State ↑	Tank name ↑	Value ↑	Unit ↑	Level ↓	Location ↑	Tank type ↑	Free ↑	Product ↑
	Aggregierter B...	184,378.0	l	101%	Maulburg		1,882.0	Ethanol
	sim_temperat...	90.0	°C	75%	Aurangabad		30.0	Milk
	sim_hysteresis	1,459.0	m³	61%	Naarden	Tank_type_A45	941.0	Cement
	sim_secondaries	1,459.0	m³	61%	Aurangabad		941.0	Palm Oil
	sim_short_term	1,459.0	m³	61%	Suzhou		941.0	Pellets
	sim_tank_freeze	1,459.0	m³	61%	Dubai		941.0	Diesel
	sim_tank_recy...	941.0	l	61%	Mexiko City		1,459.0	Ammoniak
	sim_tank_recy...	130,941.0	l	59%	Manchester		189,059.0	Waste Water
	Testtank_Ti_1	1,455.0	l	1%	Maulburg		98,545.0	

i 現在ソートが有効になっている列名が青色で表示されます。

4.7.2 表示されるデータレコードのフィルター処理（検索&フィルタリング）

フィルターや表示オプションエリア内のドロップダウンリストボックスを使用して、表示されるデータレコードを絞り込むことができます。たとえば、**タンクグループ**、**製品**、**お気に入り**、**地域**などで絞り込むことができます。

ドロップダウンリストボックスから値を選択すると、一致するレコードが自動的に表示されます。概要を終了すると、ドロップダウンリストボックスの内容が初期値にリセットされます。

i クイック選択の 、 または ボタンを使用して、**タンク**、**マイタンクビュー** または **マップワークプレイス**を開いている場合、内容はリセットされません。この場合、フィルターが適用され、フィルター処理されたタンク、サイロ、オブジェクトのみが表示されます。

State ↑	Tank name ↑	Value ↑	Unit ↑	Level ↓	Location ↑	Tank type ↑	Free ↑	Product ↑
	sim_hysteresis	0.0					3,000.0	Diesel
	sim_normal	529.7					2,222.3	Diesel
	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains

フィルターの設定

1. **検索&フィルタリング**ボタンをクリックします。
 ↳ 使用可能なフィルターが表示されます。

2. 目的のドロップダウンリストボックスからデータレコードを選択します。
- ↳ フィルター条件に一致するデータレコードのみが表示されます。フィルターおよび表示オプションエリアには、設定されているフィルターもフィールドとして青色の背景で表示されます。
- i** 初期設定では、**お気に入り**ドロップダウンリストボックスは空です。お気に入りを検索するには、最初にお気に入りを作成しておく必要があります。「お気に入りの設定」を参照してください。

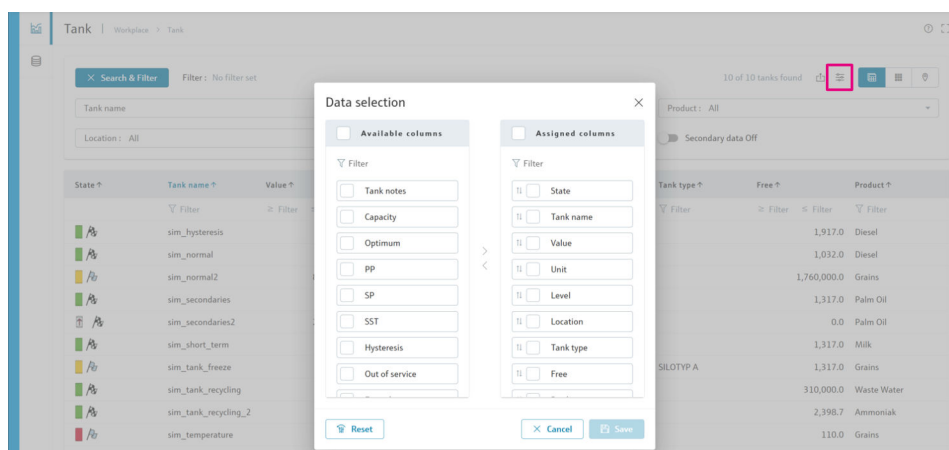
フィルターの削除

すべてのレコードを表示する場合は、すべてのフィルターを削除する必要があります。

- ▶ ドロップダウンリストボックスの×ボタンまたは表示されているフィルターの青色のフィールドをクリックして、フィルターを削除します。

4.7.3 表示される情報の変更

フィルターおよび表示オプションエリアの ≡ ボタンをクリックして、**データ選択**ウィンドウを開きます。このウィンドウは、データテーブルの列の表示/非表示やテーブル内の順番の変更に使います。選択した設定はユーザーが保存します。




- i** モバイルバージョンでは、≡ ボタンは使用できません。

4.7.4 データレコードのエクスポート

表示されたデータレコードは、フィルターおよび表示オプションエリアの ≡ ボタンをクリックして Excel ファイルとしてエクスポートできます。

State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
	sim_hysteresis	1,498.0	t	50%	Mexiko City		1,502.0	Diesel
	sim_normal	1,720.0	t	63%	Maulburg		1,032.0	Diesel
	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
	sim_secondaries	1,498.0	m³	62%	Dubai		902.0	Palm Oil
	sim_secondaries2	201,498.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil

i エクスポートされた Excel ファイルには、表示されているすべてのデータレコード/テーブル列が含まれます。追加データまたは別のデータをエクスポートするには、表示される情報を変更する必要があります（「表示される情報の変更」を参照）。

i モバイルバージョンでは、 データレコードのエクスポートボタンは使用できません。

4.7.5 数値およびマスターデータの表示

SupplyCare では、原則として数値とマスターデータの 2 つのデータタイプは区別されません。

データソース列は、データの取得元、つまり、測定されたデータか、または手動で入力されたデータかを示します。測定値とは異なり、マニュアル値は青色で表示され、その後には **MAN** というテキストが表示されます。

State	Tank name	Value	Unit	Data source	Level	Location	Tank type	Free	Product	Time zone
	Aggregierter Bel...	74,978.0	l	Measured	101%	Maulburg		1,482.0	Ethanol	UTC+01:00
	sim_hysteresis	1,659.0	m³	Measured	69%	Naarden	Tank_type_A45	741.0	Cement	UTC+01:00
	sim_normal	0.0	m³	Measured	0%	Greenwood		320,000.0	Diesel	UTC+01:00
	sim_secondaries	1,659.0	m³	Measured	69%	Aurangabad		741.0	Palm Oil	UTC+01:00
	sim_short_term	1,659.0	m³	Measured	69%	Suzhou		741.0	Pellets	UTC+01:00
	sim_tank_freeze	1,659.0	m³	Measured	69%	Dubai		741.0	Diesel	UTC+01:00
	sim_tank_recycl...	200,000.0 MAN	l	Manual	37%	Manchester		120,000.0	Waste Water	UTC+01:00
	sim_tank_recycl...	741.0	l	Measured	69%	Mexiko City		1,659.0	Ammoniak	UTC+01:00
	sim_temperature	70.0	°C	Measured	58%	Aurangabad		50.0	Milk	UTC+01:00
	Stahltank I	240,741.0	l	Measured	0%	Krefeld-Oil		0.0		UTC+01:00
	Stahltank II	240,741.0	l	Measured	0%			0.0		UTC+01:00

システムで区切り記号として使用される文字は、ブラウザで選択した言語設定に応じて異なります。以下に例を示します。

- ドイツ語（ドイツ） de-DE : 1.234,78
- ドイツ語（スイス） de-CH : 1'234.78
- 英語（米国） en-US : 1,234.78

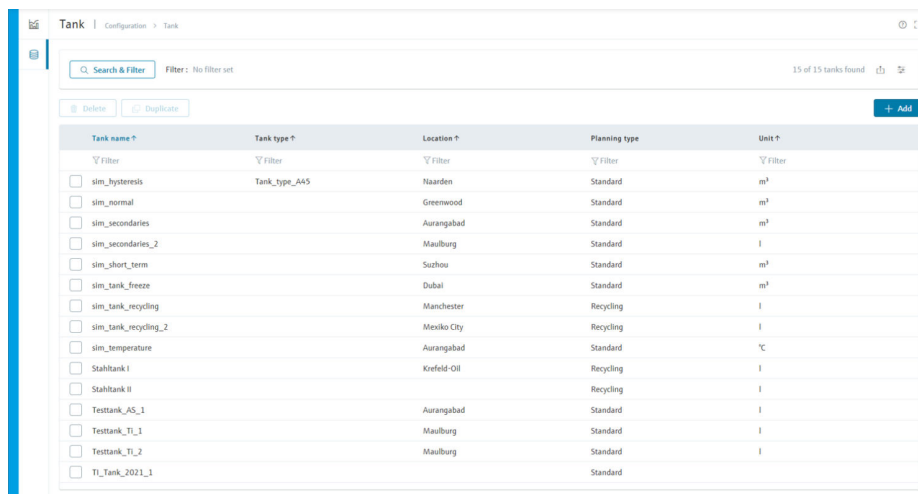
i ダウンロード、送信、印刷したビュー/履歴/レポートに表示される数値には、区切り記号が使用されません。

i 単位の小数点以下の桁数を変更する場合は、Endress+Hauser にお問い合わせください。

4.7.6 マスターデータの変更

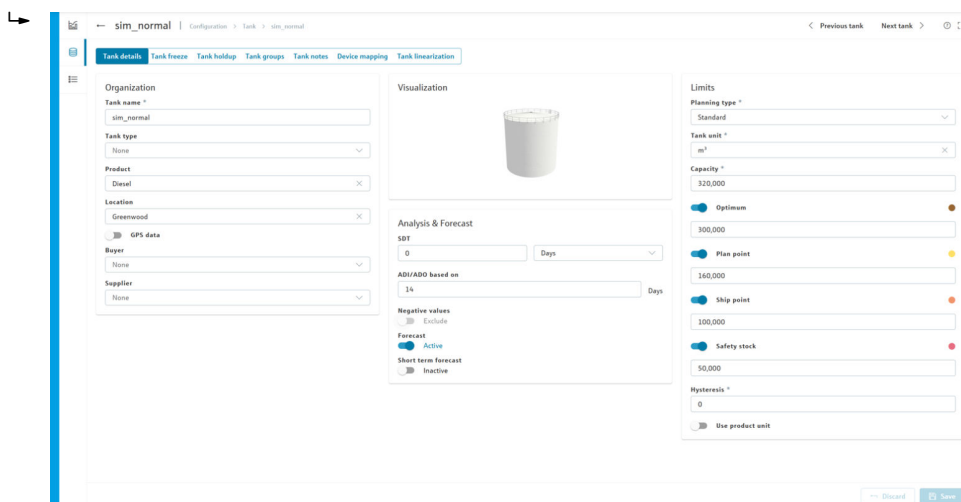
特定のユーザーロールに応じて、マスターデータのデータレコードを変更できます。タンクのデータを変更する手順例を以下に示します。その他のマスターデータに対しても同様の手順で変更できます。

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



Tank name	Tank type	Location	Planning type	Unit
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Krefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

2. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
3. **タンク詳細**タブを選択します。



The screenshot shows the 'sim_normal' tank details page. It includes several sections:

- Organization:** Fields for Tank name (sim_normal), Tank type (None), Product (Diesel), Location (Greenwood), Buyer (None), and Supplier (None).
- Visualization:** A 3D model of a white cylindrical tank.
- Limits:** A list of limits with checkboxes: Optimam (checked), Plan point (checked), Ship point (checked), Safety stock (checked), Hysteresis (0), and Use product unit (unchecked).
- Analysis & Forecast:** Fields for SOT (0), ADI/ADO based on (1k), and Forecast (Active).

4. 必要な変更を行います。

i **GPS データ**：切替えスイッチをオンにすると、タンクの GPS トラッカーから GPS データが表示されます。

このオプションは、タンクに必要な測定点が割り当てられていないと使用できません。

5. **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。

6. または、**破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

追加のタブを変更するには、**タンク詳細**タブの説明と同じ手順を実行します。

4.7.7 マスターデータの削除

特定のユーザーロールに応じて、マスターデータのデータレコードを削除できます。

i データレコードを削除できるのは、**削除**ボタンが表示されている場合のみです。ボタンが表示されていない場合、そのデータレコードは他の情報にリンクされています。データレコードを削除するには、これらのリンクを無効にする必要があります。

タンクのデータを削除する手順例を以下に示します。その他のマスターデータも同様の手順で削除できます。

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。

Tank name ↑	Tank type ↑	Location ↑	Planning type	Unit ↑
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Knefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

2. テーブルで、削除するタンクのチェックボックスをオンにします。
 ↳ **削除**ボタンが有効になります。

Tank name ↑	Tank type ↑	Location ↑	Planning type	Unit ↑
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Knefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input checked="" type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

3. **削除**ボタンをクリックしてタンクを削除します。
 ↳ ダイアログボックスに確認メッセージが表示されます。
4. **削除**ボタンをクリックしてタンクを削除します。タンクを削除しない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。

4.7.8 マスターデータの作成

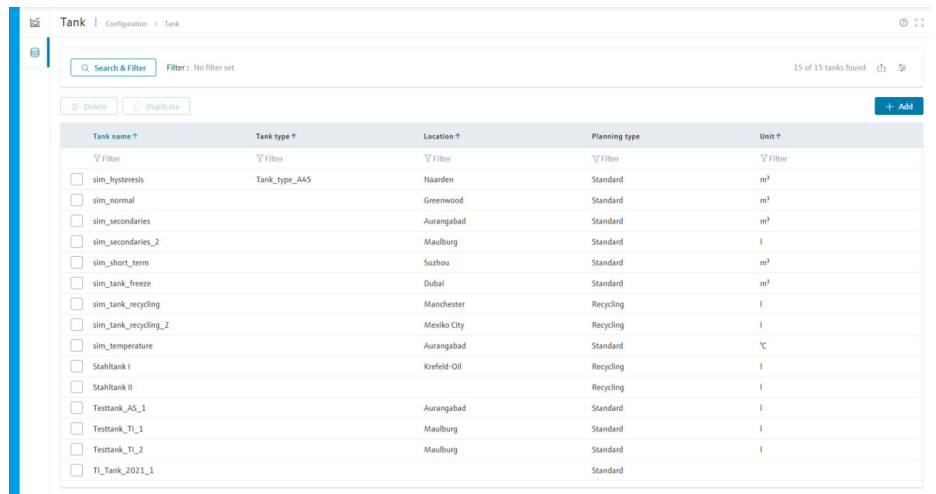
特定のユーザーロールに応じて、マスターデータのデータレコードを作成できます。

SupplyCare には、設定ウィザードの使用や既存のデータレコードの複製（「マスターデータの複製」を参照）など、データレコード作成用のさまざまなオプションが用意されています。

新しいデータレコードの設定は設定ウィザードで容易に選択できます。設定ウィザードを使用すると、個々の設定ページを順を追って実行できます。これらの設定は、対応するタブを使用して後から変更できます。

タンクのデータレコードを作成する手順例を以下に示します。その他のデータレコードも同様の手順で作成できます。

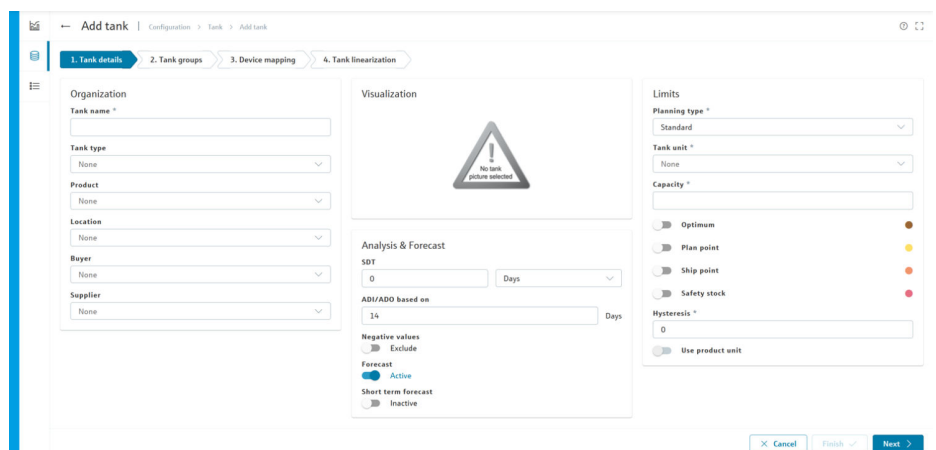
1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



The screenshot shows the 'Tank' configuration page with a table of tank records. The table has columns for Tank name, Tank type, Location, Planning type, and Unit. There are 15 tanks listed, each with a checkbox for selection.

Tank name	Tank type	Location	Planning type	Unit
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Krefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

2. **+** 追加ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに設定ウィザードの最初のステップが表示されます。



The screenshot shows the 'Add tank' wizard with the first step, 'Tank details', selected. The form includes fields for Organization, Tank name, Tank type, Product, Location, Buyer, and Supplier. There are also sections for Visualization (with a warning icon), Analysis & Forecast (with SDT and ADI/ADD based on fields), and Limits (with Planning type, Tank unit, Capacity, and various options like Optimum, Plan point, Ship point, Safety stock, Hysteresis, and Use product unit).

3. レコードのすべての必須データを入力します。

i 必須データには*が表示されています。他のすべてのデータは任意であり、後から追加できます。データレコードのすべての必須データが入力されると、**完了**ボタンが有効になります。

4. **次へ** ボタンをクリックして、次のステップに進みます。
 ↳ 作業エリアに次の設定ページが表示されます。

5. データを入力します。
 6. 追加の設定ステップがある場合は、**次へ** ボタンをクリックして次のステップに進みます。
 ↳

7. 必要に応じて、**戻る**ボタンをクリックして、前の表示に戻ります。
 8. **完了**ボタンをクリックして、データレコードの作成を確認して完了します。
 ↳ データレコードが保存され、設定ウィザードが終了します。
 作業エリアには、新しいデータレコードを含む詳細ビューが表示されます。


i 設定ウィザードは、**キャンセル**ボタンを押すといつでも終了できます。この場合、データレコードと入力されたデータは保存されません。

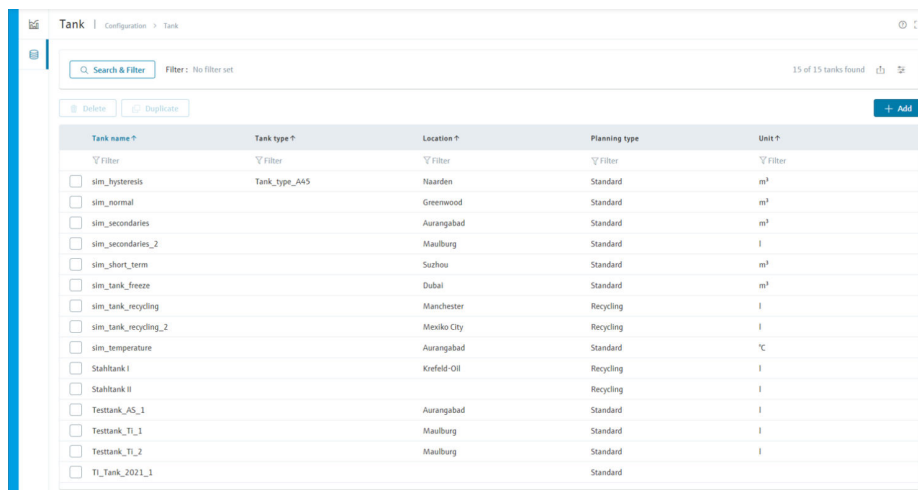
4.7.9 マスターデータの複製

特定のユーザーロールに応じて、マスターデータのデータレコードを複製できます。複製元のデータレコードに固有のデータ（フィールド）は複製されません。これらのフィールドは、コピーされたデータレコードでは空のままです。


複製機能が使用可能な場合は、 **複製**ボタンが表示されます。

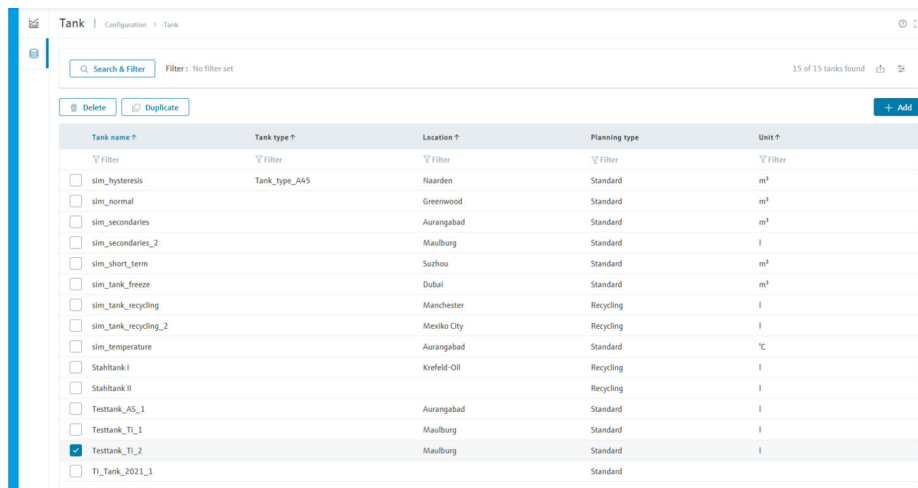
タンクのデータレコードを複製する手順例を以下に示します。その他のデータレコードも同様の手順で複製できます。

1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



Tank name ↑	Tank type ↑	Location ↑	Planning type	Unit ↑
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Krefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

2. テーブルで、複製するタンクのチェックボックスをオンにします。
↳  **複製**ボタンが有効になります。



Tank name ↑	Tank type ↑	Location ↑	Planning type	Unit ↑
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Krefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input checked="" type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

3. 複製ボタンをクリックします。

- 設定ウィザードが開き、選択したデータレコードのデータが設定されています。

4. 新しいデータレコードのデータを入力します。

5. 完了ボタンをクリックして、データレコードの作成を確認して完了します。

- データレコードが保存され、設定ウィザードが終了します。作業エリアには、新しいデータレコードを含む詳細ビューが表示されます。

4.8 メッセージの受信 (メッセージ)

i すべてのユーザーが通知メッセージを受信できます。

システム管理者からの通知は、ユーザーが次にログオンしたときに表示されます。

以下の要素を使用してメッセージを編集できます。

◀ 前へ

このボタンは複数のメッセージがある場合に表示されます。

- ▶ ◀ 前へ ボタンは、前のメッセージを表示して編集する場合にクリックします。

次へ >


このボタンは複数のメッセージがある場合に表示されます。

- ▶ 次へ > ボタンは、次のメッセージを表示して編集する場合にクリックします。

OK

- ▶ **OK** ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが終了します。

既読としてマーク

1. **既読としてマーク** チェックボックスをオンにすると、メッセージが既読としてマークされます。
 2. **OK** ボタンをクリックして変更を保存します。
-  既読としてマークし、**OK** ボタンで確認したメッセージは非表示になり、次にユーザーがログインしたときには表示されなくなります。


5 タンクの監視 - 「タンク」ワークプレイス

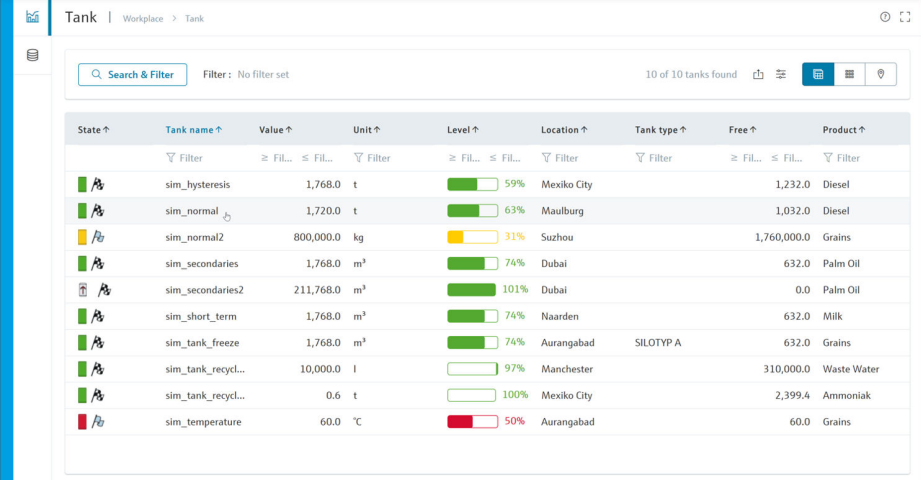
5.1 タンクおよび関連情報の表示

- i** ユーザーロールが読み取り専用、スケジューラまたはオペレータに設定されているユーザーは、**タンクメニュー項目**を使用できます。
- i** **メモとファイル、タンクパートナー、地域の詳細、イベントの詳細、イベントの凍結の詳細**タブは、少なくとも1件の情報が含まれる場合にのみ表示されます。
- i** **タンクメニュー項目**には、ユーザー設定（「ユーザー設定の選択および変更」セクションを参照）で設定されたタイムゾーンが使用されます。工場設定では「地域」が使用されます。
- i** SupplyCare では、標準タンクとリサイクルタンクが区別されます。標準タンクでは、タンクから製品が抽出されます。リサイクルタンクでは、タンクに製品が充填されます。

「ワークプレイス - タンク」ビューでは、現在のレベル/使用可能な容量が**レベル**列にグラフィカルに表示されます。標準タンクでは、レベルの増加に伴い、色付きのバーが左から右に移動します。パーセント値は現在のレベルに対応します。リサイクルタンクでは、レベルの増加に伴い、色付きのバーが右から左に移動します。パーセント値は現在使用可能な容量に対応します。

タンクに関する情報の表示

1.  **ワークプレイスメニュー**で、**タンクメニュー項目**をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに、ユーザーに割り当てられているタンクの概要テーブルが表示されます。



State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
	sim_hysteresis	1,768.0	t	59%	Mexiko City		1,232.0	Diesel
	sim_normal	1,720.0	t	63%	Maulburg		1,032.0	Diesel
	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
	sim_secondaries	1,768.0	m³	74%	Dubai		632.0	Palm Oil
	sim_secondaries2	211,768.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil
	sim_short_term	1,768.0	m³	74%	Naarden		632.0	Milk
	sim_tank_freeze	1,768.0	m³	74%	Aurangabad	SILOTYP A	632.0	Grains
	sim_tank_recycl...	10,000.0	l	97%	Manchester		310,000.0	Waste Water
	sim_tank_recycl...	0.6	t	100%	Mexiko City		2,399.4	Ammoniak
	sim_temperature	60.0	°C	50%	Aurangabad		60.0	Grains

2. テーブルで、詳細を表示するタンクをクリックします。
↳ 選択したタンクの詳細が作業エリアに表示されます。



3. 以下のいずれかのタブを選択して、必要な情報を表示します。

- 在槽チャート
- タンク詳細
- メモとファイル
- タンクパートナー
- 地域の詳細
- タンクサービスのステータス
- イベントの詳細
- 履歴のダウンロード

タンクの変更

1. ヘッダーの**次のタンク** > ボタンをクリックして、タンクリストから次のタンクの詳細を表示します。
2. < **前のタンク** ボタンをクリックして、リストから前のタンクの詳細を表示します。
3. ヘッダーのタンク名の前にある < ボタンをクリックし、再び詳細を非表示にしてタンクリストに戻ります。

5.1.1 「タンク」概要テーブル

フィルターおよび表示オプションエリアの ボタンをクリックして、**データ選択** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、テーブル列に表示するデータを選択します。必要に応じて、列の順番を変更できます。

概要テーブルで使用可能なデータを以下に示します。

ステータス

現在のタンクステータスのシンボルがディスプレイに表示されます。「タンクに関するシンボル」章の「ステータス表示」セクションも参照してください。

地域

地域はタンクの地域の名前です。この名前は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**地域**フィールドでタンクを設定するときを選択されます。地域は、**設定**メニューの**地域**メニュー項目で設定します。

タンク名

タンク名が表示されます。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。

- **プライマリバリュー**：プライマリバリューのタンク名は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブにある**タンク名**フィールドでタンクを設定するときに入力します。
- **セカンダリバリュー**：セカンダリバリューのタンク名は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**セカンダリバリュー**タブにある**名前**フィールドで入力します。

タンクタイプ

タンクタイプの名前は、設定されているタンクタイプを表します。タンクタイプは、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンクタイプ**フィールドでタンクを設定するときを選択します。

タンクタイプの設定は、**設定**メニューの**タンクタイプ**メニュー項目で行います。

レベル

現在のレベルがシンボルとパーセント値で示されます。

値

有効な最終プライマリバリューが表示されます。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。

- 「**値**」フィールドは有効な最終測定値を示します。
- 集合タンクでは、関連するタンクの有効な測定値の合計が表示されます。ステータスが「非稼働」であるタンクは含まれません。関連するすべてのタンクが「非稼働」の場合、値として「0」が表示されます。
- **マニュアル値**は青色で表示され、その後に **MAN** というテキストが表示されます。これは、集合タンクを構成するタンクにマニュアル値を使用する場合にも適用されません。

単位

単位が表示されます。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。

- **プライマリ測定値**の単位は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブで選択します。その他の測定値（セカンダリバリュー）の単位は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**機器マッピング**タブで選択します。
- **質量の単位**、**体積の単位**、**長さの単位**については、**ユーザー設定**メニュー項目のユーザープロファイルの設定が、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の設定よりも優先されます。

データソース

データに関する情報およびデータの取得元（測定ソースまたは手動入力値）が表示されます。

空き

タンクの空き容量。空き容量の計算方法：容量 - 現在の値

製品

製品名は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブにある**製品**フィールドでタンクを設定するときを選択します。

製品は、**設定**メニューの**製品**メニュー項目で設定します。

タンクのメモ

タンクのメモおよび/または地域のメモが使用可能かどうかが表示されます。

最適値

タンク在槽の最適値は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブにある**最適値**フィールドで指定します。

最適値の制限なし

最適値に達するまでの空き容量が表示されます。この値は現在の在槽から計算されません。現在の在槽が最適値以上の場合は、値「0」が表示されます。最適値が指定されていない標準タンクの場合、値は表示されません。これはリサイクルタンクも同じです。

容量

タンクの容量は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブにある**容量**フィールドで指定します。

予定ポイント (PP)

タンクの予定ポイント。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。タンクの予定ポイントは、**設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブ**にある**予定ポイント**フィールドで指定します。

セカンダリバリュータブで入力した値はセカンダリバリューに使用されます。

出荷ポイント (SP)

■ タンクの出荷ポイントは、**設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブ**にある**出荷ポイント**フィールドで指定します。

■ **リサイクル**計画タイプを選択した場合、出荷ポイントは表示されません。

安全在庫 (SST)

タンクの安全在庫。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。

■ タンクの安全在庫は、**設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブ**にある**安全在庫**フィールドで指定します。

■ **セカンダリバリュー**タブで入力した値はセカンダリバリューに使用されます。

ヒステリシス

ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます。この列には、既存のセカンダリバリュースも表示できます。タンクのヒステリシスは、**設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブ**にある**ヒステリシス**フィールドで指定します。

非稼働

タンクが現在「非稼働」である場合、このフィールドが有効になります (X が表示されます)。

開始日

以前にタンクを「非稼働」にしたときの開始日、現在タンクを非稼働にしているときの開始日、または今後タンクを「非稼働」にするときの開始日が表示されます。

終了日

以前にタンクを「非稼働」にしたときの終了日、現在タンクを非稼働にしているときの終了日、または今後タンクを「非稼働」にするときの終了日が表示されます。

供給者

担当供給者が表示されます。供給者は会社として作成されます。

購入者

購入者が表示されます。購入者は会社として作成されます。

購入者 ID

設定メニューの会社メニュー項目の会社詳細タブの **ID** フィールドに対応します。

SDT (標準納期/標準廃棄時間)

タンクの標準納期 (標準タンク) または標準廃棄時間 (リサイクルタンク) は、**設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブ**にある **STD** フィールドで指定します。

時間単位

SDT フィールド (標準納期/標準廃棄時間) に使用される時間単位。

タイムスタンプ

最終測定値のタイムスタンプ。このフィールドは既存のセカンダリバリュースにも表示できます。

- 有効な最終測定値用のタイムゾーンのタイムスタンプが使用されます。**タイムゾーン**フィールドも参照してください。
- 集合タンクの場合、最新の測定値を供給した関連タンクのタイムスタンプが使用されます。

タイムゾーン

タイムスタンプのタイムゾーン。このフィールドは既存のセカンダリバリュースにも表示できます。

ユーザー設定で定義されたタイムゾーンが使用されます。

DSST (安全在庫に達するまでの日数)

安全在庫に達するまでの推定残り日数が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、「次の項目に基づく ADI/ADO:」の値に基づきます。

PD (納品予定/廃棄予定)

標準タンクの場合、次の納品予定の日時が表示されます。リサイクルタンクの場合、次の廃棄予定の日時が表示されます。納品/廃棄が予定されていない場合、このフィールドは空のままになります。
ユーザー設定で定義されたタイムゾーンが使用されます。

PD 量 (納品予定量/廃棄予定量)

廃棄予定/廃棄予定の量。単位は、**単位列**の単位に対応します。

スケーリングされた値

タンク概要では、レベル測定値をスケーリングされた形式 (単位付き) で表示できません。

貨幣価値

設定メニューの製品メニュー項目の製品詳細タブで設定された価格に基づいて計算された、タンク内容物の貨幣価値。

データ 1 (タンク) ~ データ 3 (タンク)

タンクの補足情報。これは**タンクのメモ**タブでユーザーが編集できます。入力フィールド付きの**タンクのメモ**タブは、設定メニューの**タンク**メニュー項目にあります。

緯度 (GPS)

タンク、サイロ、オブジェクトの地理座標 (幅の度数で指定、10 進法、GPS)。この値は、設定メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブで **GPS データ**切替えスイッチがオンになっている場合にのみ表示されます。

経度 (GPS)

タンク、サイロ、オブジェクトの地理座標 (長さの度数で指定、10 進法、GPS)。この値は、設定メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブで **GPS データ**切替えスイッチがオンになっている場合にのみ表示されます。

5.1.2 在槽チャート

在槽チャートタブには、在槽チャートが表示されます。選択した期間の在槽の履歴および予測パターンがチャートに表示されます。表示の配分は履歴 (測定値) が $\frac{2}{3}$ および予測 (計算値) が $\frac{1}{3}$ です。

今後の納品予定 (リサイクルタンク: 廃棄予定) も計算値 (予測) に含まれ、表示されます。

タンクが非稼働の場合、タンクのダウンタイム期間中の在槽チャートは暗い背景色で表示されます (「在槽チャートにおけるタンクのダウンタイム期間の表示」セクションを参照)。



👁 **表示** ボタンをクリックすると、チャートの設定が開きます。

スケールドロップダウンリストボックス

最小/最大または自動のいずれかのスケールを選択します。

「最小/最大」を選択した場合、「0」から「容量」までの在槽が表示されます。「自動」を選択した場合、表示可能な最小値から最大値までの在槽（予測値を含む）が表示されます。





期間の選択ドロップダウンリストボックス

在槽チャートの期間の選択





パラメータリストフィールド

この機能を使用して、在槽チャートに表示するパラメータを選択します。同時に複数のパラメータを選択できます。

現在の制限値は、さまざまな色の水平ラインで指定されます。


	標準タンク： 容量から予定ポイントまでの範囲 リサイクルタンク： 空の状態（値 0）から予定ポイント制限値までの範囲
	標準タンク： 予定ポイントから出荷ポイント制限値までの範囲 リサイクルタンク： 予定ポイントから安全在庫制限値までの範囲
	標準タンク： 出荷ポイントから安全在庫制限値までの範囲 リサイクルタンク： なし
	標準タンク： 出荷ポイントの制限値から空の状態（値 0）までの範囲 リサイクルタンク： 安全在庫から容量制限値までの範囲

期間の選択に使用するボタン

	表示期間が期間の選択で選択された期間の分だけ、前に（過去に）戻ります。
	表示期間が 1 日前に（過去に）戻ります。
今日	現在の日付に関するデフォルトのビューを表示します。
	表示期間が 1 日先に（未来に）進みます。
	表示期間が期間の選択で選択された期間の分だけ、先に（未来に）進みます。

在槽チャートの印刷

表示されたチャートは画像ファイル（PNG ファイル）として保存できます。

▶  ボタンをクリックします。

↳ 「[タンク名]_InventoryChart.png」というファイルがダウンロードされ、「ダウンロード」フォルダに保存されます。

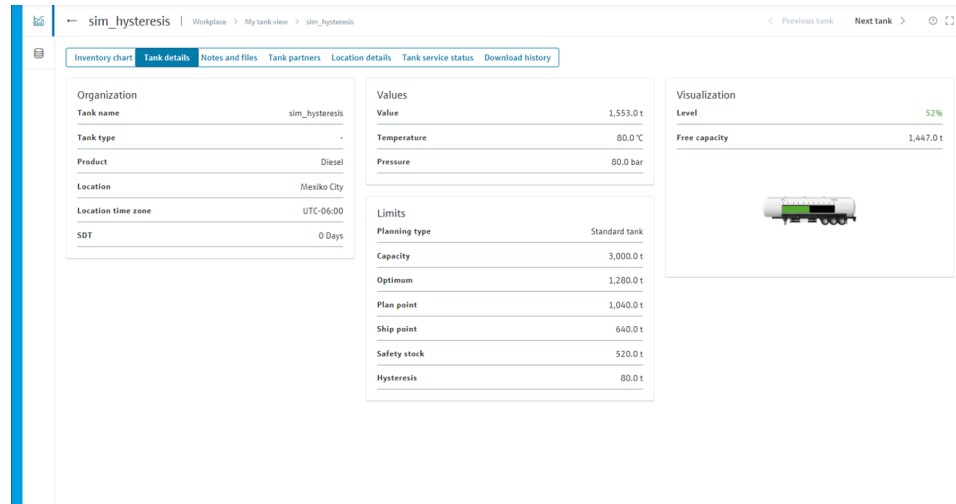
期間の拡大表示：「在槽チャートのズーム機能」セクションを参照してください。

5.1.3 タンク詳細

タンク詳細タブには、以下に関する情報が表示されます。

- タンク
- 値（プライマリバリューおよびセカンダリバリュー）
- 制限値
- 視覚化（レベルおよび空き容量）

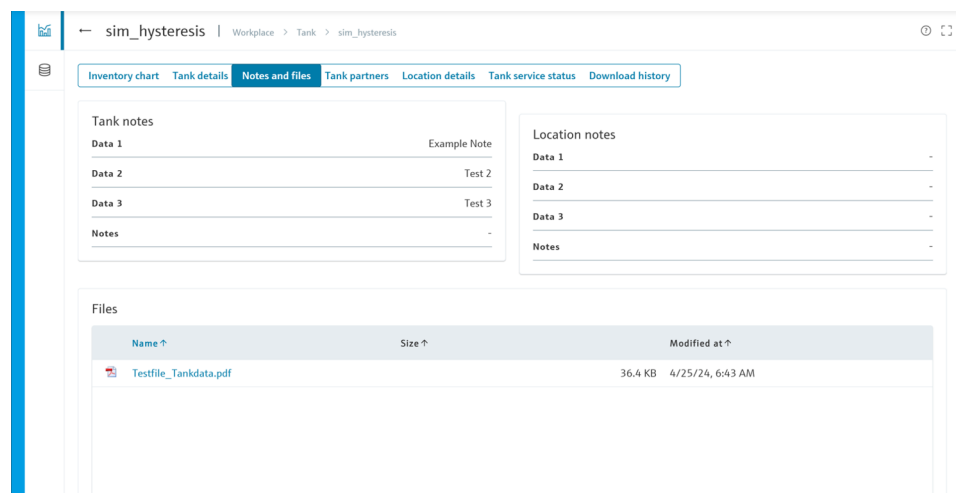
セカンダリバリューはタンクに割り当てられている場合にのみ表示されます。



i 表示されるデータについては、「タンク概要テーブル」セクションを参照してください。

5.1.4 メモとファイル

メモとファイルタブには、タンクおよび地域に関連したメモ、データ、ファイルが表示されます。



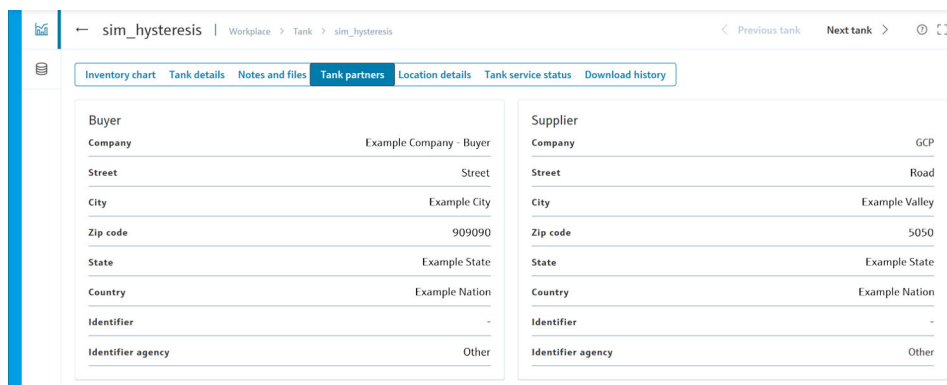
ローカルでファイルを保存して開く

1. テーブルで目的のファイルをクリックします。
↳ ファイルがダウンロードされ、「ダウンロード」フォルダに保存されます。
2. ローカルハードドライブ上の「ダウンロード」フォルダに移動し、ファイルを開きます。

3. あるいは、ブラウザウィンドウで ↓ 「ダウンロード」 ボタンをクリックして、ダウンロードの現在のステータスを表示します。
 4. ☐ 「フォルダに表示」 ボタンをクリックして「ダウンロード」フォルダを開くか、または ☐ 「開く」 ボタンをクリックしてブラウザでファイルを直接表示します。
- i** 使用するブラウザに応じて、ボタンの表示が異なる場合があります。

5.1.5 タンクパートナー

タンクパートナータブには、購入者および供給者に関する情報が表示されます。現在選択されているタンクに購入者/供給者が割り当てられていない場合、このタブは表示されません。

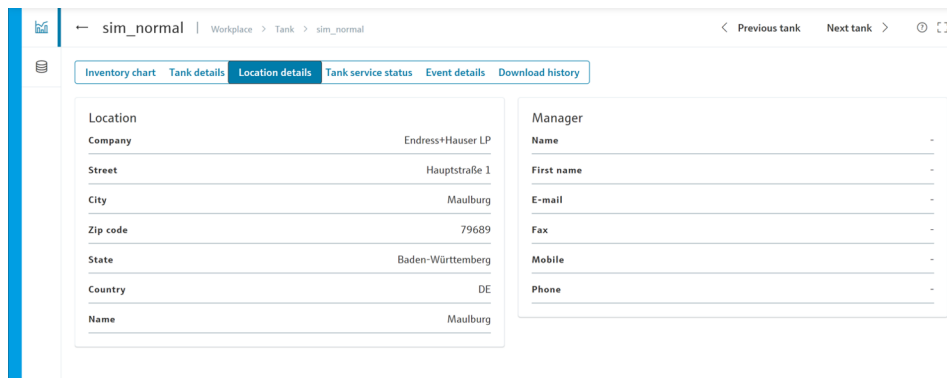


Buyer		Supplier	
Company	Example Company - Buyer	Company	GCP
Street	Street	Street	Road
City	Example City	City	Example Valley
Zip code	909090	Zip code	5050
State	Example State	State	Example State
Country	Example Nation	Country	Example Nation
Identifier	-	Identifier	-
Identifier agency	Other	Identifier agency	Other

- i** タンクパートナーとして購入者および供給者をタンクに割り当てる場合は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブを使用します（「タンクの作成」セクションを参照）。

5.1.6 地域の詳細

地域の詳細タブには、タンクの地域に関する情報が表示されます。

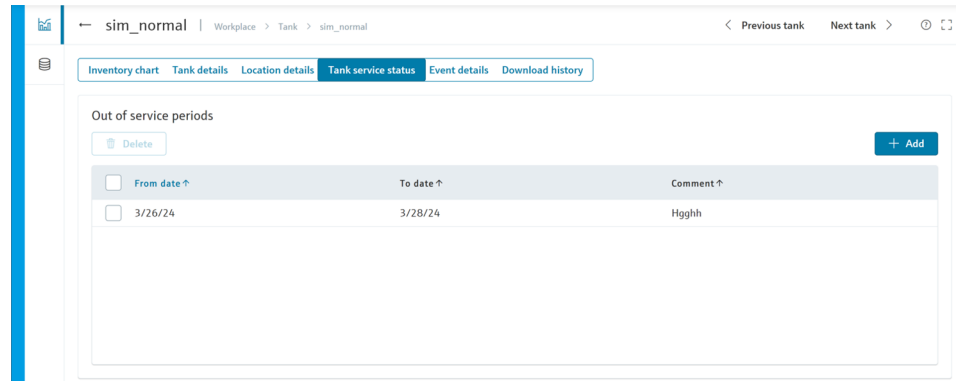


Location		Manager	
Company	Endress+Hauser LP	Name	-
Street	Hauptstraße 1	First name	-
City	Maulburg	E-mail	-
Zip code	79689	Fax	-
State	Baden-Württemberg	Mobile	-
Country	DE	Phone	-
Name	Maulburg		

- i** 地域をタンクに割り当てる場合は、**設定**メニューの**タンク**メニュー項目の**タンク詳細**タブを使用します（「タンクの作成」セクションを参照）。

5.1.7 タンクサービスのステータス

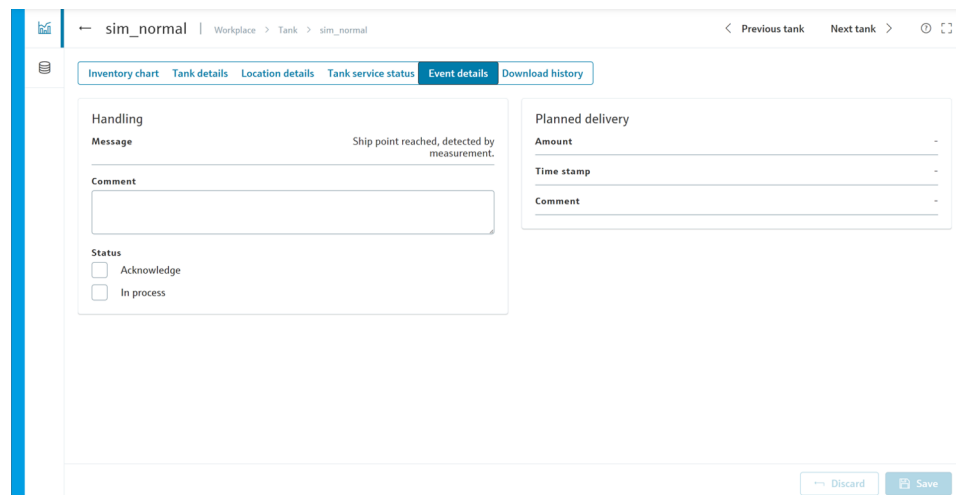
タンクサービスのステータスタブには、タンクサービスに関する情報が表示されます。
タンクサービスのステータスの編集 : 「タンクサービスのステータスの編集」セクションを参照してください。



5.1.8 イベントの詳細

イベントの詳細タブには、選択したタンクに現在適用されているイベントの詳細（例：「出荷ポイントに達しました」など）が表示されます。現在選択されているタンクに適用されるイベントがない場合、このタブは表示されません。

イベントの詳細タブの説明については、「イベントの詳細」章を参照してください。



5.1.9 イベントの凍結

イベントの凍結タブには、選択したタンクに現在適用されているイベントの凍結の詳細が表示されます。現在選択されているタンクに適用されるイベントの凍結がない場合、このタブは表示されません。

イベントの凍結タブの説明については、「イベントの凍結」章を参照してください。

sim_tank_freeze | Workplace > Tank > sim_tank_freeze

Inventory chart Tank details Location details Tank service status **Freeze event** Download history

Handling	
Message	Freeze event, detected by measurement.
Value	2,398.0 m ³
Time stamp	4/26/24, 12:02 AM
<input type="checkbox"/> Mark as done	

Limit	
Value	253.0 m ³
Time stamp	4/25/24, 9:47 PM
Delta	20.0 %

Discard Save

5.1.10 イベントの停止

イベントの停止タブには、選択したタンクに現在適用されているイベントの停止の詳細が表示されます。現在選択されているタンクについて未解決のイベントの停止がない場合、このタブは表示されません。

イベントの停止タブの説明については、「イベントの停止」セクションを参照してください。

Stahltank I | Workplace > Tank > Stahltank I

Inventory chart Tank details Location details Tank service status **Event details** Holdup event Download history

Handling	
Message	Holdup event, detected by measurement.
Value	40,241.0 l
Time stamp	3/4/25, 2:41 AM
<input type="checkbox"/> Mark as done	

Limit	
Value	40,011.0 l
Time stamp	3/4/25, 12:11 AM
Delta	100.0 %

Discard Save

5.1.11 構成タンク

構成タンクタブには、選択した集合タンクのすべての関連タンクに関する情報が表示されます。このタブは、集合タンクを選択した場合にのみ表示されます。

myConstituantTank_01	
State	Overfill
Value	131,590.0l
Free capacity	0.0l

myConstituantTank_02	
State	Ok
Value	1,589.0l
Free capacity	811.0l

myConstituantTank_03	
State	Ok
Value	1,589.0l
Free capacity	811.0l

5.2 タンクサービスのステータスの編集

i タンクのサービスステータスを指定または変更できるのは、ユーザーロールが**オペレータ**であるユーザーのみです。他のすべてのユーザーロールに対しては、このタブは読み取り専用になります。

i 複数の非稼働期間を入力できますが、1日に入力できるのは1つの非稼働期間のみです。非稼働期間が重複しないように注意してください。タンクの新しいダウンタイム期間は、タンクの前のダウンタイム期間の終了日として入力されていない日付からのみ開始できます。

タンクが非稼働状態のとき、これを示すシンボルとして、個別タンクの場合は および集合タンクの場合は がタンク概要テーブルに表示されます。測定値は更新されなくなります。タンクイベントの通知も作成されなくなります。

タンクのダウンタイムの追加

1. **ワークプレイス**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに、ユーザーに割り当てられているタンクの概要テーブルが表示されます。
2. タンクサービスのステータスを編集するタンクをクリックします。
3. **タンクサービスのステータスタブ**を選択します。
 - ↳ 作業エリアに「**非稼働**」期間を含む概要テーブルが表示されます。

From date ↑	To date ↑	Comment ↑
<input type="checkbox"/> 3/26/24	3/28/24	Hgghh

4. **+** 追加ボタンをクリックします。
↳ 「非稼働」期間のダイアログボックスが表示されます。

Out of service period ×

From date *

4/3/25

To date *

4/3/25

Comment

× Cancel Save

5. タンクの非稼働期間を選択します。**開始日**および**終了日**フィールドに日付を直接入力するか、または日付選択ダイアルを使用して期間を設定します。日付を直接入力する場合は、**dd.mm.yy**の形式を使用してください。
6. 任意：**コメント**フィールドにコメントを入力します。
7. **保存**ボタンをクリックして、タンクのダウンタイムをリストに保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、タンクのダウンタイムがテーブルに表示されます。

タンクのダウンタイムの変更

1. 目的のダウンタイム期間をクリックします。
↳ 「非稼働」期間のダイアログボックスが表示されます。
2. **開始日**と**終了日**を入力します。入力したタンクのダウンタイム期間が他の期間と重複していないことを確認してください。
3. **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
↳ タンクのダウンタイムが保存され、テーブルに表示されます。

sim_normal | Workplace > Tank > sim_normal

Inventory chart Tank details Location details Tank service status Download history

Out of service periods

Delete Add

From date ↑	To date ↑	Comment ↑
3/26/24	3/28/24	Hgggh
4/26/24	4/30/24	Test documentation

設定したタンクのダウンタイム期間がタンクの別のダウンタイム期間と重複している場合、SupplyCare ではエラーメッセージが表示されます。変更は保存されません。

Error ×


Following errors have occurred:

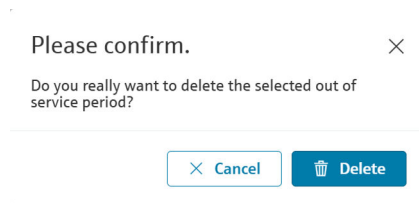
- Out of service period may not overlap any other!


Ok

4. **OK** をクリックして、エラーメッセージを確認します。前述の説明に従い、再び**開始日**および/または**終了日**フィールドに日付を入力します。


タンクのダウンタイムの削除


1. 目的のタンクのダウンタイム期間の前にあるチェックボックスをオンにします。
2.  **削除** ボタンをクリックします。
↳ 確認メッセージが表示されます。



3.  **削除** ボタンをクリックして削除を確定します。
4. または、**×** **キャンセル** ボタンをクリックして削除を中止します。

5.2.1 在槽チャートにおけるタンクのダウンタイム期間の表示

 過去、現在、未来のタンクのダウンタイム期間は、**タンクメニュー項目の在槽チャート**タブに表示されます。タンクのダウンタイム期間中は、予測値が水平ラインで表示されます。タンクのダウンタイム期間中の在槽チャートは暗い背景色で表示されます。

1.  **ワークプレイス**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに、ユーザーに割り当てられているタンクの概要テーブルが表示されます。
2. 対象のタンクをクリックすると、在庫チャートにタンクの停止期間が表示されま
3. **在槽チャート**タブを選択します。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。




在槽チャートには、今後予定されているタンクのダウンタイム期間が1つ表示されま


す。
在槽チャートの印刷：（「在槽チャート」セクションを参照）

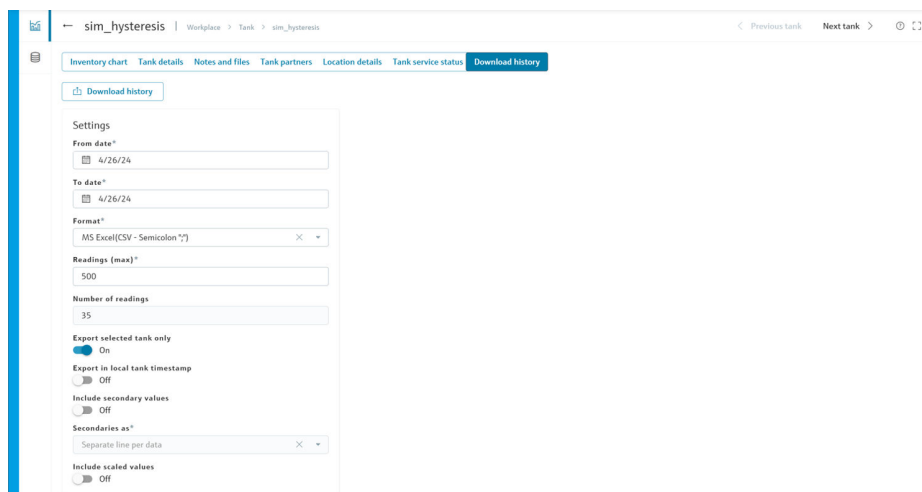
5.3 履歴のダウンロード


履歴のダウンロードタブでは、概要に表示されるすべてのタンクまたは概要から選択したタンクの測定値履歴を CSV ファイルとして保存できます。

CSV ファイルには、次のデータが含まれます：タンク名、タイムスタンプ、値、単位、最適値、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫、測定点。値を手動で設定した場合、値の後に **MAN** というテキストが付加されます。

 この機能はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

1.  ワークプレイスマニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに、ユーザーに割り当てられているタンクの概要テーブルが表示されます。
2. 履歴を CSV ファイルで保存するタンクをクリックします。
3. **履歴のダウンロード**タブを選択します。
 - ↳ 作業エリアにデータロギング用の各種設定が表示されます。



4. データをダウンロードする過去の期間を選択します。**開始日**および**終了日**フィールドに日付を直接入力するか、または  日付選択ダイヤルを使用して期間を設定します。日付を直接入力する場合は、**dd.mm.yy** の形式を使用してください。開始日と終了日にはタイムゾーンとして「標準時 +00:00」が使用されます。
5. **形式**を選択します：**MS Excel (CSV - セミコロン「;」)**、**MS Excel (CSV - コンマ「,」)** または **MS Excel (CSV - TAB)**
6. **読み込み数 (最大)** フィールドに、タンクごとの主測定値 (プライマリバリュー) の最大数を入力します。
7. **選択したタンクのみをエクスポート**切替えスイッチは、デフォルトでオンになっており、選択したタンクのデータのみがダウンロードされます。テーブルに表示されているすべてのタンクのデータをダウンロードする場合は、この切替えスイッチをオフにしてください。
8. 任意：他の切替えスイッチもオンにします。
 - ↳ **現地タンクのタイムスタンプでエクスポート**：エクスポートのタイムスタンプをタンクの地域の現地時間で表示します。タンクの地域の現地時間を取得できない場合、標準時のタイムスタンプでエクスポートされます。
 - ↳ **セカンダリバリューを含む**：セカンダリバリューがダウンロードされます。この情報は、Excel ファイルのデータをダウンロードする場合にのみ関連します。ドロップダウンリストで、**データごとに行を分割**または**全データを 1 行に表示**のいずれかを選択します。
 - ↳ **スケーリングした値を含む**：スケーリングされた値がダウンロードされます。

- 9. 測定値を Excel スプレッドシートとしてダウンロードする場合は、**履歴のダウンロード** ボタンを使用します。
- i** CSV ファイルのヘッダーに使用される言語は、ブラウザの言語設定に応じて異なります。
- i** テーブルは最初にタンク名でソートされ、次にタイムスタンプでソートされます。タイムスタンプにはタイムゾーンとして常に「標準時 +00:00」が使用されます。
- i** 工場設定では、日付と時刻は次のように表示されます： yyyy-mm-dd, hh:mm:ss

5.4 セカンダリバリューの表示

多変数計測が可能な計測機器では、主測定変数（プライマリバリュー）に加えて他の測定変数（セカンダリバリュー）も記録できます。

タンクにセカンダリバリューも割り当てられている場合、これらの値を複数のビューで表示/非表示に設定できます。最大 8 つのプライマリバリューとセカンダリバリューをタンクに割り当てることができます。

- i** セカンダリバリューの単位は、設定メニュー → **機器マッピングタブ**のタンクの**単位（アプリケーション）** フィールドで指定します。

5.4.1 「タンク」メニュー項目の概要テーブルでのセカンダリバリューの表示

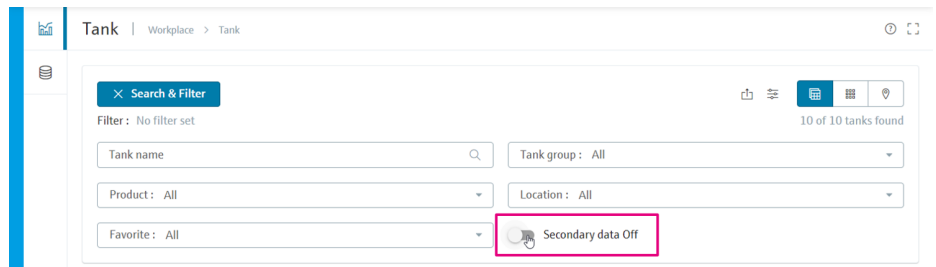
- i** デフォルトでは、セカンダリバリューは非表示です。この設定はユーザーの契約内容に応じて異なります。

セカンダリバリューの表示

1. **ワークプレイスメニュー**で、**タンクメニュー項目**をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに、ユーザーに割り当てられているタンクの概要テーブルが表示されます。

State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
	sim_hysteresis	1,453.0	t	48%	Mexiko City		1,547.0	Diesel
	sim_normal	614.5	t	22%	Maulburg		2,137.5	Diesel
	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
	sim_secondaries	7.3	m³	0%	Dubai		2,392.7	Palm Oil
	sim_secondaries2	71,453.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil
	sim_short_term	1,453.0	m³	61%	Naarden		947.0	Milk
	sim_tank_freeze	1,453.0	m³	61%	Aurangabad	SILOTYP A	947.0	Grains
	sim_tank_recycl...	10,000.0	l	97%	Manchester		310,000.0	Waste Water
	sim_tank_recycl...	0.9	t	100%	Mexiko City		2,399.1	Ammoniak
	sim_temperature	90.0	°C	75%	Aurangabad		30.0	Grains

2. 🔍 **検索&フィルタリング**ボタンをクリックします。
↳ フィールドが下方に展開して、フィルター選択オプションが表示されます。



3. **セカンダリデータ**のスイッチをオンにします。
↳ 当該タンクの下に関連するすべてのセカンダリバリューが表示されます。取得可能な場合、セカンダリバリューに関する次のデータが表示されます: ステータス、タンク名、値、単位、ヒステリシス、制限 1、制限 2。
4. あるいは、**セカンダリデータ**切替えスイッチをオフにして、セカンダリデータを非表示にします。

5.4.2 在槽チャートでのセカンダリバリューの表示

- i** ユーザーロールが**マスターデータ**であるユーザーは、設定メニュー→タンクの**セカンダリバリュー**タブを使用してセカンダリバリューの名前を指定できます（「セカンダリバリューの設定」セクションを参照）。この名前は概要テーブルのボタンとグラフに使用されます。名前が入力されていない場合、そのセカンダリバリューにはデフォルト名として、セカンダリ[1]、セカンダリ[2]、セカンダリ[3]、セカンダリ[4]、セカンダリ[5]、セカンダリ[6]、セカンダリ[7]、セカンダリ[8]という名前が付けられます。
- i** デフォルトでは、セカンダリバリューは非表示です。この設定はユーザーの契約内容に応じて異なります。

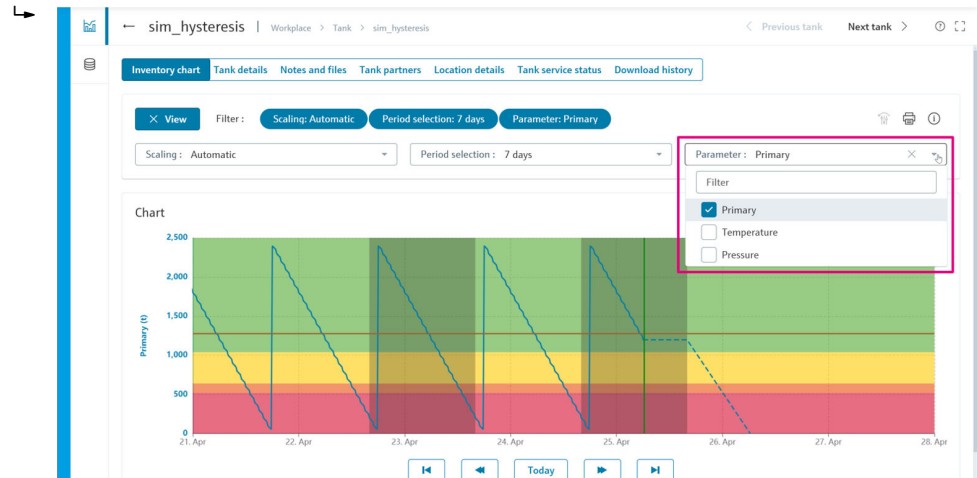
セカンダリバリューの表示

1. 📄 **ワークプレイス**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. 目的のタンクをクリックして在槽チャートを表示します。
↳ 作業エリアの在槽チャートには、プライマリバリューのグラフが表示されます。



3. グラフの上方にある👁️ **表示**ボタンをクリックします。
↳ フィールドが下方に展開し、**スケール**、**期間**の選択、**パラメータ**ドロップダウンリストボックスが表示されます。

4. **パラメータ**リストまたは▼リストボタンをクリックして、プライマリバリューおよびタンクに割り当てられているすべてのセカンダリバリューを表示します。



5. パラメータのチェックボックスをオンにしてグラフを表示します。
 ↳ 選択したパラメータが**パラメータ**リストおよび**フィルター**:画面の横に表示されます。
 6. あるいは、パラメータのチェックボックスをオフにしてグラフを非表示にします。
- i** オンにするチェックボックスの数に制限はありません。オンにしたすべてのパラメータがグラフに表示されます。セカンダリバリューのY軸はグラフの右側に表示されます。
 - i** グラフ上にカーソルを合わせると、グラフ上の個々のポイントに対応した特定の値とタイムスタンプが表示されます。
 - i** 在槽チャートを終了すると、設定したすべてのフィルターは初期値にリセットされます。

在槽チャートの印刷: (「在槽チャート」セクションを参照)

5.4.3 セカンダリバリューの制限またはスパン制限の表示

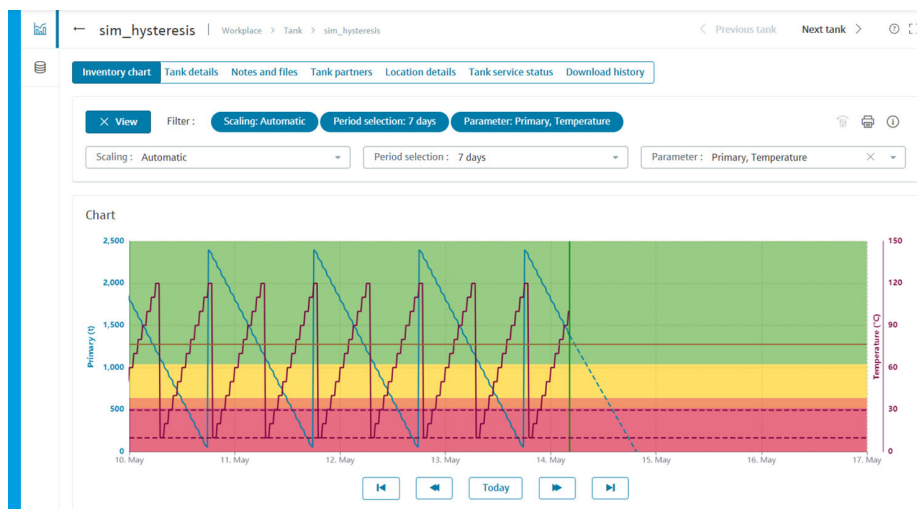
在槽チャートには、セカンダリバリューの制限値またはスパン制限値が表示されます。設定された制限またはスパン制限をセカンダリバリューが超過した場合、ステータスが変更され、メッセージがトリガされます。この機能はセカンダリバリューの監視に活用できます。詳細については、「イベント管理」および「通知 (メッセージ) の設定」セクションを参照してください。

- i** ユーザーロールが**マスターデータ**であるユーザーは、設定メニュー→タンクの**セカンダリバリュー**タブを使用して、制限またはスパン制限を設定できます (「セカンダリバリューの設定」セクションを参照)。


制限またはスパン制限の表示

1. **ワークプレイス**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. 目的のタンクをクリックして在槽チャートを表示します。

3. セカンダリバリューを選択します（「在庫チャートでのセカンダリバリューの表示」セクションを参照）。
 - ↳ 在庫チャートには、プライマリバリューのグラフに加え、セカンダリバリューのグラフとスパン制限も表示されます。




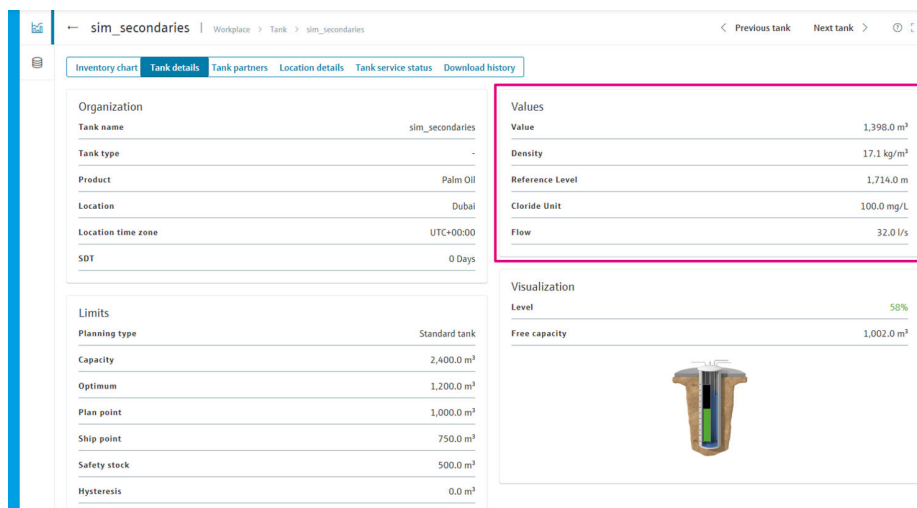
- i** プライマリバリューを非表示にして、セカンダリバリューのみを表示することもできます。
- i** グラフ上にカーソルを合わせると、グラフ上の個々のポイントに対応した特定の値とタイムスタンプが表示されます。
- i** 在庫チャートを終了すると、設定したすべてのフィルターは初期値にリセットされます。

在庫チャートの印刷: （「在庫チャート」セクションを参照）

5.4.4 「タンク詳細」タブでのセカンダリバリューの表示

セカンダリバリューの表示

1.  ワークプレイスマニューで、タンクメニュー項目をクリックします。
2. セカンダリバリューを表示するタンクをクリックします。
3. タンク詳細タブを選択します。
 - ↳ 作業エリアにタンク詳細が表示されます。



セカンダリバリューは、**値** (プライマリバリュー) 行の下の**値**フィールドに表示されま
す。

次の場合、セカンダリバリューは表示されません。

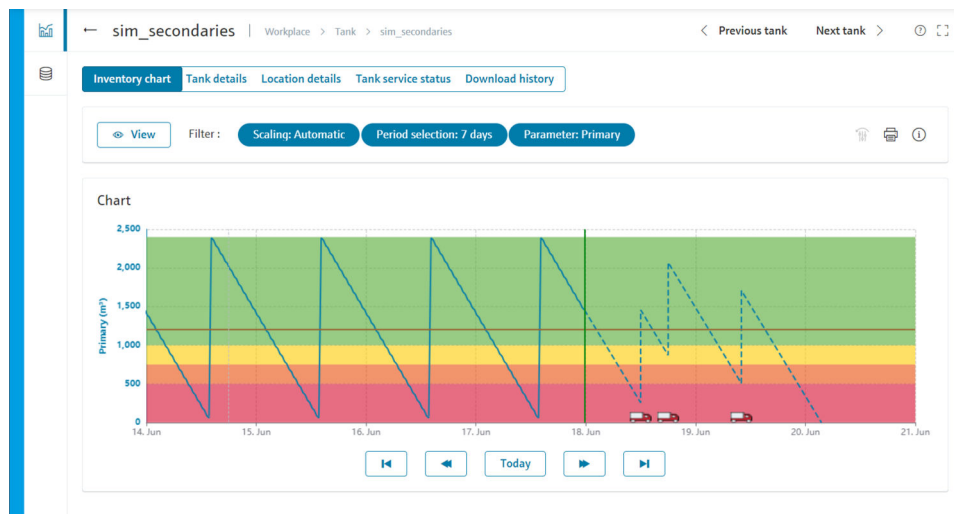
- 選択したタンクにセカンダリバリューが割り当てられていない場合
- タンクの測定値が不正確な場合

5.5 在槽チャートでの履歴データと予測値の表示

在槽チャートには、これまでに測定された値が実線で表示され、今後の計算値が点線で表示されます。セカンダリバリューの場合、予測値は取得できません。

標準タンクの場合、予測値は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、予測値は「1日平均受入量」の値から計算されます。

今後の複数の納品予定 (リサイクルタンク：廃棄予定) も計算値 (予測) に含まれ、表示されます。



在槽チャートは以下の追加機能を備えています。

グラフ上の移動 (マウスオーバー)

在槽チャートのグラフ上にカーソルを合わせると、追加情報が表示されます。グラフ内のポイントが過去である場合、その測定値とタイムスタンプに関する情報を示す「在槽」ウィンドウが表示されます。グラフ内のポイントが未来である場合、その計算値とタイムスタンプに関する情報を示す「予測」ウィンドウが表示されます。



グラフ上のポイントをクリック

グラフ内のポイントにカーソルを合わせてクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。過去の測定値の場合は、**履歴データ**ダイアログボックスが表示されます。未来の計算値の場合は、**予測値**ダイアログボックスが表示されます。受信された最終測定値の場合は、**現在の値**ダイアログボックスが表示されます。

Historical value		×
Time stamp	5/12/24, 1:02 AM	
Value	1,653.8 t	
< Previous		Next >

タイムスタンプ


値の日付と時刻を表示します。

値

過去の測定値と未来の計算値を表示します。

ダイアログボックスでの移動

1. **< 前へ** ボタンをクリックすると、より古い測定点が表示されます。
2. **次へ >** ボタンをクリックすると、より新しい測定点が表示されます。

 さらに時間をさかのぼって測定点を表示するには、**期間の選択**ドロップダウンリストボックスで指定された日数を変更する必要があります（「在槽チャートでのセカンダリバリューの表示」セクションを参照）。

5.5.1 短期予測

短期予測は、在槽チャートの第2予測ラインであり、過去数時間のデータに基づいて計算されます。期間は、1～12時間の間で個別に設定できます。

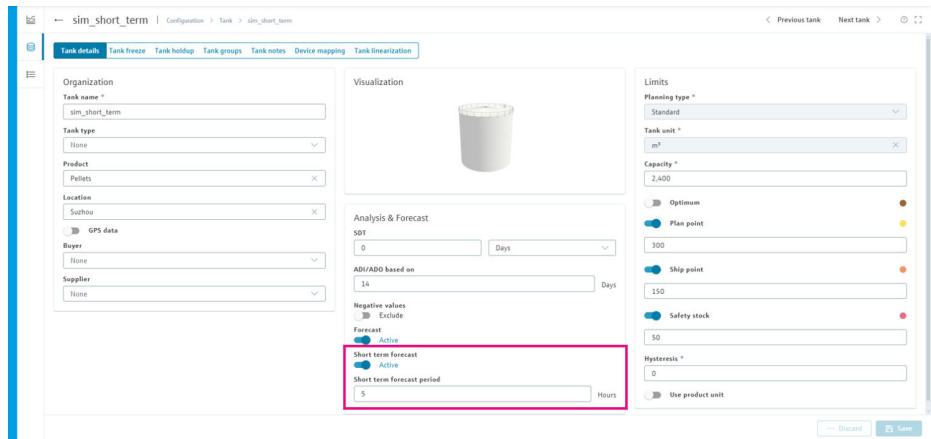


i デフォルトでは、短期予測の表示は無効になっています。短期予測およびその期間の有効化は、Endress+Hauserが行います。特定のタンクの短期予測を表示するには、設定メニュー→**タンク詳細**タブで、タンクの短期予測を有効にする必要があります。

i 短期予測を有効化できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**であるユーザーのみです。

タンクの短期予測の有効化

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. 短期予測を有効化するタンクをクリックします。
3. **タンク詳細**タブを選択します。
↳ 作業エリアにタンク詳細が表示されます。



4. 短期予測のスイッチをオンにします。
5. 短期予測の期間入力フィールドに、短期予測の計算に使用する時間数を入力します。
6. **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。

変更を保存しない場合は、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。保存済みの変更を取り消すことはできません。

5.6 在槽チャートのズーム機能

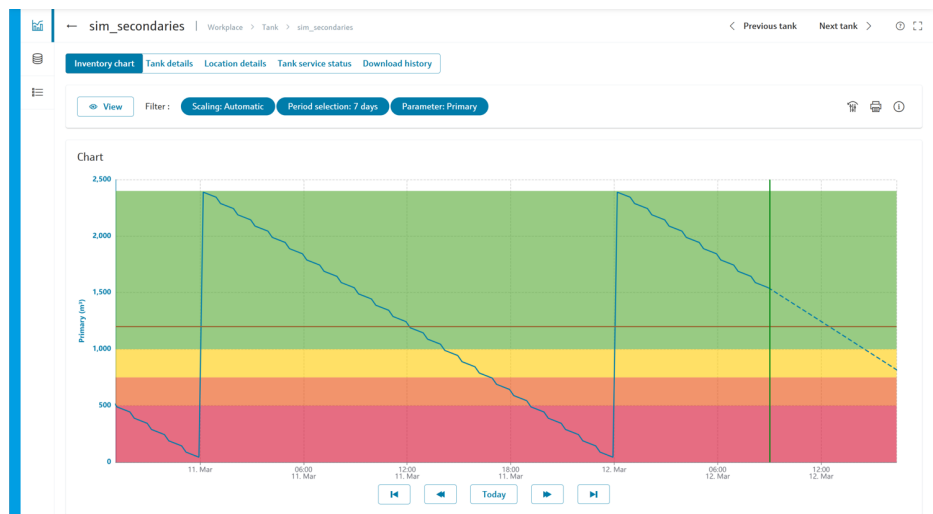
在槽チャート内のエリアを拡大して、データをより詳細に表示できます。

エリアの拡大

1. 目的の開始点を左クリックして、マウスボタンを押したままにします。
2. マウスを左右に動かしてエリアを選択します。
↳ 選択されたエリアの背景が淡色で表示されます。



3. 目的のエリアが選択されている場合は、左マウスボタンを放します。
↳ 選択されたエリアの在槽チャートが読み込まれます。



4. 今日ボタンをクリックして、エリアの拡大表示を終了します。
↳ 在槽チャートが標準ビューで表示されます。



マウスホイールを使用して、在槽チャートを拡大/縮小できます。



モバイルバージョンをタッチスクリーン機器で正在している場合は、2本の指で在槽チャートを拡大/縮小できます。

5.7 在槽チャートを使用した納品/廃棄の予定




標準タンクの納品およびリサイクルタンクの廃棄を予定できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。



この機能はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

在槽チャート内のエリアを拡大して、データをより詳細に表示できます。


納品または廃棄を予定


1.  ワークプレイスメニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. 納品または廃棄を予定するタンクをクリックします。
3. **在槽チャート**タブを選択します。
4. 在槽チャートのグラフ上で、納品または廃棄を予定する必要がある日付の場所をクリックします。未来の予定日を指定してください。
↳ **予測値**ダイアログボックスが表示されます。

Forecast value×

Time stamp3/12/25, 12:00 PM

Value1,245.4 m³

< Previous Plan deliveryNext >

5.  **納品を予定**ボタン（標準タンク）または**廃棄を予定**ボタン（リサイクルタンク）をクリックします。
↳ 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。


Plan delivery×


Tank namesim_secondaries2

Forecast value127,512.6

Range13 day(s)

Delivery date and time *


 6/19/24





 10:00

Amount *in m³

1200

Comment

× Cancel
 Save

6. **納品日時**を入力します。日付と時刻を直接入力するか、または日付選択ダイヤル  と時間選択ダイヤル  を使用して選択します。
7. **予定量**を入力します。
8. 任意：**コメント**フィールドにコメント/メモを入力します。
9.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
↳ 在槽チャートの納品用トラックのアイコン  は納品予定/廃棄予定を示します。

タンク名

選択したタンクの名前。

予測値

予測レベル。

契約内容に応じて：新規納品予定/新規廃棄予定ごとの予測レベルの計算に、既存の納品予定/廃棄予定も考慮されます。この機能を使用できないが有効化する必要がある場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

範囲

入力した量に対して安全在庫に達するまでの日数が表示されます。標準タンクの場合、この日数は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、この日数は「1日平均受入量」の値から計算されます。



シンボルの上にカーソルを合わせると、納品予定/廃棄予定に関する情報が日時と一緒に表示されます。

6 カスタマイズされたタンク概要の表示 - 「マイタンクビュー」 ワークプレイス

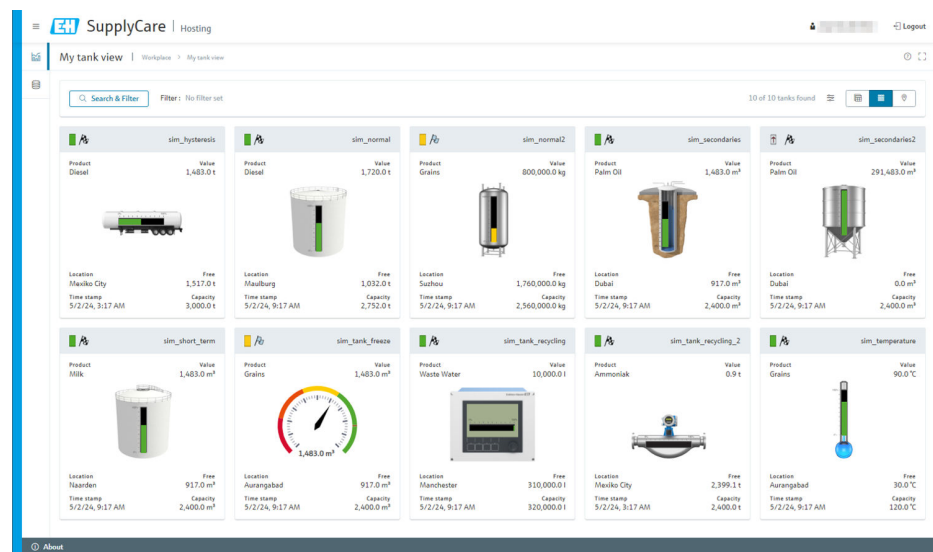
カスタマイズされたタンクビューには、**タンクグループタブ**を使用してユーザーに割り当てられたタンクが表示されます。

パス：設定 → ユーザー → タンクグループ

i ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**マイタンクビュー**メニュー項目を使用できます。

カスタマイズされたタンクビューの表示

1. **ワークプレイスメニュー**で、**マイタンクビュー**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに、ユーザーに関連するタンクのリストが表示されます。



初期設定では、タンクごとに以下のプライマリデータが表示されます（データがある場合）。

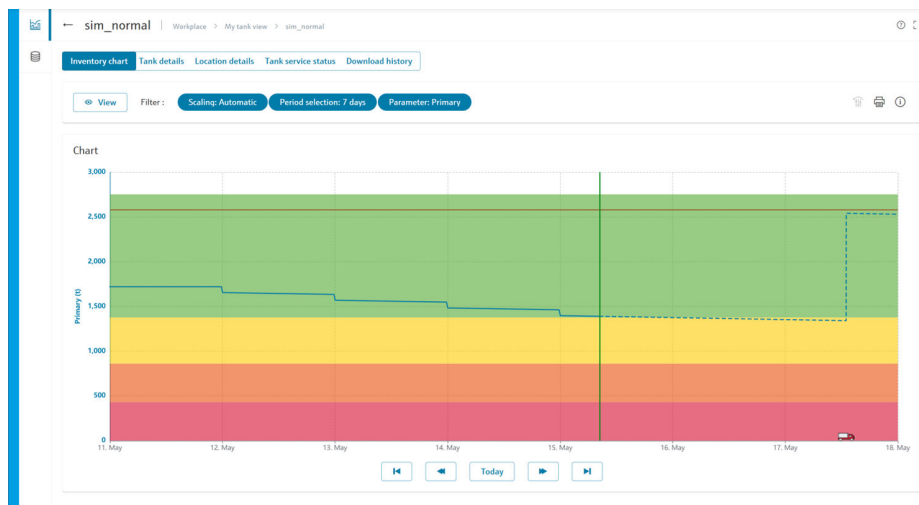
- タンク名
- 製品
- 値と単位
- 地域
- タイムスタンプ
- 空き容量と単位
- 容量と単位

表示するデータは自由に設定できます（「マイタンクビューの設定」セクションを参照）。

i タンクの表示は、フィルターおよび表示オプションエリアのドロップダウンリストボックスから**タンク名**、**タンクグループ**、**製品**、**地域**、**お気に入り**でフィルター処理できます。選択を行うと、この選択に関連するタンクのみが表示されます。

ページの再読み込みの行うたびに、ビューが更新されます。また、ビューを自動的に更新することもできます。ユーザー設定でお好みの自動更新間隔を設定できます（「プリファレンスの設定」セクションを参照）。

2. タンクの画像をクリックしてタンクの詳細を表示します。
 ↳ 選択したタンクの詳細が作業エリアに表示されます。



6.1 マイタンクビューの設定

- i** この機能はデスクトップバージョンでのみ使用できます。デスクトップバージョン設定はモバイル機器に適用されません。

マイタンクビューの設定

1. ボタンをクリックして、マイタンクビューで追加情報を設定します。
 ↳ **データ選択**ダイアログボックスが表示されます。

2. ドロップダウンリストボックスの ▼ ボタンを選択して、選択可能なデータを表示します。
3. 必要なデータを選択します。このフィールドにデータが表示されない場合は、× ボタンをクリックします。
4. **保存** ボタンをクリックして設定を保存します。
 ↳ タンク概要の設定が「マイタンクビュー」のすべてのタンクで変更されます。

5. または、**×** キャンセルボタンをクリックして設定を中止します。

リセット ボタンをクリックすると、設定が初期設定にリセットされます。

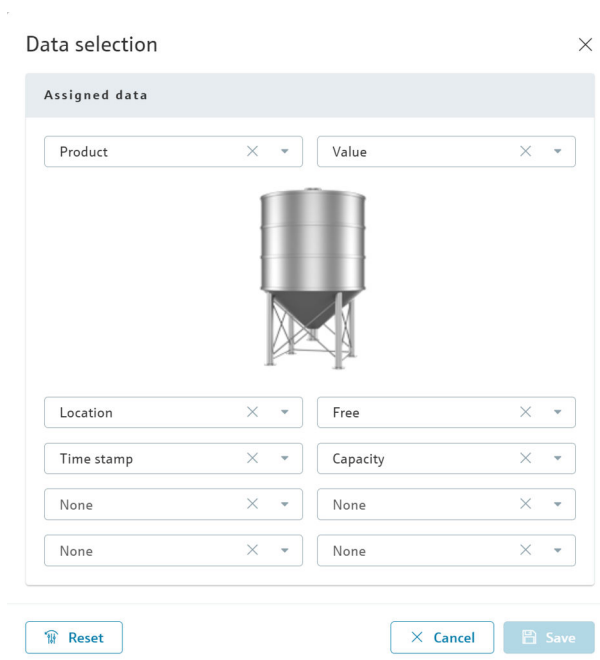
i 「マイタンクビュー」には、最大 10 個のマスターデータまたは値を表示できます。任意に選択できます。フィールドの位置は変更できません。

6.2 セカンダリバリューの表示

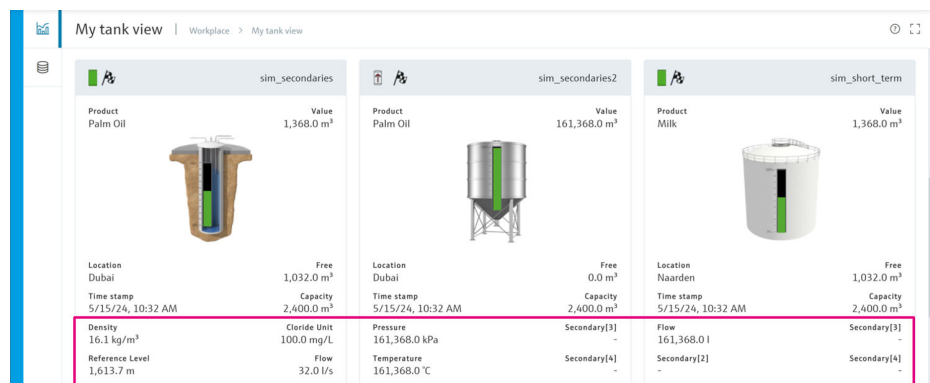
i タンクのセカンダリデータを使用できる場合は、「マイタンクビュー」にも表示できます。最大 8 個のセカンダリデータを表示できます。

セカンダリデータの表示

1. **☰** ボタンをクリックして、マイタンクビューで追加情報を設定します。
 ↳ **データ選択** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドロップダウンリストボックスから、セカンダリ[1]、セカンダリ[2]、セカンダリ[3]、セカンダリ[4]、セカンダリ[5]、セカンダリ[6]、セカンダリ[7]、セカンダリ[8] を選択します。
3. **保存** ボタンをクリックして設定を保存します。
 ↳ 既存のセカンダリバリューが、名前および値とともにタンク概要に表示されます。セカンダリバリューを使用できない場合は、標準名のみが表示され、この値のフィールドは空のままになります (「-」)。



7 イベントの処理 - イベントワークプレイス

7.1 イベント管理 - イベントのステータスおよび重み付け

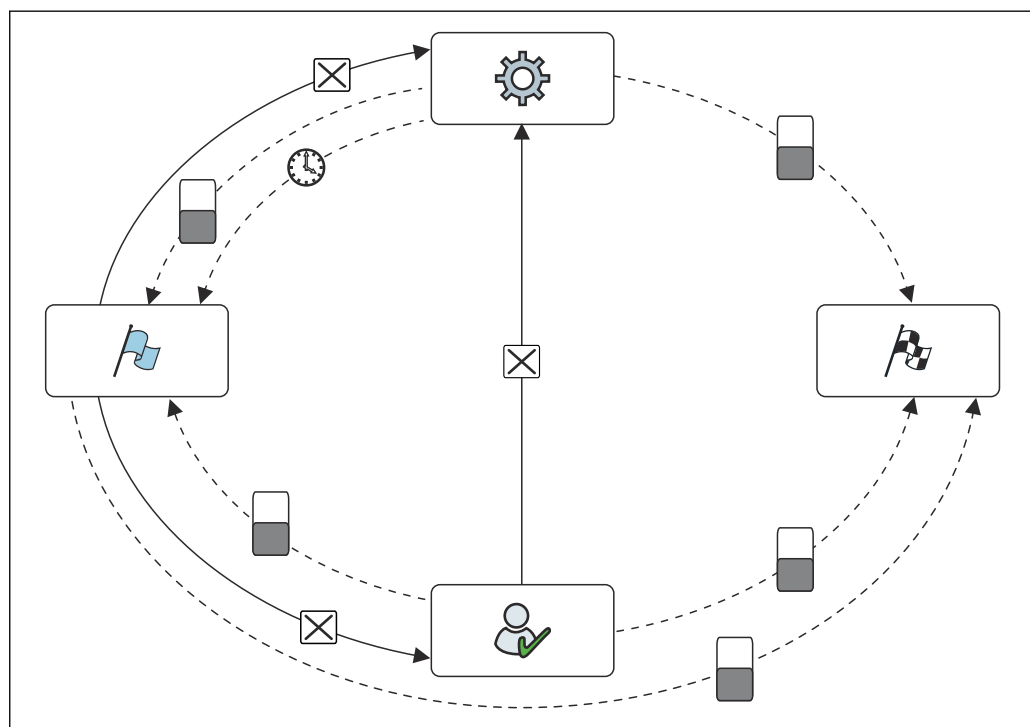
制限値を下回ると（予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫）、イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。重み付け（重大度）は制限値から取得されます。つまり、予定ポイントへの到達は重大ではなく（低）、安全在庫レベルへの到達は非常に重大である（高）と見なされます。

イベントが生成されると、ユーザーはそのステータスを**承認済み**または**処理中**に変更できます。以降のトレーサビリティを確保するために、この変更はタイムスタンプおよびユーザー ID とともに保存されます。





イベントのステータスが**承認済み**または**処理中**のときに許容限界値に達した場合、イベントのステータスは**開く**に戻ります。標準タンクの在槽レベルが予定ポイントを上回っている場合、またはリサイクルタンクの在槽レベルが予定ポイントを下回っている場合、イベントのステータスは**実行済み**に切り替わり、それ以上のアクティビティは必要ありません。また、測定により予定ポイントを超過または下回ったと判断された場合、イベントのステータスを**開く**から**実行済み**に直接変更することもできます。




注意する必要があるのは、ステータスが**処理中**であるイベントです。設定された再提出日までにタンクの補充が行われなかった場合、イベントステータスは**開く**に戻ります。

以下の図は、SupplyCare Hosting のイベントのステータスを示したものです。



A0058239

	開く
	承認済み
	処理中
	実行済み

	ユーザーによるステータス変更
	測定によるステータス変更
	期限切れによるステータス変更

i ステータスが**開く**、**処理中**または**承認済み**のイベントが生成されているタンクが非稼働になった場合、そのイベントのステータスは**実行済み**に変更されます。

i イベントの凍結とイベントの停止の場合、ユーザーは**開く**から**実行済み**へのステータス変更のみを実行できます。**処理中**および**承認済み**のステータスの変更できません。

後続の測定により、許容限界値に達したことが確認された場合、イベントのステータスには**開く**が割り当てられます。

i タンクが削除された場合、関連するすべてのイベントも削除されます。

7.2 イベントメッセージの表示


i ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**イベント**メニュー項目を使用できます。

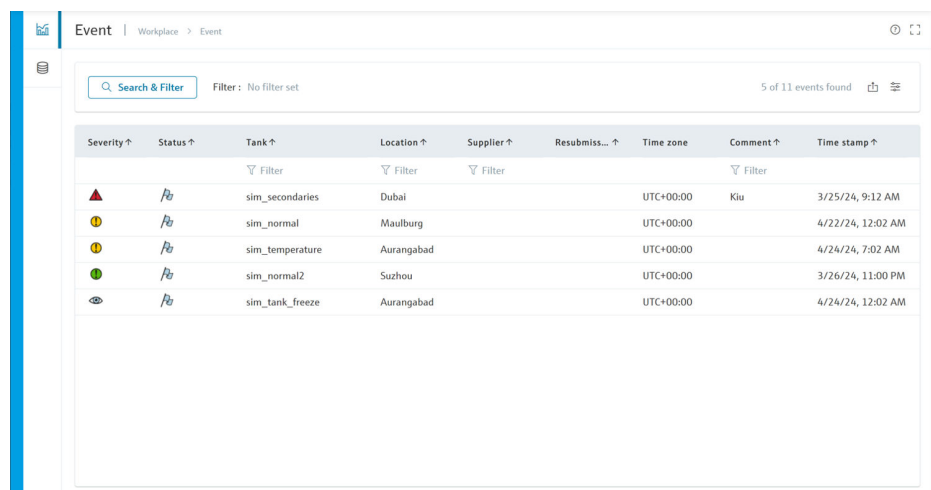
i **イベントの詳細**、**イベントの凍結**、**イベント履歴**タブでは、**ユーザー設定**メニュー項目で設定されたタイムゾーンが使用されます（「ユーザー設定の選択および変更」セクションを参照）。工場設定では「地域」が使用されます。


在槽チャートおよび**タンク詳細**タブでは、地域用に設定されたタイムゾーンが使用されます（「地域の作成」セクションを参照）。工場設定では「標準時 +00:00」が使用されます。

イベントメニュー項目は、制限値を使用して補充プロセスを管理する場合に役立ちます。標準タンクでは、個々のタンクの制限値を下回った場合にイベントがトリガされ、リサイクルタンクでは、個々のタンクの制限値を超過した場合にイベントがトリガされます。画面に表示する以外に、Eメールでもイベント通知を受け取ることができます。

イベントメッセージの表示

1.  **ワークプレイス**メニューで、**イベント**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアにすべてのイベントの概要テーブルが表示されます。



2. 任意： **検索 & フィルタリング**ボタンをクリックして、表示されるイベントをフィルター処理します。

タイプ

イベントタイプによるフィルター（例：「イベントの凍結」）

ステータス

イベントステータスによるフィルター（例：「開く」）

重み付け

イベントの重要性によるフィルター（例：「高」）

お気に入り

お気に入りによるフィルター。お気に入りを選択すると、お気に入りに定義されたタンクを参照するイベントが表示されます。

設定したフィルターと一致しなかった場合、つまり、イベントが発生していない場合は、メッセージ「エントリが見つかりませんでした。」が表示されます。最後に設定したフィルターを削除すると、その前のフィルター設定に戻ります。また、概要テーブルに戻る場合は、すべてのフィルターを削除します。

3. イベントをクリックして、イベントの詳細情報を表示します。

詳細ビューでは、以下のタブを選択できます。

- イベントの詳細
- イベントの凍結
- イベント履歴
- 在槽チャート
- タンク詳細

7.2.1 イベントの詳細

このタブには、イベントを処理するための情報や操作項目が含まれます。

メッセージ

簡潔な説明。イベントタイプを示します。

コメント

コメントの入力フィールド。

承認

イベントを承認するためのチェックボックス。

処理中

イベントを「処理中」としてマークするためのチェックボックス。

さらに、「納品予定/廃棄予定に関する情報」タブには、以下の情報が含まれます。

量

納品予定量/廃棄予定量を表示します。

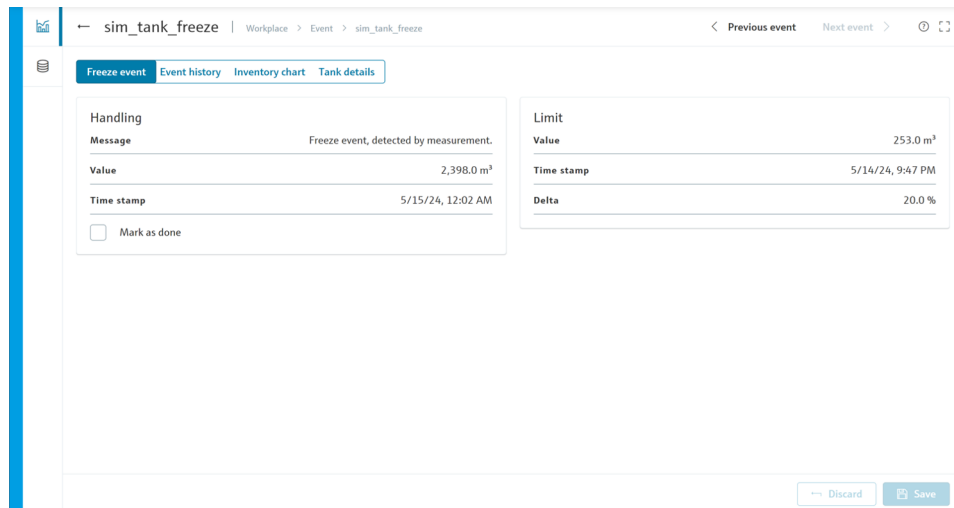
タイムスタンプ

納品予定/廃棄予定の日時を表示します。

コメント

納品予定/廃棄予定に関するコメントを表示します。

7.2.2 イベントの凍結



このタブには、情報および処理用のチェックボックスが含まれます。

メッセージ

簡潔な説明。イベントタイプを示します。

値

受信した測定の値と単位を表示します。

タイムスタンプ

測定時刻をそれぞれのタイムゾーンで表示します。

実行済みとしてマーク

イベントを承認するためのチェックボックス。

また、このタブには制限に関する情報も含まれます。

値

「凍結された」測定値を対応する単位で表示します。


タイムスタンプ


「凍結された」測定値の時刻を対応するタイムゾーンで表示します。

差分

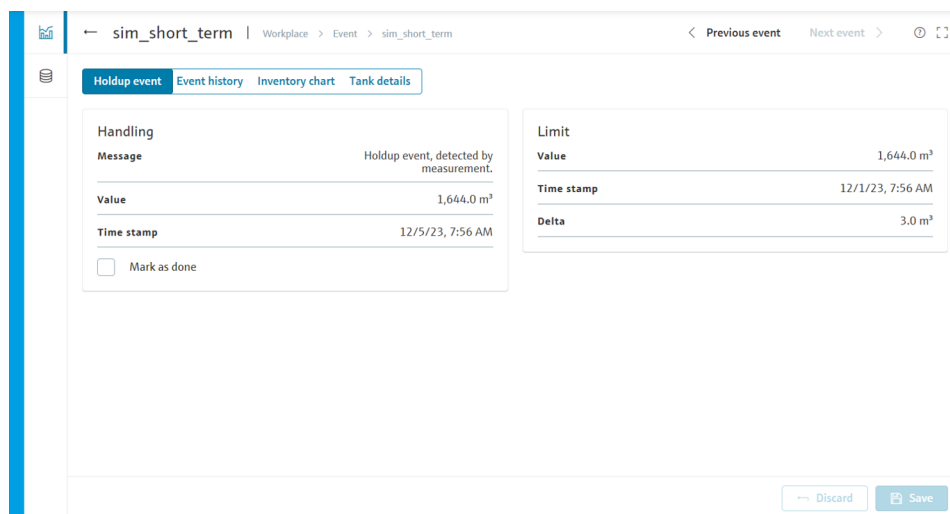
設定されたイベントの差分の数値と単位を表示します。

イベントの承認

1. **実行済みとしてマーク**チェックボックスをオンにしてイベントを承認します。
2.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
↳ イベントが終了します。

 イベントの凍結は、確認期間中に 1 回のみ生成されます。イベントのステータスは、実行済みとしてマークされるまで**開く**です。新しいイベントの凍結が次の確認期間に発生した場合、以前に作成されたイベントはイベント履歴に移動します。

7.2.3 イベントの停止



このタブには、情報および処理用のチェックボックスが含まれます。

メッセージ

簡潔な説明。イベントタイプを示します。

値

設定された監視時間後の最初の測定レベルの値と単位を表示します。

タイムスタンプ

設定された監視時間後の最初の測定の時刻を対応するタイムゾーンで表示します。

実行済みとしてマーク

イベントを承認するためのチェックボックス。

また、このタブには制限に関する情報も含まれます。

値

設定された監視時間前の最後の測定レベルの値と単位を表示します。

タイムスタンプ

設定された監視時間前の最後の測定の時刻を対応するタイムゾーンで表示します。

Delta

設定されたイベントの差分の数値と単位を表示します。

イベントの承認

1. **実行済みとしてマーク**チェックボックスをオンにしてイベントを承認します。
2. **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
↳ イベントが終了します。

i イベントの停止は、確認期間中に 1 回のみ生成されます。イベントのステータスは、実行済みとしてマークされるまで**開く**です。新しいイベントの停止が次の確認期間に発生した場合、以前に作成されたイベントはイベント履歴に移動します。

7.2.4 イベント履歴

i この機能はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

このタブには、選択したイベントの履歴が表示されます。

Time stamp	Severity	Status	Message	Comment	User
5/16/24, 9:02 AM	●	℘	Plan point reached, detected by measure...		CheckTanks
5/16/24, 12:02 AM	●	℘	Done		CheckTanks
5/15/24, 7:02 PM	▲	℘	Safety stock reached, detected by measu...		CheckTanks
5/15/24, 2:02 PM	●	℘	Ship point reached, detected by measure...		CheckTanks
5/15/24, 9:02 AM	●	℘	Plan point reached, detected by measure...		CheckTanks
5/15/24, 12:02 AM	●	℘	Done		CheckTanks
5/14/24, 7:02 PM	▲	℘	Safety stock reached, detected by measu...		CheckTanks
5/14/24, 2:02 PM	●	℘	Ship point reached, detected by measure...		CheckTanks
5/14/24, 9:02 AM	●	℘	Plan point reached, detected by measure...		CheckTanks
5/14/24, 12:02 AM	●	℘	Done		CheckTanks
5/13/24, 7:02 PM	▲	℘	Safety stock reached, detected by measu...		CheckTanks

以下のデータが表示されます。

- タイムスタンプ
- 重み付け
- ステータス
- メッセージ
- コメント
- ユーザー

7.2.5 在槽チャート

このタブには、選択されているイベントについて、関連するタンクの在槽チャートが表示されます。**在槽チャート**タブの説明については、「タンクの監視」セクションの「在槽チャート」を参照してください。

7.2.6 タンク詳細

このタブには、選択されているイベントについて、関連するタンクの詳細が表示されます。**タンク詳細**タブの説明については、「タンクの監視」セクションの「在槽チャート」を参照してください。

7.3 イベントメッセージの処理

i イベントに関するコメントおよびステータスの割り当てを実行できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**または**オペレータ**であるユーザーのみです。

イベントメッセージの処理

1. **ワークプレイス**メニューで、**イベント**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアにすべてのイベントの概要テーブルが表示されます。
2. イベントに関する追加情報を表示するイベントをクリックします。

3. イベントの詳細タブを選択します。

The screenshot shows the 'Event details' tab selected in the 'sim_tank_freeze' event page. The 'Handling' section contains a message: 'Plan point reached, detected by measurement.' Below this is a 'Comment' text area and a 'Status' section with two checkboxes: 'Acknowledge' and 'In process'. To the right, the 'Planned delivery' table is visible with the following structure:

Planned delivery	
Amount	-
Time stamp	-
Comment	-

At the bottom right of the page, there are 'Discard' and 'Save' buttons.

4. **承認** チェックボックスをオンにしてイベントを承認します。補充対策がすでに開始されている場合は、**処理中** チェックボックスをオンにして、必要に応じて再提出日を変更します。
5. 任意：このイベントに関するコメントを**コメント**フィールドに入力します。
6. **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
7. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

イベントのステータスが**処理中**に設定されている場合、システムでは**再提出日**までにタンクの補充が行われるかどうかが監視されます。補充が行われなかった場合、イベントステータスは**開く**にリセットされ、適切な通知メッセージが発信されます。標準では、**再提出日**は標準納期から算出されます。ただし、標準納期はイベントごとに個別に設定することもできます。

7.4 再提出日の設定





- イベントの再提出日を設定できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。
- 再提出日を設定できるのは、イベントステータスが**処理中**の場合のみです。


再提出日の設定


1. **ワークプレイス**メニューで、**イベント**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアにすべてのイベントの概要テーブルが表示されます。
2. イベントに関する追加情報を表示するイベントをクリックします。
3. **イベントの詳細**タブを選択します。

4. 処理中チェックボックスをオンにします。

The screenshot shows the 'sim_tank_freeze' event details page. The 'Handling' section contains a message: 'Plan point reached, detected by measurement.' Below this is a 'Comment' text area. The 'Status' section has two checkboxes: 'Acknowledge' (unchecked) and 'In process' (checked). Below the status are two input fields: 'Resubmission date*' with the value '5/16/24' and 'Resubmission time*' with the value '10:13'. At the bottom right, there are 'Discard' and 'Save' buttons.

5. 再提出日を入力します。日付を直接入力するか、または日付選択ダイヤル  から選択します。
6. 再提出時間を入力します。時間を直接入力するか、または時間選択ダイヤル  を使用して選択します。
7.  保存ボタンをクリックして変更を保存します。
8. または、 破棄ボタンをクリックして変更を取り消します。

 標準タンクの補充が行われて在槽が再び予定ポイントを上回った場合、イベントのステータスは自動的に**実行済み**に変更されます。リサイクルタンクの排出が行われて在槽が再び予定ポイントを下回った場合、イベントのステータスは自動的に**実行済み**に変更されます。

 SDT：標準タンクの場合は「標準納期」が表示され、リサイクルタンクの場合は「標準廃棄時間」が表示されます。

8 納品/廃棄の管理 - 「スケジューリング」ワークプレイス

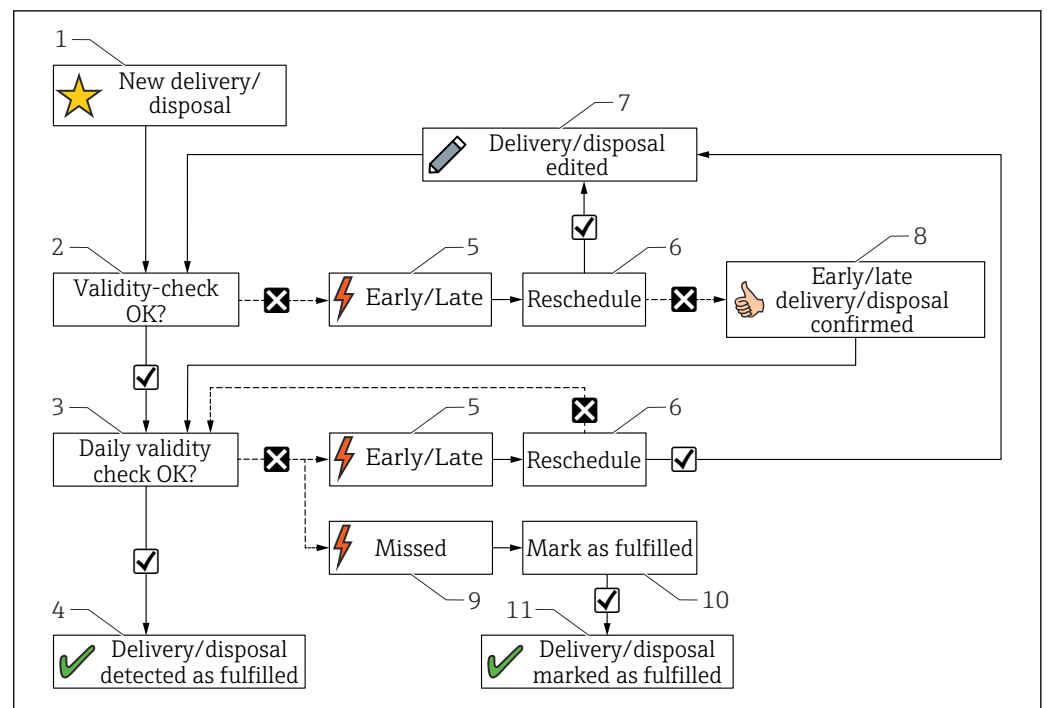
i スケジューリングメニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

8.1 ステータス管理 - 納品および廃棄

納品/廃棄が作成されるたびに、システムでは納品/廃棄の予定が早すぎる/遅すぎるかどうかを確認されます。この確認には、SupplyCare で算出された予測値が使用されます。ユーザーは早すぎる/遅すぎる納品/廃棄を再スケジュールすることや、このような納品/廃棄を短縮/遅延として確定することができます。

SupplyCare により、納品および廃棄は毎日監視されます。早すぎる/遅すぎる納品/廃棄が検出された場合、これを確定することができます。失敗した納品/廃棄が検出された場合、これを「実行済み」としてマークできます。「失敗した納品」イベントには、設定メニューのタンクメニュー項目のタンク詳細タブで入力されたヒステリシス値が適用されます。この詳細については、「タンクの作成」および「ヒステリシス」セクションを参照してください。

以下の図は、SupplyCare Hosting の廃棄/納品のステータス管理を示したものです。




A0058290

- 1 新規納品/廃棄
- 2 妥当性チェックは OK ?
- 3 日次チェックは OK ?
- 4 納品/廃棄を実行済みとして承認
- 5 短縮/遅延
- 6 再スケジュール
- 7 編集された納品/廃棄
- 8 納品/廃棄の遅延/短縮を確定
- 9 失敗
- 10 完了としてマーク
- 11 納品/廃棄を実行済みとして確定

8.2 納品予定/廃棄予定のステータス表示および通知

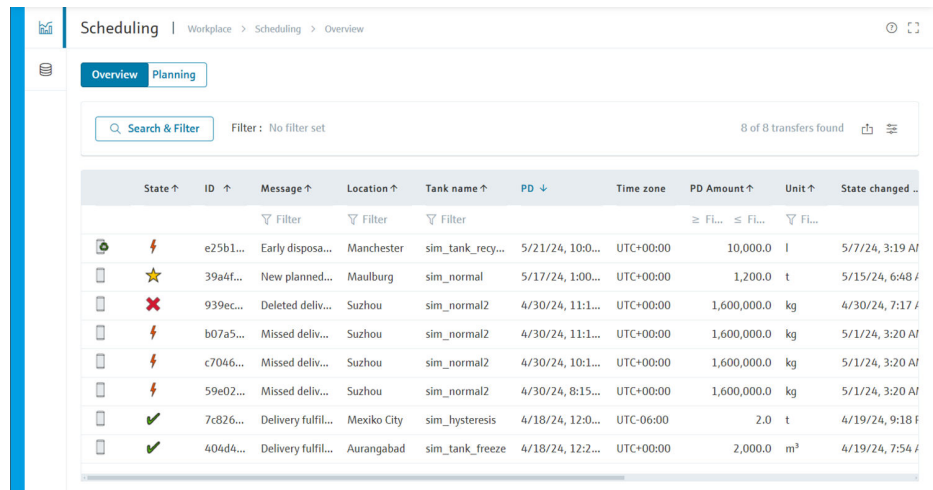
i 納品予定/廃棄予定の通知を受信して、その通知メッセージを処理できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。

i ユーザーが通知を受信するには、設定メニュー → ユーザーの**タンクグループ**タブで PDL および/または PDE チェックボックスをオンにする必要があります（「ユーザーへのタンクグループの割り当ておよびタンクイベント通知の設定」セクションを参照）。

1. **ワークプレイス**メニュー  で、**予定の指定**メニュー項目をクリックします。

2. **概要**タブを選択します。

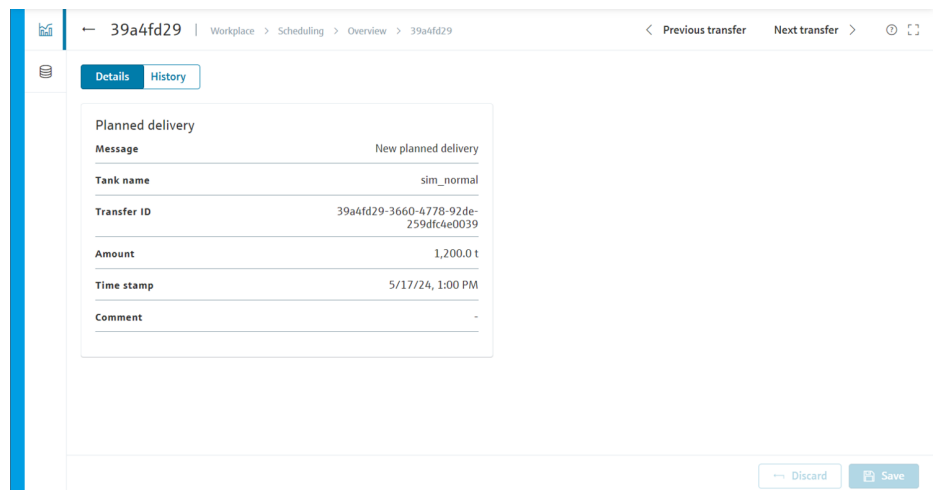
↳ 作業エリアにすべての納品/廃棄のすべてのステータスの概要が表示されます。



State ↑	ID ↑	Message ↑	Location ↑	Tank name ↑	PD ↓	Time zone	PD Amount ↑	Unit ↑	State changed ..
	e25b1...	Early disposa...	Manchester	sim_tank_recy...	5/21/24, 10:0...	UTC+00:00	10,000.0	l	5/7/24, 3:19 A
	39a4f...	New planned...	Maulburg	sim_normal	5/17/24, 1:00...	UTC+00:00	1,200.0	t	5/15/24, 6:48 F
	939ec...	Deleted deliv...	Suzhou	sim_normal2	4/30/24, 11:1...	UTC+00:00	1,600,000.0	kg	4/30/24, 7:17 F
	b07a5...	Missed deliv...	Suzhou	sim_normal2	4/30/24, 11:1...	UTC+00:00	1,600,000.0	kg	5/1/24, 3:20 A
	c7046...	Missed deliv...	Suzhou	sim_normal2	4/30/24, 10:1...	UTC+00:00	1,600,000.0	kg	5/1/24, 3:20 A
	59e02...	Missed deliv...	Suzhou	sim_normal2	4/30/24, 8:15...	UTC+00:00	1,600,000.0	kg	5/1/24, 3:20 A
	7c826...	Delivery fulfil...	Mexiko City	sim_hysteresis	4/18/24, 12:0...	UTC-06:00	2.0	t	4/19/24, 9:18 F
	404d4...	Delivery fulfil...	Aurangabad	sim_tank_freeze	4/18/24, 12:2...	UTC+00:00	2,000.0	m³	4/19/24, 7:54 F

3. 概要テーブルで、納品/廃棄をクリックして、詳細または履歴を表示します。







↳ 作業エリアに納品予定/廃棄予定の詳細が表示されます。




Planned delivery	
Message	New planned delivery
Tank name	sim_normal
Transfer ID	39a4fd29-3660-4778-92de-259dfc4e0039
Amount	1,200.0 t
Time stamp	5/17/24, 1:00 PM
Comment	-

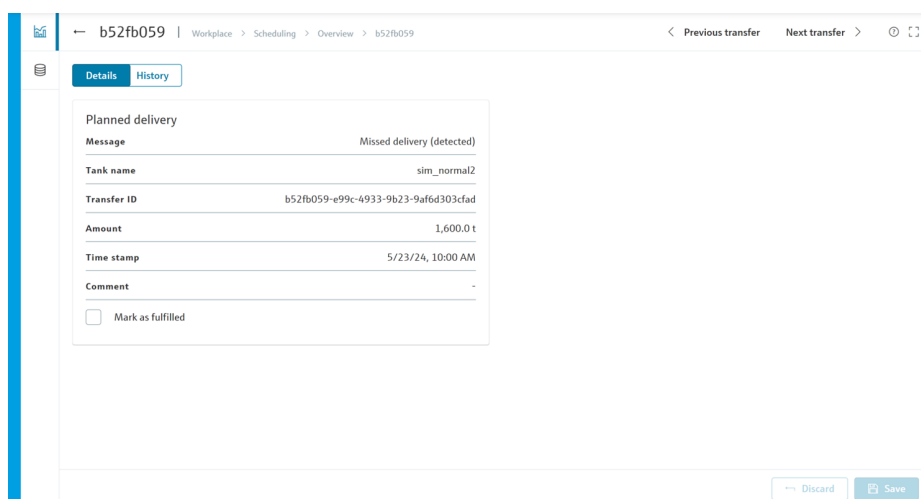
8.2.1 ステータスの編集

以下のステータス情報を表示できます。

	検出済み 検出済み ステータスは、以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで確定ボタンを使用して編集できます。 ▪ 失敗した納品/廃棄がシステムで検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して編集できます。 ▪ 測定データがないことが検出されました。この納品/廃棄は、詳細タブで完了としてマークボタンを使用して編集できます。
	承認済み 承認済み ステータスは、以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 納品/廃棄の作成時に、スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が確認されました。 ▪ スケジュールするのが早すぎる/遅すぎる納品または廃棄が、詳細タブで確認されました。
	削除済み 納品予定/廃棄予定が削除されました。
	新規 新規納品/廃棄が予定されました。
	実行済み 新規納品/廃棄が記録されました (実行済み)。納品/廃棄が実行された場合、SupplyCare では 納品 (検出済み) / 廃棄 (検出済み) として表示されます。失敗した納品/廃棄または測定データなしが検出された場合、この納品/廃棄は 詳細 タブで 完了 として マーク チェックボックスを使用して編集できます。この納品/廃棄は、完了した納品 (確認済み) / 完了した廃棄 (確認済み) として表示されます。
	編集済み 納品予定/廃棄予定が編集されました。

ステータスの編集

1. ワークプレイスメニュー  で、**予定の指定**メニュー項目をクリックします。
2. 概要テーブルで、ステータスを編集する納品/廃棄をクリックします。
3. **詳細**タブを選択します。
 ↳ 作業エリアに納品予定/廃棄予定の詳細が表示されます。



The screenshot shows a web interface for a 'Planned delivery' record. The breadcrumb navigation is 'b52fb059 | Workplace > Scheduling > Overview > b52fb059'. There are tabs for 'Details' and 'History'. The form contains the following information:

- Message: Missed delivery (detected)
- Tank name: sim_normal2
- Transfer ID: b52fb059-e99c-4933-9b23-9af6d303cfad
- Amount: 1,600.0 t
- Time stamp: 5/23/24, 10:00 AM
- Comment: -

At the bottom of the form, there is a checkbox labeled 'Mark as fulfilled'.


4. **完了**として**マーク**チェックボックスをオンにして、以下のステータスを編集します。
 - 失敗した納品/廃棄 (検出)
 - 失敗した納品/廃棄 (測定なし)

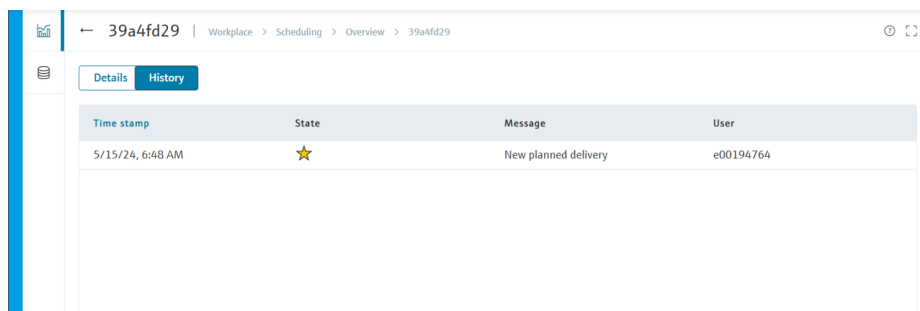
5. あるいは、承認チェックボックスをクリックして、以下のステータスを編集します。

- 納品短縮/早期廃棄 (検出)
- 納品遅延/遅延廃棄 (検出)

8.2.2 ステータス履歴の表示


履歴の表示

1. ワークプレイスメニュー  で、予定の指定メニュー項目をクリックします。
2. 概要テーブルで、予定の履歴を表示する納品/廃棄をクリックします。
3. 履歴タブを選択します。
 - ↳ 作業エリアに、選択した納品/廃棄の予定の履歴が表示されます。




Time stamp	State	Message	User
5/15/24, 6:48 AM	★	New planned delivery	e00194764


8.3 納品/廃棄の管理


 標準タンクの納品およびリサイクルタンクの廃棄を予定できるのは、ユーザーロールがスケジューラであるユーザーのみです。

各標準タンクに対して複数の納品 (1日につき最大3回の納品) を予定できます。各リサイクルタンクに対して複数の廃棄 (1日につき最大3回の廃棄) を予定できます。各納品間/各廃棄間には30分以上の間隔が必要です。

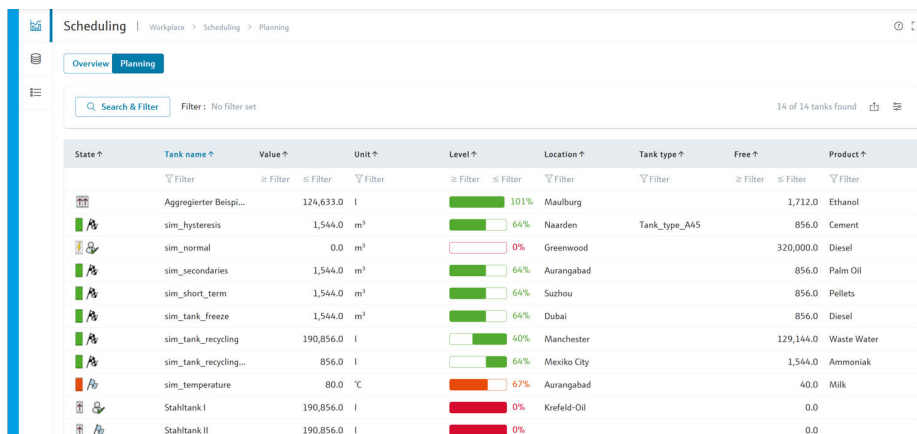
タイムゾーンには、ユーザー設定でユーザーが選択したタイムゾーンが使用されます。単位には、タンクの単位が使用されます。質量単位と体積単位については、ユーザー設定メニュー項目の質量単位/体積単位フィールドの設定が優先されます。

タンクが非稼働である場合、カレンダーのステータスがバーと  シンボルで表示されます。この期間は納品/廃棄を予定できません。

納品予定/廃棄予定は、カレンダーおよび在槽チャートタブに納品用トラックのアイコン  で示されます。

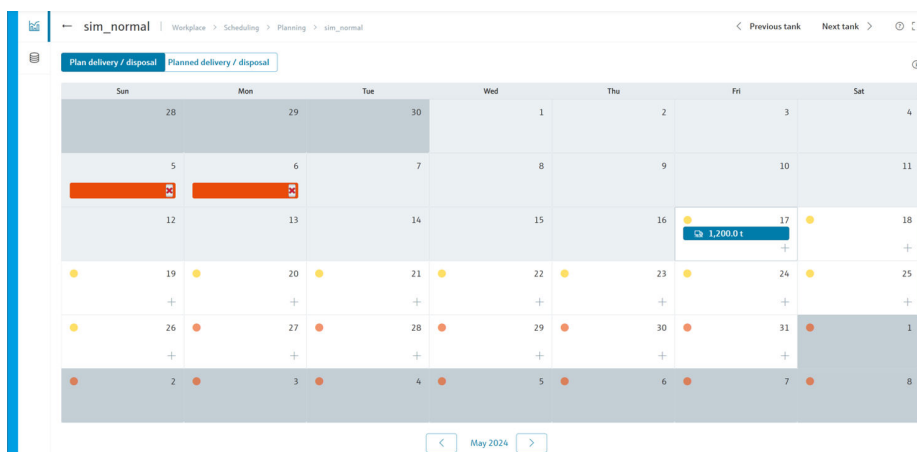
1. ワークプレイスメニュー  で、予定の指定メニュー項目をクリックします。

2. スケジュールリングタブを選択します。
 ↳ 作業エリアに概要が表示されます。






State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
	Aggregierter Beispi...	124,633.0	l	101%	Maulburg			1,712.0 Ethanol
	sim_hysteresis	1,544.0	m³	64%	Naarden	Tank_type_A45		856.0 Cement
	sim_normal	0.0	m³	0%	Greenwood			320,000.0 Diesel
	sim_secondaries	1,544.0	m³	64%	Aurangabad			856.0 Palm Oil
	sim_short_term	1,544.0	m³	64%	Suzhou			856.0 Pellets
	sim_tank_freeze	1,544.0	m³	64%	Dubai			856.0 Diesel
	sim_tank_recycling	190,856.0	l	40%	Manchester			129,144.0 Waste Water
	sim_tank_recycling...	856.0	l	64%	Mexiko City			1,544.0 Ammoniak
	sim_temperature	80.0	°C	67%	Aurangabad			40.0 Milk
	Stahltank I	190,856.0	l	0%	Krefeld-Oil			0.0
	Stahltank II	190,856.0	l	0%				0.0



3. 概要テーブルで、納品/廃棄を予定するタンクをクリックします。
 ↳ 作業エリアにカレンダーが表示されます。



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

カレンダーには現在の月が表示されます。現在の日付は暗い境界線に囲まれて表示され、未来のすべての日付は、背景が白色で色付きのドットが表示されます。このドットの色は、その日付のタンクステータスの予測値を示します。過去の日付は薄い灰色の背景で表示されます。他の月の日付は濃い灰色の背景で表示されます。

	OK - 緑色 標準タンク： 予測値は予定ポイントを上回っています。 リサイクルタンク： 予測値は予定ポイントを上回っています。
	予定ポイント - 黄色 標準タンク： 予測値は予定ポイントから出荷ポイントまでの範囲内です。 リサイクルタンク： 予測値は予定ポイントから安全在庫までの範囲内です。
	出荷ポイント - オレンジ色 標準タンク： 予測値は出荷ポイントから安全在庫までの範囲内です。 リサイクルタンク： 該当なし。


	安全在庫 - 赤色 標準タンク： 予測値は安全在庫レベルを下回っています。 リサイクルタンク： 予測値は安全在庫を上回っています。
	非稼働

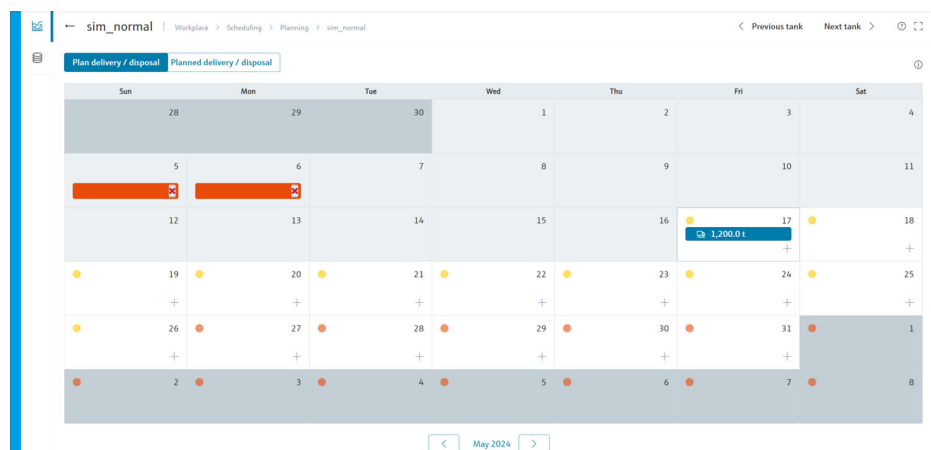
カレンダーの右上にある ⓘ ボタンをクリックすると、レジェンドが表示されます。

i 特定の日付の色（タンクステータス）が設定される時間は、00:00（午前0時）です。たとえば、5月15日の04:00（午前4時）に「出荷ポイント」に達し、5月15日の20:30（午後8時30分）に「安全在庫」に達した場合、背景色は「安全在庫」に関連する赤色に変更されます。

8.3.1 納品または廃棄を予定

納品または廃棄を予定

1. ワークプレイスメニュー  で、**予定の指定**メニュー項目をクリックします。
2. **スケジューリング**タブを選択します。
3. 概要テーブルで、納品/廃棄を予定するタンクをクリックします。
↳ 作業エリアに**納品/廃棄を予定**タブが表示されます。



4. 任意：< および > ボタンを使用して、納品/廃棄が予定されている月を選択します。

5. 灰色の「+」は、納品/廃棄が可能な日付を示します。灰色の「+」をクリックして、目的の日付に納品/廃棄を予定します。
- 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。

Plan delivery×

Tank name	sim_secondaries2
Forecast value	127,512.6
Range	13 day(s)
Delivery date and time *	
📅 6/19/24	
🕒 10:00	
Amount *	in m ³
1200	
Comment	

× Cancel
💾 Save

6. **納品日時**を入力するか、または提案されたデータを使用します。日付と時刻を直接入力するか、または日付選択ダイヤル 📅 と時間選択ダイヤル 🕒 を使用して選択します。
7. **予定量**を入力するか、または提案された量を使用します。
8. 任意：**コメント**フィールドにコメント/メモを入力します。
9. 📁 **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
- 納品予定/廃棄予定は、納品用トラックのアイコン 🚛 と予定量とともにカレンダーに表示されます。フィールドの上にカーソルを合わせると、量が表示されます。
- i** データを入力すると、妥当性チェックが実行されます。入力値に妥当性がない場合は、エラーメッセージが表示されるか、または関連する通知がその入力フィールドの下に直接表示されます。「妥当性チェック」セクションを参照してください。

タンク名

選択したタンクの名前。

予測値

予測レベル。

契約内容に応じて：新規納品予定/新規廃棄予定ごとの予測レベルの計算に、既存の納品予定/廃棄予定も考慮されます。この機能を利用できず、有効化する必要がある場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

範囲

入力した量に対して安全在庫に達するまでの日数が表示されます。標準タンクの場合、この日数は「1日平均払出量」の値から計算されます。リサイクルタンクの場合、この日数は「1日平均受入量」の値から計算されます。

8.3.2 妥当性チェック

i 妥当性チェックが実行されるのは、最新または次の納品予定/廃棄予定のみです。

i 妥当性チェックは、タンクの安全在庫 (SST) および予定ポイント (PP) が保存された場合にのみ実行されます。

納品予定/廃棄予定のデータを入力したときに、妥当性チェックが実行されます。予定量、日付、時刻がチェックされます。安全在庫 (SST) および予定ポイント (PP) の計算値を使用して、予定日時がチェックされます。予定日が、予定ポイントに達すると予測される計算上の日付より前の場合、「予測値を考慮すると、予定された納品日/廃棄日は早すぎる可能性があります」という情報メッセージが表示されます。予定日が、安全在庫に達すると予測される日付より後の場合、「予測値を考慮すると、予定された納品日/廃棄日は遅すぎる可能性があります」という情報メッセージが表示されます。たとえば、予定量がタンクの容量を超えるような場合は、「量は容量と同じかそれより小さい必要があります」というエラーメッセージが表示されます。

Plan disposal

Tank name: sim_tank_recycling

Forecast value: 200,652.6

Range: 31 day(s)

Delivery date and time *

9/20/24
In consideration of the forecast value(s) the planned disposal date might be too early.

10:00
In consideration of the forecast value(s) the planned disposal date might be too early.

Amount * in l
 400,000
 Amount must be smaller than or equal Capacity.

Comment

Cancel Save

エラーメッセージ（赤色）が表示されている間は、納品予定/廃棄予定を保存することはできません。それ以外の場合は、情報メッセージ（青色）が表示されている場合でも、スケジューリングは保存可能です。

8.3.3 納品または廃棄の削除

1. ワークプレイスメニュー で、予定の指定メニュー項目をクリックします。
2. スケジューリングタブを選択します。
3. 概要テーブルで、納品/廃棄を削除するタンクをクリックします。
 ↳ 作業エリアに**納品/廃棄を予定**タブが表示されます。

4. 項目を削除するには、カレンダーの該当する項目をクリックします。
 - ↳ 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。

Plan delivery
×

Tank name sim_secondaries2

Delivery date and time *

📅 6/27/24

🕒 10:00

Amount * in m³

1200

Comment

× Cancel

🗑 Delete

💾 Save

5. 🗑 **削除**ボタンをクリックして納品または廃棄を削除します。
 - ↳ ダイアログボックスが開き、「本当に削除してよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。
6. ✓ **OK** をクリックして項目を削除します。
7. または、× **キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。

8.3.4 納品または廃棄の編集


以下のいずれかのステータスを持つ納品/廃棄を編集できます。




- 新規予定
- 短縮
- 短縮（確認済み）
- 遅延
- 遅延（確認済み）


i 過去の納品予定/廃棄予定を編集する場合は、その納品日時を未来の日時に変更する必要があります。

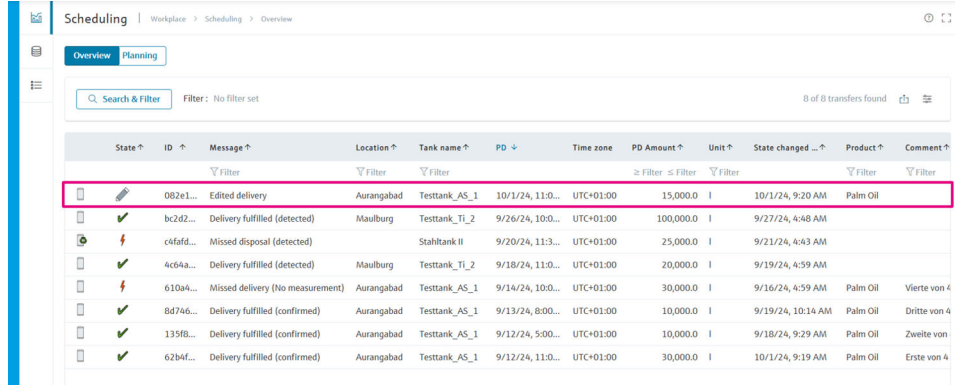
i ステータスが「失敗」または「実行済み」の納品/廃棄は編集できません。

納品または廃棄の編集

1. **ワークプレイス**メニュー  で、**予定の指定**メニュー項目をクリックします。
2. **スケジューリング**タブを選択します。
3. 概要テーブルで、納品/廃棄を編集するタンクをクリックします。
 - ↳ 作業エリアに**納品/廃棄を予定**タブが表示されます。
4. カレンダー内の目的の項目をクリックして編集します。
 - ↳ 標準タンクの場合は、**納品を予定**ダイアログボックスが表示されます。リサイクルタンクの場合は、**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。
5. 目的のデータを編集します。例：量フィールドに異なる量を入力します。
 - ↳ ダイアログボックスが開き、「本当に削除してよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。


6.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
 - ↳ 納品予定/廃棄予定は、納品用トラックのアイコン  と予定量とともにカレンダーに表示されます。フィールドの上にカーソルを合わせると、量が表示されます。
7. または、 **キャンセル** ボタンをクリックして処理を中止します。

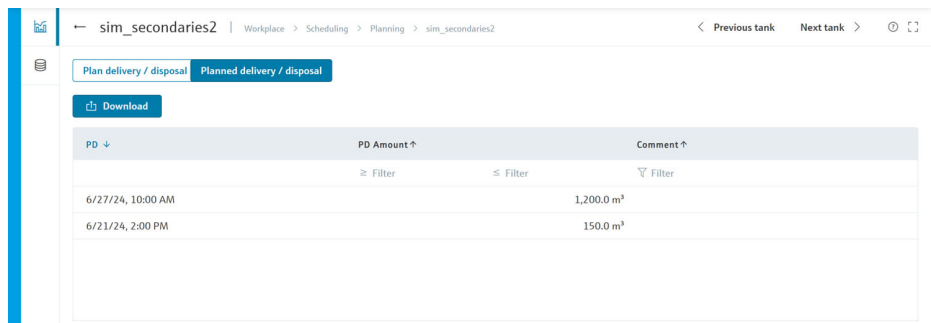
概要テーブルでは、編集した納品/廃棄のステータスが「編集済み」に変更され、 シンボルが表示されます。



State	ID	Message	Location	Tank name	PD	Time zone	PD Amount	Unit	State changed ...	Product	Comment
	082e1...	Edited delivery	Aurangabad	Testtank_AS_1	10/1/24, 11:00...	UTC+01:00	15,000.0	l	10/1/24, 9:20 AM	Palm Oil	
	bc2d2...	Delivery fulfilled (detected)	Maulburg	Testtank_TI_2	9/26/24, 10:00...	UTC+01:00	100,000.0	l	9/27/24, 4:48 AM		
	c4fafd...	Missed disposal (detected)		Stahltank II	9/20/24, 11:30...	UTC+01:00	25,000.0	l	9/21/24, 4:43 AM		
	4c64a...	Delivery fulfilled (detected)	Maulburg	Testtank_TI_2	9/18/24, 11:00...	UTC+01:00	20,000.0	l	9/19/24, 4:59 AM		
	610a4...	Missed delivery (No measurement)	Aurangabad	Testtank_AS_1	9/14/24, 10:00...	UTC+01:00	30,000.0	l	9/16/24, 4:59 AM	Palm Oil	Vierte von 4
	8d746...	Delivery fulfilled (confirmed)	Aurangabad	Testtank_AS_1	9/13/24, 8:00...	UTC+01:00	10,000.0	l	9/19/24, 10:14 AM	Palm Oil	Dritte von 4
	135f8...	Delivery fulfilled (confirmed)	Aurangabad	Testtank_AS_1	9/12/24, 5:00...	UTC+01:00	10,000.0	l	9/18/24, 9:29 AM	Palm Oil	Zweite von 4
	62b4f...	Delivery fulfilled (confirmed)	Aurangabad	Testtank_AS_1	9/12/24, 11:00...	UTC+01:00	30,000.0	l	10/1/24, 9:19 AM	Palm Oil	Erste von 4


8.4 納品予定/廃棄予定の表示および Excel スプレッドシートでの保存

1. ワークプレイスメニュー  で、**予定の指定**メニュー項目をクリックします。
2. **スケジューリング**タブを選択します。
3. 概要テーブルで、納品/廃棄を表示するタンクをクリックします。
4. **納品予定/廃棄予定**タブを選択します。
 - ↳ 作業エリアに概要テーブルが表示されます。




PD	PD Amount	Comment
6/27/24, 10:00 AM	1,200.0 m³	
6/21/24, 2:00 PM	150.0 m³	

テーブルには、選択したタンクのすべての納品/廃棄が、日付 (PD 列)、量 (PD 量列)、コメントとともに表示されます。

5.  **ダウンロード** ボタンをクリックして、テーブルを Excel スプレッドシートとしてエクスポートします。
 - ↳ 「Planned_transfer_[タンク名].xlsx」という名前のファイルがダウンロードされます。

8.5 予測計画



 **予測計画**を作成できるのは、ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーのみです。

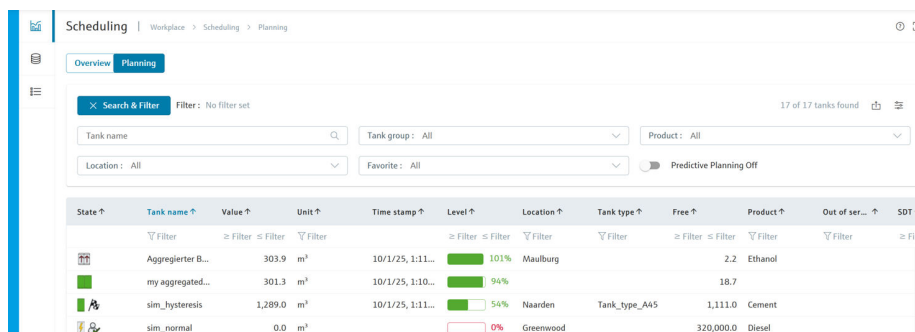
概要テーブルにタンクの予測値を表示して、納品/廃棄を効率的に予定できます。予測値を Excel スプレッドシートとしてエクスポートすると、特に在庫が多い場合に、このデータをより分かりやすく把握できます。

タンクの予測値がテーブルに表示されるのは、以下の条件を満たす場合のみです。

- 予測が有効です（設定メニュー → タンク）。
- タンクがプライマリ測定値に関連付けられており、マニュアル値は考慮されません。
- 集合タンク：少なくとも 1 つの構成タンクを割り当てる必要があります。

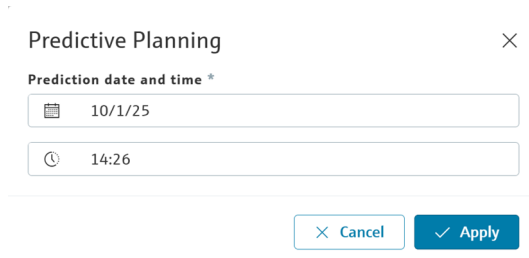
予測計画の使用

1. ワークプレイスメニュー  で、予定の指定メニュー項目をクリックします。
2. スケジューリングタブを選択します。
3.  検索&フィルタリングボタンをクリックします。
↳ 使用可能なフィルターが表示されます。




State	Tank name	Value	Unit	Time stamp	Level	Location	Tank type	Free	Product	Out of ser...	SDT
	Aggregierter B...	303.9	m³	10/1/25, 1:11...	101%	Maulburg			2.2	Ethanol	
	my aggregated...	301.3	m³	10/1/25, 1:10...	94%				18.7		
	sim_hysteresis	1,289.0	m³	10/1/25, 1:11...	54%	Naarden	Tank_type_A65		1,111.0	Cement	
	sim_normal	0.0	m³		0%	Greenwood			320,000.0	Diesel	

4. 予測計画切替えスイッチをオンにします。
↳ 予測計画ダイアログボックスが表示されます。

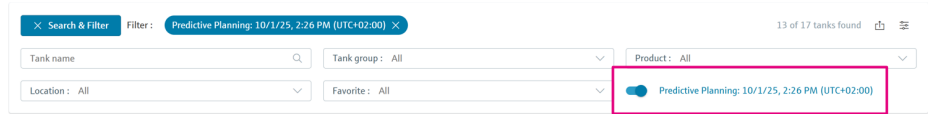


Predictive Planning ×

Prediction date and time *

5. 予測値を計算する日時を選択します。
-  未来の日時を指定する必要があります。デフォルトでは、現在の日時に 1 時間加算されて表示されます。

6. ✓ 適用ボタンをクリックして予測値を計算します。
 - ↳ 切替えスイッチがオンになり、選択した時刻が「日付, 時刻 (タイムゾーン)」の形式で表示されます。タイムゾーンには、ユーザー設定で選択されたタイムゾーンが表示されます。



選択した日時の値とステータス情報がテーブルで更新されます。
タイムスタンプは青色で表示され、その後に **FOR** というテキストが表示されます。

State	Tank name	Value	Unit	Time stamp	Level	Location	Tank type	Free	Product	Out of ser...	SDT
	Aggregierter B...	303.2	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	101%	Maulburg		0.0	Ethanol		
	my aggregated...	300.9	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	94%			19.1			
	sim_hysteresis	1,176.1	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	49%	Naarden	Tank_type_A45	1,223.9	Cement		
	sim_secondaries	1,176.1	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	49%	Aurangabad		1,223.9	Palm Oil		
	sim_short_term	1,176.1	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	49%	Suzhou		1,223.9	Pellets		
	sim_tank_freeze	1,176.1	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	49%	Dubai		1,223.9	Diesel		
	sim_tank_recy...	11.5	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	4%	Manchester		308.5	Waste Water		
	sim_tank_recy...	1.2	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	51%	Mexiko City		1.2	Ammoniak		
	sim_temperat...	110.0	°C	10/1/25, 2:26 PM FOR	92%	Aurangabad		10.0	Milk		
	Stahltank i	11.5	m³	10/1/25, 2:26 PM FOR	38%	Krefeld-Oil		18.5			

以下の値が更新されます。

- ステータス
- 値
- レベル
- フリー
- 最適値の制限なし
- DSST
- スケージングされた値
- 貨幣価値
- 非稼働 (開始日と終了日を含む)

i テーブルには、予測値を計算するための条件を満たすタンクのみが表示されます。
 予測計画がオンになっている限り、テーブルは自動的に更新されません。

予測計画の編集


予測計画は、別の日時の予測値を計算する場合に調整できます。

1. 予測計画切替えスイッチに加えて、表示されている時刻もクリックします。
 - ↳ 予測計画ダイアログボックスが表示されます。
2. 予測値を計算する日時を選択します。
3. ✓ 適用ボタンをクリックして新しい予測値を計算します。
 - ↳ テーブルに更新された値が表示されます。


予測計画の無効化

1. 予測計画切替えスイッチをオフにします。
 - ↳ この概要テーブルには、ユーザーに割り当てられているすべてのタンクが表示されます。
 テーブルは再び自動的に更新されます。

2. または、表示されているフィルターを削除します。

 **スケジューリング**タブを終了すると、**予測計画**切替えスイッチは自動的にオフになります。

予測計画のエクスポート

1. **予測計画**をオンにします。
2.  ボタンをクリックして、テーブルを Excel スプレッドシートとしてエクスポートします。
 - ↳ 「Workplace_Scheduling_Forecast.xlsx」という名前のファイルがダウンロードされます。

Excel スプレッドシートには、概要テーブルに表示され、予測値に関する条件を満たすすべてのタンクが含まれます。**タイムスタンプ**列の値の後に、**FOR**というテキストが表示されます。これは、計算された予測値がエクスポートされており、測定値はエクスポートされていないことを示します。

9 積算の実行 – 「合計」ワークプレイス

i ユーザーロールが読み取り専用、スケジューラまたはオペレータに設定されているユーザーは、合計メニュー項目を使用できません。

i 合計メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。


合計メニュー項目では、以下のフィールドの値を合計できます。

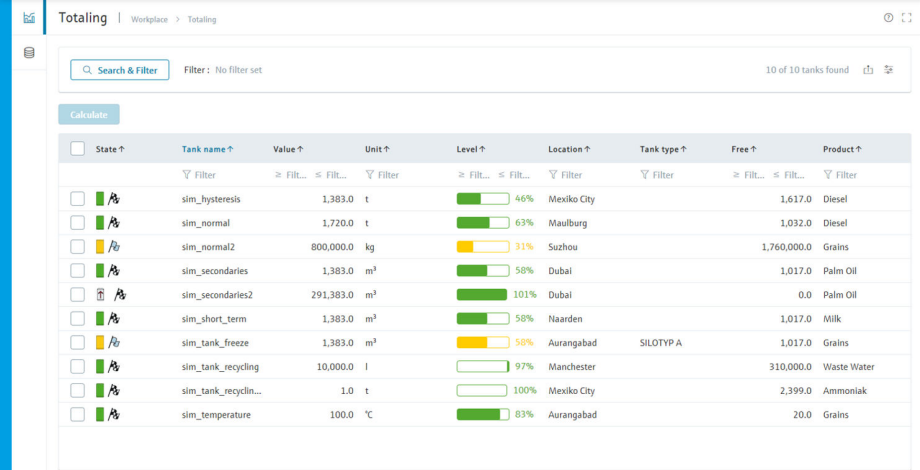
- 値
- 容量
- フリー
- PD 量
- 貨幣価値

合計されたレベルはグラフィカルに表示されます。

標準タンクの値とリサイクルタンクの値を合計することができます。タンクおよび集合タンクを計算に含めることができます。

合計の実行

1.  ワークプレイスメニューで、合計メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに、割り当てられたタンクのテーブルが表示されます。



State	Tank name	Value	Unit	Level	Location	Tank type	Free	Product
<input type="checkbox"/>	sim_hysteresis	1,383.0	t	46%	Mexiko City		1,617.0	Diesel
<input type="checkbox"/>	sim_normal	1,720.0	t	63%	Maulburg		1,032.0	Diesel
<input type="checkbox"/>	sim_normal2	800,000.0	kg	31%	Suzhou		1,760,000.0	Grains
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries	1,383.0	m³	58%	Dubai		1,017.0	Palm Oil
<input type="checkbox"/>	sim_secondaries2	291,383.0	m³	101%	Dubai		0.0	Palm Oil
<input type="checkbox"/>	sim_short_term	1,383.0	m³	58%	Naarden		1,017.0	Milk
<input type="checkbox"/>	sim_tank_freeze	1,383.0	m³	58%	Aurangabad	SILOTYP A	1,017.0	Grains
<input type="checkbox"/>	sim_tank_recycling	10,000.0	l	97%	Manchester		310,000.0	Waste Water
<input type="checkbox"/>	sim_tank_recyclin...	1.0	t	100%	Mexiko City		2,399.0	Ammoniak
<input type="checkbox"/>	sim_temperature	100.0	°C	83%	Aurangabad		20.0	Grains

2. テーブルで、合計するすべてのタンクのチェックボックスをオンにします。フィルター関数を使用してテーブルでフィルター処理を行うと、目的のタンクをすばやく選択できます。

i 計算対象として少なくとも1つのタンクを選択する必要があります。

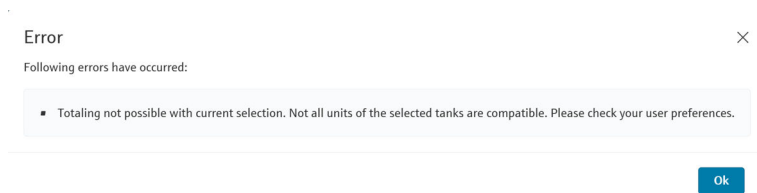
i 貨幣価値を計算するには、最初に設定メニューの製品詳細タブで価格を入力する必要があります。「製品の作成」セクションを参照してください。

i 合計できるのは、換算可能な単位と通貨が設定されたタンクのみです。単位と通貨はユーザー設定で設定します。これにより、換算可能な値がこの単位/通貨に換算され、タンクを合計できるようになります。「ユーザー設定の選択および変更」セクションを参照してください。

i 列ヘッダーのチェックボックスがオンにすると、現在表示されているすべてのタンクがテーブルで選択されます (有効)。このチェックボックスをオフにすると、現在表示されているすべてのタンクの選択が解除されます (無効)。

3. 計算ボタンをクリックします。

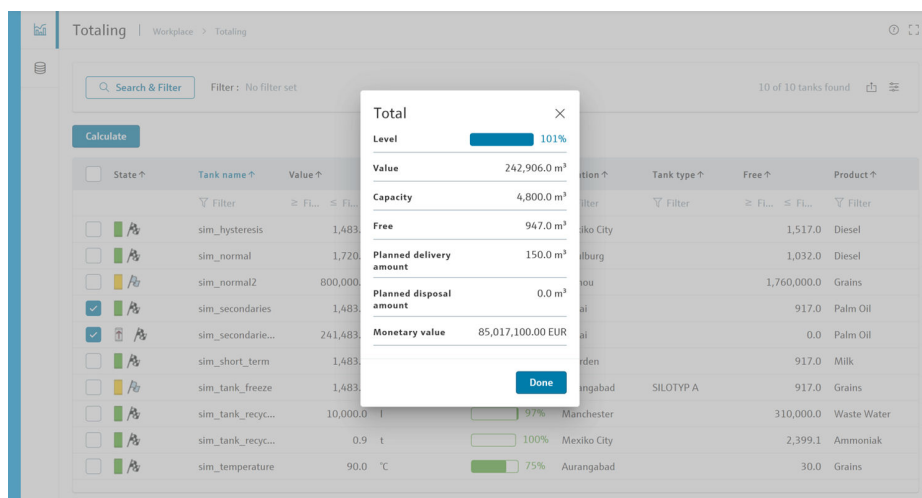
- ↳ 単位や貨幣価値が異なるタンクを合計した場合、SupplyCare ではエラーメッセージが表示され、計算は実行されません。



4. OK をクリックして、エラーメッセージを確認します。

5. 互換性のあるタンクを選択して計算を実行します。

- ↳ 合計ダイアログボックスが表示されます。



6. 実行済みボタンをクリックして計算を終了します。

- ↳ ダイアログボックスが閉じ、テーブルが表示されます。

7. 任意：新しい計算を実行します。

- i** 貨幣価値を計算できない場合、計算できない理由に関する情報メッセージが貨幣価値の下に表示されます。

10 分析データの表示 - 「分析」ワークプレイス

i ユーザーロールが**スケジューラ**または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**分析**メニュー項目を使用できます。

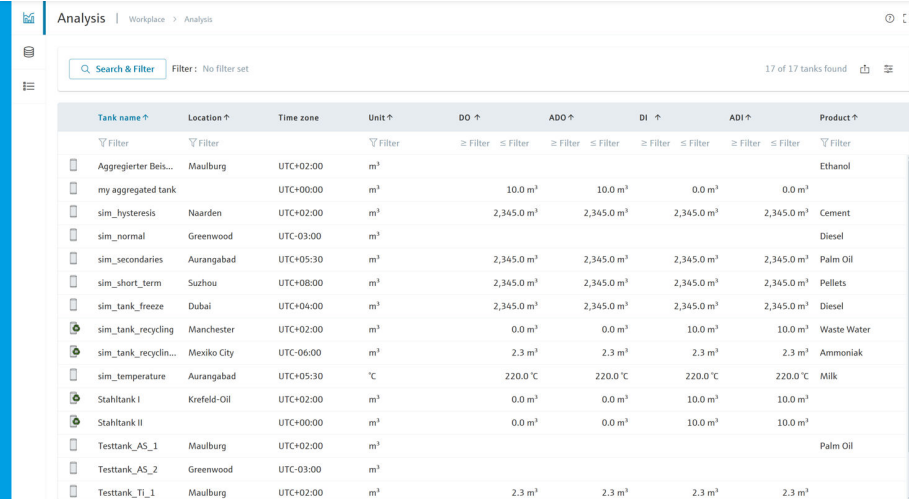
i **分析計**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

このメニュー項目には、各タンクの受入量/払出量に関する重要な指標がデータとチャートで表示されます。このデータとチャートは、倉庫管理やロジスティクスのビジネスプロセス分析に使用し、今後の計画作成の基礎として活用できます。すべての情報は、Excel スプレッドシートとしてエクスポートできます。チャートを印刷することもできます。

i タンクが輸送され、水平位置に配置されると、機器は測定データを送信し続けます。SupplyCare では、アラーム、スケジューリングデータ、受入量や払出量の計算などに応じて測定データが処理されるため、輸送前にタンクサービスのステータスを適切に設定する必要があります。「タンクサービスのステータスの編集」セクションを参照してください。

分析データの表示


1. **ワークプレイス**メニューで、**分析計**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに、割り当てられたタンクのテーブルが表示されます。



Tank name	Location	Time zone	Unit	DO	ADO	DI	ADI	Product
Aggregierter Beis...	Maulburg	UTC+02:00	m³					Ethanol
my aggregated tank		UTC+00:00	m³	10.0 m³	10.0 m³	0.0 m³	0.0 m³	
sim_hysteresis	Naarden	UTC+02:00	m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	Cement
sim_normal	Greenwood	UTC-03:00	m³					Diesel
sim_secondaries	Aurangabad	UTC+05:30	m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	Palm Oil
sim_short_term	Suzhou	UTC+08:00	m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	Pellets
sim_tank_freeze	Dubai	UTC+04:00	m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	2,345.0 m³	Diesel
sim_tank_recycling	Manchester	UTC+02:00	m³	0.0 m³	0.0 m³	10.0 m³	10.0 m³	Waste Water
sim_tank_recyclin...	Mexiko City	UTC-06:00	m³	2.3 m³	2.3 m³	2.3 m³	2.3 m³	Ammoniak
sim_temperature	Aurangabad	UTC+05:30	°C	220.0 °C	220.0 °C	220.0 °C	220.0 °C	Milk
StahlTank I	Krefeld-Oil	UTC+02:00	m³	0.0 m³	0.0 m³	10.0 m³	10.0 m³	
StahlTank II		UTC+00:00	m³	0.0 m³	0.0 m³	10.0 m³	10.0 m³	
Testtank_AS_1	Maulburg	UTC+02:00	m³					Palm Oil
Testtank_AS_2	Greenwood	UTC-03:00	m³					
Testtank_TI_1	Maulburg	UTC+02:00	m³	2.3 m³	2.3 m³	2.3 m³	2.3 m³	

2. テーブル内の目的のタンクをクリックして、分析データを表示します。
3. **前日**または**KPI**タブを選択します。
 ↳ 選択したタブに分析データが表示されます。

10.1 「分析計」概要テーブル

フィルターおよび表示オプションエリアの  ボタンをクリックして、**データ選択**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、テーブル列に表示するデータを選択します。必要に応じて、列の順番を変更できます。

概要テーブルで使用可能なデータを以下に示します。

計画タイプ

計画タイプとして「標準タンク」または「リサイクルタンク」が表示されます。

地域

タンクの地域が表示されます。地域はその地域の名前です。

この名前は、**地域**フィールドで入力します。

パス：設定 → タンク → タンク詳細 → 地域。

地域は**地域**メニュー項目で管理します。

タンク名

タンク名が表示されます。タンク名は、**タンク名**フィールドで入力します。
パス：設定 → タンク → タンク詳細 → タンク名。

単位

主測定値（プライマリバリュー）の単位は、**タンクの単位**フィールドで設定します。
パス：設定 → タンク → タンク詳細 → タンクの単位。

質量単位と体積単位については、**ユーザー設定**メニュー項目の**質量単位/体積単位**フィールドの個人設定が優先されます。

タイムゾーン

タイムスタンプのタイムゾーン。地域のタイムゾーンが使用されます。タンクに地域が割り当てられていない場合は、「標準時 +00:00」タイムゾーンが使用されます。

DO (1日払出量)

最後に計算された1日払出量が表示されます。

ADO (1日平均払出量)

「1日平均払出量」の値が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。リサイクルタンクでは、このフィールドは空です。

DI (1日受入量)

最後に計算された1日受入量が表示されます。

ADI (1日平均受入量)

「1日平均受入量」の値が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。標準タンクでは、このフィールドは空です。

製品

タンク内の製品が表示されます。

10.2 前日

このタブには、選択したタンクの前日の受入量/払出量に関する重要な指標が表示されます。

sim_secondaries Workplace > Analysis > sim_secondaries	
Previous Day: 6/24/25 (UTC+05:30)	
Daily outflow	2,345.0 m ³
Average daily outflow	2,345.0 m ³
Daily inflow	2,345.0 m ³
Day(s) until reaching safety stock	0d 11h
Next planned delivery time	-
Next planned delivery amount	-

1日払出量/1日受入量フィールドには、最後の計算値が表示されます。

1日払出量

入力したデータに対して計算された1日払出量が表示されます。

1日平均払出量/1日平均受入量

これらの値は1日の平均量を使用して計算されます。平均量の計算は、設定された「予測ベース」値に基づきます。

- 標準タンク：1日平均払出量
- リサイクルタンク：1日平均受入量

1日受入量

前日の受入量が表示されます。

安全在庫に達するまでの日数

安全在庫に達するまでの推定残り日数が表示されます。この値は1日の平均量を使用して計算されます。

「安全在庫」が無効化された場合、または「0」が設定されている場合、**安全在庫に達するまでの日数**は空になります。

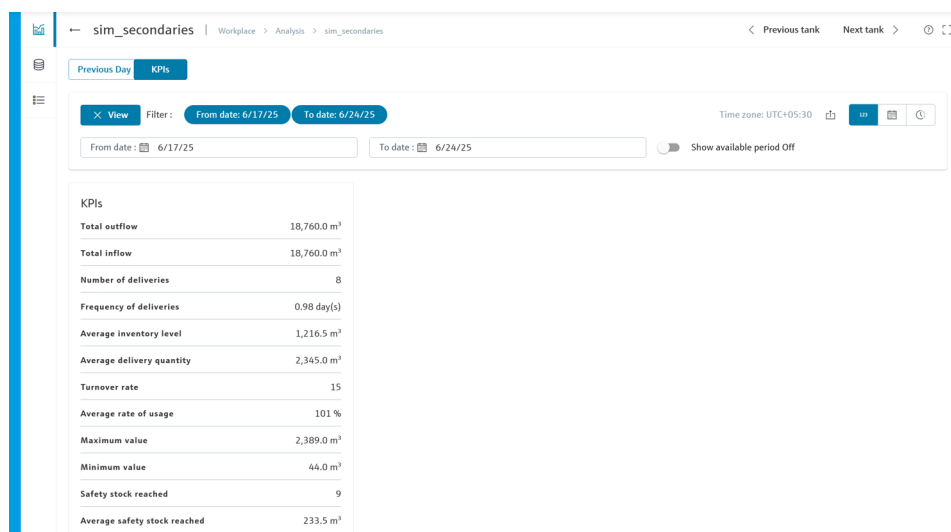
次の納品予定/次の廃棄予定

- 標準タンク：次の納品予定が表示されます。
- リサイクルタンク：次の廃棄予定が表示されます。

10.3 主要業績評価指標 - KPI

10.3.1 データの表示

KPI タブには、選択したタンクのすべての受入量/払出量に関する重要な指標が表示されます。



KPIs	
Total outflow	18,760.0 m³
Total inflow	18,760.0 m³
Number of deliveries	8
Frequency of deliveries	0.98 day(s)
Average inventory level	1,216.5 m³
Average delivery quantity	2,345.0 m³
Turnover rate	15
Average rate of usage	101 %
Maximum value	2,389.0 m³
Minimum value	44.0 m³
Safety stock reached	9
Average safety stock reached	233.5 m³

選択した期間のデータの表示

1. **表示** ボタンをクリックして選択フィールドを開きます。
2. **開始日**と**終了日**を入力して、期間を選択します。日付を直接入力するか、または日付選択ダイヤルから選択します。
 - ↳ 選択した期間の値が分析されます。
3. 任意：**使用可能な期間の表示**切替えスイッチをオンにします。
 - ↳ 保存されているすべての値が分析されます。

i 期間が選択されていない場合：

- **開始日**フィールドには、現在の日付より8日前の日付が表示されます。
- 標準では、**終了日**フィールドには、現在の日付より1日前の日付が表示されま

i **使用可能な期間の表示**切替えスイッチがオンの場合、**開始日**と**終了日**は、データが使用可能な期間に設定されます。ユーザーが**開始日**または**終了日**を変更した場合、**使用可能な期間の表示**切替えスイッチはオフになります。

合計払出量

入力した期間における合計払出量が表示されます。

合計受入量

入力した期間における合計受入量が表示されます。

納品回数

入力した期間における納品回数が表示されます。

納品周期/廃棄周期

- 標準タンク：入力した期間における平均納品周期が表示されます。
- リサイクルタンク：入力した期間における平均廃棄周期が表示されます。

平均在槽レベル

入力した期間における平均量が表示されます。

平均納品量/平均廃棄量

レベルの変動により不正確な結果が出力されないように、タンクの設定時にヒステリシスフィールドに入力された値が計算要素に組み込まれます。

- 標準タンク：指定期間における平均納品量が表示されます。
- リサイクルタンク：指定期間における平均廃棄量が表示されます。

回転率

入力した期間における回転率が表示されます。

- 標準タンクの場合の計算式： $\text{合計払出量} / \text{平均在槽レベル}$
- リサイクルタンクの場合の計算式： $\text{合計受入量} / \text{平均在槽レベル}$

平均使用率

入力した期間における平均使用率が表示されます。

- 標準タンクの場合の計算式： $(\text{平均在槽レベル} / \text{最適値}) \times 100$
「最適値」が無効化されているか、または値が「0」である場合、入力した容量を使用して計算されます。
- リサイクルタンクの場合の計算式： $(\text{平均在槽レベル} / \text{安全在庫}) \times 100$ 。
「安全在庫」が無効化されている場合、入力した容量を使用して計算されます。

最大値

入力した期間における最大値。

最小値

入力した期間における最小値。

安全在庫に達しました

標準タンクの場合は、入力した期間に安全在庫を下回った回数を示し、リサイクルタンクの場合は、入力した期間に安全在庫を超過した回数を示します。

- 標準タンクの場合の評価基準：測定値が安全在庫の入力値よりも小さい。
- リサイクルタンクの場合の評価基準：測定値が安全在庫の入力値よりも大きい。
- 設定されたヒステリシス内の測定値は考慮されません。「タンクの作成」セクションの「ヒステリシス」を参照してください。
- 「安全在庫」が無効化されている場合、**安全在庫に達しました**フィールドは空になります。
- 「安全在庫」の値が「0」の場合、**安全在庫に達しました**フィールドの値も「0」になります。

平均安全在庫に達しました

- 標準タンク：入力した期間に安全在庫を下回った差分の平均値。
- リサイクルタンク：入力した期間に安全在庫を超過した差分の平均値。
- 設定されたヒステリシス内の測定値は考慮されません。「タンクの作成」セクションの「ヒステリシス」を参照してください。
- 「安全在庫」が無効化されている場合、**平均安全在庫に達しました**フィールドは空になります。
- 「安全在庫」の値が「0」の場合、**平均安全在庫に達しました**フィールドの値も「0」になります。

10.3.2 データのエクスポート


選択した期間のデータを Excel ファイルに保存できます。

Excel ファイルには以下のデータが含まれます。

- タンク名
- 地域
- タイムゾーン

- 開始日
- 終了日
- 合計払出量
- 合計受入量
- 納品回数
- 納品周期


データのエクスポート

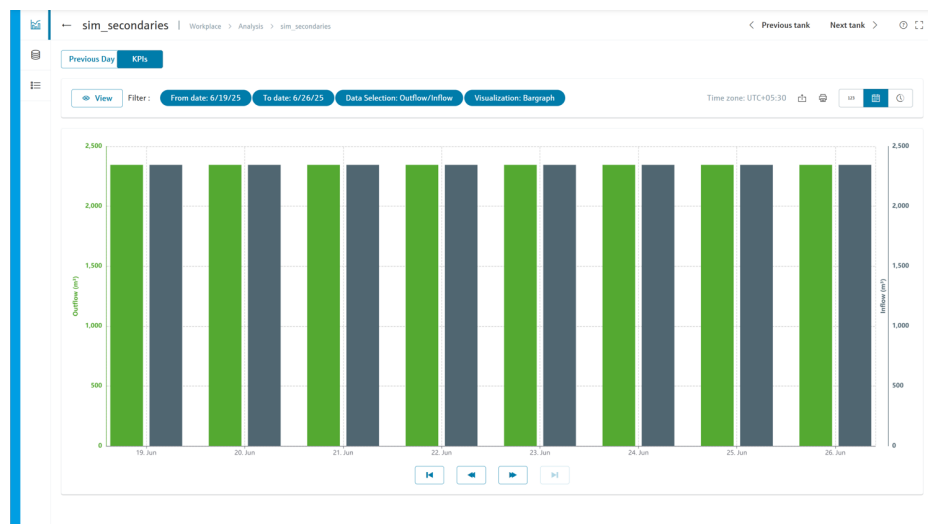
- ▶  ボタンをクリックして、データを Excel スプレッドシートとしてエクスポートします。
 - ↳ 「[タンク名]_KPI.xlsx」という名前のファイルがダウンロードされます。



10.3.3 チャート - 日次

選択する項目に応じて、このチャートには、選択した期間の払出量、受入量、または受入量と払出量の差分が表示されます。

チャートの表示

1.  ボタンをクリックします。
 - ↳ 作業エリアに日次チャートが表示されます。







2.  表示ボタンをクリックしてチャートの設定を開きます。
3. **開始日**と**終了日**を入力して、期間を選択します。日付を直接入力するか、または日付選択ダイヤル  から選択します。
4. **データ選択**ドロップダウンリストボックスで、チャートに表示するデータを選択します：**払出量/受入量、アウトフローのみ、インフローのみ、デルタのみ**。
5. **視覚化**ドロップダウンリストボックスで、チャートタイプを選択します：**バーグラフ**または**ライン**。


使用可能な期間の表示切替えスイッチがオンの場合、使用可能なすべての値が表示されます。

カーソルをチャートのグラフ上に移動させると、選択したデータ（例：払出量）に関するウィンドウが表示され、特定の測定値とタイムスタンプが表示されます。

期間の選択に使用するボタン

	表示期間が現在の期間の分だけ、前に（過去に）戻ります。
	表示期間が 1 日前に（過去に）戻ります。

	表示期間が1日先に（未来に）進みます。
	表示期間が現在の期間の分だけ、先に（未来に）進みます。


 このチャートは、各測定点が追加されてから 48 時間後に初めて信頼性の高いチャートとして利用できるようになります。

チャートのデータのエクスポート

選択した期間のチャートのデータを Excel ファイルに保存できます。


Excel ファイルには以下のデータが含まれます。

- タンク名
- タイムゾーン
- タイムスタンプ
- 開始日
- 払出量
- 流出口
- 単位

- ▶  ボタンをクリックして、データを Excel ファイルとしてエクスポートします。
↳ 「[タンク名]_ChartDaily.xlsx」という名前のファイルがダウンロードされます。


チャートの印刷

表示されたチャートは画像ファイル（PNG ファイル）として保存できます。


- ▶  ボタンをクリックして、データを画像ファイルとしてエクスポートします。
↳ 「[タンク名]_ChartDaily.png」という名前のファイルがダウンロードされます。

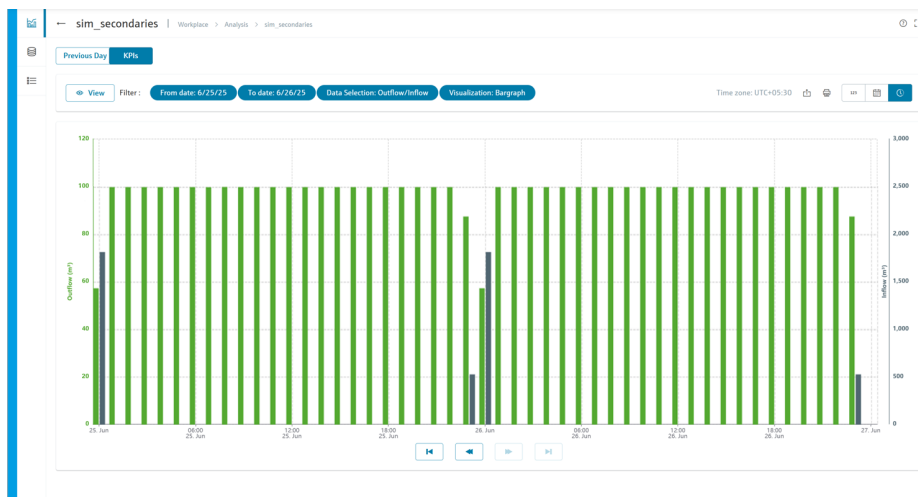
10.3.4 チャート - 毎時



選択する項目に応じて、このチャートには、選択した期間の払出量、受入量、または受入量と払出量の差分が表示されます。

 1日あたり 24 個の値が表示されます。

チャートの表示

1.  ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに毎時チャートが表示されます。








2.  **表示**ボタンをクリックしてチャートの設定を開きます。
3. **開始日**と**終了日**を入力して、期間を選択します。日付を直接入力するか、または日付選択ダイヤル  から選択します。
4. **データ選択**ドロップダウンリストボックスで、チャートに表示するデータを選択します：**払出量/受入量**、**アウトフローのみ**、**インフローのみ**、**デルタのみ**。
5. **視覚化**ドロップダウンリストボックスで、チャートタイプを選択します：**バーグラフ**または**ライン**。

使用可能な期間の表示切替えスイッチがオンの場合、使用可能なすべての値が表示されます。

カーソルをチャートのグラフ上に移動させると、選択したデータ（例：払出量）に関するウィンドウが表示され、特定の測定値とタイムスタンプが表示されます。

期間の選択に使用するボタン

	表示期間が現在の期間の分だけ、前に（過去に）戻ります。
	表示期間が 1 日前に（過去に）戻ります。
	表示期間が 1 日先に（未来に）進みます。
	表示期間が現在の期間の分だけ、先に（未来に）進みます。


 このチャートは、各測定点が追加されてから 48 時間後に初めて信頼性の高いチャートとして利用できるようになります。

チャートのデータのエクスポート

選択した期間のチャートのデータを Excel ファイルに保存できます。


Excel ファイルには以下のデータが含まれます。

- タンク名
- タイムゾーン
- タイムスタンプ
- 開始日
- 払出量
- 流出口
- 単位

- ▶  ボタンをクリックして、データを Excel ファイルとしてエクスポートします。
 - ↳ 「[タンク名]_ChartHourly.xlsx」という名前のファイルがダウンロードされます。

チャートの印刷

表示されたチャートは画像ファイル（PNG ファイル）として保存できます。

- ▶  ボタンをクリックして、データを画像ファイルとしてエクスポートします。
 - ↳ 「[タンク名]_ChartHourly.png」という名前のファイルがダウンロードされます。

11 マップでのタンクの地域の表示 - 「マップ」ワークプレイス

i ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーは、**マップ**メニュー項目を使用できます。

このメニュー項目では、概要マップ (Google Maps) に各タンクの地域が表示されます。値、納品予定/廃棄予定など、すべてのタンクの詳細情報を表示できます。

タンクは、以下の項目でフィルター処理できます。


- タンク名 (サイロ/オブジェクトの場合はサイロ名/オブジェクト名)
- タンクグループ
- 製品
- 地域
- お気に入り

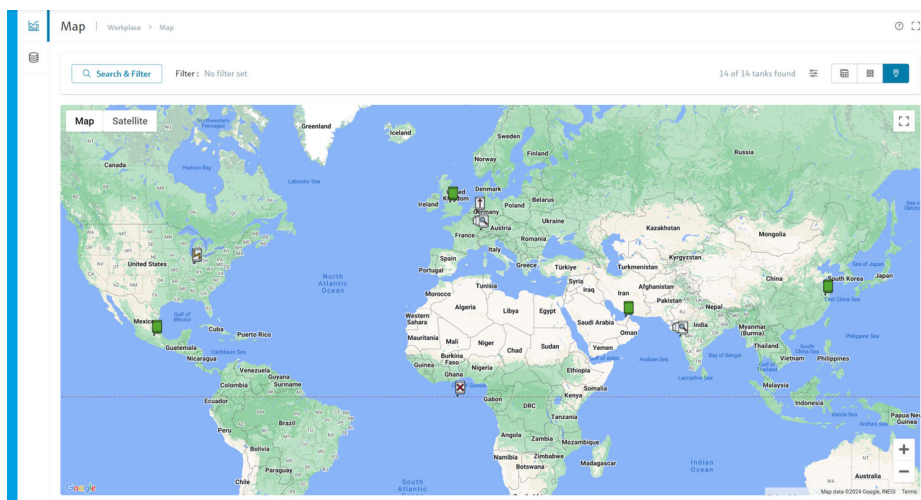
11.1 マップおよび関連情報の表示

i タンクまたは集合タンクをマップに表示するには、以下の条件を満たす必要があります。

- タンクまたは集合タンクを地域に割り当てる必要があります。ユーザーはその地域の地理座標 (経度と緯度) を把握しておく必要があります。あるいは、ゲートウェイの GPS データを使用します。「地域の作成」セクションを参照してください。
- タンクまたは集合タンクをタンクグループに割り当てる必要があります。

マップの表示

1.  **ワークプレイスメニュー**で、**マップ**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアにタンクの地域を示す概要マップが表示されます。

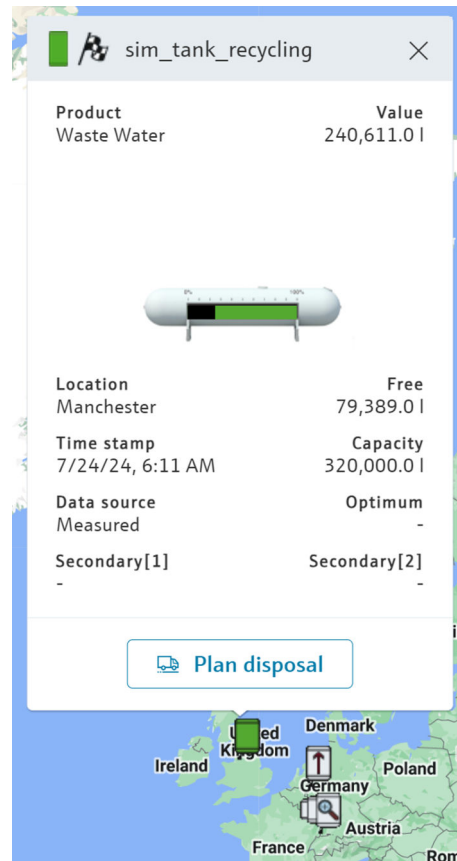


2. 任意: フィルターを選択して、たとえば、特定の地域のタンクのみを表示します。
↳ マップ表示はフィルター条件に応じて自動的に調整され、当該地域のすべてのタンクが表示されます。フィルター条件に一致するタンクが見つからなかった場合、マップは空のままです。

11.2 タンク詳細

タンク詳細の表示

1. マップ上のタンクをクリックします。
 - ↳ 作業エリアに、カスタマイズされたタンク概要のタンク画像（ウィジェット）が表示されます。





2. ウィジェットのヘッダーにある × ボタンをクリックして、タンク詳細を閉じます。

当該タンクについて、以下のようなデータが表示されます。

- タンクステータスとイベントを表すシンボル、およびタンク名
このタンクの GPS 座標を取得できる場合は、📍 シンボルも表示されます。
- 1つの地域に複数のタンクが設置されている場合は、スクロールアイコンが表示されます。
- バーグラフ付きのタンク画像
- タンク画像の下に 2～最大 8 個のフィールド（マイタンクビューの設定に準拠、「マイタンクビューの設定」セクションを参照）
- 🗑️ 納品を予定または 🗑️ 廃棄を予定 ボタン

i タンク画像をクリックするとタブ付きの詳細ビューが開き、タンクに関するすべての情報が表示されます。「タンク」ワークプレイスからアクセスできるすべての情報は、ここからでもアクセスできます。

11.3 納品または廃棄を予定

1. ウィジェットの  **納品を予定**または  **廃棄を予定**ボタンをクリックします。
↳ **納品を予定**または**廃棄を予定**ダイアログボックスが表示されます。

Plan delivery×



Tank name	sim_secondaries2
Forecast value	127,512.6
Range	13 day(s)


Delivery date and time *

Amount * in m³

Comment

× Cancel
Save

2. **納品日時**を入力するか、または提案されたデータを使用します。
3. **予定量**を入力するか、または提案された量を使用します。
4.  **保存**ボタンをクリックします。
↳ マップ上のタンクには、納品予定/廃棄予定を示す納品用トラックのアイコンが表示されます。例：

-  提案される納品日時は、現在の日付 + 標準納期 + 1 時間で計算されます。
提案される廃棄日時は、現在の日付 + 標準廃棄時間 + 1 時間で計算されます。
標準納期/標準廃棄時間は、タンクの設定時に指定します。

納品/廃棄を予定する詳細な手順については、『納品/廃棄の管理 - 「スケジューリング」ワークプレイス』セクションを参照してください。

12 照合レポートの作成 - 「照合」ワークプレイス

i ユーザーロールが読み取り専用、スケジューラまたはオペレータに設定されているユーザーは、照合メニュー項目を使用できません。

i 照合メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

12.1 特別照合レポートの作成

照合レポートにより、1つまたは複数のタンクの在槽状況を正確に表すレポートを作成できます。

タンクへの入力（受入量）とタンクからの出力（払出量）の流量計測定値をレベル測定値に追加することにより、レベル測定のみの場合と比較して精度が向上します。

照合レポートは、これらの3つの値を相互に関連付けて比較できるため、値が適切に対応していない場合にそれを視覚化して確認できます。

i 照合は、分析計ワークプレイスで使用される測定値よりも正確な測定値を提供します。このため、照合レポートと分析計ワークプレイスの値がわずかに異なる場合があります。

照合レポートは、以下に示すようなさまざまな方法で生成できます。


- 特別レポート：SupplyCare ユーザーの必要に応じて作成
- 定期レポート：さまざまな時間間隔に基づいて作成

i 特別照合レポートを作成するには、少なくとも1つのレポートを作成して設定しておく必要があります。

i ここではレポートの設定は変更できません。

レポートの変更または新規レポートの作成については、「マスターデータの管理」セクションの「照合レポートの設定」を参照してください。

特別照合レポートの作成

1.  ワークプレイスメニューで、照合メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下のビューが表示されます。



2. レポートの選択

ドロップダウンリストボックスからレポートを選択します。
 ↳ データが計算され、表示されます。

The screenshot shows the 'Reconciliation' window with the following data:

Select report: Example_Report_1

Results

Reporting period start:	6/27/24, 6:32 AM (UTC+00:00)	Reporting period end:	6/28/24, 6:32 AM (UTC+00:00)
Input quantity delta:	0.0 m ³	Error delta:	-
Stock quantity delta:	-10.0 m ³	Error delta (%):	-
Estimated Output quantity delta:	10.0 m ³	Yield:	-

Inputs

Task name ↑	Parameter name ↓	Product ↑	Start value ↑	End value ↑	Delta ↑
sim_secondaries	Primary	Palm Oil	1,774.0 m ³	1,774.0 m ³	0.0 m ³

Stocks

Task name ↑	Parameter name ↓	Product ↑	Start value ↑	End value ↑	Delta ↑
sim_secondaries	Volume	Palm Oil	41.8 m ³	31.8 m ³	-10.0 m ³

結果フィールドには、以下の情報が表示されます。

レポート期間の開始

レポートの開始日時。開始時刻には、ユーザー設定で定義されたタイムゾーンが使用されます。

レポート期間の終了

レポートの終了日時。終了時刻には、ユーザー設定で定義されたタイムゾーンが使用されます。

入力量の差分

入力量の差分の値と単位。すべての測定点の測定値間の差の合計。

誤差の差分

誤差の差分の値と単位。測定された製品損失 (単位)。

在庫量の差分

在庫量の差分の値と単位。すべての測定点の測定値間の差の合計。

誤差の差分 (%)

誤差の差分の値 (%)。測定された製品損失 (%)。

出力量の差分


出力量の差分の値と単位。すべての測定点の測定値間の差の合計。

収穫量

値 (収穫量)、プロセス効率の係数 (理想値 : 1)。


入力、在庫、出力テーブルには、1つまたは複数のタンクの以下の情報が表示されます。

- タンク名
- ポイント名
- 製品
- 開始値
- 終了値
- 差分


 レポートに含まれるテーブルのみが表示されます。


13 ユーザープロフィールおよびユーザー設定


13.1 ユーザープロフィールの表示

- ▶  ボタンを使用して、ヘッダーのユーザー名をクリックします。
- ↳ 作業エリアに以下のビューが表示されます。

13.2 ユーザー設定の選択および変更

 ユーザー設定を変更できるのは、ユーザーロールが読み取り専用、スケジューラ、またはオペレータに設定されているユーザーのみです。

1.  ボタンを使用して、ヘッダーのユーザー名をクリックします。
2. **ユーザー設定**タブを選択します。

3. ドロップダウンリストボックスの ▼ ボタンをクリックして、オプションを選択するか、または設定を変更します。
 - ↳ 使用可能なすべてのオプションがリストに表示されます。
4.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
5. または、保存せずにページを終了して処理を中止します。

ユーザー設定は、以下の2つのグループから構成されます。

- **プリファレンス：**
 - デフォルトのホームページ
 - タイムゾーン
 - 通知言語
 - 通貨
 - 自動更新
- **単位：**
 - デフォルト単位
 - 質量の単位
 - 体積の単位
 - 長さの単位
 - 密度の単位
 - 圧力の単位
 - 温度の単位

13.2.1 プリファレンスの設定

デフォルトのホームページ

ここで選択したデフォルトのホームページは、正常にログインした後、作業エリアに表示されます。ホームページに画像が使用されている場合は、デフォルトのホームページが表示される前に、**次へ**ボタンをクリックする必要があります。

タイムゾーン

ここで選択したタイムゾーンは、プログラムの以下のエリアで使用されます。

- ワークプレイスメニュー→タンク
 - **メモとファイル**タブ
 - **イベントの詳細**タブ
- ワークプレイスメニュー→マイタンクビュー
 - タンク概要
- ワークプレイスメニュー→イベント
 - イベントテーブル
 - **イベントの詳細**タブ
 - **イベント履歴**タブ
- 設定メニュー→タンク
 - **タンクのメモ**タブ
- 設定メニュー→集合タンク
 - **タンクのメモ**タブ
- 設定メニュー→地域
 - **地域のメモ**タブ

タイムゾーンには、以下の値を選択できます。

- **地域** (デフォルト) - タンクの地域のタイムゾーンが表示されます。タンクの地域が設定されていない場合は、値「UTC+00:00」が表示されます。
- **ユーザー設定** - 選択したタイムゾーンが表示されます。タイムゾーンを選択しなかった場合は、初期値 (地域) が使用されます。

通知言語

通知用のデフォルト言語を設定します。ここで選択した言語は、イベント通知と制限通知、およびレポートのヘッダーの列名に使用されます。

通貨

デフォルトの通貨を指定します。ここで選択した通貨は、プログラムの以下のエリアで使用されます。

- ワークプレイスメニュー → タンク
 - **メモとファイル**タブ
 - **イベントの詳細**タブ
- ワークプレイスメニュー → マイタンクビュー
タンク概要
- ワークプレイスメニュー → イベント
 - イベントテーブル
 - **イベントの詳細**タブ
 - **イベント履歴**タブ
- ワークプレイスメニュー → 予定の指定
予定の指定タブ
- ワークプレイスメニュー → 合計
タンク概要
- ワークプレイスメニュー → マップ
タンク概要
- 設定メニュー → タンク
タンクのメモタブ
- 設定メニュー → 集合タンク
タンクのメモタブ
- 設定メニュー → 地域
地域のメモタブ

ここで選択した通貨とタンクの通貨の間で為替レートが設定されている場合、表示される貨幣価値は、ここで選択した通貨に換算されます。製品に価格または通貨が設定されていない場合、この製品を使用するタンクの貨幣価値は空のままです。

自動更新

表示されるデータの更新回数を設定します。プログラム内の以下のエリアに対して、更新を実行できます。

- ワークプレイスメニュー → タンク
タンクテーブル
- ワークプレイスメニュー → マイタンクビュー
タンク概要
- ワークプレイスメニュー → イベント
イベントテーブル
- ワークプレイスメニュー → 予定の指定
 - **概要**タブ
 - **予定の指定**タブ
- ワークプレイスメニュー → マップ
タンク概要

自動更新には、以下の値を選択できます。

- **無効** (デフォルト) - 自動更新がオフになります。
- **5 min、10 min、15 min、20 min、30 min** - 指定した時間が経過するとデータが更新されます。

i 初期設定では、30分後にユーザーは自動的にシステムからログアウトします (無効)。時間の値を 5 min、10 min、15 min、20 min または 30 min に設定すると、自動ログアウトは実行されずにシステムが常にアクティブな状態になります。いずれの場合にも、24時間後には強制ログアウトが実行されます。

i **自動更新**ドロップダウンリストボックスは、ユーザーまたはアプリケーション (このアプリケーションのすべてのユーザー) のシステム管理者が、このオプションを有効にした場合にのみ表示されます。

13.2.2 単位の設定

タンクの単位のフィルター


タンクの単位には、以下の単位を選択できます。

- 質量
- 体積
- 長さ
- 密度
- 圧力
- 温度

ここで選択した単位は、プログラムの以下のエリアで使用されます。


- ワークプレイスメニュー→タンク
 - タンクテーブル
 - 在槽チャートタブ
 - タンク詳細タブ
 - イベントの詳細タブ
 - 履歴のダウンロードタブ
- ワークプレイスメニュー→マイタンクビュー
 - タンク概要
 - 在槽チャートタブ
 - タンク詳細タブ
 - イベントの詳細タブ
 - 履歴のダウンロードタブ
- ワークプレイスメニュー→イベント
 - イベントの詳細タブ
 - 在槽チャートタブ
 - タンク詳細タブ、単位フィールド
- ワークプレイスメニュー→予定の指定
 - 予定の指定テーブル
 - 納品/廃棄を予定タブ
 - 納品予定/廃棄予定タブ
 - 概要タブ
- ワークプレイス→分析
 - 分析テーブル
 - KPI タブ
 - 払出量/受入量タブ
 - 毎時チャートタブ
 - 日次チャートタブ

13.3 お気に入りの設定

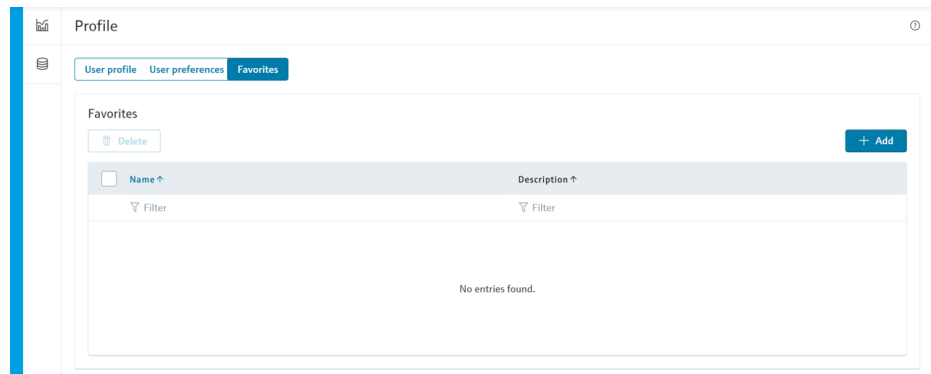
 お気に入りを設定できるのは、ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。

タンクは複数のお気に入りに含めることができます。お気に入りの数に制限はありません。

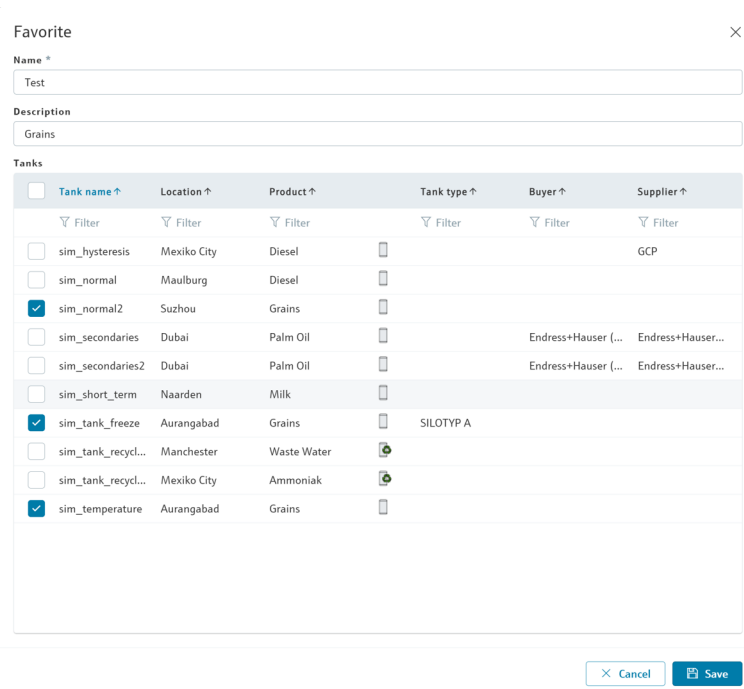
お気に入りの設定

1.  ボタンを使用して、ヘッダーのユーザー名をクリックします。

2. **お気に入りタブ**を選択します。
 ↳ 作業エリアに概要テーブルが表示されます。



3. **+ 追加**ボタンをクリックします。
 ↳ **お気に入り**ダイアログボックスが表示されます。




4. **名前**フィールドに名前を入力します。この名前は一意であることが必要です。
5. 任意：**説明**フィールドに説明を入力します。
6. テーブルのタンクのチェックボックスをオンにして、目的のタンクをお気に入りに追加します。この数に制限はありません。
7. 任意：列ヘッダーのチェックボックスをオンにして、テーブル内のすべてのタンクを選択します。
8. **保存**ボタンをクリックして、お気に入りをお気に入りリストに保存します。
 ↳ ダイアログボックスが閉じ、選択したタンクがリストに表示されます。

i デフォルトでは、同時に選択できるタンクの最大数は **100** に制限されています。この値はユーザー固有であり、契約ごとに設定が異なる場合があります。


i タンクテーブルは、フィルター関数を使用して検索やソートを実行できます。

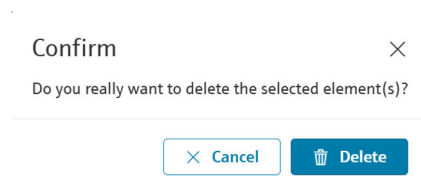
i ユーザーは、自分に割り当てられているタンクのみを表示して選択できます。



お気に入りの変更

1. 目的のお気に入りをクリックします。
↳ **お気に入り**ダイアログボックスが表示されます。
2. 目的のデータを変更します。
3.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
↳ お気に入りの保存され、リストに表示されます。
4. または、**×** **キャンセル** ボタンをクリックして処理を中止します。

お気に入りの削除

1. 目的のお気に入りの前にあるチェックボックスをオンにします。
2.  **削除** ボタンをクリックします。
↳ 確認メッセージが表示されます。



3.  **削除** ボタンをクリックしてお気に入りを削除します。
↳ お気に入りのリストから削除されます。
 4. または、**×** **キャンセル** ボタンをクリックして処理を中止します。
-  ユーザープロフィールから削除されたタンクについても、そのユーザープロフィールのすべてのお気に入りリストから削除されます。

14 マスターデータの管理

14.1 ユーザーの管理

i ユーザーを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。

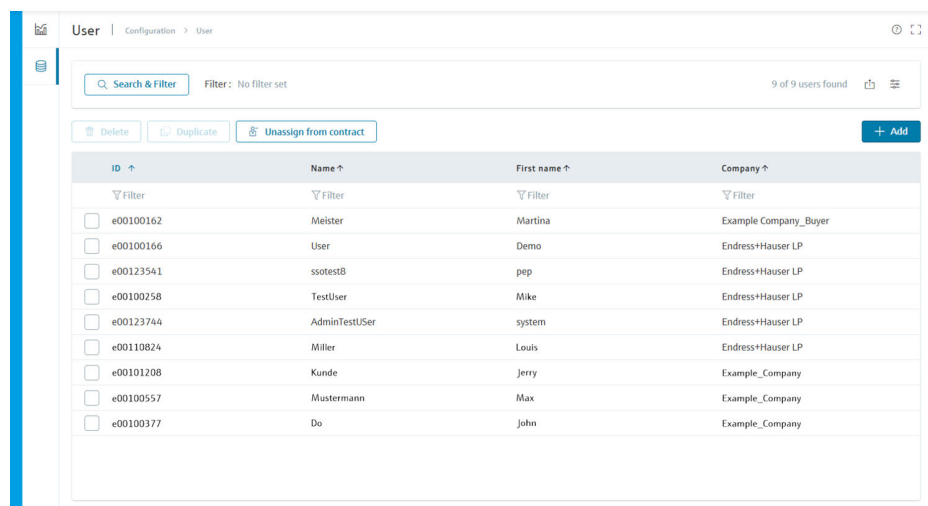
i **ユーザーメニュー項目**はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

14.1.1 ユーザーの作成

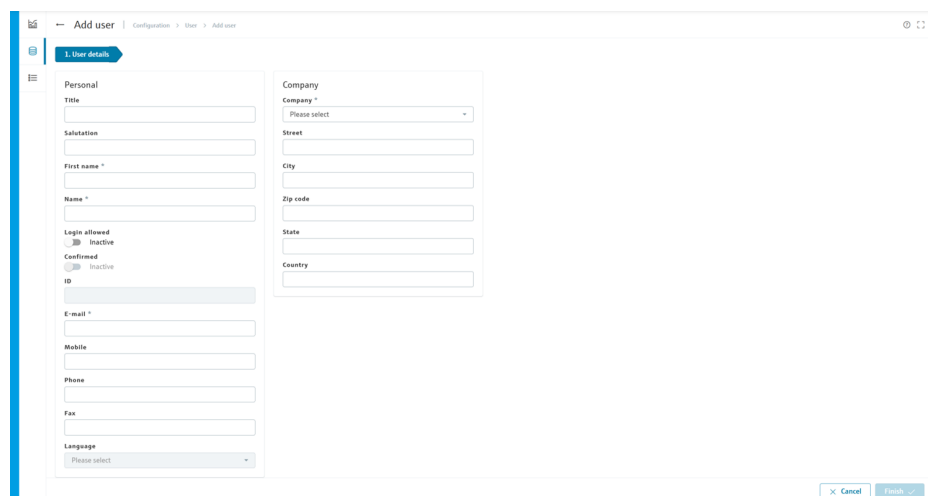
ユーザー設定ウィザードを使用したユーザーの作成

ユーザーロールとタンクグループの設定は、各タブを使用して後から変更できます。

1. **設定**メニューで、**ユーザーメニュー項目**をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下のビューが表示されます。



2. **追加**ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに**1.ユーザー詳細**タブが表示されます。



3. ユーザーの**名**を入力します。
4. ユーザーの**名前** (姓) を入力します。
5. **Eメール**を入力します。Eメールアドレスは一意である必要があります。

6. ドロップダウンリストボックスから**会社**を選択します。

i SupplyCare データベースに E メールアドレスが登録されている場合、この E メールアドレスを別のユーザーに再び割り当てることはできません。

i 会社を選択するには、会社を作成しておく必要があります。

7. 任意：ユーザーの追加データを入力します。

▪ 役職

▪ 挨拶の言葉

▪ **ログイン許可** - ユーザーが作成され、**ログイン許可**切替えスイッチがオンである場合、そのユーザーが SupplyCare Hosting の使用権限を保有しているかどうかを弊社側で確認いたします。そのユーザーが権限を保有している場合、ここに指定された E メールアドレスを使用して、弊社からそのユーザーにログインの詳細情報が送信されます。

ユーザーロールとタンクグループをユーザーに割り当てるには、**ログイン許可**切替えスイッチをオンにする必要があります。

▪ **確認済み** (読み取り専用アクセスのみ) - この切替えスイッチは弊社側でオンに設定いたします。

▪ **ID** (読み取り専用アクセスのみ) - ログイン名。**ID** は、そのユーザーについて弊社側で SupplyCare Hosting の使用権限の確認後に表示されます。

▪ 携帯

▪ 電話

▪ ファックス

▪ **言語** - そのユーザーの通知に使用する言語を割り当てることができます。言語は、**ログイン許可**切替えスイッチをオンに設定した後にのみ割り当てることができます。

▪ **番地** - この値が会社のデータに保存されている場合は、自動的に入力されます。

▪ **市町村** - この値が会社のデータに保存されている場合は、自動的に入力されます。

▪ **郵便番号** - この値が会社のデータに保存されている場合は、自動的に入力されます。

▪ **都道府県** - この値が会社のデータに保存されている場合は、自動的に入力されます。

▪ **国** - この値が会社のデータに保存されている場合は、自動的に入力されます。

i 必要に応じて、**番地**、**市町村**、**郵便番号**、**都道府県**、**国**のデータを調整できます。

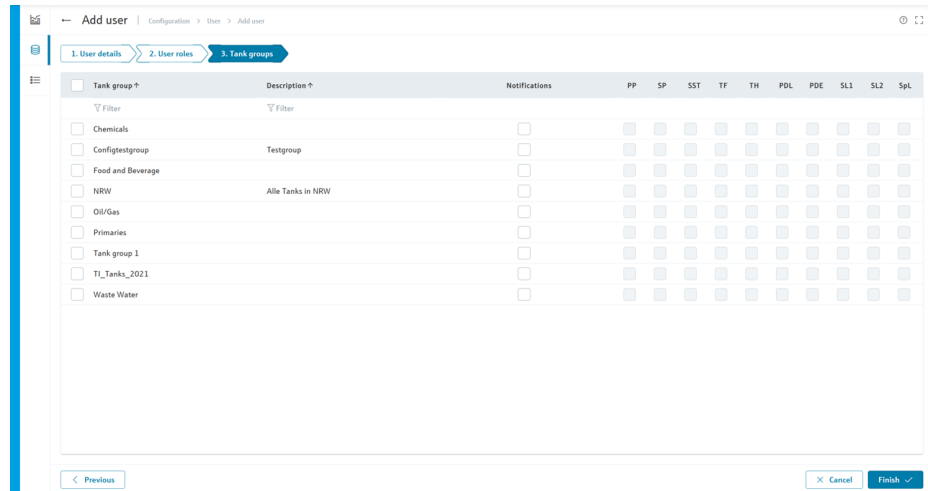
i **2. ユーザーロール**タブは、ユーザーにログインが許可されている場合にのみ表示されます。

8. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいユーザーを保存します。

9. または、**次へ** > ボタンをクリックして、ユーザーにユーザーロールを割り当てます。ユーザーロールは後から割り当てることもできます。

↳ 作業エリアに **2. ユーザーロール**タブが表示されます。

10. 該当する切替えスイッチをオンにして、ユーザーロールをユーザーに割り当てます。1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができません。
11. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいユーザーを保存します。
12. または、**次へ** > ボタンをクリックして、ユーザーにタンクグループを割り当てます。
 - ↳ 作業エリアに **3. タンクグループ** タブが表示されます。



13. 該当するチェックボックスをオンにして、ユーザーにタンクグループを割り当てます。1人のユーザーに複数のタンクグループを同時に割り当てることができません。
 - ↳ 割り当てられたタンクグループは、「ワークプレイス-タンク」ビューに表示されます。
 14. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいユーザーを保存します。
- i** ユーザーに**スケジューラ**、**オペレータ**または**読み取り専用**のユーザーロールが割り当てられている場合にのみ、**3. タンクグループ**タブが表示されます。

複製によるユーザーの作成

i ユーザーを複製すると、設定ウィザードが開きます。**1. ユーザー詳細**、**2. ユーザーロール**、**3. タンクグループ**の各タブの設定は、テンプレートから取得されます。

i ユーザーのEメールアドレスは一意である必要があります。入力されたEメールアドレスがすでに存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。

データレコードの複製の詳細については、「マスターデータの複製」セクションを参照してください。

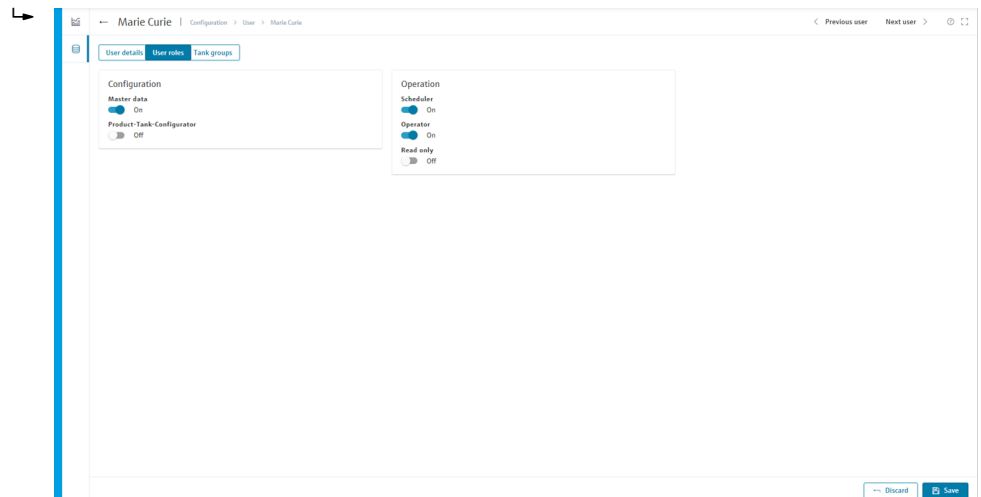
14.1.2 ユーザーロールの割り当て

ユーザーロールタブを使用して、1人のユーザーに1つまたは複数のユーザーロールを割り当てることができます。ユーザーロールに応じてさまざまな権限がユーザーに与えられます。

権限については、「ユーザーロールおよび権限」セクションを参照してください

1. **設定**メニューで、**ユーザー**メニュー項目をクリックします。
2. 概要テーブルで、ユーザーロールを割り当てるユーザーをクリックします。

3. ユーザーロールタブを選択します。



- 該当する切替えスイッチをオンにして、ユーザーロールをユーザーに割り当てます。1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。
- 保存ボタンをクリックして入力内容を保存します。
- または、 破棄ボタンをクリックして変更を取り消します。

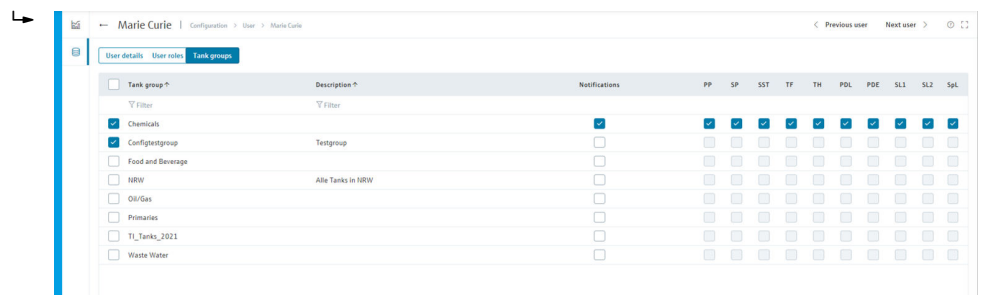
14.1.3 ユーザーへのタンクグループの割り当ておよびタンクイベント通知の設定

タンクグループタブを使用して、1つまたは複数のタンクグループをユーザーに割り当てます。また、ユーザーに通知する必要があるタンクイベントも設定できます。

割り当てられたタンクグループのみが「ワークプレイス」メニューに表示されます。

タンクグループの割り当て


- 設定メニューで、ユーザーメニュー項目をクリックします。
- 概要テーブルで、タンクグループを割り当てるユーザーをクリックします。
- タンクグループタブを選択します。



- 左側の列のチェックボックスをオンにして、1つまたは複数のタンクグループをユーザーに割り当てます。

通知の設定

- ユーザーにEメールでタンクイベントも通知する場合は、対象となるタンクの通知列にあるチェックボックスをオンにします。
- ユーザーが通知を受け取る必要があるイベントに対応したチェックボックスをオンにします。
- 保存ボタンをクリックして入力内容を保存します。

8. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。


以下のイベントを選択できます。

- **PP** - 予定ポイント
- **SP** - 出荷ポイント
- **SST** - 安全在庫
- **TF/SF/OF** - タンクの凍結/サイロの凍結/オブジェクトの凍結
タンクの凍結/サイロの凍結/オブジェクトの凍結イベントに関するすべての情報が含まれます。
- **TH/SH/OH** - タンクの停止/サイロの停止/オブジェクトの停止
タンクの停止/サイロの停止/オブジェクトの停止イベントに関するすべての情報が含まれます。
- **PDL** - 予定された納品/廃棄ライフサイクル
すべての新規納品予定/新規廃棄予定および削除された納品/廃棄が含まれます。
- **PDE** - 予定された納品/廃棄イベント
すべての納品遅延/遅延廃棄、失敗した納品/廃棄、完了した納品/廃棄が含まれます。
- **SL1, SL2** - セカンダリ制限 1、セカンダリ制限 2
- **SpL** - スパン制限

14.1.4 ユーザーの変更



追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.1.5 ユーザーの削除



-  ユーザーがタンクグループ、会社のお問合せ先、またはレポートの受信者に割り当てられていない場合に限り、そのユーザーを削除できます。ログインしているユーザーは削除できません。タンクグループの割り当ては、**タンクグループ** タブでキャンセルできます。

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。



14.2 タンクの管理

-  タンクを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**および**製品 - タンク - 設定**に設定されているユーザーのみです。
-  設定内容に応じて、**タンク**の代わりに、**オブジェクト**または**サイロ**が表示される場合があります。

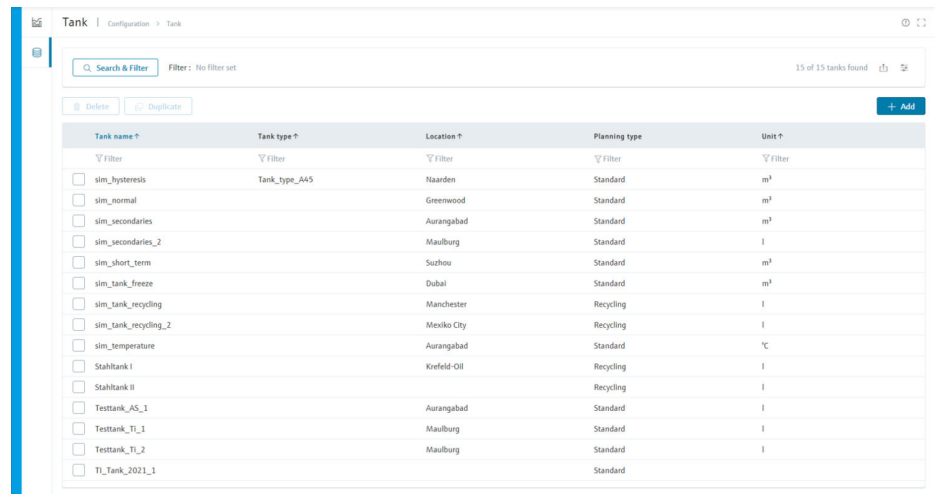
14.2.1 タンクの作成

-  ユーザーにはタンクグループしか割り当てることができないため、タンクグループにタンクを必ず割り当てておいてください。
-  **地域**、**購入者**、**供給者**、**製品**の各要素を選択するには、まずこれらのフィールドを作成する必要があります。**購入者**および**供給者**は会社として作成します。

タンク設定ウィザードを使用したタンクの作成

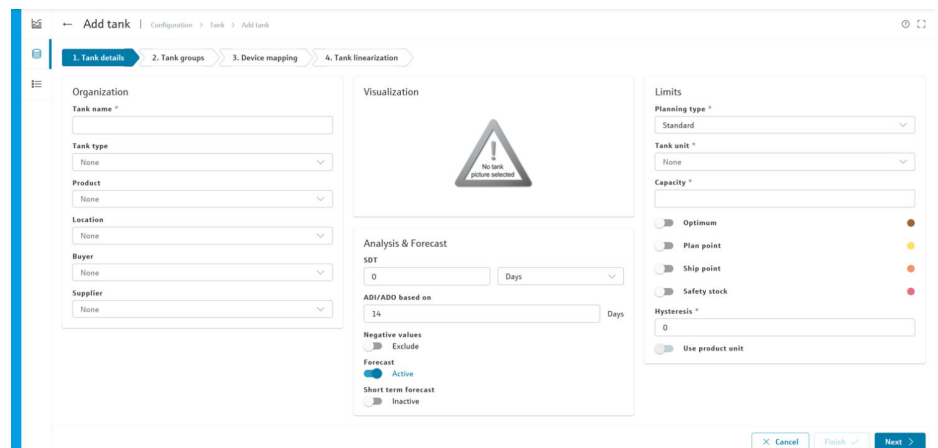
-  **タンク詳細**、**タンクグループ**、**機器マッピング**、**タンクのリニアライゼーション**の設定は、各タブを使用して後から変更できます。
-  タンク設定ウィザードは、集合タンクの作成には使用できません。

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



Tank name	Tank type	Location	Planning type	Unit
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Tank_type_A45	Naarden	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_normal		Greenwood	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries		Aurangabad	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> sim_short_term		Suzhou	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze		Dubai	Standard	m³
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling		Manchester	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2		Mexiko City	Recycling	l
<input type="checkbox"/> sim_temperature		Aurangabad	Standard	°C
<input type="checkbox"/> Stahltank I		Krefeld-Oil	Recycling	l
<input type="checkbox"/> Stahltank II			Recycling	l
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1		Aurangabad	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2		Maulburg	Standard	l
<input type="checkbox"/> TI_Tank_2021_1			Standard	

2. **+** 追加ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. タンク詳細** タブが表示されます。



The 'Add tank' form includes the following sections:

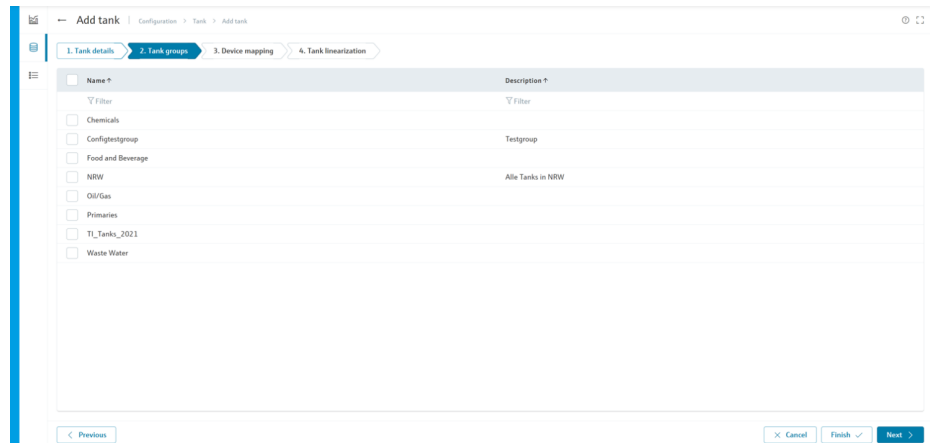
- Organization:** Tank name, Tank type, Product, Location, Buyer, Supplier.
- Visualization:** A warning icon indicating 'No tank unit selected'.
- Analysis & Forecast:** SDT (0 Days), ADI/ADO based on (14 Days), Negative values (Exclude), Forecast (Active), Short term Forecast (Inactive).
- Limits:** Planning type (Standard), Tank unit (None), Capacity, Optimum, Plan point, Ship point, Safety stock, Hysteresis (0), Use product unit.

3. **タンク名**を入力します。タンク名は一意である必要があります。
4. ドロップダウンリストボックスから**計画タイプ**を選択します。
 ↳ **標準**：納品の予定に関連していることを指定します。
リサイクル：廃棄の予定に関連していることを指定します。
 イベントメッセージおよび在槽チャートとレベルの表示方法は、この計画タイプに応じて調整されます。
5. **タンクの単位**ドロップダウンリストボックスから、タンクに使用する単位を選択します。
6. **容量**フィールドに、選択したタンクの単位で最大タンク容量を入力します。
7. **任意**：タンクに関する追加の詳細を入力します。

- **タンクタイプ**
- **製品**
- **地域**
- **購入者** (会社)
- **供給者** (会社)

- **視覚化** – 適切なタンク形状の表示。
- **SDT** – 標準納期または標準廃棄時間。
- **次の項目に基づく ADI/ADO** : – 初期設定 : 14 日。この期間は、在槽チャートの予測に使用されます。
- **負の値** – このオプションを有効にすると、負の測定値も ADI/ADO の計算に含まれます。
- **予測** – オンにすると、在槽の予測が**在槽チャート**タブに表示されます。
- **短期予測** – 初期設定 : 無効。このオプションを有効にすると、在槽チャートに第 2 予測ラインが表示されます。
- **最適値** – 標準タンクでのみ使用可能。切替えスイッチをオンにすると、入力ボックスが表示されます。
- **予定ポイント** – 切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。
- **出荷ポイント** – 標準タンクでのみ使用可能。切替えスイッチをオンにすると、入力ボックスが表示されます。
- **安全在庫** – 切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。
- **ヒステリシス** – ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます。
- **製品単位の使用** – このオプションは、製品が集合タンクに割り当てられており、製品とタンクの単位に互換性がある場合にのみ有効化できます。
このオプションを有効にすると、選択した製品の単位が自動的に**タンクの単位**フィールドで使用されます。**容量、最適値、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫、ヒステリシス**の各フィールドの値は、その製品用に入力した密度に基づいて換算されます。
質量ベースでタンクの編集やスケジューリングを行う場合は、最大容量を体積単位 (m³ など) で入力する必要があります。

8. **次へ** > ボタンをクリックして、タンクをタンクグループに割り当てます。
↳ 作業エリアに**2. タンクグループ**タブが表示されます。



9. タンクグループのチェックボックスをオンにして、このタンクグループにタンクを割り当てます。

i 適切なタンクグループを使用できない場合は、新しいタンクグループを作成できます。

タンクグループの作成については、「タンクグループの管理」セクションを参照してください。

10. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクを保存します。

11. または、**次へ** > ボタンをクリックして、機器と測定点をタンクパラメータに割り当てます。
 ↳ 作業エリアに **3. 機器マッピング** タブが表示されます。

12. 機器と測定点を割り当てます。詳細については、「機器マッピング」セクションを参照してください。

i **機器マッピング** タブは、選択した SupplyCare の契約で対応する機能が有効化されている場合にのみ使用できます。機器マッピングを利用できず、有効化する必要がある場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

13. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクを保存します。
 14. または、**次へ** > ボタンをクリックして、タンクにリニアライゼーションを割り当てます。
 ↳ 作業エリアに **4. タンクのリニアライゼーション** タブが表示されます。

15. ドロップダウンリストからリニアライゼーションのタイプを選択します。詳細については、「タンクへのリニアライゼーションの割り当て」セクションを参照してください。
 16. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクを保存します。

複製によるタンクの作成

i タンクを複製すると、設定ウィザードが開きます。**1. タンク詳細、2. タンクグループ、4. タンクのリニアライゼーション**の各タブの設定は、テンプレートから取得されます。**3. 機器マッピング**タブの設定はテンプレートから取得されないため、再度作成する必要があります。

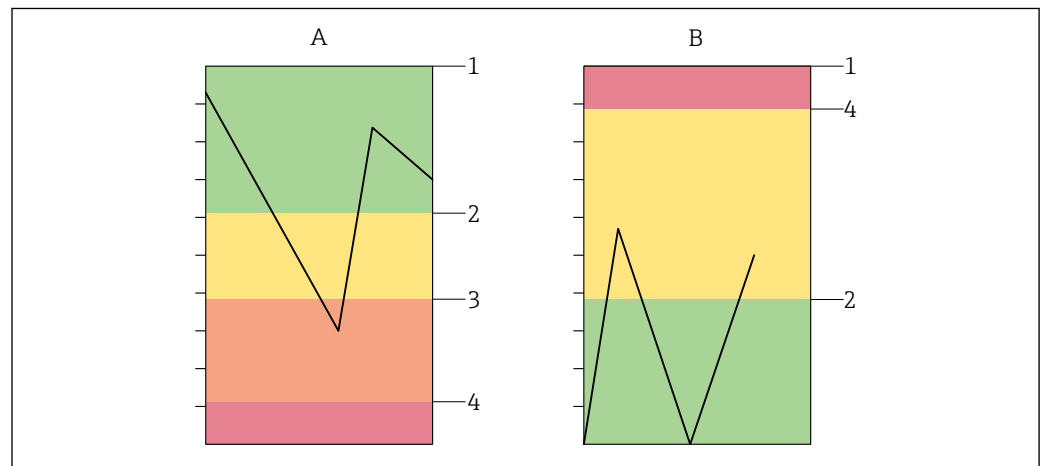
i タンク名は一意である必要があります。入力したタンク名がすでに存在する場合は、次のエラーメッセージが表示されます：「同じタンク名がすでに存在します。他の名前を入力してください。」

データレコードの複製の詳細については、「マスターデータの複製」セクションを参照してください。

標準タンクおよびリサイクルタンク

SupplyCare では、標準タンクとリサイクルタンクが区別されます。標準タンクでは、タンクから製品が抽出されます。リサイクルタンクでは、タンクに製品が充填されます。

計画タイプドロップダウンリストで**リサイクル**を選択すると、標準タンクがリサイクルタンクになります。在槽チャートの表示ロジックおよび通知ロジックは、以下の図に従って変更されます。

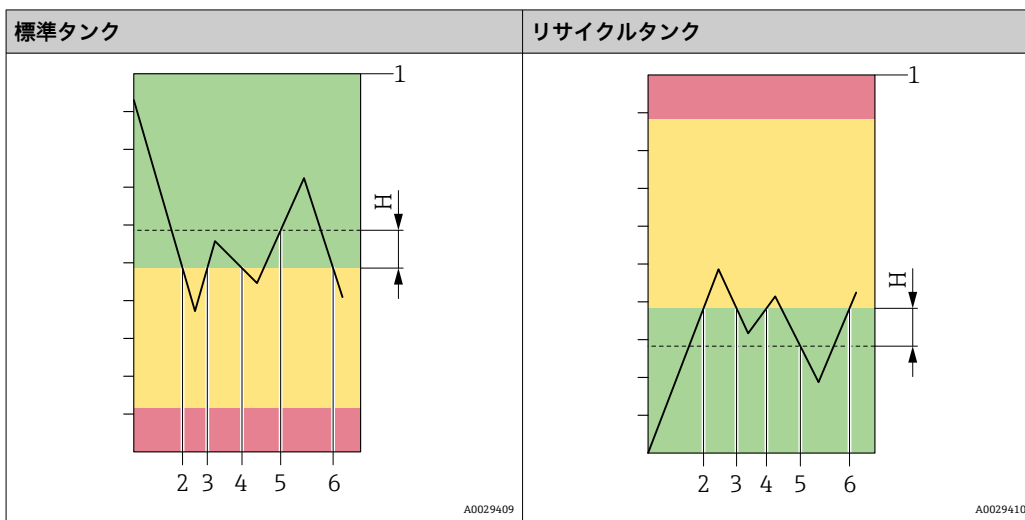


A0029411

- A 標準タンク
- B リサイクルタンク
- 1 容量
- 2 予定ポイント
- 3 出荷ポイント
- 4 安全在庫

ヒステリシス

ヒステリシスはイベント通知にのみ関連します。ヒステリシスにより、レベル変動などでイベント通知が何度もトリガされるのを回避できます。ヒステリシスは、「予定ポイント」、「出荷ポイント」、「安全在庫」のイベントに適用されます。







- 1 容量
- 2 標準タンク :
レベルが予定ポイントの制限値を下回ります。「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。
リサイクルタンク :
レベルが予定ポイントの制限値を上回ります。「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。
- 3 標準タンク :
レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。イベント 2 のステータスは**開く**のままです。タンクステータスは「OK」(緑色)に切り替わります。
リサイクルタンク :
レベルが予定ポイントの制限値を下回ります。イベント 2 のステータスは**開く**のままです。タンクステータスは「OK」(緑色)に切り替わります。
- 4 標準タンク :
レベルが予定ポイントの制限値を再び下回ります。新しいイベントはトリガされません。イベント 2 のステータスは**開く**のままです。タンクステータスは「予定ポイントに達しました」(黄色)に切り替わります。レベルが予定ポイントの制限値 - ヒステリシスを最初に上回らなかったため、新しいイベントはトリガされません。
リサイクルタンク :
レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。新しいイベントはトリガされません。イベント 2 のステータスは**開く**のままです。タンクステータスは「予定ポイントに達しました」(黄色)に切り替わります。レベルが予定ポイントの制限値 - ヒステリシスを最初に下回らなかったため、新しいイベントはトリガされません。
- 5 標準タンク :
レベルが予定ポイントの制限値 + ヒステリシスを上回ります。イベント 2 のステータスは**実行済み**に設定されます。
リサイクルタンク :
レベルが予定ポイントの制限値 - ヒステリシスを下回ります。イベント 2 のステータスは**実行済み**に設定されます。
- 6 標準タンク :
レベルが予定ポイントの制限値を再び下回ります。新しい「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。
リサイクルタンク :
レベルが予定ポイントの制限値を再び上回ります。新しい「予定ポイントに達しました」イベントがトリガされます。イベントのステータスは**開く**に設定されます。





14.2.2 タンク形状図の選択およびリセット

タンク詳細タブでは、作成したタンクの適切な形状を示した図を選択できます。選択した図は、「ワークプレイス - タンク」ビューの**タンク詳細**タブにも表示されます。


タンク形状図の選択

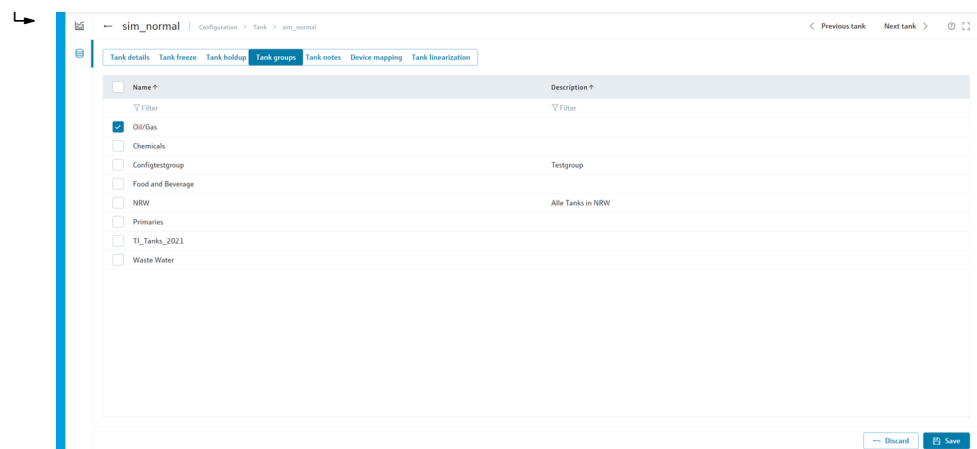
1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
3. **タンク詳細**タブを選択します。
4. **視覚化**フィールド内の図  をクリックします。
↳ **タンクの図の選択**ダイアログボックスが表示されます。
5. 作成されたタンクに適用する図をクリックします。
↳ 選択した図が**視覚化**フィールドに表示されます。
6.  **保存**ボタンをクリックして選択内容を保存します。
7. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

タンク形状図のリセット



1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
3. **タンク詳細**タブを選択します。
4. **視覚化**フィールドでタンクの図をクリックします。
↳ **タンクの図の選択**ダイアログボックスが表示されます。
5.  をクリックします。
↳ 選択した図が**視覚化**フィールドに表示されます。
6.  **保存**ボタンをクリックして選択内容を保存します。
7. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

14.2.3 タンク - タンクグループの割り当ての変更

1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
3. **タンクグループ**タブを選択します。




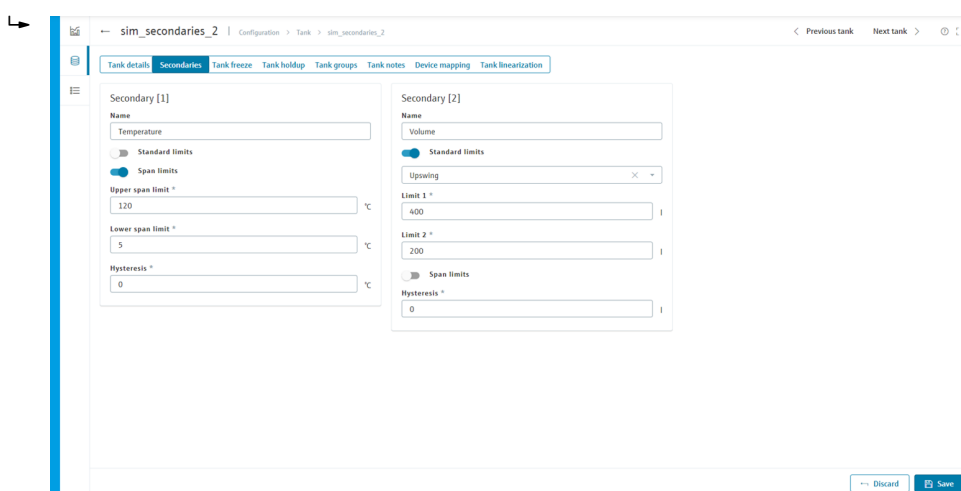
4. タンクグループのチェックボックスをオンにして、このタンクグループにタンクを割り当てます。
5. 任意：タンクグループのチェックボックスをオフにして、割り当ての選択を解除します。



6.  **保存** ボタンをクリックして選択内容を保存します。
 - ↳ テーブルが再びソートされます。割り当てられたタンクグループは、割り当てられていないタンクグループの前にアルファベット順で表示されます。
7. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

14.2.4 セカンダリバリューの設定

タンクメニュー項目の**機器マッピング**タブを使用してタンクにセカンダリバリューを割り当てると、このセカンダリバリューは**セカンダリ**タブに表示されます。現在選択されているタンクにセカンダリバリューが割り当てられていない場合、このタブは表示されません。

1.  **設定** メニューで、**タンク** メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、変更するタンクをクリックします。
3. **セカンダリ**タブを選択します。



4. 制限を使用してセカンダリバリューを監視する場合は、**標準制限**切替えスイッチをオンにします。
5. あるいは、スパン制限を使用してセカンダリバリューを監視する場合は、**スパン制限**切替えスイッチをオンにします。
6. 制限またはスパン制限を選択します。
7. 任意：セカンダリバリューの**名前**を入力します。
 - ↳ この名前はすべてのビューで使用されます。
8.  **保存** ボタンをクリックして選択内容を保存します。
9. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

標準制限を選択した場合のセカンダリバリューに関する情報：

- ドロップダウンリストボックス：**上昇**または**下降** - このドロップダウンリストボックスは、**標準制限**がオンの場合にのみ表示され、**制限 1**および**制限 2**にのみ影響します。
- **制限 1**および**制限 2** - 次のセクションを参照してください：「下降制限」および「上昇制限」の表示。
- **ヒステリシス** - 制限 1 および制限 2 に使用されます。ヒステリシスはこの範囲内です。

スパン制限を選択した場合のセカンダリバリュースに関する情報：

- **スパン上限値**および**スパン下限値** – セカンダリバリュースの予測される監視範囲を定義します。この値は在槽チャートに表示されます。
- **ヒステリシス** – スパン上限値およびスパン下限値に使用されます。ヒステリシスはこの範囲内です。

i 推奨：標準制限**または**スパン制限のいずれかを使用して、セカンダリバリュースを監視してください。2つの制限を同時に使用しないでください。使用することは可能ですが、誤解が生じる可能性があります。

i スパン制限の場合、ヒステリシスはイベントのリセットに適用されます。ヒステリシス範囲はスパン制限内に設定されます。セカンダリバリュースが、設定されたスパン制限の範囲外になると、タンク概要のステータスが変更されてイベントがトリガされます。イベントがリセットされるのは、セカンダリバリュースがヒステリシス範囲も超えてスパン制限の範囲内に戻った場合のみです。

「下降制限」および「上昇制限」の表示

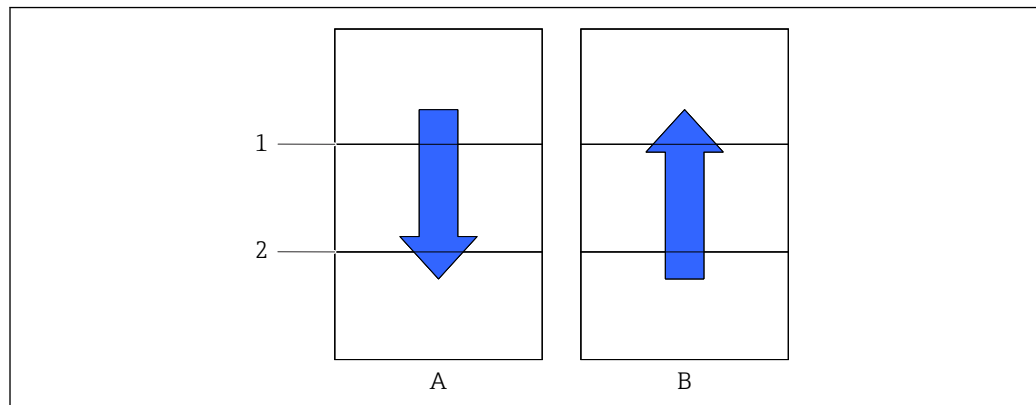
ドロップダウンリストボックスには、「下降制限」および「上昇制限」オプションが含まれます。

下降

- 制限 1 – 予定ポイント
- 制限 2 – 安全在庫

上昇

- 制限 1 – 安全在庫
- 制限 2 – 予定ポイント



A0058386

- A 下降
- B 上昇
- 1 制限 1
- 2 制限 2

i 制限 1 および制限 2 の値は、「タンク」ワークプレイスの概要テーブルで、予定ポイントと安全在庫の各列に表示されます。

14.2.5 タンクの凍結イベントの設定

i タンクの凍結タブはデスクトップバージョンでのみ使用できます。

タンクの凍結イベントは、内部制限を使用して生成されます。この制限は、設定期間内に取得されたタンクの最終測定値に基づいており、材料の盗難や漏れ、故障などの検出を目的としています。

タンクの凍結イベントの仕組みを以下に示します。

6. **繰り返しルール**ドロップダウンリストボックスで、監視期間の繰り返しのルールを選択します。

- ↳ **毎日**：毎日実行される監視時間を設定できます。
- ↳ **毎週各 ...**：各平日ごとの監視時間を個別に設定できます。

i 計算モードは、**絶対値**または**パーセンテージ**の間でいつでも変更できます。差分の計算モードを変更すると、関連する監視時間の差分値が無効になり、再入力が必要になります。

i 1つのタンクに設定できるのは、1種類の繰り返しルールのみです。「毎日」または「毎週各 ...」のいずれかです。最後に設定して保存した繰り返しルールのみが有効になります。

「毎日」繰り返しルールの設定

Repetition rule

Repetition rule *

Daily ▼

Time zone *

(UTC+00:00) Coordinated Universal Time ▼

From time *

🕒 22:00

To time *

🕒 06:00

Delta *

6 %

1. 設定された監視時間に使用する**タイムゾーン**を選択します。
2. **開始時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
3. **終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
4. **差分**を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
 - ↳ 監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。監視時間の終了時まで、凍結された測定値と現在の測定値の差が差分を超えなかった場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。
5. **保存**ボタンをクリックして設定を保存します。
6. または、**破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

「毎週各 ...」 繰り返しルールの設定

Repetition rule

Repetition rule *
Weekly on every ...

Time zone *
(UTC+00:00) Coordinated Universal Time

Delete + Add

Day ↑	From ↑	To ↑	Delta ↑
No entries found.			

1. **+** 追加ボタンをクリックします。
↳ 期間の追加ダイアログボックスが表示されます。

Add time period ×

Day *
Sunday

all day
 Inactive

From time *
00:00




To time *
06:00

until end of day
 Inactive


Delta *
5 %


× Cancel + Add

2. 期間を追加する日（曜日）を選択します。
3. **開始時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
4. **終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
終了時刻には、開始時刻よりも遅い時刻を指定する必要があります。
5. 任意：**終日切替え**スイッチをオンにして、監視時間を 0:00 h～23:59 h の期間に設定します。
↳ **開始時刻**および**終了時刻**入力ボックスは無効になり、非表示になります。開始時刻は 0:00 h に置き換わり、終了時刻は 23:59 h に置き換わります。
6. 任意：**日付の終わりまで切替え**スイッチをオンにして、監視時間の終了時刻を 23:59 h に設定します。
↳ **終了時刻**入力フィールドは無効になり、非表示になります。終了時刻は 23:59 h に置き換わります。
7. **差分**を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
↳ 監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。監視時間の終了時まで、凍結された測定値と現在の測定値の差が差分を超えなかった場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。
イベントの停止の差分は、監視時間ごとに個別に設定できます。

8.  **追加** ボタンをクリックして、有効な監視期間のリストに設定を追加します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、監視時間がリストに表示されます。
9. 任意：他の監視時間を設定します。
10.  **保存** ボタンをクリックして設定を保存します。
11. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。



1日の監視期間を翌日の午前まで延長して入力する場合は、以下の手順を実行します。

1. **開始時刻**を入力し、**日付の終わりまで**切替えスイッチをオンにして、監視時間の終了時刻を 23:59 h に設定します。
2. 設定を保存します。
3. 翌平日の監視期間を 1 つ追加します。
4. **開始時刻**に 0:00 h を入力します。
5. **終了時刻**を入力します。
6. 同じ**差分**を選択します。
↳ 監視時間全体にわたり、最初の日の開始時刻に取得された測定値が関連付けられます。
7.  **保存** ボタンをクリックして設定を保存します。

 監視時間が重複しないようにしてください。

監視時間の変更

「毎日」 繰り返しルール：

1. **開始時刻**または**終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤルを使用して選択します。
2.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。

「毎週各 ...」 繰り返しルール：

1. リストから目的の監視時間をクリックします。
↳ **期間の追加**ダイアログボックスが表示されます。

Add time period ×

Day *



all day
 Inactive

From time *


until end of day
 Active

Delta *
 %

ダイアログボックスには、最後に保存されたタンクの凍結設定が表示されず。


2. 必要に応じて設定を調整します。
3.  **追加** ボタンをクリックして、変更した監視時間を保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、変更した監視時間がリストに表示されます。
4.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。

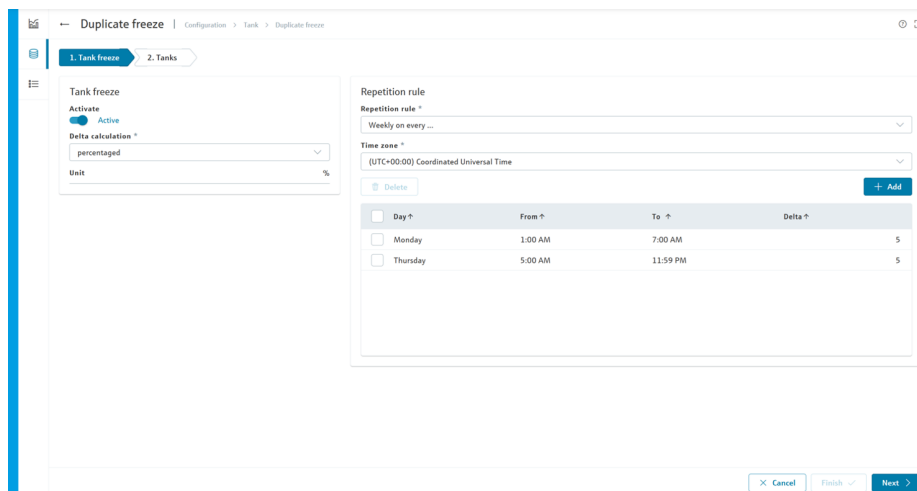
タンクの凍結イベントのリセット

- ▶  リセットボタンをクリックします。
 - ↳ タンクの凍結設定が初期設定にリセットされます。

タンクの凍結設定を他のタンクにコピー

タンクの凍結設定を変更する場合、変更した新しい設定を他のタンクに転送することができます。これにより、追加のタンクごとに設定を変更する必要がなくなります。

1. **タンクの凍結**タブで  **複製**ボタンをクリックします。
 - ↳ 設定ウィザードが開き、**1. タンクの凍結**タブが表示されます。



The screenshot shows the 'Duplicate freeze' configuration wizard. It has two tabs: '1. Tank freeze' (active) and '2. Tanks'. The '1. Tank freeze' tab contains the following settings:

- Activate:** Active
- Delta calculation:** percentaged
- Unit:** %
- Repetition rule:** Weekly on every ...
- Time zone:** (UTC+00:00) Coordinated Universal Time

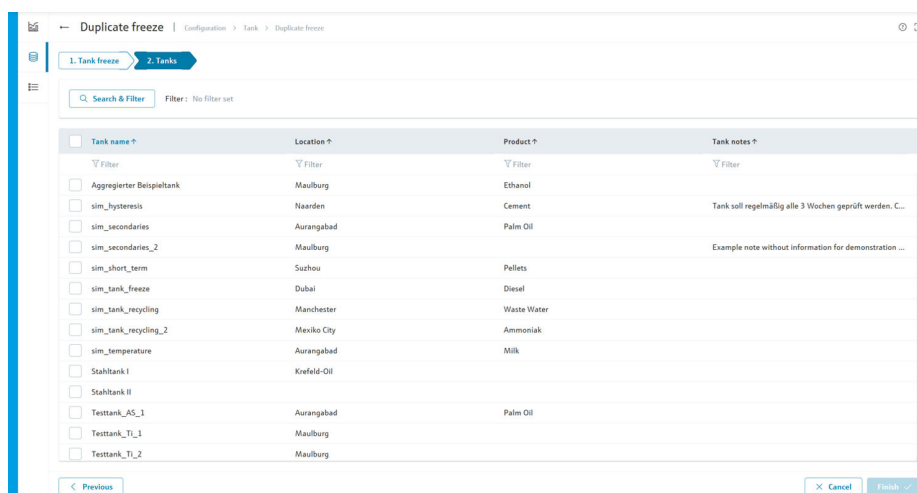
Below these settings is a table for defining repetition rules:

Day	From	To	Delta
<input type="checkbox"/> Monday	1:00 AM	7:00 AM	5
<input type="checkbox"/> Thursday	5:00 AM	11:59 PM	5

Buttons for 'Cancel', 'Finish', and 'Next' are visible at the bottom right.

このタブには、最後に保存されたタンクの凍結設定が表示されます。

2. 任意：必要に応じて設定を調整します。
3. **次へ** > ボタンをクリックします。
 - ↳ 作業エリアに **2. タンク**タブが表示されます。



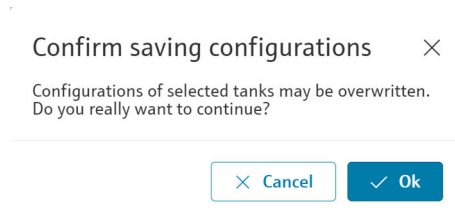
The screenshot shows the '2. Tanks' tab of the 'Duplicate freeze' wizard. It features a search and filter bar at the top. Below is a table listing tanks with their respective locations, products, and notes.

Tank name	Location	Product	Tank notes
<input type="checkbox"/> Aggregierter Beispieltank	Maulburg	Ethanol	
<input type="checkbox"/> sim_hysteresis	Naarden	Cement	Tank soll regelmäßig alle 3 Wochen geprüft werden. C...
<input type="checkbox"/> sim_secondaries	Aurangabad	Palm Oil	
<input type="checkbox"/> sim_secondaries_2	Maulburg		Example note without information for demonstration ...
<input type="checkbox"/> sim_short_term	Suzhou	Pellets	
<input type="checkbox"/> sim_tank_freeze	Dubai	Diesel	
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling	Manchester	Waste Water	
<input type="checkbox"/> sim_tank_recycling_2	Mexiko City	Ammoniak	
<input type="checkbox"/> sim_temperature	Aurangabad	Milk	
<input type="checkbox"/> Stahltank I	Krefeld-Oil		
<input type="checkbox"/> Stahltank II			
<input type="checkbox"/> Testtank_AS_1	Aurangabad	Palm Oil	
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_1	Maulburg		
<input type="checkbox"/> Testtank_TI_2	Maulburg		

Buttons for '< Previous', 'Cancel', and 'Finish' are visible at the bottom.

4. タンクの凍結設定をコピーするタンクのチェックボックスをオンにします。

5. **完了** ✓ ボタンをクリックして、マークしたタンクに設定を保存します。
 ↳ **設定保存の確認**ダイアログボックスが表示されます。



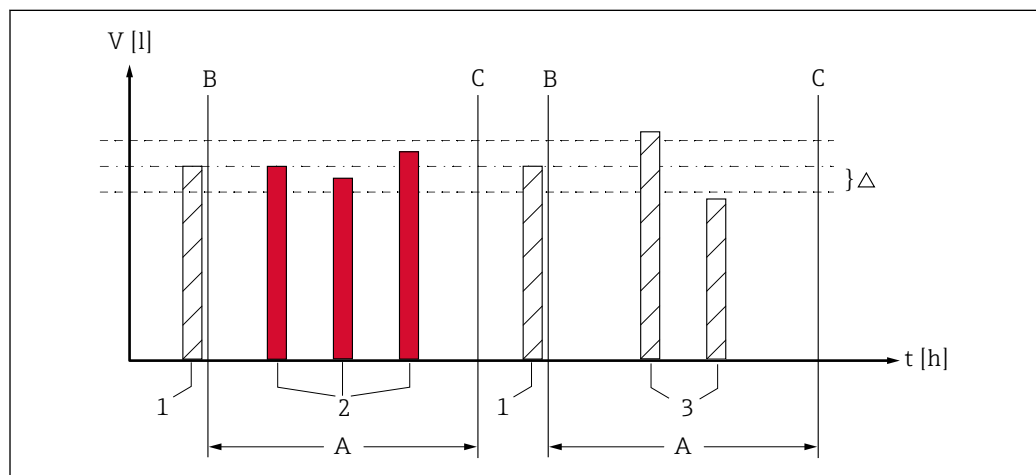
6. ✓ **OK** ボタンをクリックして、確認メッセージを確定します。
 ↳ タンクの凍結設定が、選択したタンクにコピーされます。
7. または、**X キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。
 ↳ タンクの凍結設定は、選択したタンクにコピーされません。

14.2.6 タンクの停止イベントの設定

i タンクの停止タブはデスクトップバージョンでのみ使用できます。

タンクの凍結イベントと同様に、タンクの停止イベントは内部制限を使用して生成されます。この制限は、設定された時間内に受信したタンクの最終測定値に基づいており、未使用の貯蔵容量や動作不良、故障などの検出を目的としています。

タンクの停止イベントの仕組みを以下に示します。



- A 監視時間の設定
- B 監視時間の開始
- C 監視時間の終了
- 1 開始時のレベル
- 2 レベルの変化なし、またはレベルは変化しましたが、設定されたイベントの差分の範囲内です。タンクの停止イベントが作成されます。
- 3 レベルが変化し、イベントの差分の範囲を超えています。タンクの停止イベントは作成されません。

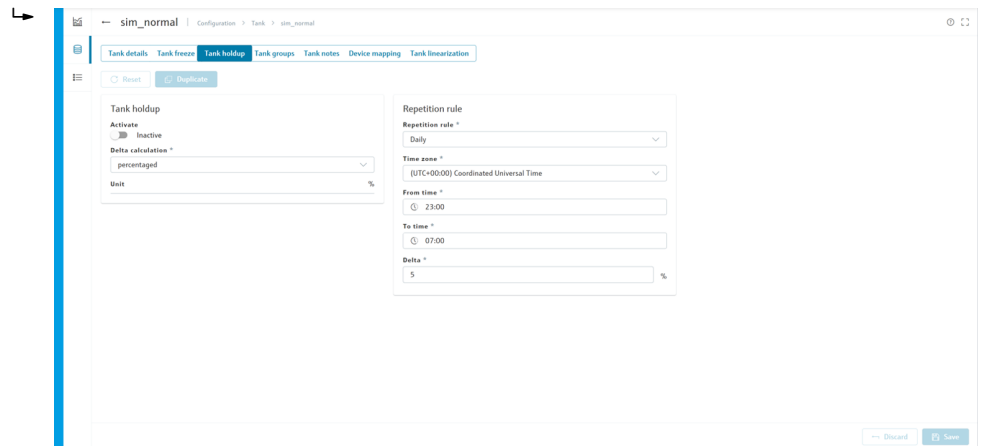
コンセプト

タンクの凍結イベントとは異なり、タンク内容物の取出し/補充、つまり、タンクのレベルが変化する状態が想定されています。2回の測定の間、通常の子測パターンと一致する一定量（イベントの差分）以上の増減が必要とされます。設定した差分に達していない場合、イベントが生成されます。したがって、タンクの停止機能は、たとえば、一定レベルの取出しを確認でき、将来的にも取出しが予測される自動運転のタンクステーションの監視に適しています。

タンクの停止イベントの設定

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。

2. テーブルで、イベントの停止を設定するタンクをクリックします。
3. **タンクの停止タブ**を選択します。



4. **有効化切替えスイッチ**をオンにして、このオプションを有効にします。このオプションはデフォルトでは無効です。
5. **差分の計算**ドロップダウンリストボックスで、差分の計算モードを選択します。
 - ↳ **絶対値**：タンクの単位で固定値として**差分**を設定します。
 - ↳ **パーセンテージ**：設定されたタンク容量の割合（パーセント値）として**差分**を指定します。
 - ↳ **単位**フィールドは、差分の計算を「絶対値」に設定した場合に、タンク容量用に設定されている単位を示します。それ以外の場合は、ここに「%」が表示されます。
6. **繰り返しルール**ドロップダウンリストボックスで、監視期間の繰り返しのルールを選択します。
 - ↳ **毎日**：毎日実行される監視時間を設定できます。
 - ↳ **毎週各 ...**：各平日ごとの監視時間を個別に設定できます。
 - ↳ **動作なし...**：監視時間に期間（日数）を設定できます。

i 計算モードは、**絶対値**または**パーセンテージ**の間でいつでも変更できます。差分の計算モードを変更すると、関連する監視時間の差分値が無効になり、再入力が必要になります。

i 1つのタンクに設定できるのは、1種類の繰り返しルールのみです。「毎日」、「毎週各 ...」または「動作なし...」のいずれかです。最後に設定して保存した繰り返しルールのみが有効になります。

「毎日」繰り返しルールの設定

Repetition rule

Repetition rule *

Daily

Time zone *

(UTC+00:00) Coordinated Universal Time

From time *

22:00



To time *

06:00

Delta *

6 %

1. 設定された監視時間に使用する**タイムゾーン**を選択します。
2. **開始時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
3. **終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。



4. **差分**を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
 - ↳ 監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。監視時間の終了時まで、凍結された測定値と現在の測定値の差が差分を超えなかった場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。
5.  **保存**ボタンをクリックして設定を保存します。
6. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

「毎週各 ...」繰り返しルールの設定


Repetition rule

Repetition rule *

Time zone *

Day ↑	From ↑	To ↑	Delta ↑
No entries found.			

1.  **追加**ボタンをクリックします。
 - ↳ **期間の追加**ダイアログボックスが表示されます。

Add time period ×

Day *

all day
 Inactive



From time *




To time *

until end of day
 Inactive


Delta *
 %


× Cancel
+ Add

2. 期間を追加する**日**（曜日）を選択します。
3. **開始時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤルを使用して選択します。
4. **終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤルを使用して選択します。終了時刻には、開始時刻よりも遅い時刻を指定する必要があります。
5. 任意：**終日切替え**スイッチをオンにして、監視時間を**0:00 h**～**23:59 h**の期間に設定します。
 - ↳ **開始時刻**および**終了時刻**入力ボックスは無効になり、非表示になります。開始時刻は**0:00 h**に置き換わり、終了時刻は**23:59 h**に置き換わります。

6. 任意：日付の終わりで切替えスイッチをオンにして、監視時間の終了時刻を 23:59 h に設定します。
 - ↳ 終了時刻入力フィールドは無効になり、非表示になります。終了時刻は 23:59 h に置き換わります。
7. 差分を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
 - ↳ 監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。監視時間の終了時まで、凍結された測定値と現在の測定値の差が差分を超えなかった場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。イベントの停止の差分は、監視時間ごとに個別に設定できます。
8.  追加ボタンをクリックして、有効な監視期間のリストに設定を追加します。
 - ↳ ダイアログボックスが閉じ、監視時間がリストに表示されます。
9. 任意：他の監視時間を設定します。
10.  保存ボタンをクリックして設定を保存します。
11. または、 破棄ボタンをクリックして変更を取り消します。

1 日の監視期間を翌日の午前まで延長して入力する場合は、以下の手順を実行します。

1. 開始時刻を入力し、日付の終わりで切替えスイッチをオンにして、監視時間の終了時刻を 23:59 h に設定します。
2. 設定を保存します。
3. 翌平日の監視期間を 1 つ追加します。
4. 開始時刻に 0:00 h を入力します。
5. 終了時刻を入力します。
6. 同じ差分を選択します。
 - ↳ 監視時間全体にわたり、最初の日の開始時刻に取得された測定値が関連付けられます。
7.  保存ボタンをクリックして設定を保存します。

 監視時間が重複しないようにしてください。


「動作なし...」繰り返しルールの設定

Repetition rule

Repetition rule *

Period (in days) *
 Days

Delta *
 %

1. 監視時間に使用する期間（日数）を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
2. 差分を入力します。「0」より大きい値を設定する必要があります。
 - ↳ 監視時間の開始時に、最後に測定されたタンクの値（タンクレベルなど）が保存（「凍結」）されます。監視時間内は、この「凍結された」測定値が現在の測定値と比較されます。監視時間の終了時まで、凍結された測定値と現在の測定値の差が差分を超えなかった場合（正または負）、タンクの停止イベントが生成されます。
3.  保存ボタンをクリックして設定を保存します。

4. または、**← 破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

i 設定されている測定期間よりも長い期間を選択することはできません。標準では7日間に設定されています。

監視時間の変更

「毎日」 繰り返しルール：

1. **開始時刻**または**終了時刻**を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。
2. **🗒️ 保存** ボタンをクリックして変更を保存します。

「毎週各 ...」 繰り返しルール：

1. リストから目的の監視時間をクリックします。
↳ **期間の追加**ダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックスには、最後に保存されたタンクの凍結設定が表示されません。

2. 必要に応じて設定を調整します。
3. **🗒️ 追加** ボタンをクリックして、変更した監視時間を保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、変更した監視時間がリストに表示されます。
4. **🗒️ 保存** ボタンをクリックして変更を保存します。

「動作なし...」 繰り返しルール：


1. **期間 (日数)** を入力します。
2. **🗒️ 保存** ボタンをクリックして変更を保存します。

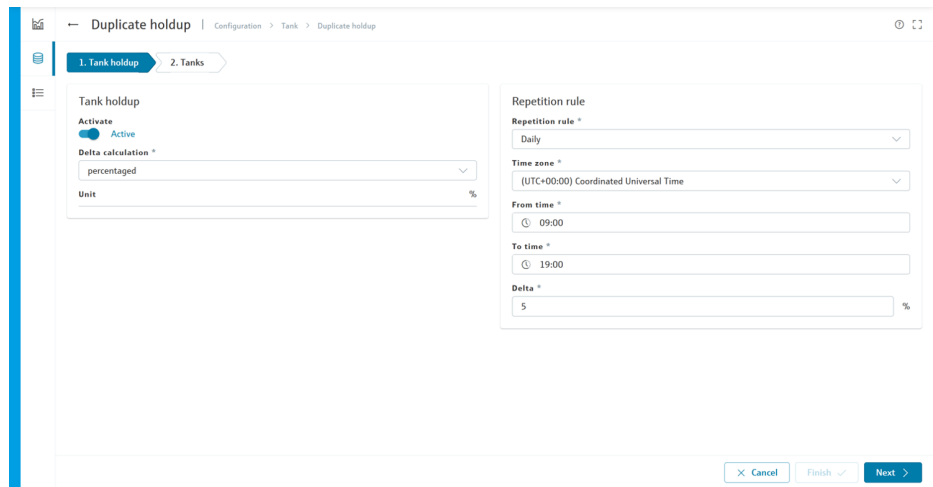
タンクの停止イベントのリセット

- ▶ **🔄 リセット** ボタンをクリックします。
↳ タンクの停止設定が初期設定にリセットされます。

タンクの停止設定を他のタンクにコピー

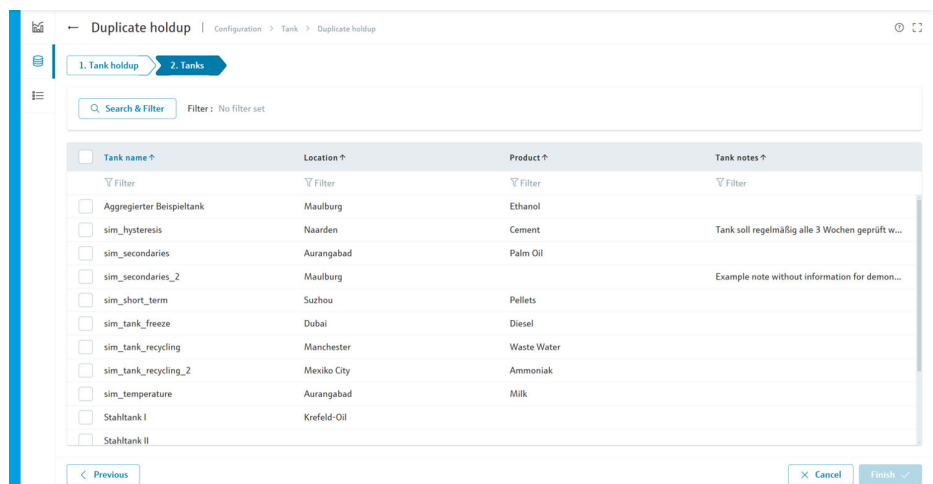
タンクの停止設定を変更する場合、変更した新しい設定を他のタンクに転送することができます。これにより、追加のタンクごとに設定を変更する必要がなくなります。

1. タンクの停止タブで  複製ボタンをクリックします。
↳ 設定ウィザードが開き、**1. タンクの停止タブ**が表示されます。



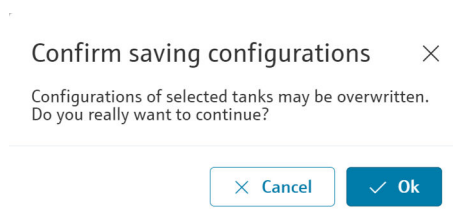
このタブには、最後に保存されたタンクの停止設定が表示されます。

2. 任意：必要に応じて設定を調整します。
3. **次へ >** ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **2. タンクタブ**が表示されます。



Tank name	Location	Product	Tank notes
Aggregierter Beispieltank	Maulburg	Ethanol	
sim_hysteresis	Naarden	Cement	Tank soll regelmäßig alle 3 Wochen geprüft w...
sim_secondaries	Aurangabad	Palm Oil	
sim_secondaries_2	Maulburg		Example note without information for demon...
sim_short_term	Suzhou	Pellets	
sim_tank_freeze	Dubai	Diesel	
sim_tank_recycling	Manchester	Waste Water	
sim_tank_recycling_2	Mexiko City	Ammoniak	
sim_temperature	Aurangabad	Milk	
Stahltank I	Krefeld-Oil		
Stahltank II			

4. タンクの停止設定をコピーするタンクのチェックボックスをオンにします。
5. **完了 ✓** ボタンをクリックして、マークしたタンクに設定を保存します。
↳ **設定保存の確認**ダイアログボックスが表示されます。



6. **✓ OK** ボタンをクリックして、確認メッセージを確定します。
↳ タンクの停止設定が、選択したタンクにコピーされます。
7. または、**✕ キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。
↳ タンクの停止設定は、選択したタンクに**コピーされません**。

14.2.7 タンクに関するファイルおよびその他の情報の管理

タンクのメモタブを使用して、タンクに関する追加情報および最大 5 個のファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス - タンク」ビューの**メモとファイル**タブにも表示されます。

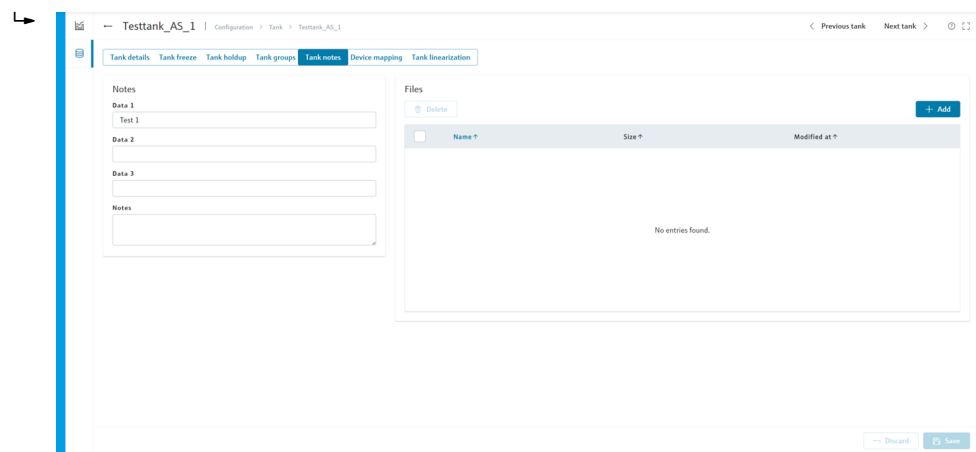
i デフォルトでは、ファイル数は 5 ファイルに制限されています。ファイル数の制限を変更する必要がある場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

ファイルは、以下の要件を満たす必要があります。

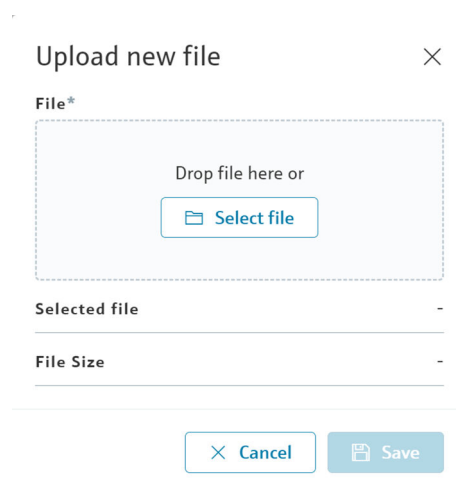
- ファイル形式 : doc、docx、xls、xlsx、pdf、ppt、pptx、jpg、jpeg、gif、png、bmp、txt
- ファイルサイズ : 最大 5 MB

ファイルの追加


1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、ファイルを追加するタンクをクリックします。
3. **タンクのメモ**タブを選択します。




4. 任意 : **データ 1**、**データ 2**、**データ 3**、**メモ**フィールドに説明を入力します。
5. **+** **追加**ボタンをクリックします。
 ↳ **新規ファイルのアップロード**ダイアログボックスが表示されます。





6. **ファイルの選択**ボタンをクリックして、ディレクトリ内のファイルを選択します。
 ↳ ファイル名が**選択したファイル**フィールドに表示されます。
7. または、ファイルを**ファイル**フィールドにドラッグアンドドロップします。

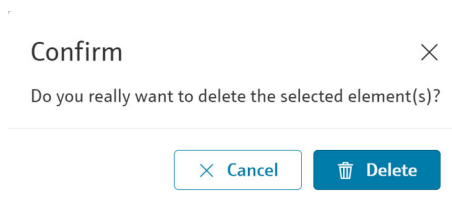
8.  **保存**ボタンをクリックしてファイルをアップロードします。
 - ↳ ファイル形式、ファイル名、ファイルサイズ、およびファイルが最後に変更された日付に関する情報とともに、ファイルがテーブルに表示されます。




ファイルのダウンロード

1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、目的のタンクをクリックします。
3. **タンクのメモ**タブを選択します。
4. テーブルでファイル名をクリックします。
 - ↳ ファイルがダウンロードされ、ローカルの保存場所で開くことができます。

ファイルの削除

1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、目的のタンクをクリックします。
3. **タンクのメモ**タブを選択します。
4. 削除するファイルの前にあるチェックボックスをオンにします。
5.  **削除**ボタンをクリックします。
 - ↳ **確定**ダイアログボックスが表示されます。



6.  **削除**ボタンをクリックして、ファイルを完全に削除します。
 7. または、 **キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。
-  **データ 1、データ 2、データ 3、メモ**の各フィールドの説明は、いつでも変更/リセットできます。変更は保存した場合にのみ承認されます。

14.2.8 機器マッピング

機器マッピングタブを使用して、機器をタンクに割り当てることができます。このタブには、タンクパラメータがゲートウェイおよび対応する測定点にどのようにリンクされているかについて概要が表示されます。設定されている単位と測定単位も表示されます。

 **機器マッピング**タブは、選択した SupplyCare の契約で対応する機能が有効化されている場合にのみ使用できます。**機器マッピング**を利用できず、有効化する必要がある場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

すべてのフィールドは編集可能ですが、**プライマリ**、**緯度 (GPS)**、**経度 (GPS)** の各タンクパラメータおよび対応する名前と測定単位は編集できません。

名前

標準のプレースホルダとしてタンクパラメータの名前が含まれます。タンクパラメータの名前は自由に選択できます。例外：**プライマリ**、**緯度 (GPS)**、**経度 (GPS)**。個々のテキストは翻訳されず、フィールドに入力された各言語で表示されます。

シリアルナンバー

割り当てられたゲートウェイのシリアル番号、または選択されたゲートウェイのシリアル番号が表示されます。

機器

ゲートウェイに属する機器が表示されます。

測定点

ゲートウェイで提供される機器を選択すると、ドロップダウンリストボックスから対応する測定点を選択できます。まだ使用されていない機器しか選択できません。

単位 (機器)

機器および測定点をタンクパラメータに割り当てると、その機器から単位が伝送され、表示されます。

単位 (アプリケーション)

他の単位を手動で指定しなかった場合、自動的に機器から単位が転送され、初期値として使用されます。必須条件として、機器から転送される単位が **SupplyCare** で検出済みである必要があります。測定点を選択した場合は、フィールドに入力する必要があります。

i プライマリタンクパラメータの例外事項：

このタンクパラメータに測定点を割り当てると、**単位 (アプリケーション)** フィールドのタンクの単位がこの測定点に使用されます。この割り当てを解除した場合、この測定点は再び機器から転送された単位を受信します。

物理量が同じである単位は換算されません (例：mm と m、°C と °F)。

プライマリタンクパラメータは恒久的な名前であり、このテキストを編集することはできません。ユーザーインターフェースの言語を変更すると、それに応じてテキストも調整されます。

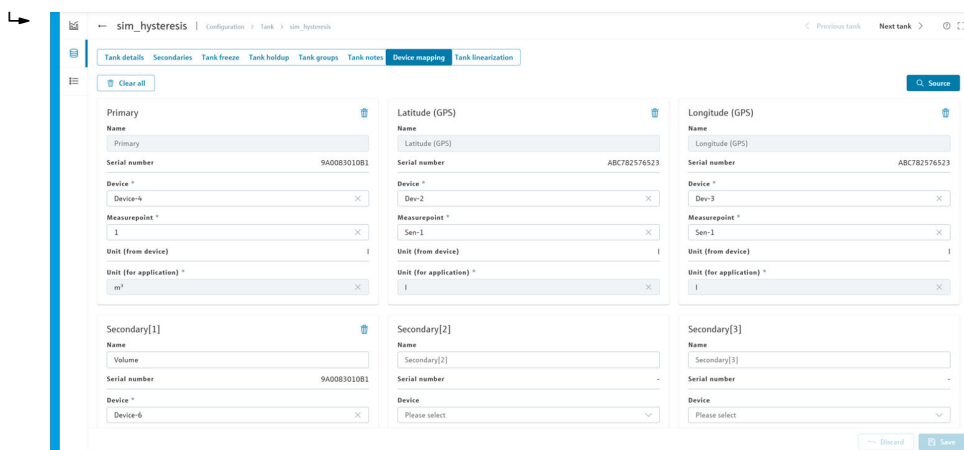
i **緯度 (GPS)** および **経度 (GPS)** タンクパラメータの例外事項：

これらのタンクパラメータは恒久的な名前であり、このテキストを編集することはできません。**単位 (アプリケーション)** フィールドの単位は常に度 (°) です。ここに測定点を割り当てた場合、この単位を自動的に受信します。

機器マッピングの表示および変更

1. **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、**機器マッピング**を表示するタンクをクリックします。

3. 機器マッピングタブを選択します。



4. 🔍 ソースボタンをクリックします。

↳ ソースダイアログボックスが表示されます。

Source
✕

Serial number

Model -

Tag -

Description -

✕ Cancel
✓ Ok

5. シリアルナンバーフィールドにゲートウェイのシリアル番号を入力します。

6. 🔍 ボタンをクリックして検索を開始します。

↳ 検出されたゲートウェイのデータが既知である場合は、**モデル**、**タグ**、**説明**が表示されます。

7. ✓ **OK** ボタンをクリックして、そのシリアル番号を承認します。

8. ドロップダウンリストボックスから関連するタンクパラメータを変更します。一部のゲートウェイ (**Micropilot FWR30** など) では、あらかじめ入力されているフィールドがあります。

9. 💾 **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。


10. または、🗑️ **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

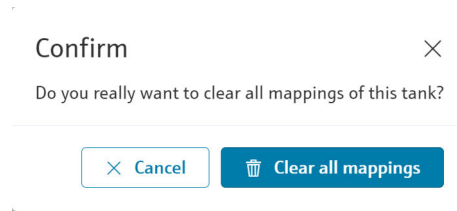
i 異なるゲートウェイの追加の測定点を同じタンクに割り当てる場合は、🔍 **ソース** ボタンを使用して新しいシリアル番号を入力します。


機器マッピングの削除

すべての機器マッピングを削除する場合は、以下の手順を実行します。




1. 📖 **設定** メニューで、**タンク** メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、機器マッピングを削除するタンクをクリックします。
3. **機器マッピング** タブを選択します。

4.  **すべて消去**ボタンをクリックして、すべての機器マッピングを削除します。
↳ **確定**ダイアログボックスが表示されます。



5.  **すべてのマッピングを消去**ボタンをクリックします。
↳ このマッピングは完全に削除され、元に戻すことはできません。
6. または、**X キャンセル**ボタンをクリックして処理を中止します。


一部の機器マッピングのみを削除する場合は、以下の手順を実行します。

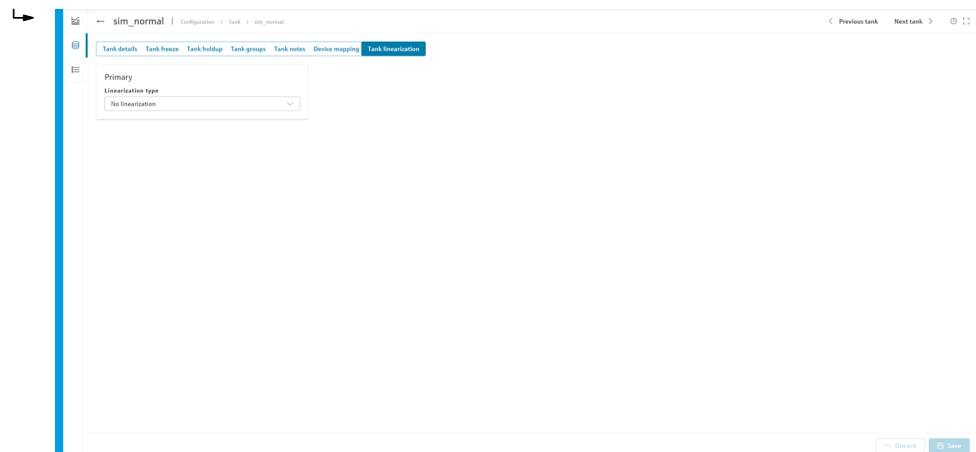
1. 目的のタンクパラメータのフィールドにある  ボタンをクリックして測定点の割り当てを削除します。
2.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
3. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

14.2.9 タンクへのリニアライゼーションの割り当て

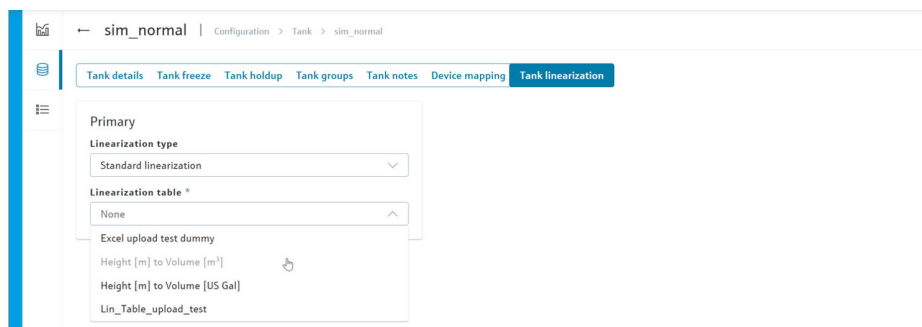
タンクのリニアライゼーションタブを使用して、既存のリニアライゼーションをタンクのプライマリバリューに直接割り当てることができます。



リニアライゼーションの割り当て


1.  **設定**メニューで、**タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、リニアライゼーションを追加するタンクをクリックします。
3. **タンクのリニアライゼーション**タブを選択します。



4. ドロップダウンリストボックスから**リニアライゼーションタイプ**を選択します。
 - ↳ 標準リニアライゼーションを選択した場合、**リニアライゼーションテーブル**ドロップダウンリストボックスが表示されます。



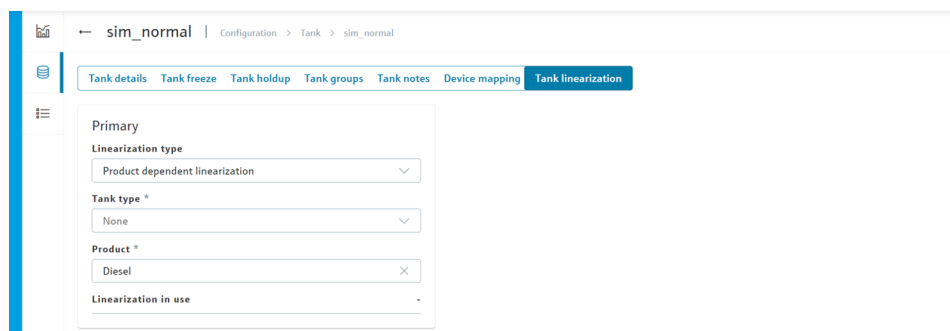
5. リニアライゼーションテーブルを選択できるようにするには、リニアライゼーションテーブルを利用可能にする必要があります。詳細については、「リニアライゼーションテーブルの管理」セクションを参照してください。ドロップダウンリストから**リニアライゼーションテーブル**を選択します。
6.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
7. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。



 契約内容に応じて：

標準的なリニアライゼーションに加えて、リニアライゼーションタイプとして**製品ベースのリニアライゼーション**および**イベントベースのリニアライゼーション**も選択できます。ご不明な点がございましたら、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

製品ベースのリニアライゼーションの割り当て



このリニアライゼーションタイプでは、タンクの製品を選択することにより、リニアライゼーションを自動的に設定できます。



1. ドロップダウンリストボックスから**タンクタイプ**を選択します。
2. ドロップダウンリストボックスから**製品**を選択します。
 - ↳ **使用中のリニアライゼーション**フィールドには、選択した製品とタンクタイプに対して現在選択されているリニアライゼーション名が表示されます。リニアライゼーション名は、**リニアライゼーションメニュー項目のリニアライゼーションルール**タブの設定に応じて異なります。
3.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
4. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

イベントベースのリニアライゼーションの割り当て

必要なプライマリバリュ/セカンダリバリュ（差分を含む）に基づいて、リニアライゼーションの2つの状態を切り替えることができます。各状態に対して異なるリニアライゼーションテーブルが選択されます。

1. ドロップダウンリストボックスから**タンクタイプ**を選択します。
2. ドロップダウンリストボックスから**製品**を選択します。
3. **状態 B に切り替え**または**状態 A に切り替え**のいずれかの切替えスイッチをオンにします。
↳ その他の状態設定は自動的に調整されます。2つの切替えスイッチのうち、**オン**に設定できるのは1つだけです。
4. **ベース**：ドロップダウンリストボックスで、トリガのベースとなる値を選択します。プライマリバリューまたはいずれかのセカンダリバリューを選択します。
5. **差分**の量を入力します。状態を変化させるには、選択した値をこの差分の量だけ超過する必要があります。値は浮動小数点値で入力します。負の値を入力する場合は、前にマイナス記号を入力してください。
6.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
7. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。




14.2.10 タンクの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。


14.2.11 タンクの削除

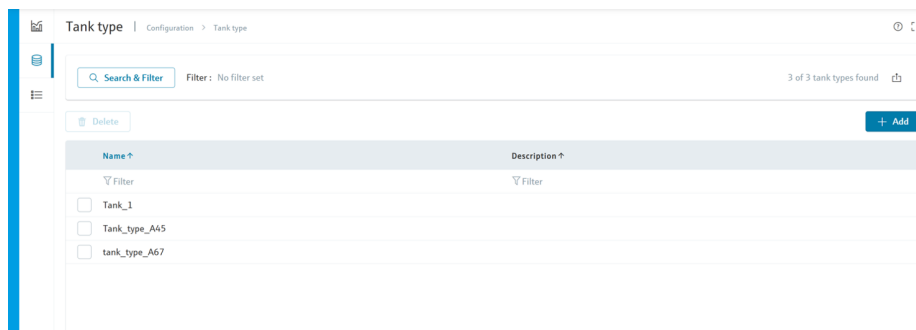
追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.3 タンクタイプの管理

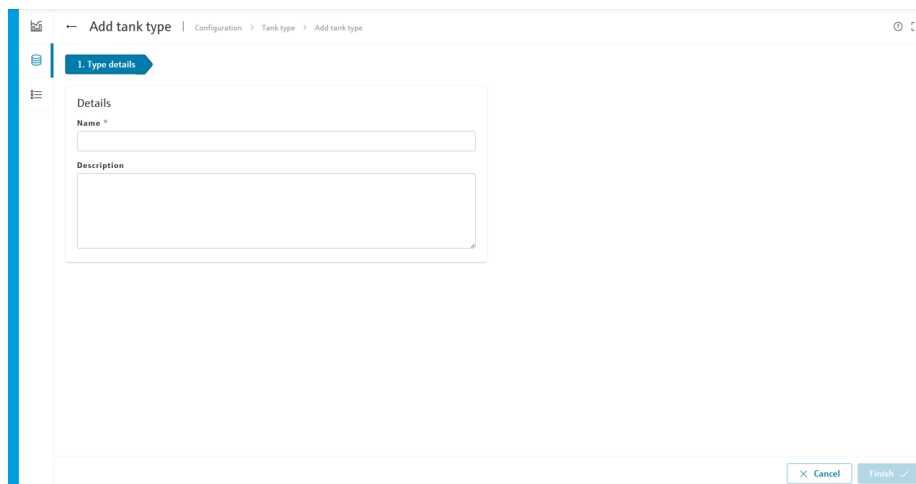
-  タンクタイプを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
-  設定に応じて、**タンクタイプ**の代わりに**オブジェクトタイプ**または**サイロタイプ**が表示されます。
-  **タンクタイプ**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。


14.3.1 タンクタイプの作成

1.  **設定**メニューで、**タンクタイプ**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. **+** **追加**ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **1. タイプの詳細**タブが表示されます。



3. **名前**を入力します。タイプ名は一意である必要があります。
4. 任意：複数行の説明を入力します。
5. **完了**  ボタンをクリックして、新しいタンクタイプを保存します。

14.3.2 タンクタイプに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除

タイプのメモタブを使用して、タンクタイプに関する追加情報および最大 5 個のファイルを追加できます。

ファイルの管理については、「タンクに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除」セクションを参照してください。

14.3.3 タンクタイプの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.3.4 タンクタイプの削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

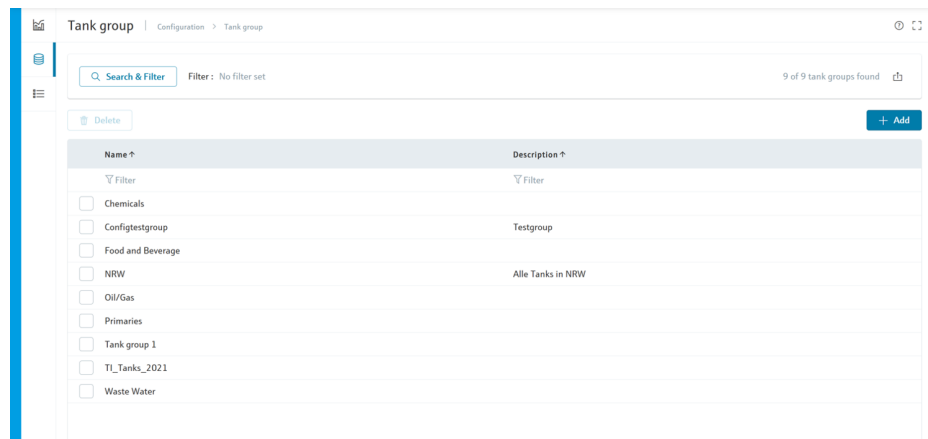
14.4 タンクグループの管理

- i** タンクグループを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** タンクグループに割り当てられているタンクのみが「ワークプレイス」に表示されます。
- i** 設定に応じて、**タンクグループ**の代わりに**オブジェクトグループ**または**サイログループ**が表示されます。
- i** **タンクグループ**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

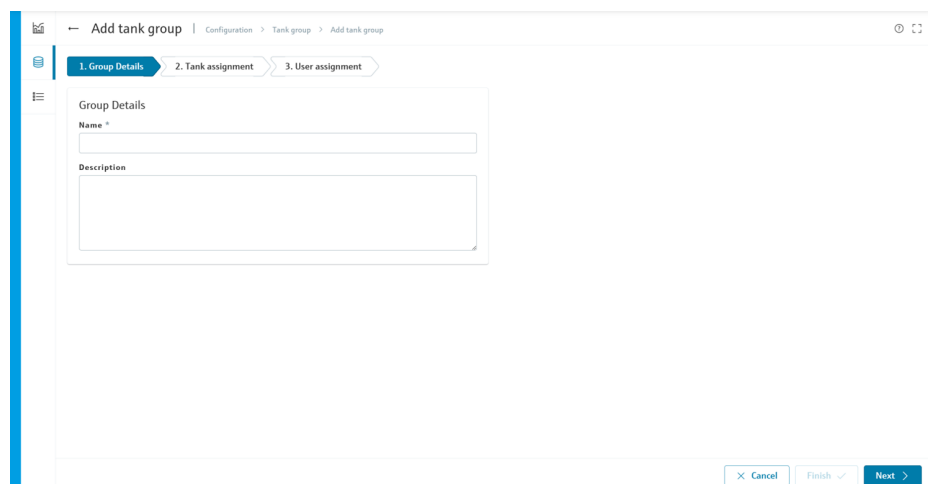
タンクグループは、タンクを整理する場合および権限を持つユーザーをタンクに割り当てる場合に使用します。タンクの割り当てタブでは、タンクをタンクグループに割り当てます。ユーザーの割り当てタブでは、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てます。ユーザーの割り当てタブでは、ユーザーに通知されるタンクイベントも指定できます。

14.4.1 タンクグループの作成

1. **設定**メニューで、**タンクグループ**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。

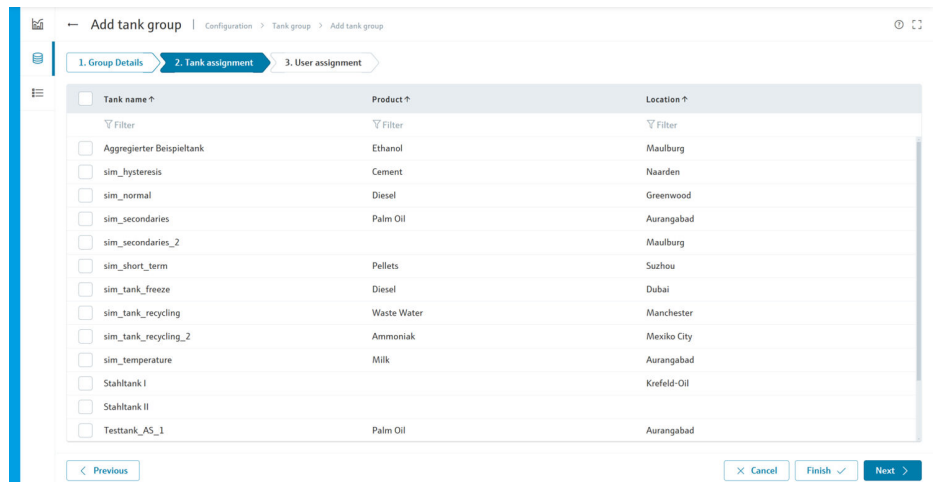


2. **+** **追加**ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. グループ詳細**タブが表示されます。

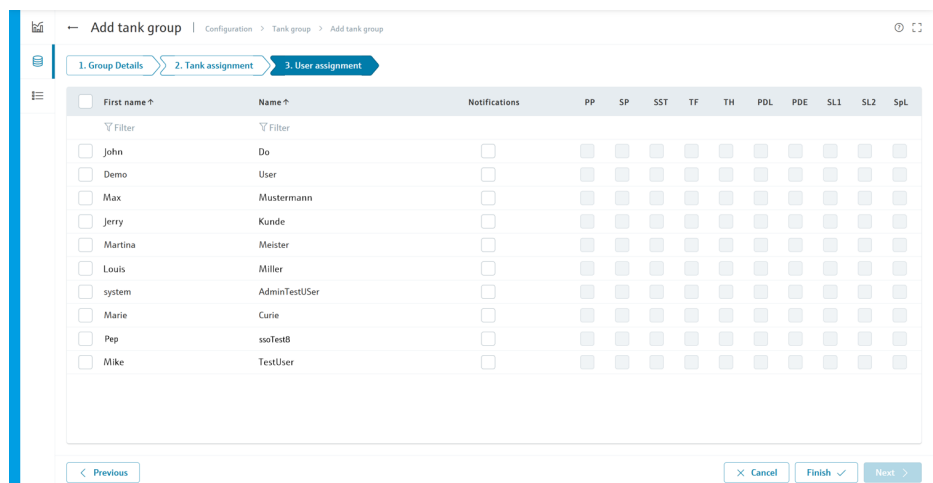


3. **名前**を入力します。タンクグループ名は一意である必要があります。
4. 任意：複数行の説明を入力します。
5. **完了** ボタンをクリックして、新しいタンクグループを保存します。

6. または、**次へ** > ボタンをクリックして、1つまたは複数のタンクをタンクグループに割り当てます。
 - ↳ 作業エリアに**2. タンクの割り当て**タブが表示されます。



7. タンクグループに1つまたは複数のタンクを割り当てます。
8. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクグループを保存します。
9. または、**次へ** > ボタンをクリックして、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てます。
 - ↳ 作業エリアに**3. ユーザーの割り当て**タブが表示されます。

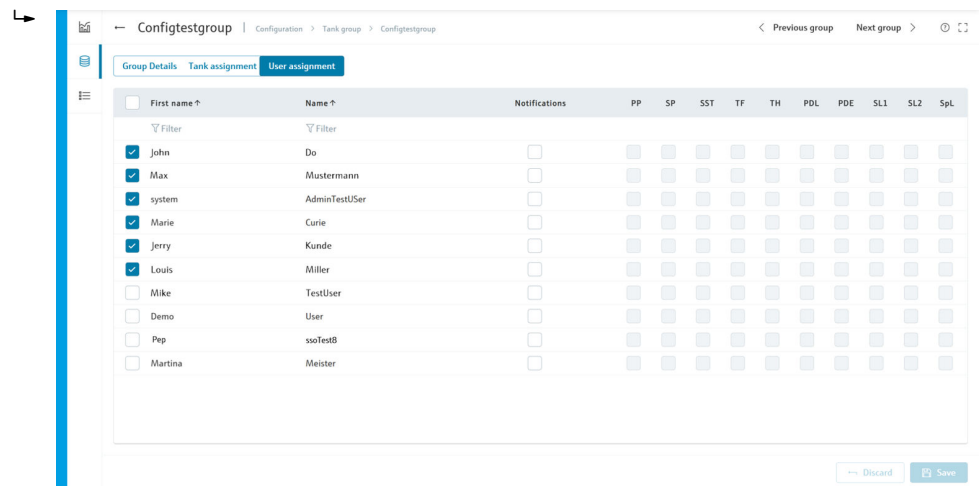


10. タンクグループに1人または複数のユーザーを割り当てます。
11. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクグループを保存します。

14.4.2 タンクグループへのユーザーの割り当ておよびタンクイベント通知の設定

1. 設定メニューで、**タンクグループ**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、割り当てを変更するタンクをクリックします。

3. ユーザーの割り当てタブを選択します。



4. 左側の列のチェックボックスをオンにして、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てます。
5. 任意：ユーザーにEメールでタンクイベントも通知する場合は、対象となるタンクの通知列にあるチェックボックスをオンにします。
6. ユーザーが通知を受け取る必要があるイベントに対応したチェックボックスをオンにします。
7. 保存ボタンをクリックして変更を保存します。

通知は、ユーザーメニューでも設定/管理できます。「ユーザーへのタンクグループの割り当ておよびタンクイベント通知の設定」セクションを参照してください。

14.4.3 タンクグループの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.4.4 タンクグループの削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

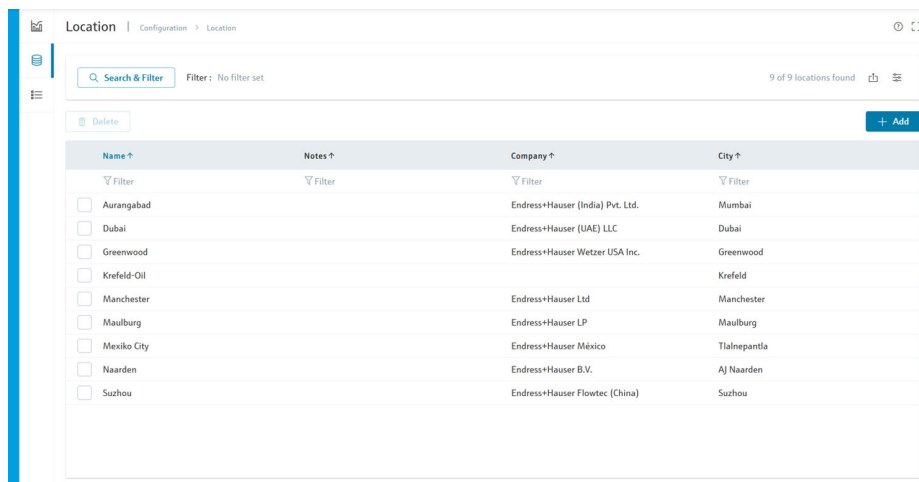
14.5 地域の管理

- 地域を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールがマスターデータに設定されているユーザーのみです。
- 地域メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

14.5.1 地域の作成

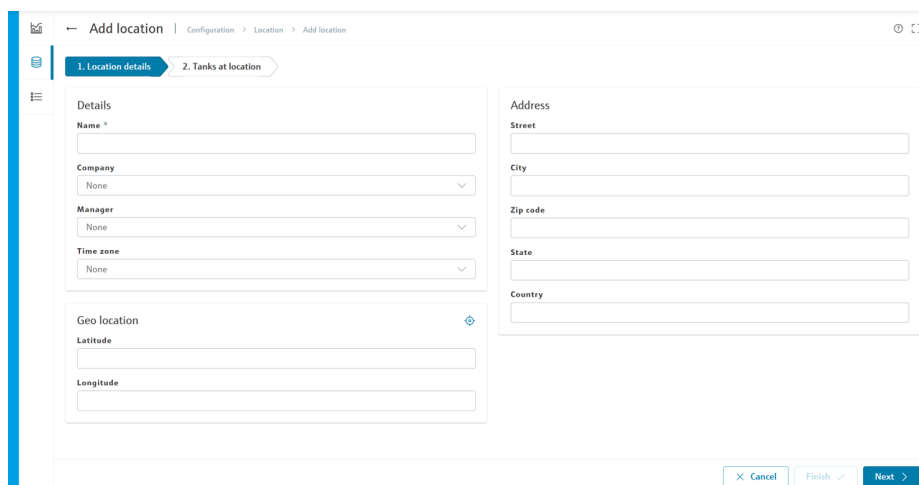
タンクを地域に割り当てるには、まずタンクを作成する必要があります。ただし、最初に地域を作成しておいて、後からタンクを地域に割り当てることもできます。

1. **設定**メニューで、**地域**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



Name	Notes	Company	City
<input type="checkbox"/> Aurangabad		Endress+Hauser (India) Pvt. Ltd.	Mumbai
<input type="checkbox"/> Dubai		Endress+Hauser (UAE) LLC	Dubai
<input type="checkbox"/> Greenwood		Endress+Hauser Wetzer USA Inc.	Greenwood
<input type="checkbox"/> Krefeld-Oil			Krefeld
<input type="checkbox"/> Manchester		Endress+Hauser Ltd	Manchester
<input type="checkbox"/> Maulburg		Endress+Hauser LP	Maulburg
<input type="checkbox"/> Mexico City		Endress+Hauser México	Tlalneantla
<input type="checkbox"/> Naarden		Endress+Hauser B.V.	AJ Naarden
<input type="checkbox"/> Suzhou		Endress+Hauser Flowtec (China)	Suzhou

2. **+** 追加ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. 地域の詳細** タブが表示されます。



1. Location details | 2. Tanks at location

Details

Name *

Company

Manager

Time zone

Geo location

Latitude

Longitude

Address

Street

City

Zip code

State

Country

Cancel Finish Next

3. **名前**を入力します。地域の名前は一意である必要があります。
4. 地域の**タイムゾーン**を選択します。
 ↳ 時間に関するすべてのデータ（特に、この地域に設置されたタンクの測定用タイムスタンプ）が、このタイムゾーンで表示されます。
 タイムゾーンが選択されていない場合は、タイムゾーンとして標準時 +00:00 が使用されます。
5. 任意：地域に関する追加データを入力します。

- **会社**
- **マネージャー** – 会社のお問合せ担当者。選択した会社にお問合せ担当者が作成されていない場合、このフィールドは空のままです。
- **番地**
- **市町村**
- **郵便番号**
- **都道府県**
- **国**
- **緯度および経度** – この地域の地理座標。この座標は、概要マップ上の地域表示に使用されます。
 入力した住所情報から緯度と経度を自動計算することもできます。「地域の自動計算または手動入力」セクションを参照してください。

6. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しい地域を保存します。
7. または、**次へ** > ボタンをクリックして、1つまたは複数のタンクを地域に割り当てます。
 - ↳ 作業エリアに **2. 地域のタンク** タブが表示されます。
 テーブルには、すでに地域に割り当てられているタンクまたはまだ地域に割り当てられていないタンクが表示されます。
8. 地域にタンクを割り当てます。詳細については、「地域 - タンクの割り当ての変更」セクションを参照してください。
9. **完了** ✓ ボタンをクリックして、地域を保存します。

14.5.2 地域に関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除

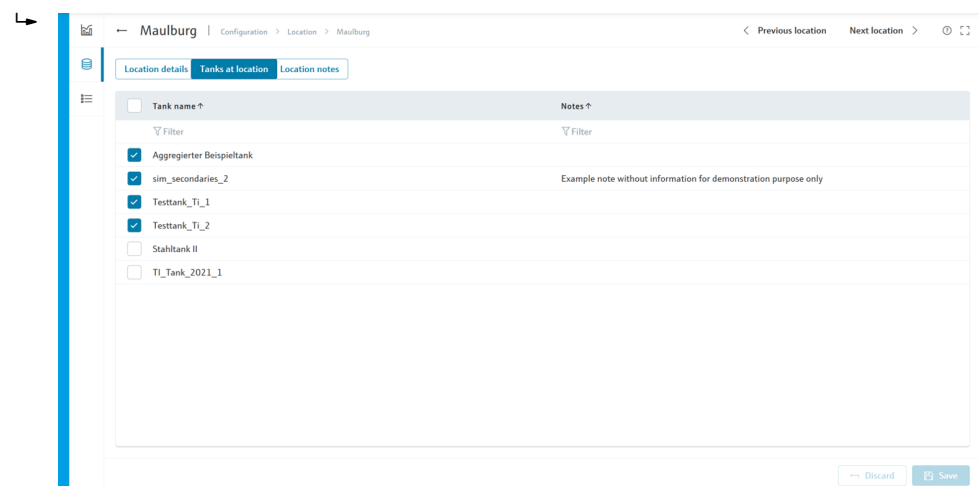
地域のメモタブを使用して、地域に関する追加情報および最大5個のファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス - タンク」ビューの**メモとファイル**タブにも表示されます。

ファイルの管理については、「タンクに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除」セクションを参照してください。

14.5.3 地域 - タンクの割り当ての変更

地域のタンクタブを使用して、地域のタンクを追加/削除できます。

1. **設定**メニューで、**地域**メニュー項目をクリックします。
2. **地域のタンク**タブを選択します。




3. タンクのチェックボックスをオンにして、この地域にタンクを割り当てます。
4. **保存**ボタンをクリックして選択内容を保存します。
 - ↳ テーブルが再びソートされます。割り当てられたタンクは、割り当てられていないタンクの前にアルファベット順で表示されます。
5. または、 **破棄**ボタンをクリックして変更を取り消します。

14.5.4 地域の自動計算または手動入力


住所データが変更された場合は、経度と緯度も更新する必要があります。

住所に基づいて経度と緯度を自動計算するか、または経度と緯度を手動で入力できます。

地域の自動計算



1. **地域の詳細**タブを選択します。
2. 住所の詳細は空のままにしないでください。
地理位置フィールドの  ボタンをクリックします。
↳ 住所が検出された場合、ダイアログボックスが表示され、入力した住所の詳細を確認できます。



3. OK ボタンをクリックして、経度と緯度を確定します。
↳ 自動計算された情報が**緯度**および**経度**フィールドに表示されます。
4.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。

住所情報が不十分なために経度と緯度を計算できない場合は、「不明または不正なアドレスです。手動で入力してください。」などのメッセージが表示されます。

地域の手動入力

1. 対応するフィールドに**経度**と**緯度**を入力します。緯度の値は -85~+85、経度の値は -180~+180 の範囲で設定してください。数値の小数点桁数は最大 16 桁までです。
 2.  **保存**ボタンをクリックして変更を保存します。
-  自動計算された経度と緯度はいつでも上書きできます。

14.5.5 マップでの地域の表示

詳細については、「マップおよび関連情報の表示」セクションを参照してください。



14.5.6 地域の変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。


14.5.7 地域の削除


追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

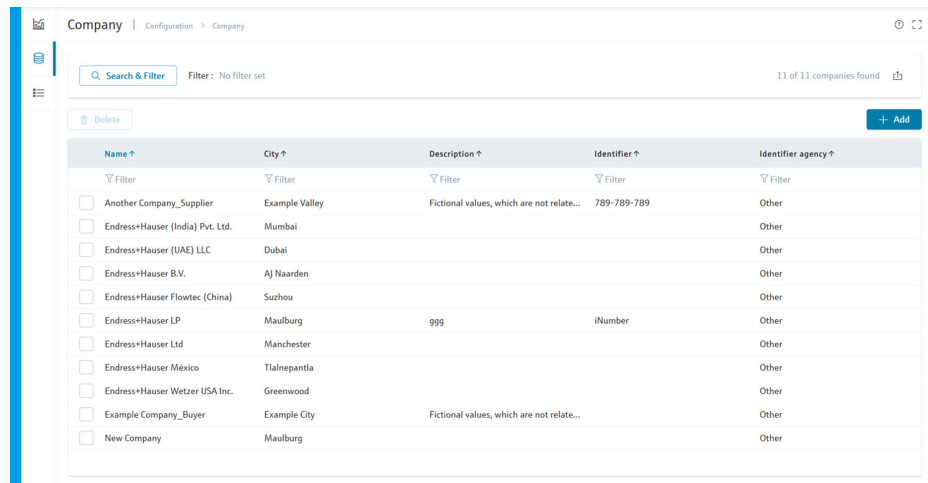
14.6 会社の管理

-  会社を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
-  **会社**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

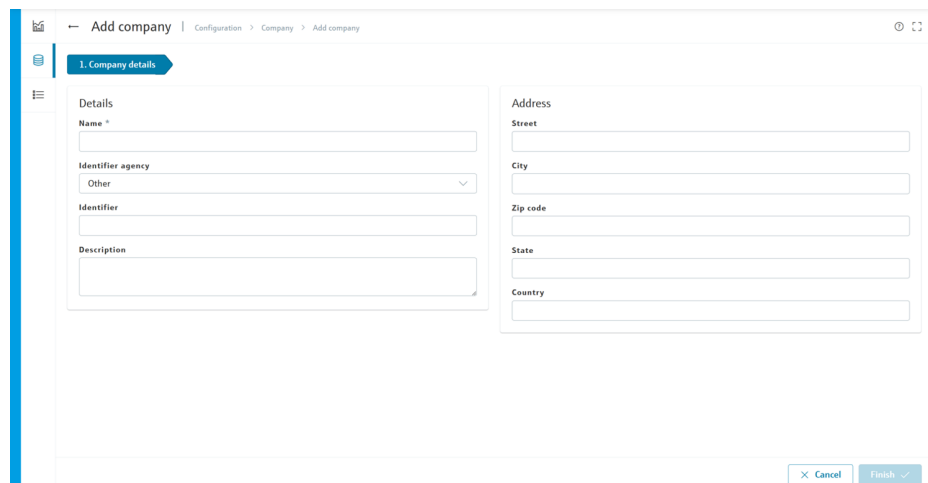
14.6.1 会社の作成

-  会社名、および **ID** と **ID 発行機関**フィールドの組合せはシステム内で一意である必要があります。

1.  **設定**メニューで、**会社**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. **+** **追加**ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. 会社詳細**タブが表示されます。



3. **名前**を入力します。会社名は一意である必要があります。
4. 任意：会社の追加データを入力します。

- **お問合せ先** - 会社のお問合せ担当者。お問合せ担当者を選択するには、**ユーザー**メニュー項目を使用してお問合せ担当者を事前に追加し、会社に割り当てておく必要があります。
- **ID 発行機関** - 会社の ID 管理を担当する組織。この選択は CIDX 基準に準拠したものです。CIDX レポートを作成するには、ID 発行機関が必要になります。
- **ID** - CIDX レポートで使用される会社 ID。
- **説明** - 複数行の説明テキストフィールド。
- **番地**
- **市町村**
- **郵便番号**
- **都道府県**
- **国**

5. **完了**  ボタンをクリックして、会社を保存します。

14.6.2 会社の変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.6.3 会社の削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.7 製品の管理

i 製品を作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**および**製品 - タンク - 設定**に設定されているユーザーのみです。

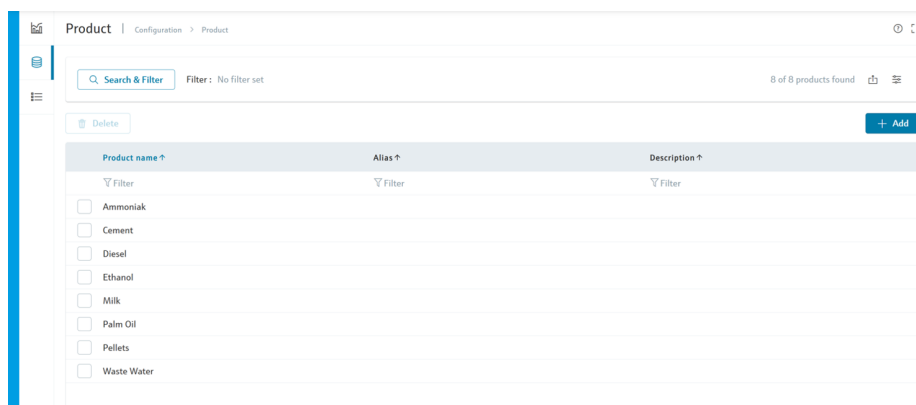
i 製品メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

14.7.1 製品の作成

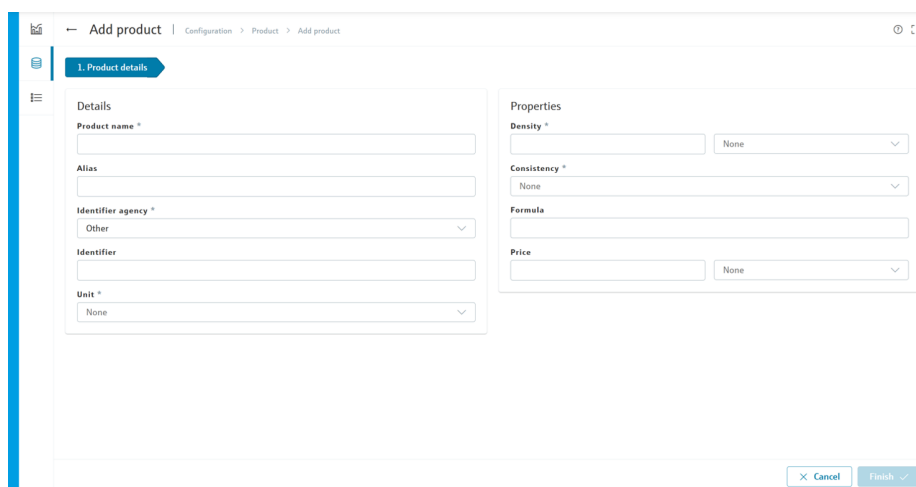
i タンクを製品に割り当てるには、タンクを作成しておく必要があります。ただし、最初に製品を作成しておいて、後からタンクを製品に割り当てることもできます。

i **製品名**、および **ID** と **ID 発行機関** フィールドの組合せはシステム内で一意である必要があります。

1. **設定**メニューで、**製品**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. **追加**ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. 製品詳細**タブが表示されます。



3. **製品名**を入力します。製品名は一意である必要があります。
4. **ID 発行機関**を選択して、会社の ID 管理を担当する組織を選択します。
 ↳ この選択は CIDX 基準に準拠したものです。CIDX レポートを作成するには、ID 発行機関が必要になります。

5. **単位**ドロップダウンリストボックスから単位を選択します。
 6. テキストボックスに製品の**密度**を入力し、ドロップダウンリストボックスから対応する単位を選択します。
- i** 質量ベースでタンク/製品の編集および予定作成を行う場合、製品単位を質量として定義する必要があります (例: kg、t)。
 総質量 = 正味標準体積 x 基準密度
7. **整合性**を選択します。
 8. 任意: 製品に関する追加データを入力します。
 - **エイリアス** - 製品の別名 (例: 商標名など)
 - **ID**
CIDX レポートで使用される固有の製品 ID。
 - **式** - 製品の化学式
 - **価格** - 製品の価格
重要: 単位あたりの価格における単位が体積単位の場合 (例: €/l の l)、タンク内容物も体積単位で測定する必要があります。例: 価格の単位が €/l の場合、タンク内容物の測定単位: m³。同じことが質量単位にも適用されます: 価格の単位が €/kg の場合、タンク容量の測定単位: t。
 9. **完了** ✓ ボタンをクリックして、製品を保存します。

14.7.2 製品に関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除

製品メモタブを使用して、製品に関する追加情報および最大 5 個のファイルを追加できます。

ファイルの管理については、「タンクに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除」セクションを参照してください。

14.7.3 製品の変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.7.4 製品の削除


追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

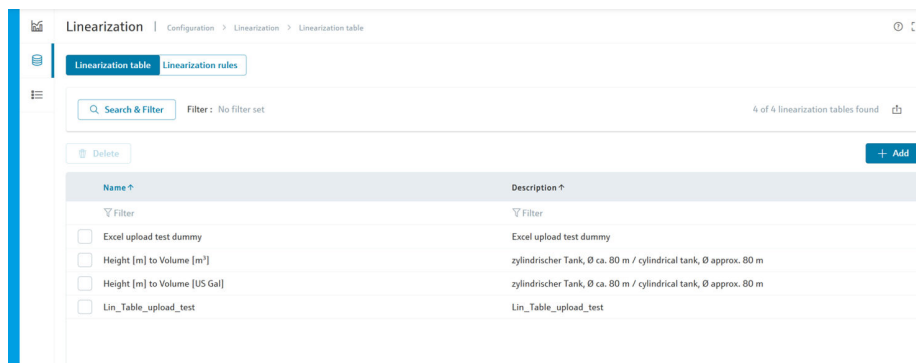
14.8 リニアライゼーションテーブルの管理

- i** リニアライゼーションテーブルを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** リニアライゼーションメニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できません。
- i** リニアライゼーションの場合は、予測は実行されません。設定範囲外の値は、最も近い値でリニアライズされます。

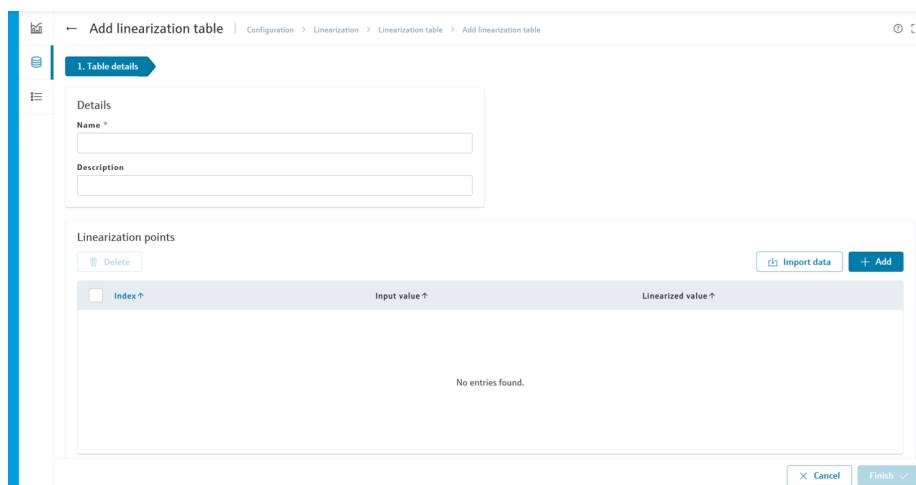
リニアライゼーションテーブルは、測定値 (X 値) を関連する Y 値 (例: 体積値) に割り当てる場合に使用します。リニアライゼーションテーブルの最小点数は 2 で、最大点数は 64 です。点はインデックス、入力レベル (X 値)、入力体積 (Y 値) で構成されます。


14.8.1 リニアライゼーションテーブルの作成

1.  **設定**メニューで、**リニアライゼーション**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. **+** **追加**ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **1. テーブル詳細**タブが表示されます。



3. **名前**を入力します。リニアライゼーションテーブル名は一意である必要があります。
4. 任意：複数行の説明を入力します。
5. **リニアライゼーションポイント**を追加します。**入力値**（レベル値）と**リニアライズされた値**（体積値）の値ペアを個々に入力するか、またはファイルからインポートします（以降の章を参照）。
6. **完了**  ボタンをクリックして、リニアライゼーションテーブルを保存します。

14.8.2 リニアライゼーションポイントの追加、変更、削除

リニアライゼーションポイントの追加

1. **+** 追加ボタンをクリックします。
↳ リニアライゼーションポイントの追加ダイアログボックスが表示されます。

2. 入力値およびリニアライズされた値に値を入力します。
3. **✓** 適用ボタンをクリックして、リニアライゼーションテーブルに値ペアを保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、値ペアがテーブルに表示されます。
4. **☒** 保存ボタンをクリックしてリニアライゼーションテーブルを保存します。

リニアライゼーションポイントの変更

1. リニアライゼーションテーブルで、目的の値ペアをクリックします。
↳ リニアライゼーションポイントの編集ダイアログボックスが表示されます。

2. 目的の値を変更します。
3. **✓** 適用ボタンをクリックして、リニアライゼーションテーブルに値ペアを保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、リニアライゼーションテーブルが表示されます。
4. **☒** 保存ボタンをクリックして変更を保存します。

リニアライゼーションポイントの削除

1. 目的の値ペアのチェックボックスをオンにします。複数またはすべてのチェックボックスを同時に選択できます。
 2. **☒** 削除ボタンをクリックします。
↳ テーブルから値ペアが削除されます。
 3. **☒** 保存ボタンをクリックして変更を保存します。
- i** 選択した値ペアは、確認メッセージなしでテーブルから削除されます。誤って値を削除してしまった場合は、テーブルを保存していない限り、**↶** 破棄ボタンを使用して削除を取り消すことができます。

14.8.3 リニアライゼーションポイントのインポート

i 注意：インポートを行うと、既存のリニアライゼーションは上書きされます。

1. **データのインポート**ボタンをクリックします。
↳ **データのインポート**ダイアログボックスが表示されます。

Import data ×

Please be aware that importing a linearization will overwrite your existing one.

You can copy a linearization table from a document and paste it in here. Select the decimal sign and data separator matching your inserted data and press apply. The stored table can be verified on the tab configuration.

Decimal Sign
Dot (.)

Data separator
Semicolon (;)

× Cancel ✓ Apply

2. **小数点記号**および**データの区切り記号**を選択します。
3. **データ構造**をテキストフィールドにコピーします。

Import data ×

Please be aware that importing a linearization will overwrite your existing one.

You can copy a linearization table from a document and paste it in here. Select the decimal sign and data separator matching your inserted data and press apply. The stored table can be verified on the tab configuration.

Decimal Sign
Dot (.)

Data separator
Semicolon (;)

0.000;0.000
0.079;0.066
0.159;0.138
0.238;0.218
0.317;0.306
0.397;0.401
0.476;0.505

× Cancel ✓ Apply

4. **適用**ボタンをクリックして、リニアライゼーションテーブルに値ペアを保存します。
↳ ダイアログボックスが閉じ、値ペアがテーブルに表示されます。
5. **保存**ボタンをクリックしてリニアライゼーションテーブルを保存します。

14.8.4 リニアライゼーションテーブルの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.8.5 リニアライゼーションテーブルの削除

i リニアライゼーションテーブルを削除できるのは、そのリニアライゼーションテーブルが計測機器に割り当てられていない場合のみです。

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.9 リニアライゼーションルールの管理

i リニアライゼーションルールを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールがマスターデータに設定されているユーザーのみです。

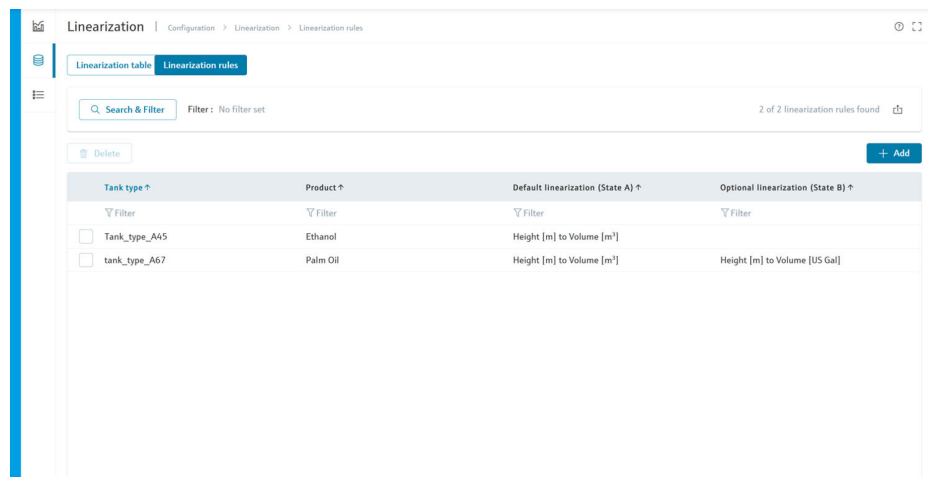
i リニアライゼーションメニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できません。

i 契約内容に応じて：

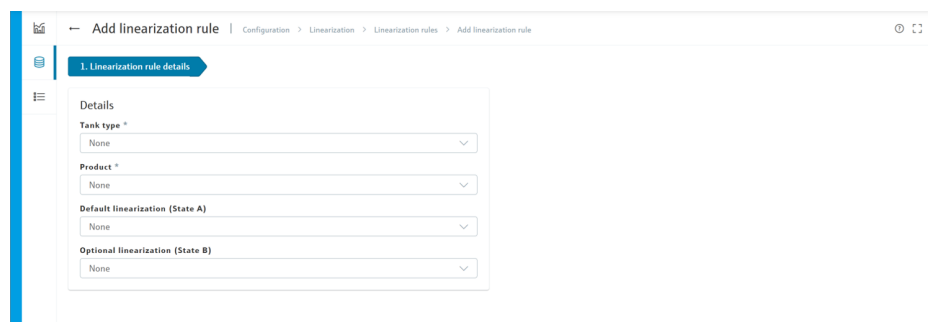
リニアライゼーションテーブルに加え、リニアライゼーションルール機能も有効にすることができます。ご不明な点がございましたら、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

14.9.1 リニアライゼーションルールの作成

1. 設定メニューで、リニアライゼーションメニュー項目をクリックします。
2. リニアライゼーションルールタブを選択します。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



3. **+** 追加ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **1. リニアライゼーションルールの詳細** タブが表示されます。



4. リニアライゼーションルールを作成するタンクタイプを選択します。ドロップダウンリストボックスには、契約に基づいて保存され、設定されているすべてのタンクタイプが表示されます。

5. リニアライゼーションルールを作成する**製品**を選択します。ドロップダウンリストボックスには、契約に基づいて保存され、設定されているすべての製品が表示されます。

i **タンクタイプと製品**組合せは一意である必要があります。

6. **デフォルトのリニアライゼーション (状態 A)** ドロップダウンリストボックスで、リニアライゼーションテーブルを選択します。ドロップダウンリストボックスには、契約に基づいて保存され、設定されているすべてのリニアライゼーションテーブルが表示されます。

7. 任意：**オプションのリニアライゼーション (状態 B)** ドロップダウンリストボックスで、別のリニアライゼーションテーブルを選択します。ドロップダウンリストボックスには、契約に基づいて保存され、設定されているすべてのリニアライゼーションテーブルが表示されます。

8. **完了** ✓ ボタンをクリックして、リニアライゼーションルールを保存します。

14.9.2 リニアライゼーションルールの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.9.3 リニアライゼーションルールの削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.10 単位の管理

i 単位の小数点以下の桁数を変更する場合、またはユーザー固有の単位を設定する場合は、Endress+Hauser (www.addresses.endress.com) にお問い合わせください。

i **単位**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。

単位メニュー項目には、すべての単位とその説明、小数点桁数、単位タイプが表示されます。「ユーザー固有」タイプの単位は他の単位に変換できません。ユーザー固有の単位は表示専用です。

- ▶ **設定**メニューで、**単位**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。

Unit	Description	Decimal places	Unit type
%	percent		1 Relative
A	ampere		1 Electricity
AED	AED		2 Currency
atm	atmosphere		1 Pressure
AUD	AUD		2 Currency
bar	bar		1 Pressure
bbl (U.S.)	barrel (= 42 U.S. liquid gallon)		1 Volume
bl (U.S.)	liquid barrel (= 31.5 U.S. liquid gallon)		1 Volume
BRL	BRL		2 Currency
bsh (U.S.)	U.S. bushel (= 8 U.S. dry gallon)		1 Volume
bsh imp	UK bushel (= 8 UK dry gallon)		1 Volume
CAD	CAD		2 Currency
CHF	CHF		2 Currency

14.11 集合タンクの管理

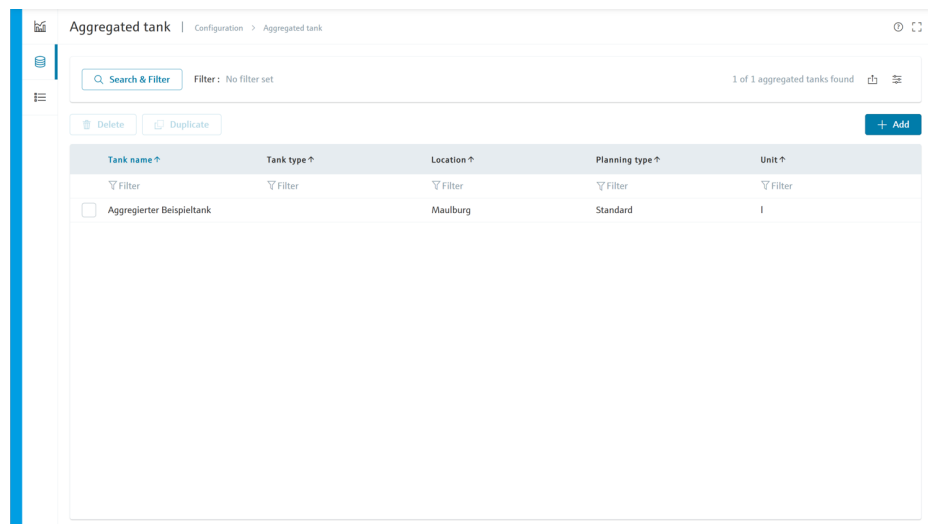
- i** 集合タンクを作成、変更、削除できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** 設定内容に応じて、**集合タンク**の代わりに**集合オブジェクト**または**集合サイロ**が表示される場合があります。

14.11.1 集合タンクの作成

- i** ユーザーにはタンクグループしか割り当てることができないため、タンクグループにタンクを必ず割り当てておいてください。
- i** **地域、購入者、供給者、製品**の各要素を選択するには、まずこれらのフィールドを作成する必要があります。**購入者**および**供給者**は、**会社**の下で管理されます。
- i** タンクを集合タンクに割り当てると、このタンクは**タンク、タンクグループ、レポート**メニュー項目の**タンクの割り当て**タブから削除されます。
- i** 集合タンクに割り当てられているタンクを変更するには、最初にタンクをタンクリストから削除する必要があります。
- i** タンクグループに割り当て済みのタンクを集合タンクに割り当てた場合、このタンクはタンクグループから削除されます。
- i** ユーザーにはタンクグループしか割り当てることができないため、タンクグループに集合タンクを必ず割り当てておいてください。

タンク設定ウィザードを使用した集合タンクの作成

1. **設定**メニューで、**集合タンク**メニュー項目をクリックします。
 ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. **+** 追加ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **1. タンク詳細** タブが表示されます。

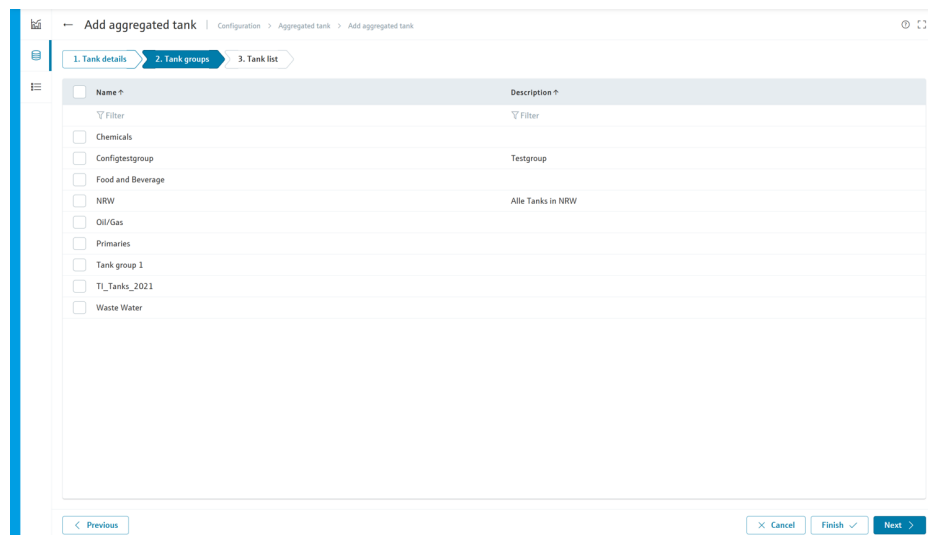
3. **タンク名**を入力します。タンク名は一意である必要があります。
4. ドロップダウンリストボックスから**計画タイプ**を選択します。
 ↳ **標準**：集合タンクが標準タンクであることを示します。
リサイクル：タンクがリサイクルタンクであることを示します。
 イベントメッセージおよび在槽チャートとレベルの表示方法は、この計画タイプに応じて調整されます。
 イベントメッセージおよび在槽チャートとレベルの表示方法は、この計画タイプに応じて調整されます。
5. ドロップダウンリストボックスから、集合タンクに使用する**単位**を選択します。
6. 任意：タンクに関する追加の詳細を入力します。

■ タンクタイプ

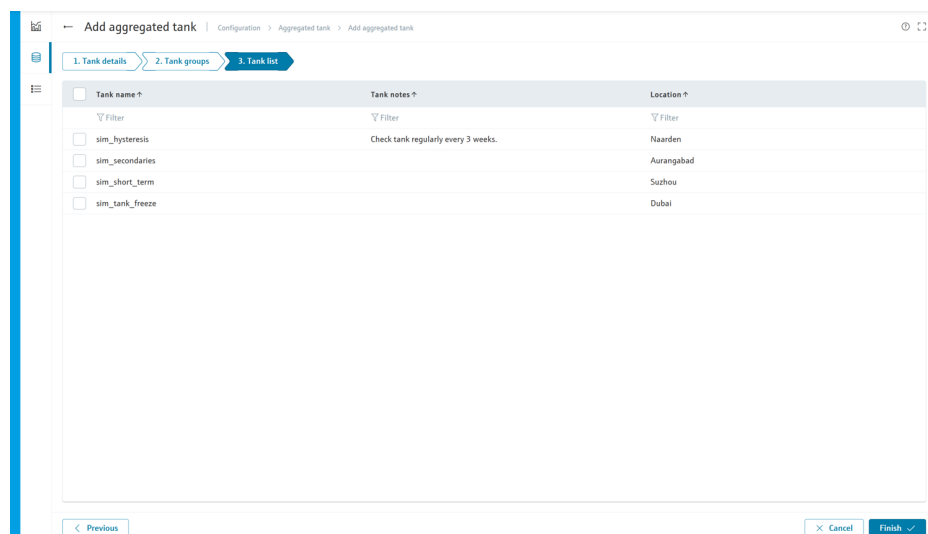
- 製品
- 地域
- 購入者（会社）
- 供給者（会社）
- 視覚化 - 適切なタンク形状の表示。
- SDT - 標準納期または標準廃棄時間。
- 次の項目に基づく **ADI/ADO**： - 初期設定：14 日。この期間は、在槽チャートの予測に使用されます。
- 負の値 - このオプションを有効にすると、負の測定値も ADI/ADO の計算に含まれます。
- 予測 - オンにすると、在槽の予測が**在槽チャート**タブに表示されます。
- 短期予測 - 初期設定：無効。このオプションを有効にすると、在槽チャートに第 2 予測ラインが表示されます。
- 最適値 - 標準タンクでのみ使用可能。切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。
- 予定ポイント - 切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。
- 出荷ポイント - 標準タンクでのみ使用可能。切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。

- **安全在庫** - 切替えスイッチをオンにすると、入力フィールドが表示されます。
- **ヒステリシス** - ヒステリシスは、レベル変動などによりイベントメッセージが繰り返し出力されるのを回避するために役立ちます。
- **製品単位の使用** - このオプションは、製品が集合タンクに割り当てられており、製品とタンクの単位に互換性がある場合にのみ有効化できます。
このオプションを有効にすると、選択した製品の単位が自動的に**タンクの単位**フィールドで使用されます。**容量、最適値、予定ポイント、出荷ポイント、安全在庫、ヒステリシス**の各フィールドの値は、その製品用に入力した密度に基づいて換算されます。
質量ベースでタンクの編集やスケジューリングを行う場合は、最大容量を体積単位 (m³ など) で入力する必要があります。

7. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクを保存します。
8. または、**次へ** > ボタンをクリックして、タンクグループにタンクを割り当てます。
↳ 作業エリアに **2. タンクグループ** タブが表示されます。



9. 集合タンクを割り当てるタンクグループのチェックボックスをオンにします。
10. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいタンクを保存します。
11. または、**次へ** > ボタンをクリックして、集合タンクにタンクを割り当てます。
↳ 作業エリアに **3. タンクリスト** タブが表示されます。



12. 集合タンクに割り当てるタンクのチェックボックスをオンにします。

i タンクリストには、同じ計画タイプのタンク（標準タンクまたはリサイクルタンク、および他の集合タンクに割り当てられていないタンク）のみが含まれます。測定点の詳細タブで、最初にこれらのタンクに測定点と、集合タンクに割り当てたものと同じ「単位（アプリケーション）」を割り当てる必要があります。これらのタンクは集合タンクにのみ追加できます。

i ユーザーが **1. タンク詳細** タブでタンクの単位を変更した場合、選択したタンクの単位に関して提案されたタンクリストが更新されます。マークされたすべてのタンクがリセットされます（選択が解除されます）。

13. **完了** ✓ ボタンをクリックして、集合タンクを保存します。

↳ 集合タンクが保存され、タンク概要に表示されます。

複製による集合タンクの作成

i 集合タンクを複製すると、設定ウィザードが開きます。**1. タンク詳細** および **2. タンクグループ** タブの設定はテンプレートから取得されます。**3. タンクリスト** の設定はテンプレートから取得されないため、再度作成する必要があります。

i タンク名は一意である必要があります。入力したタンク名がすでに存在する場合は、次のエラーメッセージが表示されます：「同じタンク名がすでに存在します。他の名前を入力してください。」

データレコードの複製の詳細については、「マスターデータの複製」セクションを参照してください。

14.11.2 タンク形状図の選択および削除

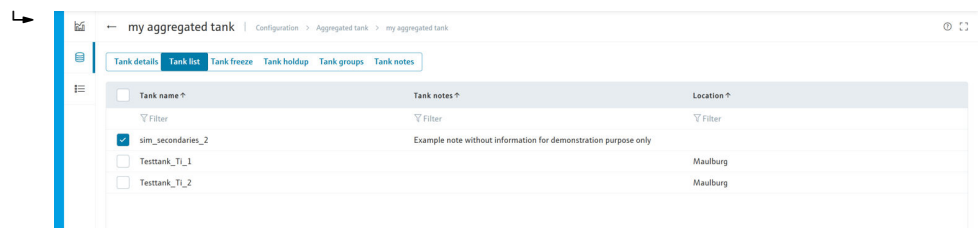
詳細については、「タンクの管理」セクションの「タンク形状図の選択およびリセット」を参照してください。

14.11.3 集合タンク - タンクの割り当ての変更

1. **設定** メニューで、**集合タンク** メニュー項目をクリックします。

2. テーブルで、変更する集合タンクをクリックします。

3. **タンクリスト** タブを選択します。



4. 集合タンクに割り当てるタンクのチェックボックスをオンにします。

5. 任意：タンクのチェックボックスをオフにして、割り当ての選択を解除します。

6. **保存** ボタンをクリックして選択内容を保存します。

↳ テーブルが再びソートされます。割り当てられたタンクは、割り当てられていないタンクの前にアルファベット順で表示されます。

7. または、**破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

以下の場合、変更を保存するには、ダイアログボックスで以下の確認を行う必要があります。

- 1つまたは複数のタンクがタンクグループにすでに割り当てられている場合：
 - ✓ **OK** ボタンをクリックして選択内容を保存します。個々のタンクのタンクグループの割り当てが解除されます。
- 1つまたは複数のタンクに1つまたは複数の納品/廃棄が設定されている場合：
 - ✓ **OK** ボタンをクリックして選択内容を保存します。個々のタンクの納品/廃棄が削除されます。

✕ **キャンセル** ボタンをクリックすると、選択内容を保存せずにダイアログボックスが閉じます。タンクは追加されません。

集合タンクから1つのタンクを削除すると、集合タンクの容量（個々のタンクの容量の合計）が変わるため、警告メッセージが表示されます。


タンクを集合タンクに割り当てた場合、以下のような影響があります。

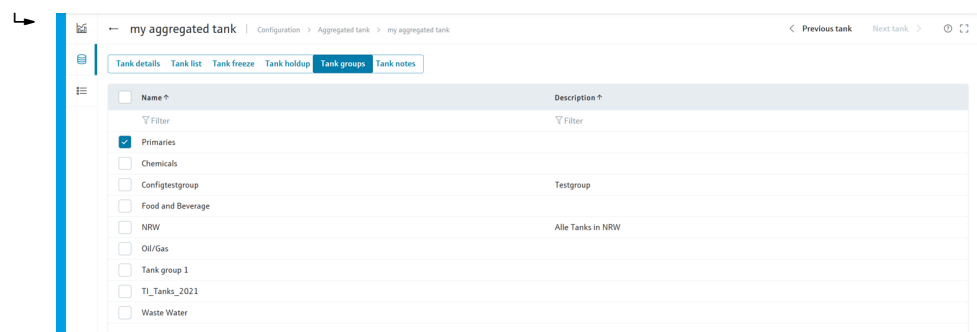
- 個々のタンクに割り当てられている製品、地域、購入者、供給者は、集合タンクの製品、地域、購入者、供給者に置き換わります。
- 各タンク用のタンクのメモとしてアップロードされたファイルが削除されます。
- **製品単位の使用** チェックボックスがオフになります。
- 個々のタンクに割り当てられた納品/廃棄が削除されます。
- 個々のタンクがすべてのタンクグループから削除されます。
- 個々のタンクがすべてのレポートから削除されます。
- **タンク詳細** タブの集合タンクの容量が更新されます。



集合タンクへのタンクの割り当てを解除した場合、以下のような影響があります。

- 個々のタンクの製品、購入者、供給者が削除されます。
- 地域は、集合タンクの地域のままになります。
- **タンク詳細** タブの集合タンクの容量が更新されます。

14.11.4 集合タンク - タンクグループの割り当ての変更

1.  **設定**メニューで、**集合タンク**メニュー項目をクリックします。
2. テーブルで、変更する集合タンクをクリックします。
3. **タンクグループ**タブを選択します。



4. 集合タンクを割り当てるタンクグループのチェックボックスをオンにします。
5. 任意：タンクグループのチェックボックスをオフにして、割り当ての選択を解除します。
6.  **保存** ボタンをクリックして選択内容を保存します。
 - ↳ テーブルが再びソートされます。割り当てられたタンクグループは、割り当てられていないタンクグループの前にアルファベット順で表示されます。
7. または、 **破棄** ボタンをクリックして変更を取り消します。

以下の場合、変更を保存するには、ダイアログボックスで以下の確認を行う必要があります。

- 1つまたは複数のタンクがタンクグループにすでに割り当てられている場合：
 - ✓ **OK** ボタンをクリックして選択内容を保存します。個々のタンクのタンクグループの割り当てが解除されます。
- 1つまたは複数のタンクに1つまたは複数の納品/廃棄が設定されている場合：
 - ✓ **OK** ボタンをクリックして選択内容を保存します。個々のタンクの納品/廃棄が削除されます。

✕ **キャンセル** ボタンをクリックすると、選択内容を保存せずにダイアログボックスが閉じます。

集合タンクから1つのタンクを削除すると、集合タンクの容量（個々のタンクの容量の合計）が変わるため、警告メッセージが表示されます。

タンクグループに集合タンクを割り当てた場合、以下のような影響があります。

- 個々のタンクに割り当てられている製品、地域、購入者、供給者は、集合タンクの製品、地域、購入者、供給者に置き換わります。
- 各タンク用のタンクのメモとしてアップロードされたファイルが削除されます。
- **製品単位の使用** チェックボックスがオフになります。
- 個々のタンクに割り当てられた納品/廃棄が削除されます。
- 個々のタンクがすべてのタンクグループから削除されます。
- 個々のタンクがすべてのレポートから削除されます。
- **タンク詳細** タブの集合タンクの容量が更新されます。

タンクグループへの集合タンクの割り当てを解除した場合、以下のような影響があります。

- 個々のタンクの製品、購入者、供給者が削除されます。
- 地域は、集合タンクの地域のままになります。
- **タンク詳細** タブの集合タンクの容量が更新されます。

14.11.5 集合タンクの凍結イベントの設定

詳細については、「タンクの凍結イベントの設定」セクションを参照してください。

14.11.6 集合タンクの停止イベントの設定

詳細については、「タンクの停止イベントの設定」セクションを参照してください。

14.11.7 集合タンクに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除

タンクのメモ タブを使用して、集合タンクに関する追加情報および最大5個のファイルを追加できます。ここで入力した情報および添付したファイルは、「ワークプレイス-タンク」ビューの**メモとファイル** タブにも表示されます。

詳細については、「タンクに関するファイルおよびその他の情報の追加、オープン、削除」セクションを参照してください。






14.11.8 集合タンクの変更


追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

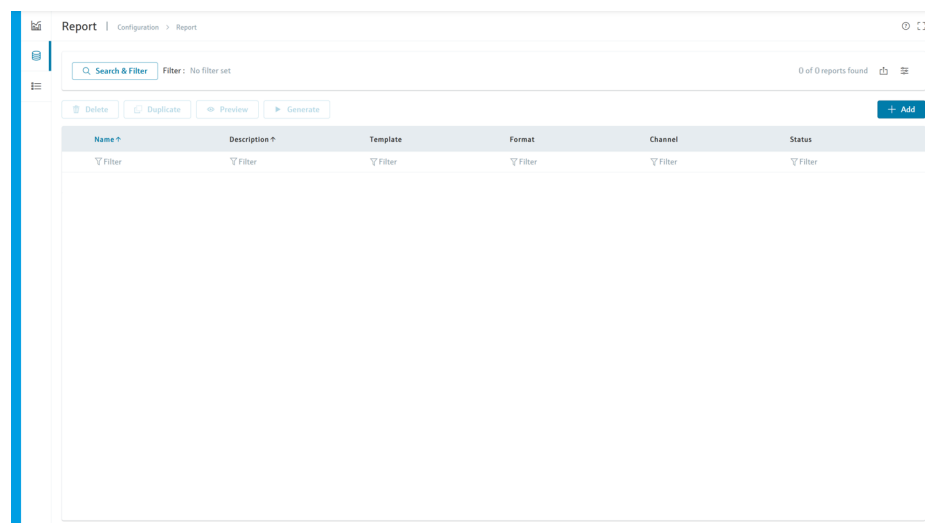
14.11.9 集合タンクの削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.12 レポートの管理（CIDX および CSV レポートの使用）

-  レポートを設定できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
-  **レポート**メニュー項目はデスクトップバージョンでのみ使用できます。
-  CIDX 形式の自動データ交換を使用する場合は、ファイルを受信するサーバーを受信側で設定する必要があります。受信側の URL、ユーザー名、パスワードを確認しておく必要があります。
-  最大 5 件のレポートをスケジュールできます。
-  マニュアル値の後には、必ず **MAN** というテキストが付加されます。

- ▶  **設定**メニューで、**レポート**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



CIDX および CSV 形式

生成される CIDX および CSV ファイルの形式は以下のとおりです。

<契約番号>_<レポート名>_<タイムスタンプ「yyyymmdd_hhmmss」>.<拡張子>

例：contract1_report1_20100505_1634031.xml

CIDX：使用される CIDX 形式は「InventoryActualUsage, Version 4」です。

CSV ファイルには以下のテーブル列が含まれます。

- **タンク名**、例：タンク 1
- **タイムスタンプ**、例：12.06.2009 17:20
- **値**、例：920.0
- **単位**、例：l
- **最適値**、例：1000
- **予定ポイント**、例：100
- **出荷ポイント**、例：80
- **安全在庫**、例：50

CIDX の検証

タンクをレポートに割り当てたら、検証を実施して設定が CIDX 仕様を満たしていることを確認します。以下の項目を確認してください。

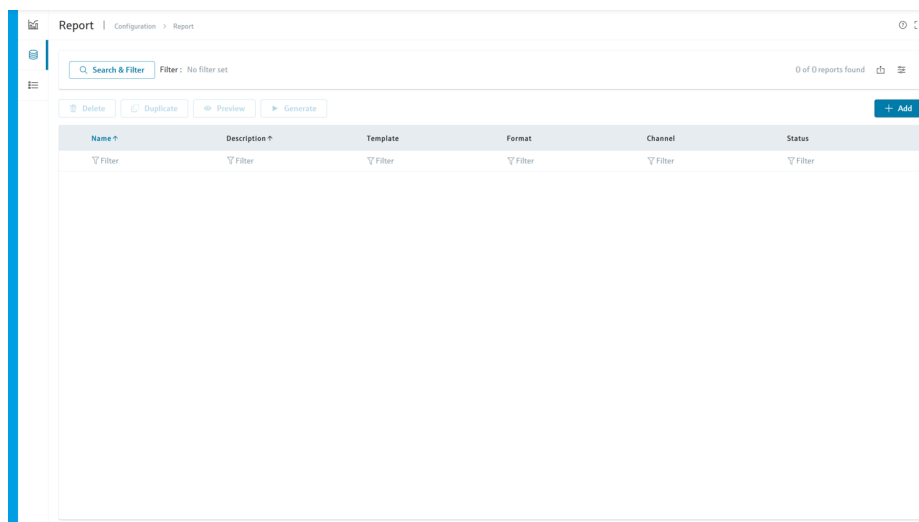
- 供給者がタンクに割り当てられているか？
- 購入者がタンクに割り当てられているか？
- 地域がタンクに割り当てられているか？
- 製品がタンクに割り当てられているか？
- 会社が地域に割り当てられているか？
- 購入者の ID と ID 発行機関が設定されているか？

- 供給者の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- 製品の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- 地域の会社の ID と ID 発行機関が設定されているか？
- 測定点がタンクに割り当てられているか？

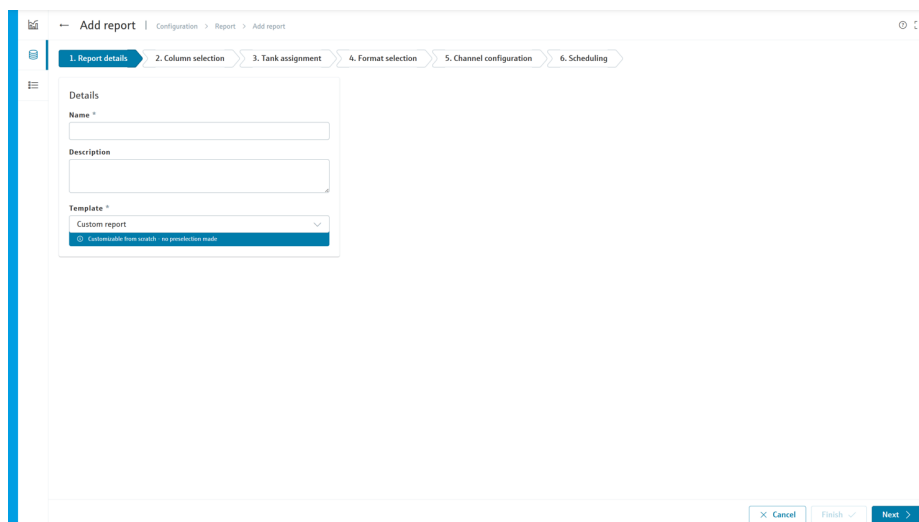
14.12.1 レポートの作成

レポートウィザードを使用したレポートの作成

1. **設定**メニューで、**レポート**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。

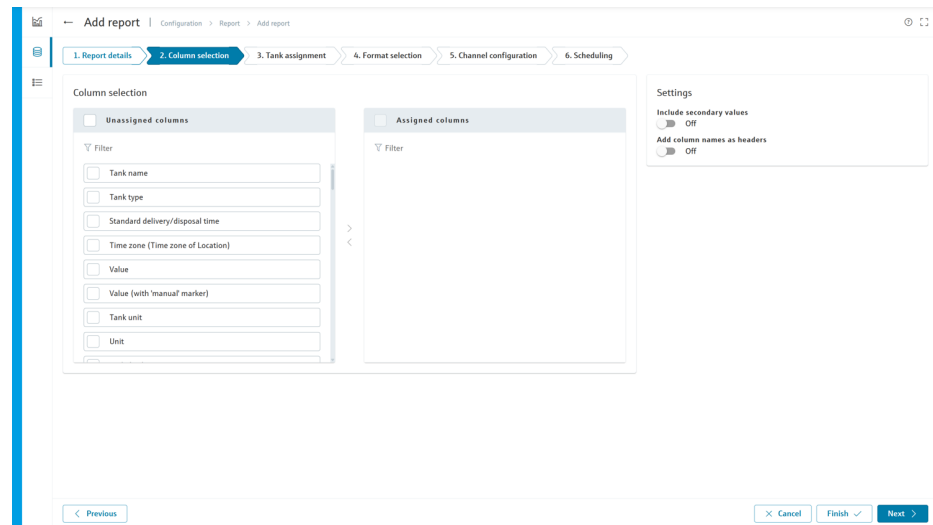


2. **+** **追加**ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **1. レポートの詳細**タブが表示されます。



3. **名前**を入力します。レポート名は一意である必要があります。
4. 任意：**説明**を入力します。
5. ドロップダウンリストボックスから**テンプレート**を選択します。デフォルトでは、**カスタムレポート**が選択されています。
↳ ドロップダウンリストボックスの下にテンプレートの説明が表示されます。

6. **次へ** > ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **2. 列の選択** タブが表示されます。



テンプレートとして**照合レポート**が選択されている場合、このタブは表示されません。

7. レポートで分析する情報（列）を選択します。これを行うには、必要な情報のチェックボックスをオンにして、>/< ボタンを使用して2つの列間を移動させます。
8. 任意：すべての情報を同時に選択します。これを行うには、列ヘッダーのチェックボックスをオンにします。

i 列内に表示される情報の順序は、ドラッグアンドドロップ操作で変更できます。

未割り当ての列

レポートに使用可能なすべての列が表示されます。

割り当てられた列

レポートに使用されるすべての列が表示されます。

セカンダリバリューを含む

すべてのセカンダリバリューも表示されます。このオプションをオンにした場合、レポートからセカンダリバリューを除外することはできません。特定のセカンダリバリューを選択する場合は、ステップ1で**セカンダリレポート**テンプレートを選択する必要があります。

パラメータ

プライマリバリュー/セカンダリバリューを選択します。

このドロップダウンリストボックスは、**セカンダリバリューを含む**がオンである場合にのみ表示されます。

列名をヘッダーとして追加

列名がヘッダーとして使用されます。

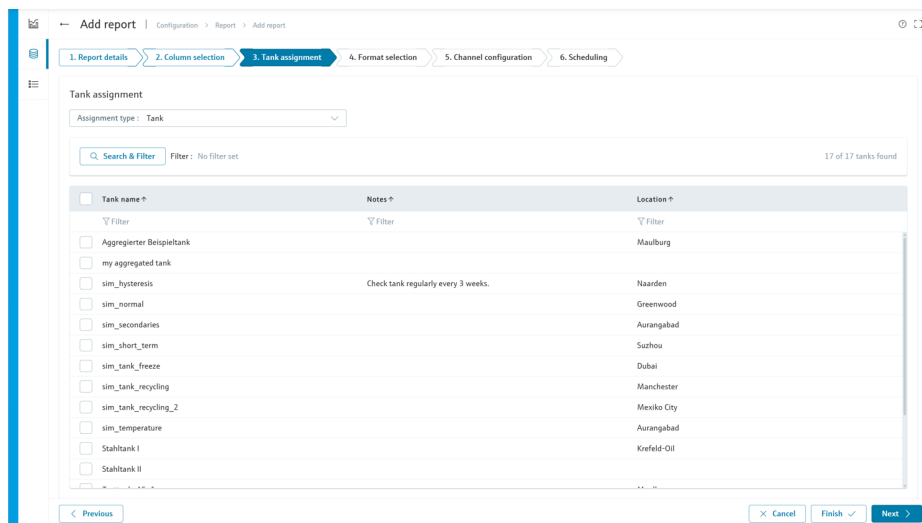
ヘッダー言語

レポートヘッダーの列名の言語を選択します。デフォルトでは、ユーザー設定の言語が使用されます。ユーザー設定で言語を選択していない場合、列名は英語で表示されます。

このドロップダウンリストボックスは、「**列名をヘッダーとして追加**」がオンである場合にのみ表示されます。

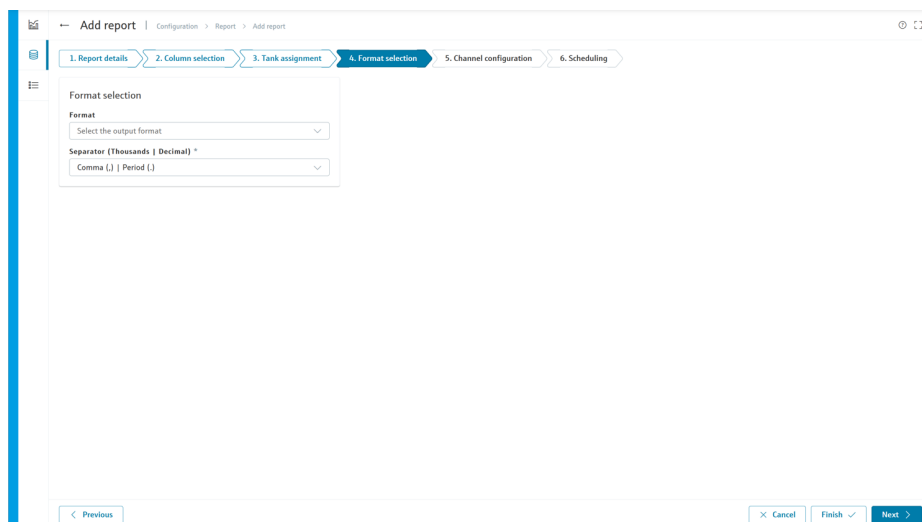
i マニュアル値もレポートに表示する必要がある場合は、**値 ('マニュアル' マーカー付き)** 列も選択する必要があります。

9. 次へ > ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **3. タンクの割り当て** タブが表示されます。



テンプレートとして**照合レポート**が選択されている場合、このタブは表示されません。

10. ドロップダウンリストボックスから**割り当てタイプ**を選択します。デフォルトでは**タンク**が選択されています。
11. レポートに割り当てるタンクのチェックボックスをオンにします。
- i** テンプレートとして**照合レポート**が選択されている場合、**2. 列の選択**および**3. タンクの割り当て**タブの代わりに、**2. 照合ロールの割り当て**タブが表示されます。これについては、「**在槽照合レポートの設定**」章を参照してください。
12. 次へ > ボタンをクリックします。
 ↳ CIDX および CSV レポートの場合、検証が実行され、設定が仕様を満たしているかどうかチェックされます。
 作業エリアに **4. 形式の選択** タブが表示されます。



13. **形式**ドロップダウンリストボックスから出力形式を選択します。デフォルトでは、このオプションは空です（選択なし）。
 ↳ オプションが空のまま選択した場合、以下の形式が使用されます。
CDIX レポートテンプレート：出力形式 **XML**
CSV レポートテンプレート：出力形式 **CSV - セミコロン**

以下の形式を選択できます。

- **CSV - セミコロン** - CSV ファイル (値はセミコロンで区切られます)
- **CSV - コンマ** - CSV ファイル (値はコンマで区切られます)
- **CSV - TAB** - CSV ファイル (値はタブで区切られます)
- **XLSX** - Excel ファイル
- **TXT** - テキストファイル
- **XML** - XML ファイル
- **PDF** - PDF ファイル

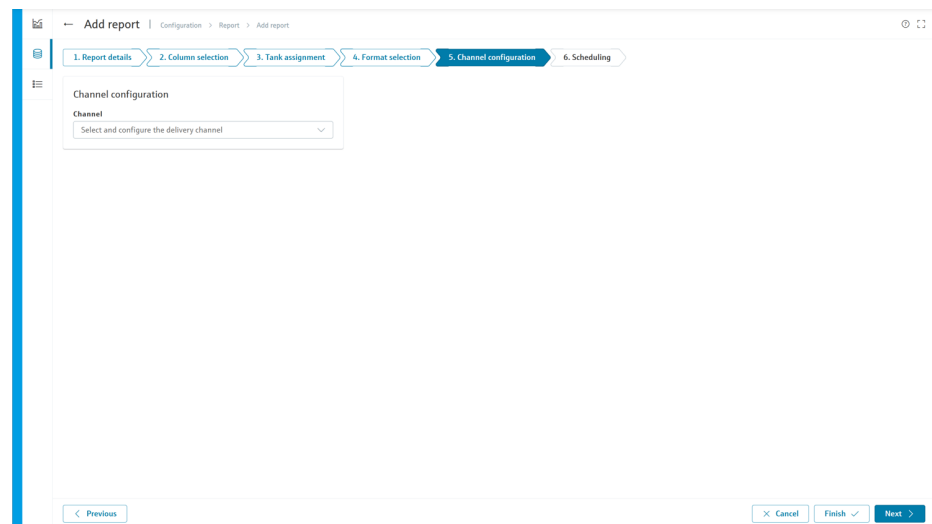
i テンプレートとして**照合レポート**が選択されている場合は、**XLSX**、**XML**、**PDF** 形式のみを使用できます。

14. 区切り記号 (3桁区切り | 小数点) ドロップダウンリストボックスから区切り記号の形式を選択します。

↳ **コンマ (,)** | **ピリオド (.)** または **ピリオド (.) | コンマ (,)**

15. 次へ > ボタンをクリックします。

↳ 作業エリアに **5. チャンネルの設定** タブが表示されます。

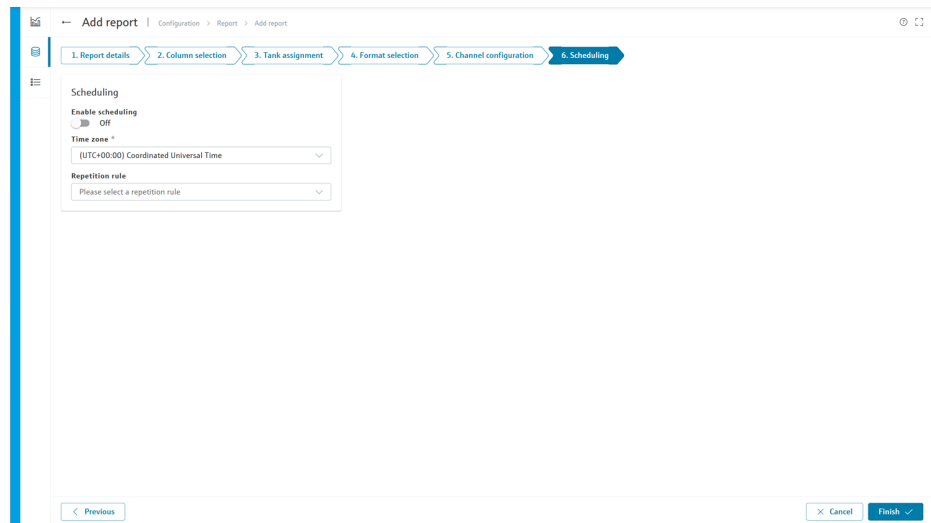


16. ドロップダウンリストボックスから**チャンネル**を選択します。デフォルトでは、このオプションは空です (選択なし)。

↳ **Eメール** または **FTP**

選択した配布チャンネルに応じて、追加のフィールドがタブに表示されます。

23. または **次へ** > ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **6. スケジューリング** タブが表示されます。



24. レポートの完了後、直ちにスケジューリングルールを有効化する場合は、**スケジューリングの有効化**切替えスイッチをオンにします。
25. ドロップダウンリストボックスから**タイムゾーン**を選択します。標準値：(標準時+00:00) 協定世界時
26. 切替えスイッチをオンにした場合：
 ドロップダウンリストボックスから**繰り返しルール**を選択します。
- **毎日** - 時刻または周期でスケジュールできます。
 - **毎週各 ...** - 曜日を選択して時刻または周期でスケジュールできます。
 - **毎月の特定日** - 毎月のレポート生成 (毎月の繰り返し) の開始日時を選択できます。
 - **毎月の最終日** - 月の最終日に実行されます。月に 1 回のレポート作成 (毎月の繰り返し) の時刻を選択できます。
27. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいレポートを保存します。

「毎日」繰り返しルールの設定

1. **スケジュール作成者**ドロップダウンリストボックスで、**時刻**または**周期**を選択します。

a) 「時刻」によるスケジューリングの設定

2. **+** 追加ボタンをクリックします。
 ↳ 時点の追加ダイアログボックスが表示されます。

3. **時点**を選択します。時間を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。時点は複製できません。
 4. **+** 追加ボタンをクリックして、時点を一覧に保存します。
 ↳ ダイアログボックスが閉じ、時点がテーブルに表示されます。
- i** 時点テーブルには、最大 12 個のエントリを含めることができます。さらに時点を追加する場合は、事前に他の時点を削除する必要があります。

b) 「周期」によるスケジューリングの設定

5. **間隔**を選択します。
6. スケジューリングを設定する期間を選択します。**開始時刻**および**終了時刻**フィールドに時刻を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。時刻を直接入力する場合は、hh:mm の形式を使用してください。

「毎週各 ...」 繰り返しルールの設定

The screenshot shows the 'Scheduling' configuration interface. The 'Enable scheduling' checkbox is checked. The 'Repetition rule' is set to 'Weekly on every ...'. The 'Days' dropdown is set to 'None'. The 'Interval' is set to 15 minutes. The 'From time' and 'To time' fields are empty.

1. レポートを作成する曜日を示すチェックボックスをオンにします。
2. **スケジュール作成者**ドロップダウンリストボックスで、**時刻**または**周期**を選択します。
3. 時刻によるスケジューリング：
『a) 「時刻」によるスケジューリングの設定』セクションを参照してください。
4. 周期によるスケジューリング：
『b) 「周期」によるスケジューリングの設定』セクションを参照してください。

「毎月の特定日」 繰り返しルールの設定

The screenshot shows the 'Scheduling' configuration interface. The 'Repetition rule' is set to 'Monthly on specified date'. The 'Start date for monthly repetition' dropdown is set to 'None'. The 'Schedule time' field is empty.

1. **毎月の繰り返しの開始日**ドロップダウンリストボックスで、月の日付を選択します。選択可能な値：1～31
2. スケジューリングを設定する時刻を選択します。**時間のスケジュール**フィールドに適切な時刻を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。時刻を直接入力する場合は、hh:mmの形式を使用してください。

「毎月の最終日」 繰り返しルールの設定

The screenshot shows the 'Scheduling' configuration interface. The 'Repetition rule' is set to 'Monthly on last day of month'. The 'Schedule time' field is empty.

- ▶ スケジューリングを設定する時刻を選択します。**時間のスケジュール**フィールドに適切な時刻を直接入力するか、または時間選択ダイヤル🕒を使用して選択します。時刻を直接入力する場合は、hh:mmの形式を使用してください。

複製によるレポートの作成

i レポートを複製すると、設定ウィザードが開きます。**タンクの割り当て、形式の選択、チャンネルの設定、スケジューリング**の各タブの設定はテンプレートから取得されます。

i レポート名は一意である必要があります。入力したレポート名がすでに存在する場合は、次のエラーメッセージが表示されます：「同じレポート名がすでに存在します。他の名前を入力してください。」

データレコードの複製の詳細については、「マスターデータの複製」セクションを参照してください。

14.12.2 レポートを PDF ファイルとしてダウンロード

レポートは PDF ファイルとしてダウンロードして保存できます。

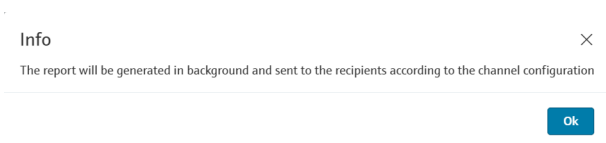
1. **設定**メニューで、**レポート**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 概要テーブルが表示されます。
2. プレビューをダウンロードするレポートのチェックボックスをオンにします。
3. **プレビュー**ボタンをクリックします。
 - ↳ 「Report_<レポート名>.pdf」という名前のファイルがダウンロードされます。

14.12.3 レポートの作成および即時送信

スケジューリングルールに関係なく、いつでもレポートを作成して、チャンネルの設定で指定された受信者に送信できます。スケジューリングルールは変更されません。

i **CIDX** および **CSV** 形式のレポートでは、ステータス **0** の測定値のみが考慮されます。

1. **設定**メニューで、**レポート**メニュー項目をクリックします。
 - ↳ 概要テーブルが表示されます。
2. 生成するレポートのチェックボックスをオンにします。
3. **生成**ボタンをクリックします。
 - ↳ レポートがバックグラウンドで生成され、受信者に送信されます。以下のダイアログボックスが表示されます。



4. **OK** ボタンをクリックして、メッセージを確認します。

i **生成**ボタンをクリックすると、いつでもレポートが生成されます。このダイアログボックスは、**OK** ボタンをクリックしてメッセージを確認した場合でも、確認せずにダイアログボックスを閉じた場合でも関係なく、レポートが生成/送信されたことを通知するためにのみ使用されます。

14.12.4 レポートの変更

追加情報については、「マスターデータの変更」セクションを参照してください。

14.12.5 レポートの削除

追加情報については、「マスターデータの削除」セクションを参照してください。

14.13 照合レポートの管理

14.13.1 説明

以下のセクションに xlsx 形式の照合レポートの例を示します。このレポートは、入力、在庫、出力の3つの測定点に関するデータを提供します。

Reconciliation Report				
1	Report name:	UC1_A		
2	Description:			
		Inputs	Stocks	Outputs
3	Point name	Tank_UC1A	Tank_UC1A	Tank_UC1A
		Secondary[1]	Primary	Secondary[2]
4	Product	Product_A	Product_A	Product_A
5	2017-01-11 12:47:34	5000	2000	3000
	2017-01-12 12:47:34	5000	2000	3000
6	Measurement delta	0	0	0
	Input quantity delta:	0		
7	Stock quantity delta:	0		
	Output quantity delta:	0		
	Error delta:	0		
8	Error delta (%):	0		%
	Yield:	0		

- 1 レポート名
- 2 説明
- 3 パラメータ名：測定点の名前
- 4 製品
- 5 測定時刻（開始時刻/終了時刻）
- 6 1つの測定点の測定値の差分
- 7 1つのタイプのすべての測定点の測定値間の差分合計
- 8 誤差の差分：測定された製品損失（単位）；誤差の差分（%）：測定された製品損失（%）；収穫量：プロセス効率の係数（理想値：1）
- 9 測定点の列ヘッダー（入力、在庫、出力）

照合レポートにより、1つまたは複数のタンクの在槽状況を正確に表すレポートを作成できます。

タンクへの入力（受入量）とタンクからの出力（払出量）の流量計測定値をレベル測定値に追加することにより、レベル測定の場合と比較して精度が向上します。

照合レポートは、これらの3つの値を相互に関連付けて比較できるため、値が適切に対応していない場合にそれを視覚化して確認できます。

i 照合は、「分析計」ワークプレイスで使用される測定値よりも正確な測定値を提供します。このため、照合レポートと「分析計」ワークプレイスの値がわずかに異なる場合があります。

入力、在庫、出力の各測定点について、開始時刻と終了時刻の測定値の差分が計算されます。

2つの測定点のみが使用可能な場合でも、照合レポートを作成できます。ただし、この測定点の1つが**在庫**である必要があります。

i レポートを作成する場合、測定点に対して入力された開始時刻または終了時刻の前の最終測定値が使用されます。

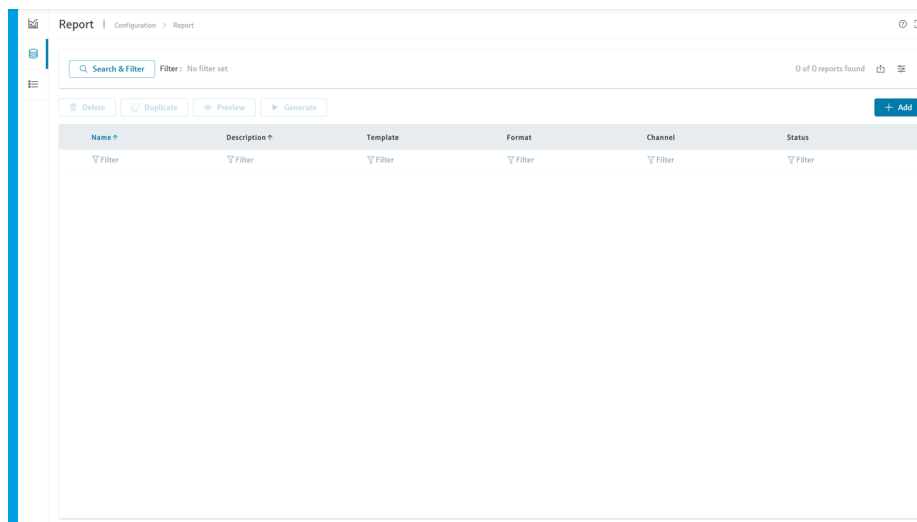
照合レポートは、以下に示すように柔軟に生成できます。

- 特別レポート：SupplyCare ユーザーの必要に応じて作成
- 定期レポート：さまざまな時間間隔に基づいて作成

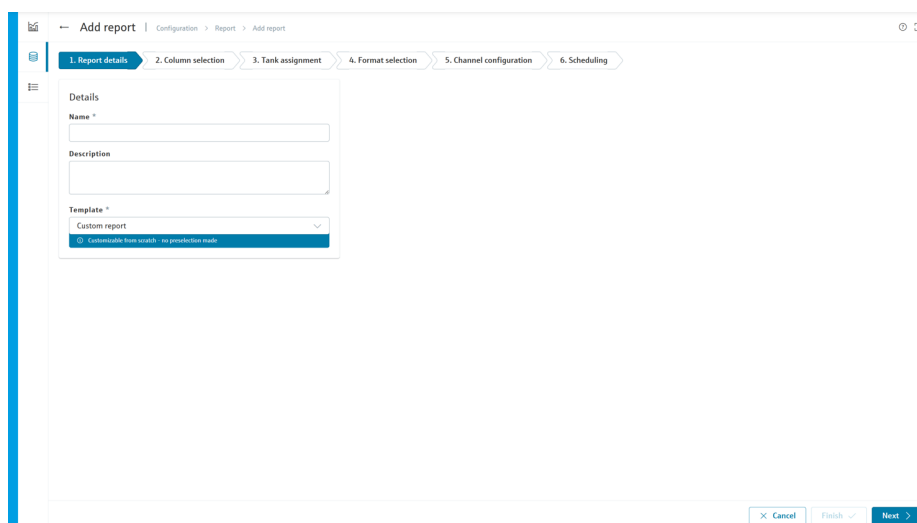
14.13.2 照合レポートの設定

レポートウィザードを使用したレポートの作成

1. **設定**メニューで、**レポート**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。

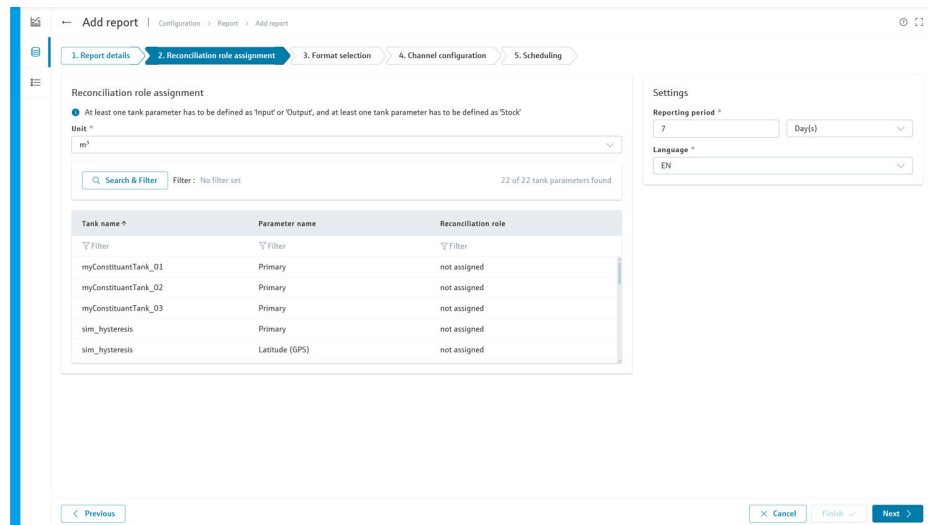


2. **+ 追加**ボタンをクリックします。
↳ 作業エリアに **1. レポートの詳細**タブが表示されます。



3. **名前**を入力します。レポート名は一意である必要があります。
4. 任意：**説明**を入力します。
5. **テンプレート**ドロップダウンリストボックスから**照合レポート**を選択します。
↳ ドロップダウンリストボックスの下にテンプレートの説明が表示されます。

6. **次へ** > ボタンをクリックします。
 ↳ 作業エリアに **2. 照合ロールの割り当て** タブが表示されます。

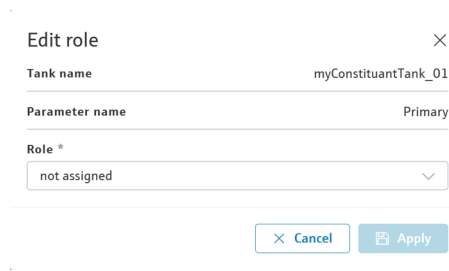


ここでは、1つのロール（入力、在庫、または出力）を既存の各測定点に割り当てます。通常、プライマリバリューとセカンダリバリューは個別のロールに割り当てます。これらの測定値はデータの調整に使用されます。


7. **単位**を選択します。デフォルト単位は立方メートルです。

i ここで選択した単位がタンクの設定時に選択した単位と互換性がある場合にのみ、プライマリバリューとセカンダリバリューを評価できます。体積単位と質量単位は互いに互換性があります。

8. タンクの測定点を選択します。これを行うには、テーブルで目的の測定点をクリックします。測定点ごとに行が表示されます。
 ↳ **役割編集** ダイアログボックスが表示されます。



9. ドロップダウンリストボックスから **ロール** を選択します。
 ↳ **入力、在庫、または出力**

10.  **適用** ボタンをクリックして設定を保存します。

- ↳ ダイアログボックスが閉じ、選択したロールが測定点の**ロール**列に表示されます。

Reconciliation role assignment

At least one tank parameter has to be defined as 'Stock'


Unit: m³

Search & Filter: Filter: No filter set. 22 of 22 tank parameters found

Tank name	Parameter name	Reconciliation role
myConstituentTank_01	Primary	Input
myConstituentTank_02	Primary	not assigned
myConstituentTank_03	Primary	not assigned
sim_hysteresis	Primary	not assigned
sim_hysteresis	Latitude (GPS)	not assigned

Settings: Reporting period: 7 Days; Language: EN

11. 他の測定点を選択します。レポートには少なくとも2つの測定点が必要です。ただし、この測定点の1つが**在庫**である必要があります。

 測定点がロールに割り当てられていない場合、その値は0（標準）になります。

 タンクは、**タンクグループ**、**製品**、**地域**でフィルター処理できます。

12. 追加設定を行います。

- **レポート期間** - 在槽照合レポートの時間間隔。
- **言語** - 在槽照合レポートの言語。

13. **次へ** > ボタンをクリックします。

- ↳ 作業エリアに**3. 形式の選択**タブが表示されます。

Format selection

Format: Select the output format

Separator (Thousands | Decimal): Comma (,) | Period (.)

14. **形式**ドロップダウンリストボックスから出力形式を選択します。デフォルトでは、このオプションは空です（選択なし）。

以下の形式を選択できます。

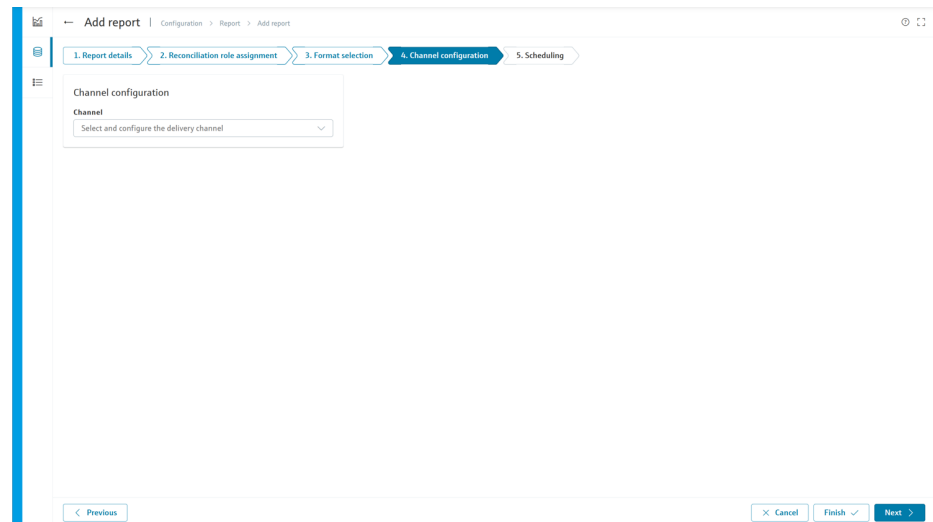
- **XLSX** – Excel ファイル
- **XML** – XML ファイル
- **PDF** – PDF ファイル

15. **区切り記号 (3桁区切り | 小数点)** ドロップダウンリストボックスから区切り記号の形式を選択します。

↳ **コンマ (,)** | **ピリオド (.)** または **ピリオド (.)** | **コンマ (,)**

16. **次へ >** ボタンをクリックします。

↳ 作業エリアに **4. チャンネルの設定** タブが表示されます。



17. ドロップダウンリストボックスから**チャンネル**を選択します。デフォルトでは、このオプションは空です (選択なし)。

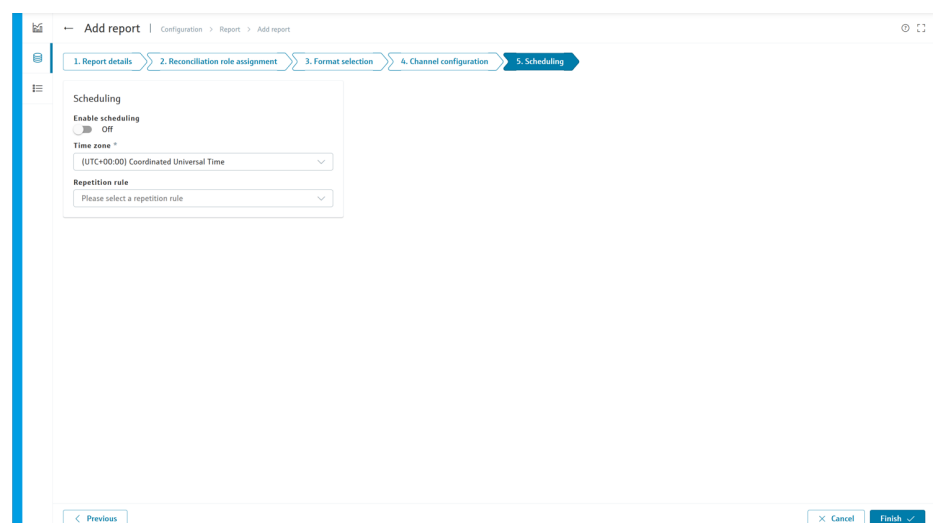
↳ **Eメール** または **FTP**

選択した配布チャンネルに応じて、追加のフィールドがタブに表示されます。各配布チャンネルの詳細については、「レポートウィザードを使用したレポートの作成」セクションを参照してください。

18. **完了 ✓** ボタンをクリックして、新しいレポートを保存します。

19. または **次へ >** ボタンをクリックします。

↳ 作業エリアに **5. スケジューリング** タブが表示されます。



20. レポートの完了後、直ちにスケジューリングルールを有効化する場合は、**スケジューリングの有効化** 切替えスイッチをオンにします。

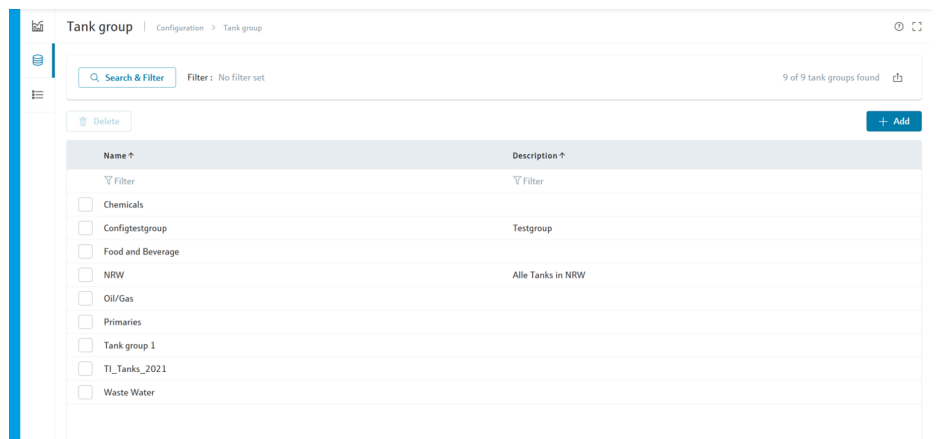
21. 「レポートウィザードを使用したレポートの作成」セクションの説明に従って、スケジュールリングの設定を行います。
22. **完了** ✓ ボタンをクリックして、新しいレポートを保存します。

14.14 通知（メッセージ）の設定

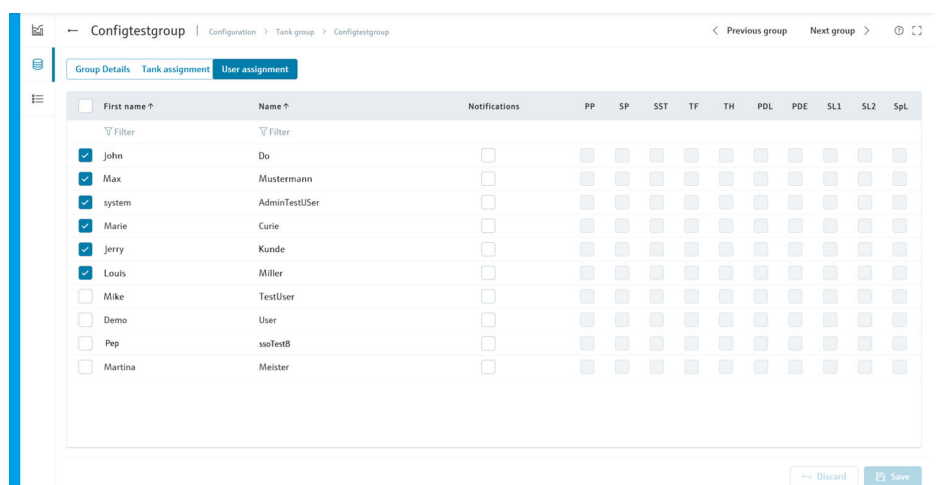
SupplyCare Hosting では、ユーザーにイベントをEメールでアクティブに通知できます。イベントの重み付けに応じて、さまざまなユーザーに通知できます。

- i** メッセージ通知を設定できるのは、ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** メッセージ通知の送信対象として設定できるのは、ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、または**オペレータ**に設定されているユーザーのみです。
- i** ユーザーがEメールで通知を受信できるようにするには、事前にSupplyCareのEメール接続を確立しておく必要があります。



1. **設定**メニューで、**タンクグループ**メニュー項目をクリックします。
↳ 作業エリアに以下の詳細ビューが表示されます。



2. テーブルで、ユーザーを割り当てるタンクグループをクリックします。
3. **ユーザーの割り当て**タブを選択します。
↳ ユーザーロールが**読み取り専用**、**スケジューラ**、**オペレータ**であるすべてのユーザーがテーブルに表示されます。



4. 左側の列のチェックボックスをオンにして、1人または複数のユーザーをタンクグループに割り当てます。

5. ユーザーに E メールでタンクイベントも通知する場合は、対象ユーザーの**通知列**にあるチェックボックスをオンにします。
 6. ユーザーが通知を受け取る必要があるイベントに対応したチェックボックスをオンにします。
 7.  **保存** ボタンをクリックして変更を保存します。
-  通知は、設定メニュー → ユーザーでも設定/管理できます。

15 エクスポートおよびレポート形式の区切り文字

この章では、SupplyCare のすべてのエクスポートまたはレポート機能で使用される千の位および小数点を表す区切り文字の形式について説明します。

Excel 形式のダウンロード

ダウンロードは Excel 形式で実行されます (標準)。レポートを Excel で開くと、ローカルシステムの Excel 形式で表示されます。

履歴のダウンロード

千の位/小数点を表す区切り文字としてダウンロードで使用される文字は、ブラウザで選択した言語設定に応じて異なります。

通知

千の位/小数点を表す区切り文字として通知で使用される文字は、ユーザー設定で選択した言語設定に応じて異なります。

レポート

千の位/小数点を表す区切り文字としてレポートで使用される文字は、設定メニュー → レポートのドロップダウンリストから選択できます。

16 ユーザーロールおよび権限

i 1人のユーザーに複数のユーザーロールを同時に割り当てることができます。

マスターデータ

ユーザーロールが**マスターデータ**に設定されたユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- ユーザーの作成、変更、削除
- ユーザーへのユーザーロールの割り当て
- ユーザーへのタンクグループの割り当て
- ユーザーへの通知の割り当て
- 自分のユーザープロフィールの変更
- タンクの作成、変更、削除
- タンクグループへのタンクの割り当て
- 集合タンクの作成、変更、削除
- タンクグループへの集合タンクの割り当て
- タンクタイプの作成、変更、削除
- 地域の作成、変更、削除
- 地域へのタンクの割り当て
- 会社の作成、変更、削除
- 製品の作成、変更、削除
- 既存のリニアライゼーションテーブルのアップロード
- リニアライゼーションテーブルの作成、変更、削除
- タンクグループの作成、変更、削除
- タンクへの製品の割り当て
- レポートの作成、変更、削除

製品 - タンク - 設定

ユーザーロールが**製品 - タンク - 設定**に設定されたユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンクの作成、変更、削除
- タンクグループへのタンクの割り当て
- 製品の作成、変更、削除
- タンクへの製品の割り当て

読み取り専用

ユーザーロールが**読み取り専用**に設定されたユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）の表示
- カスタマイズされたタンクビューの表示
- マップ（Google Maps）でのタンクの表示
- 測定値履歴の表示および保存
- タンク詳細の表示
- 地域の詳細の表示
- タンクサービスのステータスの表示
- イベントの表示
- 合計
- 自分のユーザープロフィールの変更
- ユーザー設定の実行

オペレータ

ユーザーロールが**オペレータ**であるユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）の表示
- カスタマイズされたタンクビューの表示
- マップ（Google Maps）でのタンクの表示
- 測定値履歴の表示および保存
- 既存の測定値の履歴分析
- タンク詳細の表示
- 地域の詳細の表示
- タンクサービスのステータスの変更

- イベントの表示および編集
- イベント履歴の表示
- 合計
- 自分のユーザープロファイルの変更
- ユーザー設定の実行

スケジューラ

ユーザーロールが**スケジューラ**であるユーザーには、以下の操作を実行する権限が与えられます。

- タンク（測定値）の表示
- カスタマイズされたタンクビューの表示
- マップ（Google Maps）でのタンクの表示
- 測定値履歴の表示および保存
- 納品予定/廃棄予定に関する通知およびステータスの表示
- 既存の測定値の履歴分析
- タンク詳細の表示
- 地域の詳細の表示
- タンクサービスのステータスの表示
- イベントの表示および編集
- 再提出日の設定
- イベント履歴の表示
- 納品/廃棄の予定
- 合計
- 自分のユーザープロファイルの変更
- ユーザー設定の実行



71748728

www.addresses.endress.com
